

平成30年度 病 院 年 報



厚生労働省臨床研修指定病院
地域がん診療連携拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院
周産期協力病院
救急告示病院
地域医療支援病院

市 立 長 浜 病 院

理 念

地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を進めます。

基 本 方 針

1. 患者の権利、尊厳を重視した医療を実践します。
2. 地域の医療関係者との連携を深め、地域医療の発展のためにつくします。
3. 高度で良質な医療水準を確保し、安全で信頼される医療を進めます。
4. 快適な療養環境の整備と、質の高いケアに努めます。
5. 医学研究活動を推進し、優れた医療人を育成します。
6. 職員が互いに尊重、協力してチーム医療を実現します。
7. 職員が元気で働きがいのある職場づくりに努めます。

目 次

I	はじめに	1
II	病院の沿革	3
III	病院の概要	
1	施設概要	
(1)	概要	7
(2)	職員状況と組織機構	12
IV	活動状況	
1	主要事業の概要	
(1)	湖北がんフォーラム2018.....	14
(2)	びわ湖あさがおネットの運用	15
(3)	回復期リハビリテーション病棟の運営	16
2	各科の活動状況	
	総合診療科	17
	内科／腎臓代謝内科	17
	神経内科	18
	消化器内科	19
	呼吸器内科	20
	循環器内科	20
	リウマチ膠原病内科	21
	緩和ケア外来ところ	22
	小児科&NICU	22
	外 科	23
	呼吸器外科	24
	整形外科	25
	形成外科	26
	脳神経外科	26
	心臓血管外科	28
	皮 膚 科	29
	泌尿器科	30
	産婦人科	31
	眼 科	32
	耳鼻咽喉科	33
	麻 酔 科	34
	I C U ・ C C U センター	35
	放射線科（治療部門）	36

放射線科（診断部門）	37
病理診断科	38
歯科・歯科口腔外科	39
臨床研修医	40
人工透析センター	41
救急センター	42
外来化学療法センター	43
健診センター	44
開放型病棟、開放型病床	45
中央材料室	46
中央手術室	47
薬剤局	48
医療技術局	49
栄養科	50
臨床工学技術科	51
放射線技術科	52
リハビリテーション科／リハビリテーション技術科	54
中央検査技術科	57
歯科・眼科技術室	59
看護局	60
事務局	65
病院機能強化推進室	69
地域医療連携室	70
がん対策推進室	72
訪問看護ステーション	73
診療情報支援室	74
医療安全管理室	75
3 著書発表記録	78
4 論文発表記録	79
5 学会・研究発表記録	81
6 講習会／研修会への取り組み	
（1）患者さん、市民を対象にしたもの	94
（2）医療従事者、地域開業医を対象にしたもの	99
7 委員会の状況	102

V 経営状況

平成30年度決算状況

（1）経営収支比較	137
（2）貸借対照表	138
（3）経営状況①	139
経営状況②	139
（4）資本的収入及び支出	140

VI 各種統計資料

1 患者状況

(1) 一般病棟科別入院患者数	141
(2) 療養病棟科別入院患者数	141
(3) 科別外来患者数	142
(4) 入院外来患者数の年次推移（一般病棟）	143
(5) 入院地域別患者数	145
(6) 入院年代別患者数	148
(7) 外来地域別患者数	152
(8) 外来年代別患者数	153
(9) 科別月別入院退院患者数	154
(10) 科別月別入院患者数	155
(11) 科別月別外来患者数	156
(12) 救急患者数	157
(13) 救急車利用状況	157
2 ICU・CCU業務状況	158
3 手術業務状況	160
4 健診センター利用状況	161
5 中央材料室業務状況	166
6 薬剤科業務状況	167
7 栄養科業務状況	168
8 放射線科／放射線技術科業務状況	171
9 中央検査技術科業務状況	176
10 リハビリテーション科／リハビリテーション技術科業務状況	177
11 訪問看護ステーション業務状況	178
12 疾病別・転帰別退院患者数	179
13 院内がん登録 2018年症例	180
14 医療機器等購入状況	181
15 死亡診断書発行状況	182
16 剖検症例	183
17 院内保育所「あすなろ園」状況	184

I はじめに

「次世代の医療・福祉への種蒔き」を！

長浜市病院事業管理者 野 田 秀 樹



理念「人中心の医療」のもと、「地域を支え、導く病院であり続ける」ために、一昨年は診療支援棟の竣工、昨年は患者・家族の生活を総合的に支える患者総合支援センターを、そして本年は地域の医療機関との連携をより深めるために「地域医療支援病院」の認定と当院の主機能の一つである「地域がん診療連携拠点病院」の再認定を受けました。

人材面、特に医師確保では、昨年度の県内唯一のリウマチセンター稼働による人員増に続き、本年度も新しい仲間を多数迎えることが出来ました。特に常勤医不在であった消化器内科に10月から、かつて当院で研修をされた仲間を滋賀医科大学消化器内科学教室のご支援の下に迎えることが出来ました。来年度は小児科で近畿大学小児科学教室のご好意で専門医が1名、また消化器内科では3名、放射線治療科で1名の増員が決まりました。加えて、年度途中で増員も複数科予定されています。まだ不安要素は沢山ありますが、医師不足の続く中、近年にない有難い朗報です。（ただただ関係機関への感謝あるのみです）

また、関係機関の協力を得て、健診部門の拡充に向けた環境が整いつつあります。長浜0次コホート研究と連携した「次世代型健診センター」構想は長年、抱き続けてきた想いの一つであり整備を急ぎたいと考えています。

一方、経営に関しては「新公立病院改革プラン」に基づく中期経営計画2年目も将来への「種蒔き」費用や消費税の負担増に加え、診療科縮小による減収、診療報酬改定などが影響して厳しい状態が続きますが、みなさんの頑張りで予想以上に大きく改善しました。

医療を取り巻く環境は一段と厳しく、「地域医療構想」「専門医制度」「働き方改革」「会計年度任用職員制度」など重い課題が山積し、早急な対応が迫られていますが、既存の方法や考え方で満足な解決策には至らないと考えています。発想の転換で持続可能な目標（SDGs）を定め目指さねばなりません。その一環として「将来の湖北の医療・福祉を最高の状態で維持する」ために限られた医療資源の中で何をなすべきか、「長浜赤十字病院との連携のあり方」について検討してきました。もはや一つの病院での対応は不可能であり、他院との一体的連携を含め、一段と進化したものを考えねばなりません。

しかし、どのような状態下にあっても常に私達に求められるのは情報過多の中にあっても惑わされることなく、立ち位置を見定め、叡智を集め、チャレンジ精神を忘れず、目標を見失うことなく一丸となって前進することです。

職員の皆さんにはいろいろとご苦勞をおかけすることになりますが、一層の”踏ん張り”をお願いしたいと思います。

平成30年度の歩み

市立長浜病院

院長 神 田 雄 史



市立長浜病院は平成8年5月1日の新築移転から、すでに22年が経過しました。病棟の配管などの外観上わかりにくい部分の老朽化が進行しています。病院の改修工事は喫緊の課題となりました。今後の病棟改築工事に備えて、平成30年4月から3病棟を休床として、ICU、SCU、一般急性期病棟、地域包括病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療型療養病棟の稼働病床数の見直しを行いました。運用状況を確認しながら、平成31年4月には大規模病棟改修工事に入ります。

また、平成30年4月から開放型病床とレスパイト入院の受け入れ態勢を見直し、紹介患者を積極的に受け入れています。

平成30年4月6日付で、日本医療機能評価機構から病院機能評価の認定更新を受けました。副機能としてリハビリテーション病院・慢性期病院としても認定を受けました。一年かけて更新の準備をしてきましたが、全職員が一丸となって機能改革に取り組んだ結果、4回目の更新を受けることができました。

平成30年4月23日に、当院で初めて一人の看護師が、麻酔・救急・集中治療コースの特定行為研修の修了式を迎えました。今後も、専門看護師、認定看護師、特定行為研修終了看護師が増えてくれることを期待しています。特定行為研修終了看護師は、医師の働き方改革に大きく寄与してくれると思います。

平成30年10月1日から選定療養費5,400円の徴収を開始しました。平成30年3月27日に、「地域医療支援病院」の名称の承認を受け、事前に地域住民の皆様には十分にお知らせすることに努め、患者さまにご理解をいただき、大きな問題もなく選定療養費を導入することができました。

平成31年1月1日には新しい病院医療情報システムが稼働しました。わずか半年で稼働準備を進めたため、多くの職員の皆様に負担をかけることになりました。リーダーとして牽引役を担ってくれた職員には心から感謝いたします。全く新しいシステムを導入したため、当初は患者さんの待ち時間の延長などでご迷惑をおかけしましたが、2月には落ち着くことができました。びわ湖あさがおネットで当院の平成30年までのデータが提供できなくなってしまい、近隣の病院、医院の先生方に大変な不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

平成31年3月7日に地域がん診療連携拠点病院の指定更新を受けました。指定年限は4年です。更新のたびに更新基準が高くなっていますが、当院は過去4年間の実績を積み上げて更新を認められました。標準的ながん診療を行えるように診療体制の確保に努めて参ります。

毎年、新年度は多くの医師の異動があります。平成30年度も医師の増える診療科もあれば、残念ながら減る診療科もありました。4月には小児科の正規常勤医が不在となりましたが、10月には常勤医が不在であった消化器内科に正規常勤医を迎えることができました。毎年、医師の確保には一喜一憂していますが、都市部と比べて地方の病院では医師の確保が難しくなってきました。大学の医局、近隣の病院との協調を保ち、地域全体の医療体制を考える必要にせまられてきました。

市立長浜病院は、地域住民の健康を守るために、「人中心の医療」の発展と地域完結型の医療の推進を理念として、地域医療の発展のため診療の充実を目指してまいります。

今後も地域の医師及び医療・介護従事者の皆様のお役に立てるように、全職員をあげて地域医療の支援に取り組みますので、引き続きご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

II 病院の沿革

沿革

明治19年4月	(1886)	公立大津病院を県立大津病院に改称され、長浜に出張所が設置される
明治20年8月	(1887)	北船町（現在の公園町）に県立長浜避病院が設置される
明治22年4月	(1889)	町立長浜病院が設立（西本町）
明治26年11月	(1893)	北船町（現在の朝日町）に町立長浜病院を新築移転
明治30年4月	(1897)	町立長浜病院が私立長浜病院となる
昭和19年5月	(1944)	私立長浜病院を買収。市立病院として同年6月開院 診療科：内科、外科、耳鼻科
昭和21年3月	(1946)	市立長浜病院東分院設置（東上坂町字小田976-7） 診療科：内科、小児科（医師3人、薬剤師1人、看護婦5人、その他5人）
昭和22年7月	(1947)	市立長浜病院神田診療所設置（加田町字坂村2356） 診療科：内科、小児科
昭和33年3月	(1958)	病院移転新築工事着工（八幡東町631）
昭和34年4月	(1959)	鉄筋コンクリート3階建開院 一般病棟167床、結核病棟39床、癌治療施設、看護婦寄宿舎完成
昭和34年8月	(1959)	伝染病棟（15床）増設
昭和37年11月	(1962)	一般病棟50床増設
昭和38年1月	(1963)	一般病棟29床増設、病床総数300床
昭和41年9月	(1965)	救急病院の告示
昭和42年1月	(1967)	機能回復訓練室、病床15床増設、伝染病棟15床を一般病棟へ切り替え
昭和50年7月	(1975)	結核病棟39床を廃止し、一般病棟へ切り替え、病床総数315床
昭和55年4月	(1980)	53年度から2ヵ年計画で病棟（西棟）及び放射線部門を増設。 併せて院内保育園新設、病床総数365床
昭和61年4月	(1986)	58年度から3ヵ年計画で中央棟（開放型病室32床含む）の増築 整備をはかり、病床総数415床
平成4年6月	(1992)	病院移転新築基本構想策定
平成6年3月	(1994)	病院新築工事契約の締結
平成6年5月	(1994)	移転新築工事起工（長浜市大戌亥町313）
平成8年5月1日	(1996)	新病院開院（入院患者の移送） 病床総数520床（開放型50床）、外来診療開始（5月7日） 診療科：20科（平成9年1月1日 診療科21科）
平成9年12月5日	(1997)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審
平成10年3月16日	(1998)	病院機能評価における認定証の受理 （平成10年2月9日付け一般病床種別B認定第26号） （認定期間 平成10年2月9日～平成15年2月8日）
平成11年1月8日	(1999)	河野良一名誉院長（昭和57年4月1日就任）が死去
平成11年3月	(1999)	療養型病床群病棟建設設計予算議決
平成11年4月	(1999)	企画情報課に療養型病床群病棟開設準備担当設置

平成11年 8月	(1999)	療養型病床群病棟建設設計本部設置
平成13年 1月	(2001)	療養型病床群病棟建設工事請負契約の締結
平成13年 1月	(2001)	療養型病床群病棟建設工事起工
平成13年 2月	(2001)	トータルオーダーリングシステム等基本計画策定
平成13年 3月	(2001)	秋山泰高院長（平成2年4月1日就任）が退職
平成13年 3月	(2001)	臨床研修病院の指定を受ける
平成13年 4月	(2001)	琴浦良彦院長就任
平成13年 4月15日	(2001)	西川博文副院長（平成8年5月1日就任）が死去
平成14年 3月 1日	(2002)	療養病棟の開設（156床増床）
平成14年 5月	(2002)	トータルオーダーリングシステム更新
平成15年 2月 6日	(2003)	全国自治体病院協議会管理者研修実施
平成15年 2月26日～28日	(2003)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審（ver.4）
平成15年 4月15日	(2003)	アウグスブルク市長病院視察
平成16年 1月26日	(2004)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価認定証受理 （認定期間 平成15年2月9日～平成20年2月8日）
平成16年 4月 1日	(2004)	市立長浜病院組織機構改革
平成16年 4月 1日	(2004)	湖北地域における小児救急支援事業の開始
平成16年 5月 1日	(2004)	臨床研修医制度による研修医の受け入れ開始
平成17年 1月17日	(2005)	地域がん診療拠点病院の指定を受ける
平成17年12月	(2005)	長浜市と京都大学大学院医学研究科との間で「長浜市〇次予防健康づくり推進事業」の計画策定に関する覚書を締結。今後1万人規模の疫学調査に積極的に参加協力。
平成18年 2月 6日	(2006)	人間ドック・健診施設機能評価機構による訪問審査
平成18年 2月13日	(2006)	長浜市・浅井町・びわ町1市2町合併
平成18年 3月25日	(2006)	社団法人日本病院会、日本人間ドック学会による人間ドック・健診施設機能評価認定証受理 （認定期間 平成18年3月25日～平成23年8月31日）
平成18年 3月	(2006)	平成16年6月の創立60周年を機に、市立長浜病院創立60周年記念誌を発刊
平成18年11月	(2006)	最新鋭の64マルチスライスCTの運用開始
平成19年 4月	(2007)	高精度治療に対応した最新の放射線治療装置（リニアック）の導入に向けたプロジェクトチームを設置
平成19年 6月	(2007)	がん相談支援センターの設置
平成20年 2月	(2008)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.5）の認定更新 （認定期間 平成20年2月9日～平成25年2月8日）
平成20年 2月	(2008)	地域がん診療連携拠点病院認定更新

平成20年 3月	(2008)	琴浦良彦院長（平成13年4月1日就任）が退職
平成20年 4月	(2008)	野田秀樹院長就任
平成20年 4月	(2008)	最新の放射線治療装置（リニアック）の稼働
平成20年 4月	(2008)	PACS（画像ファイリングシステム）運用開始
平成20年 6月	(2008)	医薬分業の視点から薬品の院外処方箋を発行
平成20年 7月	(2008)	厚生労働省からDPC対象病院に指定
平成21年 3月	(2009)	市立長浜病院改革プラン策定
平成21年 4月	(2009)	一般病棟入院基本料看護基準7対1の施設基準を取得
平成21年 4月	(2009)	長浜病院訪問看護ステーションの設置
平成22年 1月1日	(2010)	長浜市・虎姫町・湖北町・高月町・木之本町・余呉町・西浅井町の1市6町合併
平成22年 1月	(2010)	トータルオーダーリングシステム更新
平成22年 4月	(2010)	地方公営企業法全部適用へ移行
平成22年 4月	(2010)	野田秀樹院長が病院事業管理者に就任（院長兼務）
平成22年 4月1日	(2010)	標榜科22科（呼吸器外科を新たに届出）
平成23年 3月31日	(2011)	療養病棟2階介護保険52床を廃止で変更届 総病床数（624床） 一般病棟（520床） 療養病棟（104床）うち医療保険52床、介護保険52床
平成23年 4月	(2011)	社団法人日本病院会 日本人間ドック学会による人間ドック・健診施設 機能評価認定更新（認定期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日）
平成23年 7月20日	(2011)	療養病棟2階を医療保険適応病床52床に変更届
平成24年 3月	(2012)	長浜市病院事業基本計画（中期）及び長浜市病院事業改革プラン 【改訂版】を策定
平成24年 4月	(2012)	野田秀樹院長が病院事業管理者を専任及び医療政策監に就任
平成24年 4月	(2012)	多賀俊明院長就任
平成24年 4月	(2012)	経営企画課に診療支援棟建設準備室を設置
平成24年 4月23日	(2012)	療養病棟1階人工透析室40床開設
平成24年 5月31日	(2012)	療養病棟3階介護保険52床を廃止で変更届
平成24年 6月 1日	(2012)	療養病棟3階を医療保険52床で届出 総病床数（624床） 一般病棟（520床） 療養病棟（104床）うち医療保険104床
平成24年 9月	(2012)	診療支援棟建設設計補正予算議決
平成24年10月1日～3日	(2012)	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審（Ver.6）
平成24年11月	(2012)	3.0テスラMRI装置の導入
平成25年 1月	(2013)	トータルオーダーリングシステム等の電子カルテ化
平成25年 2月	(2013)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.6） の認定更新（認定期間 平成25年2月9日～平成30年2月8日）
平成25年 3月	(2013)	外来化学療法センター開設（移転増床）
平成25年 3月 1日	(2013)	療養病棟3階医療保険52床再開

平成25年 6月 1日	(2013)	回復期リハビリテーション病棟（療養病棟）の運用を開始
平成25年 8月 1日	(2013)	脳卒中ケアユニット入院医療管理料の運用を開始
平成26年 3月	(2014)	診療支援棟整備工事設計業務完了
平成26年 4月	(2014)	野田秀樹病院事業管理者が再任
平成26年 6月	(2014)	診療支援棟整備工事着工
平成26年10月 2日	(2014)	標榜科23科（病理診断科を新たに届出）
平成27年 1月 1日	(2015)	地域包括ケア病棟の運用を開始
平成27年 3月	(2015)	長浜市病院事業改革プラン【改訂版】を策定
平成27年 4月 1日	(2015)	開設許可病床（一般病棟）8床削減 総病床数（616床） 一般病棟（512床） 療養病棟（104床）うち医療保険104床
平成27年10月 4日	(2015)	診療支援棟 竣工式
平成28年 3月	(2016)	多賀俊明院長（平成24年4月1日就任）が退職
平成28年 4月	(2016)	神田雄史院長就任
平成29年 3月	(2017)	長浜市病院事業中期経営計画（新改革プラン）を策定
平成29年 4月 1日	(2017)	開設許可病床（一般病棟）16床削減 総病床数（600床） 一般病棟（496床） 療養病棟（104床）うち医療保険104床
平成29年 4月	(2017)	患者総合支援センター開設 リウマチセンター開設
平成29年10月26～27日	(2017)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価受審(3rdG)
平成30年 3月27日	(2018)	地域医療支援病院の承認
平成30年 4月	(2018)	野田秀樹病院事業管理者が再任
平成30年 4月	(2018)	公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（3rdG） の認定更新（認定期間 2018年2月9日～2023年2月8日）
平成31年 1月 1日	(2019)	電子カルテシステム更新
平成31年 4月	(2019)	ヘルスケア研究センター設置
平成31年 4月	(2019)	市立長浜病院組織機構改革

Ⅲ 病院の概要

Ⅲ－１ 施設概要

1. 概要

(1) 施設概要

所在地 滋賀県長浜市大戌亥町313番地
施設名 市立長浜病院
開設者 長浜市長 藤井勇治
長浜市病院事業管理者 野田秀樹
管理者 院長 神田雄史

敷地面積 70,991.23㎡
建物 本館 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上7階
高さ 37.5m
延床面積 32,836.9㎡
別館 鉄筋コンクリート造地上3階
延床面積 8,212.5㎡
付属棟 保育園、車庫、医療ガス庫、駐輪場、キャノピー
延床面積 1,078.8㎡
診療支援棟 鉄骨造4階 5,333.6㎡

(2) 外来

診療科（標榜科 23科）

内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科

診療科（院内標榜）

心療内科、腎臓・代謝内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科

(3) 病棟（令和元年6月1日現在）

病床数 600床（一般 496床、療養104床）
病棟 3階東病棟（29床） 3階西病棟（47床）
3階南病棟（40床） ICU CCU（8床）
4階東病棟（35床） 4階西病棟（39床）
（内 PICU 2床） （内 NICU 9床）
5階東病棟（51床） 5階西病棟（50床）
6階東病棟（47床） 6階西病棟（50床）
7階東病棟（50床） 7階西病棟（50床）
療養2階病棟（52床） 医療保険対応
回復期リハビリテーション病棟（52床） 医療保険対応

(4) 認定施設基準一覧 (2019年4月1日現在)

○基本診療料

初診・再診料

地域歯科診療支援病院歯科初診料

入院基本料等

急性期一般入院料1

療養病棟入院料1

入院基本料加算

歯科外来診療環境体制加算2

歯科診療特別対応連携加算

超急性期脳卒中加算

診療録管理体制加算1

医師事務作業補助体制加算1

急性期看護補助体制加算

療養環境加算

重症者等療養環境特別加算

療養病棟療養環境加算1

無菌治療室管理加算(1と2)

栄養サポートチーム加算

医療安全対策加算1

医療安全対策地域連携加算1

感染防止対策加算1

抗菌薬適正使用支援加算

患者サポート体制充実加算

褥瘡ハイリスク患者ケア加算

ハイリスク妊娠管理加算

ハイリスク分娩管理加算

総合評価加算

呼吸ケアチーム加算

後発医薬品使用体制加算1

病棟薬剤業務実施加算(1と2)

データ提出加算2

入退院支援加算

認知症ケア加算

地域歯科診療支援病院入院加算

特定入院料

特定集中治療室管理料3

特定集中治療室管理料の注4に掲げる早期離床・リハビリテーション加算

脳卒中ケアユニット入院医療管理料

小児入院医療管理料5

回復期リハビリテーション病棟入院料3

地域包括ケア病棟入院料2

○特掲診療料

糖尿病合併症管理料

がん性疼痛緩和指導管理料

がん患者指導管理料イ・ロ・ハ

糖尿病透析予防指導管理料

乳腺炎重症化予防・ケア指導料

外来放射線照射診療料
 ニコチン依存症管理料
 療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算
 開放型病院共同指導料
 がん治療連携計画策定料
 肝炎インターフェロン治療計画料
 薬剤管理指導料
 検査・画像情報提供加算
 医療機器安全管理料1
 医療機器安全管理料2
 歯科疾患管理料の注1に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
 在宅患者訪問看護・指導料
 持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
 H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
 検体検査管理加算（Ⅳ）
 遺伝カウンセリング加算
 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
 時間内歩行試験
 胎児心エコー法
 ヘッドアップティルト試験
 長期継続頭蓋内脳波検査
 神経学的検査
 ロービジョン検査判断料
 小児食物アレルギー負荷検査
 内服・点滴誘発試験
 センチネルリンパ節加算
 画像診断管理加算2
 C T 撮影及びMR I 撮影
 冠動脈C T 撮影加算
 心臓MR I 撮影加算
 乳房MR I 撮影加算
 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
 外来化学療法加算1
 無菌製剤処理料
 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
 がん患者リハビリテーション料
 歯科口腔リハビリテーション料2
 レーザー機器加算
 エタノールの局所注入（甲状腺）
 エタノールの局所注入（副甲状腺）
 人工腎臓
 導入期加算2及び腎代替療法実績加算
 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
 手術時歯根面レーザー応用加算
 有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算
 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）

脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（過活動膀胱による）
 緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）
 上顎骨形成術、下顎骨形成術（歯科診療によるもの）
 乳がんセンチネルリンパ節加算2
 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
 経皮的中隔心筋焼灼術
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
 体外衝撃波胆石破碎術
 腹腔鏡下肝切除術
 体外衝撃波膀胱石破碎術
 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
 腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
 人工尿道括約筋植込・置換術
 医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
 胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）
 輸血管管理料Ⅱ
 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
 歯周組織再生誘導手術
 麻酔管理料（Ⅰ）
 放射線治療専任加算
 外来放射線治療加算
 高エネルギー放射線治療
 1回線量増加加算
 強度変調放射線治療（IMRT）
 画像誘導放射線治療加算（IGRT）
 体外照射呼吸性移動対策加算
 定位放射線治療
 定位放射線治療呼吸移動対策加算
 病理診断管理加算Ⅰ
 悪性腫瘍病理組織標本加算
 クラウン・ブリッジ維持管理料
 歯科矯正診断料

○入院時食事療養等の基準

入院時食事療養Ⅰ
 特別の療養環境の提供
 病院（200床以上）の初診・再診
 入院期間が180日を超える入院

(5) 学会等の教育病院指定一覧

平成30年4月現在

施設名	施設名
日本内科学会認定医制度教育病院	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本血液学会認定血液研修施設	日本放射線腫瘍学会認定施設
日本胸部外科学会指定施設	日本病理学会認定病院B
日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本呼吸器外科学会指導医制度認定施設	日本脳卒中学会認定研修教育病院
呼吸器外科専門医合同委員会認定関連施設	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
日本呼吸器学会認定施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設	日本高血圧学会専門医認定施設
日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本リウマチ学会教育施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	胸部ステントグラフト実施施設
心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設	腹部ステントグラフト実施施設
日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設	日本腎臓学会研修施設
日本外科学会専門医制度修練施設	日本透析学会教育関連施設
日本乳癌学会関連施設	マンモグラフィ検診施設画像評価認定施設
日本胆道学会指導施設	日本緩和医療学会認定研修施設
日本整形外科学会専門医研修施設	日本口腔外科学会准研修施設
日本脳神経外科学会専門医連携施設	日本小児口腔外科学会認定制度研修施設
日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設	日本糖尿病学会教育施設Ⅰ
日本周産期・新生児医学会暫定研修施設	下枝静脈瘤に対する血管内灼術の実施基準による実施施設
日本眼科学会専門医制度研修施設	地域包括医療・ケア認定施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設	人間ドック健診専門医研修施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	

(6) 病院配置図

平成31年4月現在

本館		病棟	7 F		
		病棟	6 F		
		病棟	5 F		
		病棟	4 F		
病棟		病棟	3 F	手術室	
外来診察 中央検査科		看護局・診療情報支援室他 看護学生室・総務課 経営企画課 2 F		中央材料室 機器センター	電気室
外来診察 放射線科 リハビリテーション科 健診センター	待合 ホール	薬剤科・栄養科・医事課 患者総合支援センター がん対策推進室 1 F		コンビニ	レストラン

別館		病棟	3 F		
		病棟	2 F		
		人工透析センター		1 F	

支援棟		3 F 手術室、ICU・CCU		血管撮影室	
		2 F		医局・当直室	
		1 F 救急センター		放射線科	

2. 職員状況と組織機構

(1) 職員状況

(単位：人)

	平成28年4月 (28.4.1現在)	平成29年4月 (29.4.1現在)	平成30年4月 (30.4.1現在)
医 師	84	90	86
歯 科 医 師	4	4	4
薬 剤 師	19	17	17
看 護 師	517	518	508
看 護 助 手	50	53	49
助 産 師	18	19	20
栄 養 士	7	8	8
放 射 線 技 師	23	22	23
検 査 技 師	26	29	29
臨床工学技士	9	10	10
理 学 療 法 士	25	26	26
作 業 療 法 士	11	11	12
視 能 訓 練 士	4	4	4
歯 科 衛 生 士	4	4	6
歯 科 技 工 士	1	1	1
言 語 聴 覚 士	5	5	5
事 務 職	57	58	62
介 護 士	29	26	25
そ の 他	122	130	131
合 計	1,015	1,035	1,026

平成30年4月1日現在



IV 活動状況

IV－1 主要事業の概要

1. 湖北がんフォーラム2018

1. 開催目的

生涯のうち、2人に1人はがんに罹患する可能性があるといわれていますが、がん診療は年々進歩を遂げています。いま、湖北地域で行われている最新のがん診療と、治療をスムーズに受けていただくための仕組みを紹介し、市民のみなさんと湖北の医療をともに考えることを目的に開催しました。

2. 開催日 平成30年7月22日（日） 午後1時30分～午後4時10分（午後1時から受付）

3. 参加費 無料

4. 場 所 長浜文化芸術会館 ホール（滋賀県長浜市大島町37番地）

5. 内 容

第1部

講 演 「市立長浜病院でできること」

座 長 長浜赤十字病院院長

楠井 隆

講 師 当院がん対策推進室副管理監

田久保 康隆

当院がん対策推進室管理監

伏木 雅人

講 演 「長浜赤十字病院でできること」

座 長 市立長浜病院院長

神田 雄史

講 師 長浜赤十字病院第一消化器内科部長

駒井 康伸

長浜赤十字病院第三外科部長

谷口 正展

長浜赤十字病院泌尿器科部長

原田 吉將

第2部 パネルディスカッション「最新のがん診療を支える医療連携」

座 長 当院がん対策推進室副管理監

田久保 康隆

パネリスト 湖北医師会理事

畑野 秀樹

長浜市立湖北病院診療局長

富樫 弘一

当院患者総合支援センター副センター長

川島 和彦

長浜赤十字病院副院長

塩見 尚礼

6. 主 催 市立長浜病院

共 催 長浜赤十字病院

後 援 湖北保健医療圏地域がん予防診療推進協議会（湖北医師会、湖北歯科医師会、湖北薬剤師会、セフィロト病院、長浜市立湖北病院、滋賀県湖北健康福祉事務所、米原市、長浜市）、滋賀県がん患者団体連絡協議会、滋賀県がん診療連携協議会、滋賀県放射線治療連絡協議会（順不同）

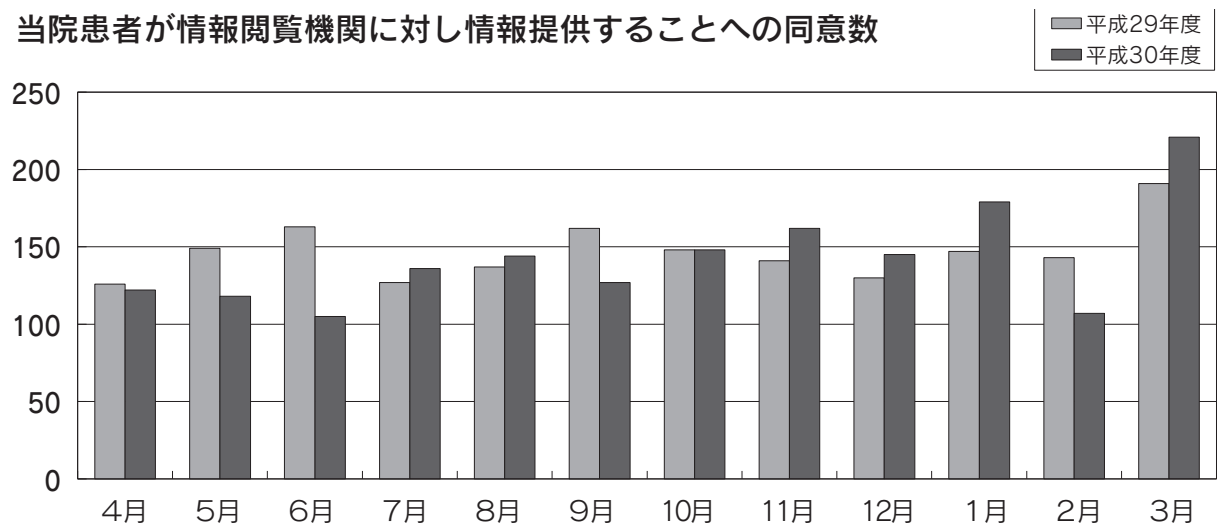
7. 参加者数 335 名

2. びわ湖あさがおネットの運用

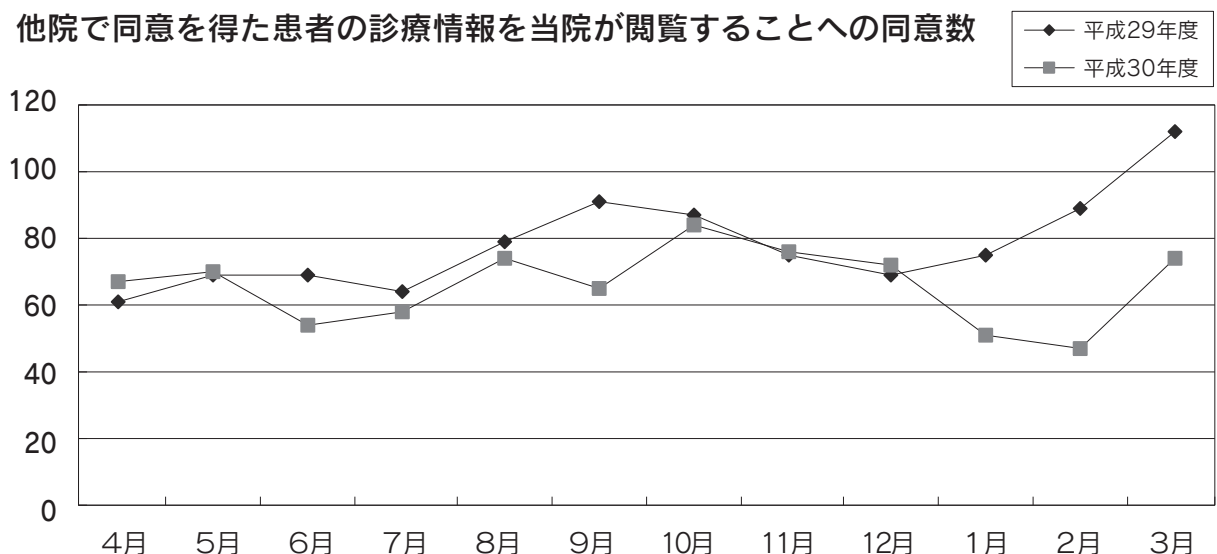
平成26年7月28日から滋賀県全域を結ぶ地域医療連携ネットワークであるびわ湖メディカルネットに移行して4年目となった平成30年の6月に、淡海あさがおネットと統合しびわ湖あさがおネットとして新しく生まれ変わりました。湖北圏域における情報提供病院である市立長浜病院・長浜赤十字病院・長浜市立湖北病院の3病院と、情報閲覧機関である診療所、薬局等の医療機関がITネットワークの専用回線で結ばれています。患者の同意に基づき、診療情報の共有化をはかることで、専門医とかかりつけ医の役割分担を進め、地域住民への良質な医療の提供につなげることができました。各医療機関を結ぶオンライン回線は、厚生労働省が認めた非常に高いセキュリティーを確保しています。

平成30年度に、当院患者が情報閲覧機関に対して情報提供することへの同意数は1,714人（前年度比200人増）、他の情報提供病院で同意を得た患者の診療情報を当院が閲覧することへの同意数は792人（前年度比150人減）となっています。減少した要因として、ネット回線移行時のシステムエラーや1月からの情報システムの変更による不具合が影響しています。

当院患者が情報閲覧機関に対し情報提供することへの同意数



他院で同意を得た患者の診療情報を当院が閲覧することへの同意数



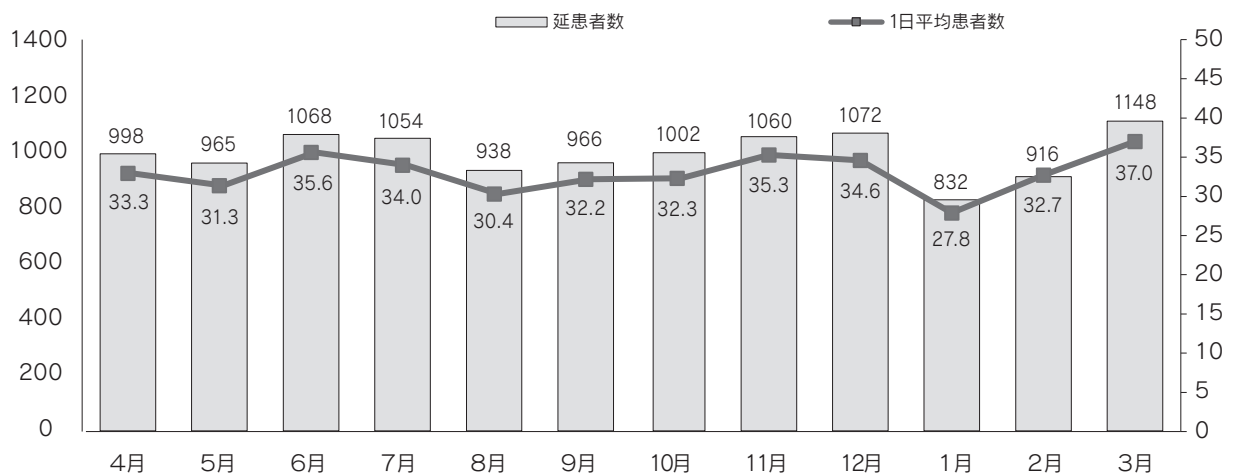
3. 回復期リハビリテーション病棟の運営

回復期リハビリテーション病棟（52床）は、平成30年度の診療報酬改訂により、入院料3の施設基準での運営をしております。

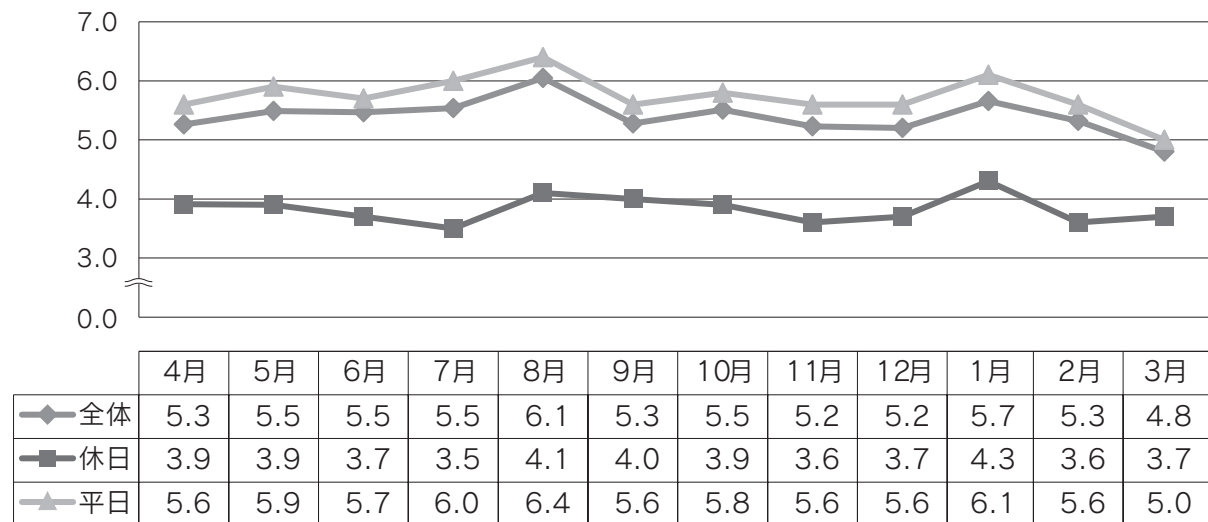
湖北保健医療圏で唯一の回復期リハビリテーション病床として、急性期から回復期そして維持期（在宅療養）への切れ目のない医療の提供に努めています。

平成30年度は、一日平均入院患者数33人での運営となりました。

平成30年度運営状況



患者1人1日あたりのリハビリテーション平均実施単位数



IV－2 各科の活動状況



総合診療科

勤務医師

大野 暢宏 部長兼療養2階責任部長

平成18年2月～ 日本外科学会認定医、日本呼吸器外科学会評議員

日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医

日本がん治療認定医機構暫定教育医

I C D制度協議会認定医、日本医師会認定産業医

上津 昌広 部長 平成18年7月～ 日本医師会認定産業医



内科／腎臓代謝内科

勤務医師

森田 善方 診療局長補佐兼責任部長

平成26年4月～ 日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医

日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会腎臓専門医・指導医

日本糖尿病学会糖尿病専門医・指導医、

日本医師会認定産業医

潮 正輝 部長 平成24年7月～ 日本内科学会認定内科医

上田 久巳 部長 平成25年4月～ 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医・指導医

日本腎臓学会腎臓専門医、日本循環器学会循環器専門医

日本透析医学会透析専門医

島本 綾子 平成29年4月～ 日本内科学会認定内科医

霍田 裕明 平成29年4月～ 日本内科学会認定内科医

平成31年3月

廣坂 雄介 平成30年4月～

今年度のトピックス

腎生検数、シャントPTA数などを維持しております。

特に腹膜透析の導入が増えました。

業務実績

紹介患者数 693名

腎生検数 88例

透析導入数 血液透析 36名 腹膜透析 6名

評価

腎臓内科、糖尿病、内分泌科を全て融合して診療にあたっております。

地域の医院、病院のご紹介・連携により診療を進めております。

カンファレンス

診療カンファレンス：毎週木曜日

透析カンファレンス：毎週水曜日



神経内科

勤務医師

小川 雅文 責任部長 平成25年4月 日本内科学会認定医
日本神経学会神経内科専門医

非常勤 (外来のみ担当)

南山 素三雄、澤村 正典、音成 秀一郎、谷岡 洸介、戸嶋 麻耶、田口 智之、
梶川 駿介

今年度のトピックス

平成25年4月1日から常勤医1名となった。それに伴い平日すべての曜日に外来を担当するようになった。

業務実績

入院患者数 延べ 2,017例

神経内科外来 月曜から金曜まで毎日

SCU 日当直、日勤帯救急当番なども担当した。

評価

常勤2名になり患者数なども増加した。



消化器内科

勤務医師

今枝 広丞 内視鏡センター 平成30年10月～
責任部長

野田 恵加 部長 平成18年4月～ 日本内科学会総合内科専門医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本医師会認定産業医

非常勤医師（外来、内視鏡）

安藤 朗、村上 善基、富樫 弘一、塚田 良彦、藤本 剛英、山内 淳一、
内海 貴裕、熊谷 健

今年度のトピックス

平成30年10月より、今枝広丞医師が常勤医師として加わり、院内発症の消化器疾患に加え、外来や救急診療にも積極的に取り組んだ。それに伴い、外来患者数や内視鏡件数および内視鏡治療件数も増加している。湖北地域の消化器疾患の患者さんの需要を安定的にかつ十分に満たすためには、更なる医師の増員が必要な状況である

診療実績

2018 年度(H30 年度) TV 室検査集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
下部消化管内視鏡検査	30	29	30	34	35	17	37	55	49	21	28	52	417
大腸ポリープ切除							14	30	28	26	26	25	149
胃ポリープ切除									1				1
食道拡張術		1				1	1						3
肝臓瘍穿刺										1			1
胃管挿入										1			1
胃瘻造設			2			1	2		5				10
胃瘻交換	6	10	1	4	6	3	7	4	3	2	1	5	52
イレウスチューブ挿入		1		1	1		5	1		1		1	11
イレウスチューブ造影		1		1	2		3	2		1		3	13
PTCD	1		1				1						3
PTGBD					1					2		1	4
PTCD チューブ造影					2		1						3
ERCP	1	2		1	2	4	1	6	4	1	2	2	26
ERCP（採石術）					1			1	1	3	2		8
ENBD				1									1
EST				1			1	4		4		1	11
ERBD	1	1	1	1	2		1	2	1	2	3		15
ENBD チューブ造影	1	1				1							3
計	40	46	35	44	52	27	74	105	92	65	62	90	732

カンファレンス等

Cancer Board 1回/週

消化器内科・外科合同症例検討会 1回/週

消化器内科 症例検討会 1回/週

2018 年度(H30 年度) 上部内視鏡集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
上部内視鏡	72	118	123	122	137	112	167	153	141	142	123	148	1558
(経口)	50	75	81	83	86	74	111	95	103	102	83	103	1046
(経鼻)	22	43	42	39	51	38	56	58	38	40	40	45	512
緊急	6	2	1	4	2	3	6	7	13	7	9	10	70
ESD	2	0	0	0	0	0	0	4	3	2	1	0	12
EVL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PEG	0	0	3	0	0	0	2	0	0	2	1	4	12
EUS	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	4
RFA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
肝生検	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	2	7
計	81	120	127	126	139	115	176	164	158	154	135	166	1661



呼吸器内科

勤務医師

野口 哲男	平成9年4月～	日本内科学会指導医・総合内科専門医 日本呼吸器学会指導医・専門医 日本人間ドック学会指導医・専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会認定産業医
高木 順平	平成22年4月～	日本内科学会認定医 日本呼吸器学会専門医 日本人間ドック学会専門医
中川 雅登	平成25年4月～	日本内科学会認定医
上林 憲司	平成25年4月～	
平山 陽子	平成29年4月～ 平成31年3月	日本内科学会認定医

今年度のトピックス

呼吸器内科は、肺炎、喘息、COPD、間質性肺炎、気胸、肺がんといった呼吸器疾患を一貫してチーム医療を行っています。

呼吸器外科、放射線科、薬剤師を交えて週1回の合同カンファレンスも開催し、連携に力を入れています。

部長回診では病棟師長、PT、医療連携室Ns、MSWを交えて退院調整困難な患者を中心にW（歩行）、E（食事）、B（認知症）の3つの項目を自立、部分介助、全介助の3段階で評価して情報共有を図っています。



循環器内科

勤務医師

高島 弘行	診療局長兼責任部長 平成22年7月～	日本内科学会認定内科医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会代議員・認定医・指導医 日本内科学会指導医
國友 健生	部長 平成25年4月～	
山科 聡	部長 平成21年5月～	日本内科学会認定総合内科専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医
児玉 浩志	平成24年11月～	日本内科学会認定内科医、日本心血管インターベンション治療学会認定医
肥後 洋祐	平成27年4月～	日本内科学会認定内科医

小林 勇介 平成29年4月～
野里 佳孝 非常勤

カンファレンス等

症例検討会及びカンファレンス 毎週火・金曜日

リウマチ膠原病内科

勤務医師

梅原 久範	診療局理事 兼リウマチ科責任部長 兼リウマチセンター長	平成29年1月～	日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医 日本シェーグレン症候群学会理事 中部リウマチ学会理事
中村 拓路	嘱託医	平成30年4月～	日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医 日本血液学会認定血液専門医
佐藤 智美	嘱託医	平成29年1月～ 平成30年9月	日本内科学会認定内科医 総合内科専門医
田中 真生	非常勤		日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医
宮本 茂輝	非常勤	平成29年1月～	日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医
日和 良介	非常勤		日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医
森 将人	非常勤		日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医
谷口 雅司	非常勤		日本内科学会認定内科医
内藤 遼太	非常勤		日本内科学会認定内科医

今年度のトピックス

- ・2017年4月から「ながはまりウマチコホート」を開始し、本年度で全登録者数が868名となった。生物学的製剤使用者は滋賀県内でトップである。
- ・2018年10月21日日曜日 北びわこホテルグラツィエ「アリーナ」にて第2回「市民公開講座」が開催された。当院整形外科部長 副リウマチセンター長 廣瀬伸次先生が『関節リウマチに関する疑問』を講演。京都大学医学部附属病院 リウマチセンター 特定准教授 田中真生先生が『関節リウマチの薬の種類と注意点：安全な治療で安心な生活を』を講演し、好評であった。
- ・2018年2月28日 湖北医師会定例会 学術講演会 特別講演 梅原久範「関節リウマチと類縁疾患の鑑別と治療」

緩和ケア外来ところ

勤務医師

森田 幸代 非常勤 平成21年4月～ 滋賀医科大学附属病院 腫瘍センター
日本臨床精神神経薬理学会指導医・専門医
日本精神神経学会専門医・指導医
精神保健指定医、日本医師会認定産業医
日本総合病院精神医学会 暫定指導医
日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士

診療：毎週火曜日（午後）

カンファレンス等

緩和ケアチーム回診 毎週火曜午後（診療終了後）

小児科 & NICU

勤務医師

多賀 俊明 顧問 平成28年4月～ 日本小児科学会専門医・指導医
日本小児神経学会専門医
日本小児心身医学会認定医
子どものころ専門医機構専門医
日本小児科医会「子どもの心」相談医

林 大地 非常勤
二宮 央 非常勤

今年度のトピックス

平成30年3月に橋本和幸先生も国立病院機構長良医療センター(岐阜市)に転動され、小児科の常勤医師は不在となりました。平成30年度は引き続き非常勤で多賀先生と、平成30年4月からは外来診療と新生児の回診に岐阜大学から火曜日と金曜日に林先生と二宮先生に来ていただいています。

業務実績

外来診療：毎日の一般外来とともに、週1回の専門外来（慢性疾患、予防接種、新生児・発達、夜尿症、心身症）を行っています。小児科入院もとれなくなり、夜間救急もできない状態となり、平成30年度の1日外来患者数は大幅に減少しました。

入院診療、NICU：休止

評価

小児科担当医の減少によって患者数のさらなる減少が見られています。しかしながら産科新生児（健康な新生児は外来患者でも入院患者でもない）の回診や新生児黄疸などの軽微な疾患の入院は産科入院として小児科医が主として関与しています。また病児保育（投薬がなければ外来患者数にも把握されない）、他科入院でのMR 検査時の鎮静など、数字に出ない取り組みも継続しています。



外科

勤務医師

野田 秀樹	事業管理者 平成7年4月～	日本外科学会指導医・専門医認定登録医、日本消化器外科学会指導医・専門医認定登録医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、ICD制度協議会認定ICD、日本医師会認定産業医
神田 雄史	院長 平成7年6月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医、厚生労働省死体解剖資格認定医
東出 俊一	責任部長 平成8年4月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定検診マンモグラフィ読影医師、日本消化器病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本体育協会公認スポーツドクター、京都大学臨床教授
川島 和彦	部長 平成28年4月～	日本外科学会専門医・認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、マンモグラフィ読影認定医、日本静脈経腸栄養学会NST医師、近畿外科学会評議員、京都大学医学部臨床准教授
平良 薫	部長 平成28年4月～	日本外科学会専門医・認定医、日本消化器外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医、日本胆道学会指導医、日本肝臓学会専門医、日本移植学会移植認定医、日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会評議員、近畿外科学会評議員
池野 嘉信	部長 平成30年4月～ 平成30年9月	日本外科学会・専門医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本内視鏡外科学会技術認定指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本医師会認定産業医
奥野 晋也	部長 平成30年10月～	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本肝臓学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本移植学会移植認定医、日本肝胆膵外科学会評議員、日本内視鏡外科学会評議員
西川 忠男	嘱託医 平成30年4月～	日本医師会認定産業医、日本外科学会認定医・専門医、日本胸部外科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本消化器病学会専門医
坂本万里華	非常勤 平成28年11月～	

今年度のトピックス

消化器の腹腔鏡下手術が大きく増えました。乳線手術がさらに増えてきました。

業務実績：今年度の手術室での主要な手術の件数

乳癌の手術	69件（乳房温存術	50件）
食道癌の手術	1件	
胃癌の手術	23件（腹腔鏡下手術	13件）
大腸癌の手術	32件（腹腔鏡下手術	18件）
肝癌の手術	14件	
胆道癌の手術	11件	
膵癌の手術	9件	
胆石症の手術	48件（腹腔鏡下手術	38件）
ヘルニアの手術	61件（腹腔鏡下手術	27件）

評価

腹腔鏡視下手術の適応拡大中です。

カンファレンス等

外科・消化器内科・放射線科・泌尿器科・婦人科・看護部・病理部合同カンファレンス：毎週月曜日に癌疾患症例を中心に、診断、治療方針の検討、病理診断を含めた総括等を総合的に行っています。（カンサーボード）



呼吸器外科

勤務医師

田久保康隆	部長	平成23年4月～	呼吸器外科専門医認定機構呼吸器外科専門医、 日本胸部外科認定医、日本外科学会専門医
奥野 翔子		平成30年4月～	日本外科学会専門医
藤本 遼		平成29年7月～	

今年度のトピックス

当院呼吸器外科スタッフの変動としては、平成30年3月、小松部長が転出し、平成30年4月、奥野医長が転入した。

業務実績

平成30年1月から12月までの1年間で年間全身麻酔下手術件数は120例であり、そのうち原発性肺がんは、例年並みで75例であった。

評価

引き続き湖北での呼吸器診療の中心機関としての任務を果たしていきたいと考えている。



整形外科

勤務医師

廣瀬 伸次	責任部長	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医、日本リウマチ学会専門医
杉本 正幸	診療局理事	日本整形外科学会専門医、脊椎脊髄病医 運動器リハビリテーション医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本骨粗鬆症学会認定医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、義肢装具適合判定医 中部日本整形災害外科評議員
江藤 謹司	部 長	日本整形外科学会専門医、認定リウマチ医 運動器リハビリテーション医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医
尾田 和広	部 長	日本整形外科学会専門医
田中 淳		日本整形外科学会専門医、日本骨粗鬆症学会認定医
琴浦 良彦	非常勤	日本整形外科学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医
後藤 公志	非常勤	日本整形外科学会専門医、運動器リハビリテーション医
青山 直樹	非常勤	日本整形外科学会専門医
辻本 和之		日本整形外科学会整形外科専門医
高田 健		
領本 勇人		

今年度のトピックス

人工関節センターを平成23年からスタートさせて以降、人工関節手術が増加しており、人工股関節置換術と人工膝関節置換術を合わせた手術件数は年間290例程度となっています。特に膝人工関節は無痛手術に取り組んでいます。骨粗鬆症外来も2007年から開設しています。

本年度は開設12年目となり、看護師、理学療法士からなる骨粗マネージャー8名を加えて骨粗鬆症の啓蒙活動も開始しています。

業務実績

整形外科年間手術件数 1,027例
 (人工股関節 109例、人工膝関節 183例、脊椎 178例)
 1日平均入院患者数 72人
 1日平均外来患者数 134人

カンファレンス等

ミニカンファレンス	月曜日 朝
手術カンファレンス	火曜日 夕
抄読会	木曜日 朝
部長総回診	木曜日 午前
手術	毎日



形成外科

勤務医師

藤林 久輝 部長 平成18年9月～ 学会認定医・専門医等 日本形成外科学会専門医

今年度のトピックス

診療体制に変更ありません。

評価 人員・手術枠・病床数などの制限の範囲内で有効に活動できている。

カンファレンス等

中央手術室での手術 毎週火・水曜日

褥瘡回診 第2・4水曜日15時



脳神経外科

勤務医師

小林 映 顧問	平成6年4月～	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医・評議員
小室 太郎 責任部長	平成23年4月～	日本脳神経外科学会指導医 日本脳卒中学会専門医 日本脳卒中の外科学会技術指導医 日本脳神経血管内治療学会専門医 京都大学医学部附属病院脳神経外科非常勤講師
佐藤 岳史 部長	平成24年8月～	日本脳神経外科学会指導医 日本脳卒中学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医 日本神経内視鏡学会技術認定医 日本定位機能神経外科学会技術認定医 日本リハビリテーション医学会臨床認定医

嘱託医師 1名 牧 貴紀、光野優人、高山直樹（京都大学大学院医学研究科）

小林 雅子 平成29年6月～
平成31年3月

業務実績

1) 手術件数・入院件数

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	8年間合計
頭蓋内腫瘍の治療									
腫瘍摘出・生検術	17	16	24	12	3	16	12	14	124
経蝶形骨洞手術(主に脳下垂体腫瘍)	3	6	4	1	0	2	4	2	22
定位的放射線治療	11	12	4	12	5	3	16	7	70
脳動脈瘤の治療									
開頭術（クリッピング術）	7	10	8	15	6	8	6	5	65
脳血管内治療（コイル塞栓術）	7	6	3	15	16	15	3	7	72
脳内出血の手術	10	6	10	4	4	6	12	5	57
血管形成術									
頸動脈内膜剥離術	1	4	0	1	2	3	1	2	14
頭蓋内外バイパス術	2	1	0	1	0	0	0	0	4
頸動脈ステント留置術、血管拡張術	14	9	3	8	5	14	10	3	66
神経内視鏡治療	3	3	6	4	1	6	9	3	35
脊椎手術・脊髄腫瘍摘出術	2	6	2	2	1	0	1	0	14
シャント術	12	5	6	8	9	11	10	13	74
慢性硬膜下血腫	33	44	40	28	43	35	42	42	307
脳血管内治療 ※	—	—	12	31	34	40	26	11	142
入院件数	415	491	551	552	518	536	563	595	4221

※脳血管内治療は6年間の合計

2) 維持リハビリテーションを開始しました

佐藤の調査によれば、退院後に復職することのない患者さんの場合には、ことごとく日常生活機能の低下を起こしていることがわかりました。

また、後遺症のある患者さんにとって物理療法が唯一の救いであることも少なくありません。最近の急性期診療の枠にとらわれず、こういった事態にも対応することが必要だと考え、リハビリテーション科・地域包括ケア病棟・脳神経外科外来との協力の下で14日間1クルールの慢性期維持リハビリテーション（または物理療法）の入院を始めました。



心臓血管外科

勤務医師

曾我 欣治	責任部長	平成24年6月～ 平成31年3月	日本心臓血管外科専門医認定機構専門医 日本胸部外科学会指導医・認定医 日本外科学会指導医・専門医・認定医 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医 京都大学医学博士
洞井 和彦	部長	平成19年5月～	日本心臓血管外科専門医認定機構専門医 日本胸部外科学会認定医 日本外科学会指導医・専門医・認定医 腹部ステントグラフト実施医 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医 京都大学医学博士
鄒 貴光	部長	平成25年7月～ 平成31年3月	
吉良 浩勝		平成27年1月～	日本外科学会外科専門医 腹部ステントグラフト実施医・指導医

今年度のトピックス

大動脈弁形疾患に対する大動脈弁形成術、大動脈瘤破裂における緊急ステントグラフト留置術、下肢静脈瘤における血管内焼灼術の導入を行った。

- 取組方針
1. 患者第一、誠心誠意
 2. 地域に信頼される病院づくり
 3. 地域完結型の医療体系構築

業務実績

総手術件数	354例
心臓・胸部大動脈手術	99例（ステントグラフト手術 12例）
腹部大動脈手術	32例（ステントグラフト手術 17例）
末梢血管手術	209例

評価

地域に真っ先に選択していただける病院とならねばなりません。
チームとして医療サービスの質の向上に努める必要があります。

カンファレンス等

毎朝 08：00～：全入院患者カンファレンス
火曜 15：30～：総回診
金曜 16：00～：術前カンファレンス



皮膚科

勤務医師

井階 幸一	責任部長	平成26年4月～	日本皮膚科学会皮膚科専門医
澤井 孝之	非常勤	平成26年4月～	

今年度のトピックス

平成26年4月より、井階幸一が責任部長として着任しております。その他、澤井孝之医師が非常勤医師として、皮膚科診療に携わっています。

業務実績

皮膚科では、外来診療を中心とし、「日本皮膚科学会の診療ガイドライン」に準拠した皮膚疾患の標準的な診断、治療を行っています。

評価

特に力を入れたいと考えているのが、褥瘡、老人性湿疹、足病変などの高齢者の皮膚トラブルです。湖北地域では、日本の将来を先取りする超高齢化社会が到達しつつあります。高齢者の増加に伴い、褥瘡や陰部の皮膚トラブル、足の病変の患者さんが急増しています。院内では、褥瘡対策委員会などで適切に処理されていますが、さらに、形成外科、「皮膚・排泄ケア認定看護師（いわゆるWOCナース）」と共同して、高齢者の皮膚トラブル、スキンケアに対応していきたいと思っています。現在のところ、一人部長なので、皮膚科で入院患者をとる事は困難ですが、内科などの科で入院されたときには、主治医と協力して皮膚疾患、皮膚トラブルの処理に当たりたいと考えています。今後、地域の医療機関、スタッフの方々と協力して、高齢者の皮膚トラブル、スキンケアさらにフットケアの処理に当たりたいと思っています。

カンファレンス等

毎月、第4木曜午後5時より、長浜赤十字病院皮膚科と臨床カンファレンスを行っています。ときに京都大学附属病院皮膚科の医師が臨床カンファレンスに参加しています。



泌尿器科

勤務医師

横川 竜生	部長	平成27年4月～	日本泌尿器科学会専門医、指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本排尿機能学会認定医 日本性感染症学会認定医
村元 暁文		平成28年4月～ 平成31年3月	
吹上 優介		平成30年4月～	

今年度のトピックス

前副院長の定年退職および前責任部長の退職に伴い常勤医3名体制となりました。
スタッフの若返りによりフットワークが軽くなったことで、初診・病診・救急を含めて全ての患者さんを制限することなくこれまで以上の診療をすることが出来ました。

業務実績

手術件数は年々増加傾向を示しております。
特に今年度は手術件数300件と過去最高となり、特に尿路結石に対する手術件数は初めて100件を超えて県内有数となりました。

評価

常勤医数は1名減となりましたが手術件数は過去最高となりました。尿路結石に対する手術件数も全国レベルとなり、新しい術式も県内で初めて導入しました。病状の安定している患者さんを病診連携を通じて積極的に逆紹介させていただくことで、新患患者さんをこれまでのように制限することなく診療することが可能となりました。これに伴い手術件数も増加しており、これまで以上に急性期病院としての役割を果たしているのではないかと考えています。

カンファレンス等

入院患者カンファレンス：毎日
がんサードボード：毎週月曜日
術式カンファレンス：毎週火曜日
手術室カンファレンス：毎週水曜日
論文抄読会：毎週金曜日



産婦人科

勤務医師

林 嘉彦	責任部長 平成19年2月～	滋賀医科大学臨床教授 日本産科婦人科学会専門医・指導医 母体保護法指定医
脇ノ上 史朗	部長 平成30年4月～	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本婦人科腫瘍学会専門医 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
渡辺 智之	平成30年4月～	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科内視鏡学会
上村 真央	平成29年4月～	日本産科婦人科学会専門医 日本産科婦人科内視鏡学会
野田 洋一	顧問 平成19年3月～	滋賀医科大学名誉教授 日本産科婦人科学会名誉会員

今年度のトピックス

4月から高橋顕雅先生と北澤純先生が大学へ戻りました。代わって脇ノ上史朗先生と渡辺智之先生が赴任されました。引き続き高度な悪性腫瘍治療を行えるよう他診療科と協力していきます。

業務実績

症 例	件 数	症 例	件 数
総分娩数	129	子宮頸癌	8
帝王切開術	32	子宮体癌	15
腔式子宮摘出術	9	卵巣癌	10
腹式子宮全摘術	19	良性卵巣腫瘍手術	47
性器脱手術	9	放射線治療（患者数）	8
子宮頸部円錐切除術	41	抗癌剤化学療法（患者数）	29
子宮外妊娠手術	4	腹腔鏡手術	108

評 価

滋賀県湖東・湖北地域での中核医療施設として、大学病院と連携をとり高度の産婦人科医療が提供できるように努めています。外科、泌尿器科、麻酔科、病理診断科などと連携をとり高度の手術治療ができるよう努力しています。

カンファレンス等

カンファレンス、手術症例検討会	毎週水曜日
病棟回診	毎日



眼 科

勤務医師

清水 久雄	責任部長	平成27年5月～	日本眼科学会専門医
西村 宗作	部長	平成23年4月～	日本眼科学会専門医

今年度のトピックス

常勤医師は2名のままです。

平成31年1月から病院の電子カルテシステムが新規更新されたことを受け、眼科電子カルテシステムもNAVISの新しいバージョンとなりました。カルテ入力の手短縮、患者、家族への画像提示の効率化などが図られており、外来での待ち時間短縮に一定の効果が出ていると考えています。

業務実績

総手術件数	1062件	
主な手術件数		
白内障手術	549件	(単独および他の手術との併用含む)
緑内障手術	16件	(白内障手術併用含む)
硝子体手術	81件	(白内障手術併用含む)
その他	38件	
硝子体内薬物注射	431件	

評 価

湖北地域の中核病院としての機能は維持できていると考えており、今後も難治性白内障、網膜硝子体疾患、緑内障治療に力を注ぎたいと思います。

カンファレンス等

術前・術後カンファレンス	毎週月・水曜日
斜視・弱視カンファレンス	毎週金曜日



耳鼻咽喉科

勤務医師

糟谷 憲邦	責任部長	平成20年10月～	日本耳鼻咽喉科学会専門医
中村 圭吾		平成28年 5月～	
		平成31年 3月	

今年度のトピックス

特記すべきトピックスはありません。手術に関しては大きなトラブルを起こさず、術後患者はパス通りに軽快退院されております。

主に鼻副鼻腔内視鏡下手術に用いる手術用ナビゲーションシステムは、複雑な領域を正確に操作できるため合併症の発生を回避できており、活用する機会が増えております。

業務実績

鼓室形成術：8例
鼓膜形成術：5例
内視鏡下鼻副鼻腔手術：75例
鼻中隔矯正術：16例
口蓋扁桃摘出術：36例
甲状腺腫瘍手術：12例
副甲状腺腫瘍手術：2例
唾液腺腫瘍手術：6例（耳下腺3例・顎下腺3例）
頸部郭清術：2例
ラリンゴマイクロ：6例
気管切開術：2例
頸部リンパ節生検術：10例

評価

1年間の手術件数は、148症例で昨年度と変わりありません。
今後も入院・手術症例の増加に勤めていく必要があります。

カンファレンス等

症例検討会（外来・手術症例）・術前カンファレンス： 毎週火曜日 第1, 3, 5金曜日



麻酔科

勤務医師

嶋田 文彦	副院長兼責任部長	平成28年4月～	日本麻酔科学会専門医・指導医 厚生労働省麻酔科標榜医
柳田 豊伸	部長	平成21年4月～ 平成31年3月	日本麻酔科学会麻酔科認定医・専門医 厚生労働省麻酔科標榜医
和田 佳子		平成27年8月～ 平成30年9月	日本麻酔科学会認定医・専門医 厚生労働省麻酔科標榜医
岩崎 愛		平成29年4月～	日本麻酔科学会認定医 厚生労働省麻酔科標榜医

今年度のトピックス

和田医師が10月に転勤したため、3人体制に減員した。しかし、滋賀医大麻酔科からの協力も得て、何とか乗切った。

業務実績

手術室麻酔

麻酔科管理手術件数は、前年度を約150件上回る1,931件であった。

麻酔科外来（麻酔前コンサルト）

週1単位水曜日午前に行っていたのを、年度途中から月曜日午前に変更した。

評価

麻酔科医不足解消は容易ではないが、今後も滋賀医大麻酔科と引き続き協力して改善を図る。

カンファレンス等

平日毎日 8時30分から麻酔前症例検討

隔週火曜日午前8時から定期学習会



ICU・CCUセンター

勤務医師

嶋田 文彦 センター長

平成28年4月～

今年度のトピックス

平成30年4月から8床で回転しています。

医師・看護師・理学療法士から構成する早期離床・リハビリテーションに係るチームを設置し、平成30年7月から『早期離床・リハビリテーション加算』を算定しました。

業務実績

本年度の入室症例は、645例（昨年度は432例）と増加しました。一般病棟からの転入は、390例（昨年度は313例）、直接入院が255例（昨年度は119例）であり、いずれも増加しています。平均在室日数は、3.3日で昨年度と変化はありません。科別内訳は心臓血管外科172例（27%）、循環器内科104例（16%）、脳神経外科105例（16%）、外科92例（14%）、呼吸器外科47例（7%）が主だったところで、特に脳神経外科・外科が昨年度より増加しました。

従前の6床から8床に増床することで入室症例を増やしましたが、特定集中治療室の重症度、医療・看護必要度の割合は88%で基準を満たしていました。

早期離床・リハビリテーションに係るチームを設置し、プロトコルを整備して早期離床・リハビリテーションを取り組みました。

評価

今年度は、入院数・転入数ともに増加し、延稼働床は昨年度の1.4倍に増加しました。平均患者数は5～6床/日でしたが、土日は若干減少する傾向にありました。4月と10月に重症患者受け入れ困難状況（いわゆる救急ストップ）が3日程度発生しましたが、全体的には昨年度より減少しました。

カンファレンス等

平日毎朝 心臓血管外科症例カンファレンス

火曜日 心臓血管外科回診 RST回診

金曜日 心臓血管外科術前カンファレンス

適宜 主治医と看護師、必要に応じて他コメディカルとともにカンファレンス開催



放射線科（治療部門）

勤務医師

伏木 雅人	責任部長	平成13年～	日本放射線腫瘍学会および日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本医学放射線学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本緩和医療学会暫定指導医
安永 敏美	特任部長	平成26年9月～	
松尾 幸憲	非常勤	平成30年4月～	日本放射線腫瘍学会および日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本医学放射線学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

放射線治療部門

最新の高精度照射についてさらに検証と実践を進め、日常業務として定着させています。

滋賀県で湖南・大津地域を除くと唯一、常勤の治療専従医が2名勤務しており、IMRTを含む高精度治療が行える施設であることから、連携と集約化による地域の放射線治療の質を保つ責務を負っています。

一方で放射線治療、特に最新の高精度治療について、まだ十分理解いただけていない医療者の方々や一般の方々にも、十分にご理解の上、活用していただけるよう、患者会、市民公開講座、出前講座などの啓蒙活動も行っています。また、平成26年度より引き続き、中学生に向けたがん教育授業も行っています。

本年度の放射線治療につきましては、高精度治療の数がさらに増加しています。脳定位照射は、7件に、体幹部定位照射は肺病変に22件、肝病変に1件を施行し、強度変調放射線治療（IMRT）は44件に実施しています。

他院からの紹介も、湖北や湖東のみならず滋賀県内全体、京都府、岐阜県からのご紹介もいただいて選択と集中に貢献しています。

平成30年度実績 原発部位別照射新患数（転移の治療も原発部位で分類）

原 発 部 位	脳	頭頸部	乳腺	肺縦隔胸膜	食道	胃大腸直腸	肝胆脾	女性生殖器	泌尿器	血液骨髄	皮膚骨軟部	原発不明	良性	合計
照 射 件 数	5	16	57	102	10	24	8	14	43	19	1	0	0	299

脳定位照射数 7件 体幹部定位照射数 23件 画像誘導照射 2933件 IMRT 44件（前立腺 23件）

カンファレンス等

放射線治療科ミニミーティング	毎朝8:50
放射線治療科QA会議	毎火曜日 夕
放射線治療科画像カンファレンス	毎火曜日 夕
呼吸器科がんサーターボード	毎水曜日
消化器がんサーターボード	毎月曜日



放射線科（診断部門）

勤務医師

若宮 誠	責任部長	平成22年4月～	日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本IVR学会IVR専門医 腹部ステントグラフト指導医 胸部ステントグラフト指導医 検診マンモグラフィ読影認定医（A）
宮川 善浩	部 長	平成24年4月～	日本医学放射線学会放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医（B）
上村 諒		平成29年4月～	日本医学放射線学会専門医

今年度のトピックス

平成27年1月より日本IVR学会専門医修練施設として認定されました。

業務実績

読影については、至急読影の依頼に可能な限り対応しつつ、各科にできるだけ早く所見を返すようにしています。他院からの紹介患者についても至急読影を行っており、患者および開業医のニーズに対応しています。IVRについては、CVポート造設、肝細胞癌のTACEや非血管系のIVRのほか、緊急のIVRも行っています。心臓血管外科の大動脈ステントグラフト内挿術にも参加しています。

評 価

CT2台、MRI2台で常勤医3人(診断専門医2人)はかなり少なく、非常勤の先生にも助けられながら朝から夕方まで間断なく業務をこなしています。画像診断管理加算2を維持しながら標準レベルもしくはそれ以上の診断レベルは保てていると思います。IVRについても増加傾向にあり、診療に貢献していると思われます。

カンファレンス等

がんサージボード 毎週月曜日



病理診断科

勤務医師

黒澤 学	責任部長	平成25年4月～	日本病理学会認定病理専門医 病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 死体解剖資格認定医
沢田 真治	部 長	平成10年4月～	日本病理学会認定病理専門医 病理専門医研修指導医 死体解剖資格認定医

今年度のトピックス

標本作製の機械化に取り組み、医療安全の向上に努めた。

業務実績

組織診断：約3500件／年、細胞診断：約6000件／年、病理解剖：10件／年

評 価

稀な症例や興味深い症例が散見された。今後は学会発表、論文執筆などに取り組みたい。

カンファレンス等

がんサージカルボード 毎週月曜日
細胞診カンファレンス 2-3回／週
病院CPC 5回／年



歯科・歯科口腔外科

勤務医師

近藤 定彦	責任部長	平成30年10月～	日本口腔外科学会専門医・指導医
家森 正志	責任部長	平成26年4月～	日本口腔外科学会認定口腔外科専門医
		平成30年5月	日本小児口腔外科学会指導医 ・歯科医師臨床研修指導医
			日本口腔科学会認定医
北本 幸恵	部長	平成27年8月～	日本口腔外科学会認定口腔外科認定医 日本小児口腔外科学会認定医 歯科医師臨床研修指導医
佐藤 舞		平成27年4月～	日本アンチエイジング歯科学会認定医
杉藤 雅孝		平成29年4月～	
飯塚 忠彦	非常勤	火曜日のみ	日本口腔外科学会認定口腔外科専門医・指導医
山口 昭彦	非常勤	火曜日のみ	平成30年5月～平成30年9月

今年度のトピックス

平成30年5月に家森正志先生が滋賀医科大学付属病院へ異動され、10月より近藤正彦先生が常勤医として着任しています。

市立長浜病院に歯科が新設されたのは、1957年11月で、歯科口腔外科は1997年1月に新設されました。発足当初は、歯科医師一名体制でしたが、現在は歯科医師四名で診療を行っています。これまで多くの先生方やスタッフの皆さんに支えられ、湖北地域の歯科・歯科口腔外科医療の基幹病院の一つとして診療を行ってまいりました。これからも地域の患者さまや先生方のご期待に添えるようにスタッフ一同、精進してまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市立長浜病院歯科・歯科口腔外科の主な外来

歯科口腔外科外来：初診(火曜日以外の平日) すべての歯科口腔外科疾患（顎口腔領域の炎症・腫瘍・外傷・粘膜疾患・顎関節疾患・顎変形症など）

口腔腫瘍専門外来：毎週火曜日

障害者歯科専門外来：毎月第1、3水曜日の14：30～16：30

嚥下機能の評価および訓練：初診(火曜日以外の平日)、VF、VE検査（毎週月曜日、水曜日）

閉塞性睡眠時無呼吸の口腔内装置の作製：初診(火曜日以外の平日)

周術期口腔機能管理（口腔ケアセンター）：初診（月曜日～金曜日）

市立長浜病院における歯科口腔外科に関連した主な施設基準

日本口腔外科学会認定准研修施設・がん診療連携拠点病院加算・歯科外来診療環境体制加算・歯科外来診療環境体制加算歯科診療特別対応連携加算・地域歯科診療支援病院入院加算・歯科治療総合医療管理料・歯科口腔リハビリテーション料2・上顎骨形成術、下顎骨形成術（歯科診療によるもの）・歯周組織再生誘導手術・歯科矯正診断料・歯科技工加算 など



臨床研修医

研修医名

西田 知弘 平成30年4月～
 田中 葵 平成30年4月～
 森永 晃史 平成30年4月～
 梶野 真由果 平成30年4月～平成31年3月
 北野 英 平成30年4月～平成31年3月
 藤原 直樹 平成30年4月～平成31年3月

平成30年度 市立長浜病院 臨床研修医 診療科ローテーション表

1 年 目	氏 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	西田 知弘	腎内		呼内		脳外	リ内		循内		麻酔 (救急)		消内 (日赤)
	田中 葵	リ内		脳外	腎内		外科	呼内	精神 (セフィロト)	小児 (日赤)	消内 (日赤)	呼内	麻酔～4月 (救急)
	森永 晃史	腎内		リ内	呼内	循内	麻酔 (救急)		泌尿器		小児 (日赤)	消内 (日赤)	外科
	梶野 真由果	呼内		腎内		リ内	脳外	循内	麻酔 (救急)		外科	精神 (セフィロト)	泌尿器
	北野 英	呼内		循内		麻酔 (救急)	腎内		脳外	消内 (日赤)	精神 (セフィロト)	外科	小児 (日赤)
	藤原 直樹	リ内		麻酔 (救急)	麻酔 (選択)	呼内		外科		腎内		循内	

当院の臨床研修について

1年目は基本研修科目として、内科（6ヶ月）、救急（3ヶ月）、選択必修（3ヶ月）の研修を行います。

2年目は、湖北医療圏域の診療所を中心に研修先を選択する地域医療（1ヶ月）の他、残り11ヶ月を選択期間にしており、研修医の自主性と志向に応じた自由度の高いプログラム設定をしています。

また、週1回程度の宿日直研修を通して、プライマリケアの習得に十分配慮しており、基礎的研修項目は、厚生労働省の指針に準拠して設定した行動目標および経験目標に沿って、一般臨床医としての基本を研修し、指導医から評価を受けることとなります。



人工透析センター

勤務医師

森田 善方 センター長
潮 正輝
上田 久巳
島本 綾子
霍田 裕明
平井 太郎

今年度のトピックス

平成29年11月から医師より腎代替療法を必要と告げられた保存期腎不全の患者・家族を対象に治療選択外来を透析センターにて開始しました。医師、看護師ともに患者・家族へ意思決定支援を行っています。

業務実績

外来透析部門では、糖尿病性腎症を中心とした新規HD導入患者が年々増加しており、現在約120名の患者が血液透析を受けています。また、それ以外にも腹水、胸水合併患者に対しての濃縮再静注療法や、白血球除去療法(LCAP)、血漿交換、骨髄幹細胞移植（血液内科主導）なども施行しております。

入院透析部門では、腎不全患者に対する血液浄化療法への対応をしておりますが、他にも多臓器不全、敗血症性ショックや術後腎不全などの重症患者に対して、CHDFやエンドトキシン吸着、血漿交換などの急性血液浄化療法をICUにて施行しております。

また、循環器内科や消化器内科など様々な検査や治療、一般外科、心臓血管外科、整形外科、眼科などでの手術目的で他院からの紹介患者も多く、常に受け入れができるような体制を整えております。

評価

透析導入に加え、検査や治療目的の維持透析患者の受け入れなど、地域医療に貢献しています。透析患者全員に対して月2回の血液検査や、心エコー、CTなどを施行し、状態の評価を行っています。週1回のカンファレンスにて至適透析をめざして治療を進めています。よりよい透析生活につながるよう患者教育、勉強会を行っています。

救急センター

東出 俊一 救急センター長

今年度のトピックス

- ①救急ミニ講座の定期開催
- ②ICLSコースの定期開催（年2回） 平成30年6月9日、平成31年2月9日

研 修

救急ミニ講座の開催

開催期日		テーマ	講 師		参加者
第1回	5月24日(木)	救急領域における初期評価と初期対応について	呼吸器内科	中川 雅登	34
第2回	6月28日(木)	免疫チェックポイント阻害薬の副作用対策 ～当院救急外来でのこころみ～	呼吸器内科	野口 哲男	26
第3回	8月24日(木) 台風にて中止	救急で対応する徐脈	循環器内科	児玉 浩志	—
第4回	10月25日(木)	救急で対応する徐脈	循環器内科	児玉 浩志	28
第5回	2月28日(木)	循環器領域の救急疾患	呼吸器内科	中川 雅登	30

業務実績

(単位：人)

	平成29年度	平成30年度	前年対比
救急受診患者総数	15,005	13,604	－1,401
救急車搬送数	2,886	2,656	－230
入院患者数	2,205	2,267	62
救急車入院数	1,016	1,111	95

外来化学療法センター

東出 俊一 外来化学療法センター長

野口 哲男 外来化学療法センター専任医師

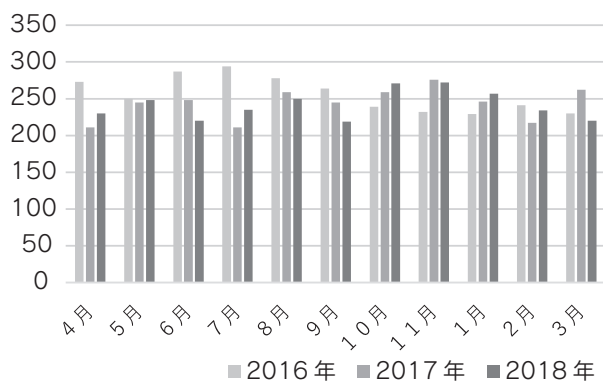
今年度のトピックス

- ①電子カルテシステム移行に伴い、外来化学療法の運用を検討しました。
- ②免疫チェックポイント阻害薬副作用対策マニュアルの作成、運用を開始しました。
- ③センター内でがん患者指導管理料(ハ)の算定を継続し、(イ)(ロ)の算定を開始しました。
- ④外来がん治療認定薬剤師の資格を新たに1名取得しました。がん患者指導管理料(ハ)の算定可能な薬剤師が3名となりました。
- ⑤院内抗がん剤看護師穿刺教育プログラムに2名が合格しました。
- ⑥消化器ケモカンファレンスを毎週金曜日に開始しました。

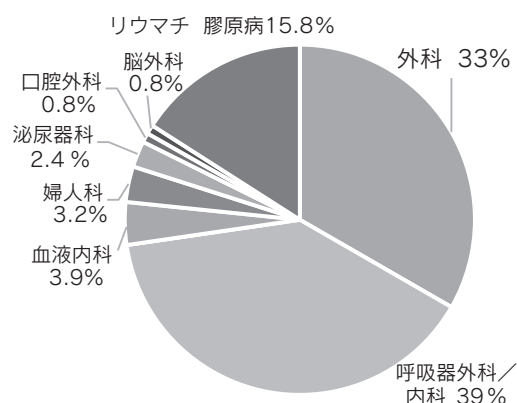
業務実績

平成25年3月～外来化学療法センター13床で開設

■年間実施延べ件数推移



■科別内訳（2018年）



評価

外来化学療法センターの年間実施件数や新規患者数は、前年と比較して大きな変化はありませんでしたが、がん患者指導管理料の算定をはじめ、治療開始前から質の高い患者指導や支援に取り組みました。免疫療法を行う症例が増えてきており、免疫チェックポイント阻害薬副作用対策マニュアルの作成、運用を開始し、副作用出現時の早期発見や患者指導の強化を行うことができました。

センター内で毎日カンファレンスを行い、毎週金曜日には、消化器ケモカンファレンスに参加するなど患者情報を共有し、多職種と対策を検討することができました。

健診センター

野口 哲男 健診センター長兼呼吸器内科責任部長
日本人間ドック学会 人間ドック指導医・専門医

当健診センター運営に関しましては、日頃から各方面（内科、外科、呼吸器、循環器内科、婦人科、泌尿器科、脳外科、眼科、看護科、放射線科、病棟他）より多大なるご協力をいただいております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

今年度のトピックス

健診システムの更新が行われ、平成31年1月1日より使用しています。

また、消化器内科の体制縮小の影響で、健診センターの胃カメラができない状態が続いていましたが、本年度より実施いただくことになりました。

業務実績

当センター利用者数は、平成21年度3,250人、平成22年度3,190人、平成23年度3,257人、平成24年度2,990人、平成25年度2,961人、平成26年度2,881人に対して、平成27年度2,882人、平成28年度2,790人、平成29年度2,944人に対して平成30年度3,021人でした。

今後の展望

懸案事項の胃カメラが実施していただけるようになり、受診者の皆様にますます信頼される人間ドックセンターを目指して職員一同、職務に精励いたします。



開放型病棟、開放型病床

特徴

- ①平成29年から6東病棟に移転し診療報酬上で地域包括ケア病棟を算定する病棟としております。平成31年2月から病棟改修工事のため3東病棟へ移動となり、病床数も減少となりました。しかしながら開放型病床は登録医の先生方と共同指導をするための病床ですので、この地域包括ケア病棟の中に開放病床16床を持つことにしました。そのほかの病棟にも2～8床程度の開放病床を設けていますので病院全体としての開放病床は今までどおりの50床を確保しています。
- ②平成24年4月からは、開放入院の制度は残し、入院の決定は登録医の先生から病院の医師が行うこととなり7年が経過しております。
- ③登録医の先生が地域医療連携室に来ていただいた時に、地域医療連携室に担当者が開放入院の患者さんのいらっしゃる病棟までご案内するようにしています。

業務実績

平成30年度の入院のべ患者数は、890人で平成29年度に比べると200人以上増えています。しかし最大利用時（平成8年の約14,970人）の6%と低迷しています。さらに開放病床利用率は、昨年の3.5%から4.9%と微増しています。また、開放入院の基本である共同診療の回数は、8件と落ち込んでいます。平均在院日数は、平成元年度で45.3日、平成30年度は51.8日とやや延長している傾向にあります。

評価

- ①地域包括ケア病棟の中に開放病床を設けています。地域包括ケア病棟は、主として在宅で看えていただいていた患者さんが高度急性期で対応するような疾患でなく、短期間の入院加療を行いその後再び在宅医療を目指すような場合に利用する病棟と認識しており、今までの開放型病棟の趣旨に沿った病棟と理解してよいと考えています。そういった意味で今後とも大きく変わることなく開放病床の運営は継続していきます。
- ②開放入院でも診療科がはっきりしている場合は、担当の診療科に主治医をお願いしていますが、内科で紹介いただいた患者さんは、平成24年4月から院内の医師がトリアージして、各診療科にお願いする体制に変更しました。しかしながら「開放入院で」といわれる患者さんは、入院の決定は、登録医の先生から病院の医師が行うことに変更しましたが、極力登録医の先生のご意思に沿えるよう努めています。
- ③共同指導は、開放型入院の基本です。しかし、在院日数の減少やびわ湖あさがおネットの普及による情報提供の進歩、退院支援の推進による登録医の先生方との情報交換が進むことで共同指導の減少が予測できます。登録医の先生方に少しでも共同診療に来院していただけるようなシステムの構築に努力したいと考えています。



中央材料室

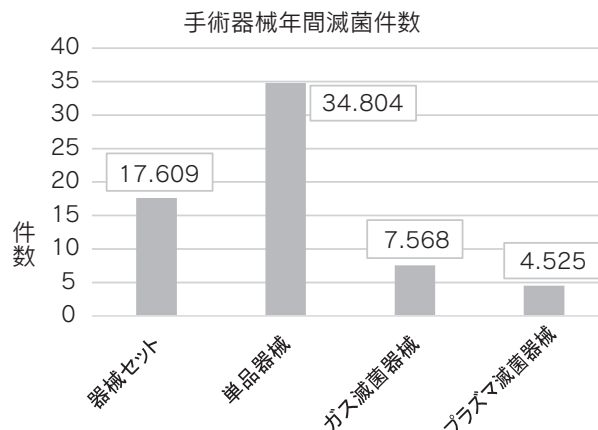
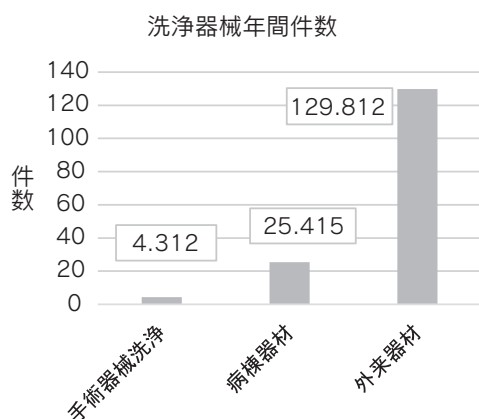
川島 和彦 室長

今年度のトピックス

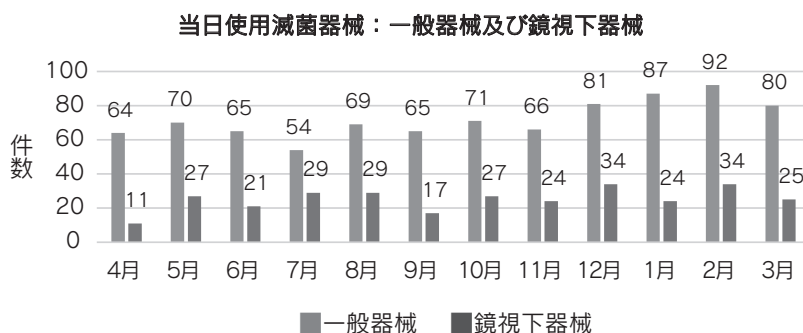
1. 継続した災害シミュレーションの部署内での実施。災害シミュレーションを実施し、大規模災害。昨年度作成のアクションカードを活用し、地震・火事災害の訓練を行いました。
2. 研修会に参加し、専門性を高め情報の共有に努めています。
京滋滅菌業務研究会参加 2名
中材業務及び感染対策研究会参加 2名
災害研修会参加 1名
3. 手術器械ローテーションを実施し、1名、戦力に加わりました。

業務実績

1. 手術室の手術予定と使用器械の運用に当たり、複数科での同一器械を使用される傾向にあります。器械使用当日の滅菌を行う件数が増加しています。集中的な業務量の増加に伴うリスクを起ささないように、手術室と協力し運用を行っています。



2. 近年、患者様の手術侵襲を考慮した鏡視下手術が行われる回数が増加しています。中央材料室でも、鉗子やスコープの洗浄、滅菌の頻度が増すと共に、緊急滅菌、当日滅菌の頻度も増してきています。類似の器械も多く、精密器械で高額な器械あり、確実な取り扱いと確認を行い良質な器械の供給が行えるように務めています。



評価

中央材料室は、良質な滅菌器材を提供できることを基本方針としています。患者様に適切な治療や良い看護を提供していくため、またその年々で使用器械も変化していくことから、中材の業務も、時間集中で業務が煩雑になることもありますが、職員間の協力体制で頑張っております。



中央手術室

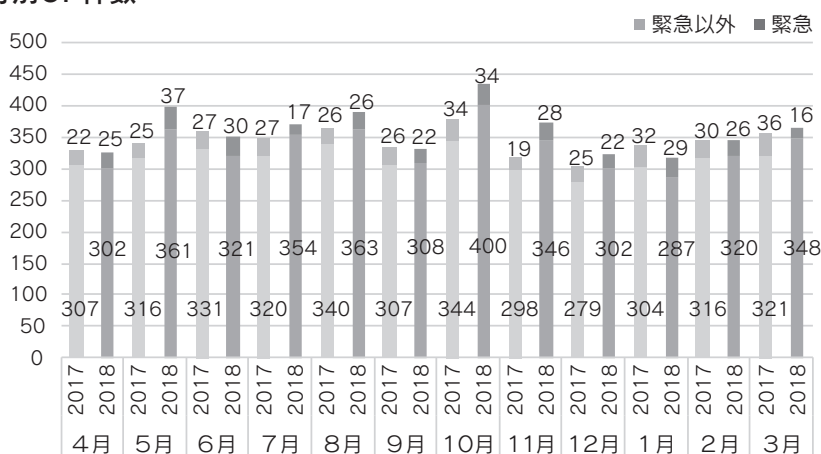
林 嘉彦 中央手術室部長
中村 寛子 中央手術室看護科長補佐

今年度のトピックス

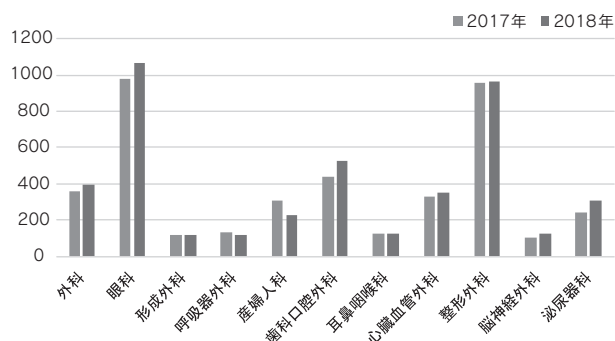
- ①麻酔科常勤医師3名が定着し、滋賀医大からの応援医師と合わせて麻酔科関与手術が午前・午後ともに安定的に受けられる体制を維持できています。
- ②手術室認定看護師の活動日を設け、周術期看護に対する実践・指導・相談を実践しています。
- ③特定行為研修修了者が誕生し、麻酔科医師の指示のもと周術期管理の向上を目指す活動を実践しています。
- ④周術期の患者さんを対象に患者総合支援センターでの手術室看護師による術前外来が軌道に乗り、術前からの患者さんへの関わりが充実しました。
- ⑤材料管理専門の委託業者による診療材料管理体制を維持し、業務分担に専門科に努めています。

業務実績

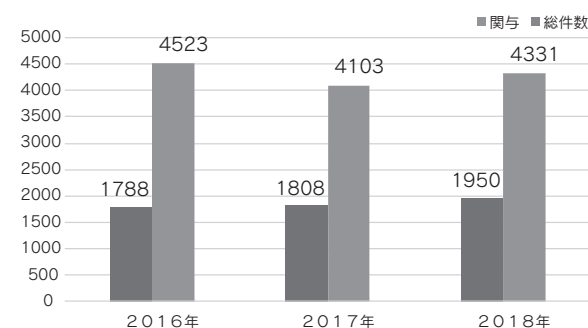
月別OP件数



科別件数



麻酔科関与件数



評価

麻酔科体制の安定や、委託業者による診療材料の管理が軌道に乗り、手術年間総数も昨年度と比較して223件増加しました。患者総合支援センターでの手術室看護師による術前外来スタッフを増員し、入院前から患者に関わる機会が増えたことで周術期看護の充実につなげることができました。



薬剤局

神田 雄史 院長兼薬剤局長

野淵 孝二 副参事

今年度のトピックス

- ・ 薬剤師による持参薬入力
- ・ 外来一般名処方開始
- ・ 人材育成：認定薬剤師の充実
- ・ AST関連業務

業務実績

●電子カルテ更新関連業務

持参薬処方・薬剤師が作成した持参薬報告から医師が持参薬処方することで、電子カルテ上の処方カレンダーで服薬状況を確認できるようになりました。さらに従来、医師が手入力していた持参薬の継続処方を持参薬処方から簡便に切り替えることができるため、医療安全面と医師負担軽減の面で寄与することができました。

一般名処方・・・一般名処方加算対象薬剤の院外処方箋表記を一般的名称に変更しました。患者希望に沿った薬剤選択が可能となり、また、院外処方箋発行時に一般名処方加算として算定可能となり、病院収益に寄与しました。

●人材育成

地域がん診療連携拠点病院として、がん薬物療法に精通した薬剤師の育成を進めており、外来がん治療認定薬剤師を1名新たに取得しました。がん薬物療法認定薬剤師2名・緩和薬物療法認定薬剤師1名で連携し、外来～終末期まで薬剤師が切れ目なく関われる体制を整えています。今年度新たに日病薬病院薬学認定薬剤師が5名誕生し、高度化・複雑化する薬物療法にさらに対応出来るようになりました。各専門分野の学会大会、研究会への参加を推奨しており、8演題を発表しました。薬学5年次の長期実務実習生を5名受け入れ、次世代の薬剤師育成に努めました。

●多職種連携・病棟業務

各病棟・部署に専任薬剤師を配置するとともに、チーム医療の一員として病棟カンファレンス・回診に加え、がん化学療法、糖尿病、緩和ケア、ICT、NST、認知症対策委員会、ハートケアカンファレンスなどの様々な分野に参加しています。特に抗菌薬適正使用チームとして、院内での抗菌薬使用患者を薬剤師がモニタリングし病棟薬剤師と連携し、抗菌薬適正使用を推進するとともに、病院収益に寄与しました。病棟業務の中で発見した重篤な副作用を厚生労働省へ報告し、副作用救済制度申請の患者支援を行いました。積極的に日本病院薬剤師会プレアボイド(副作用回避)を報告しました。

●医薬品安全管理

医薬品安全管理では、看護局と共同でインスリン・K・麻薬と新人看護師向けの研修会を開催し、危険薬の知識を深めました。ニカルジピンによる静脈炎を回避するためプロトコルを作成し、院内周知しました。

●地域連携

湖北吸入療法研究会(KKR)の事務局を担当し、春と秋に全体研修会を開催しました。また、湖北薬業連携研修会に積極的に参加し、湖北地域の薬・業連携を進めました。

評 価

全国的な病院薬剤師不足で当院も例外でなく限られた薬剤師数で業務の効率化を図り、既存業務を縮小することなく、新規業務を開始することができました。地域がん診療連携拠点病院として、体制を充実させ積極的に指導を行ったことで結果的にがん患者指導管理料(ハ)の算定数が増加しました。医療安全面・経営面に寄与することができました。

医療技術局

村上 義和 局長
新川 由基 理事

今年度も、理事と協議し、部局内の取り決めや方向性、他部局との連携等組織の充実が図れたと考えています。

また、例年のとおり医療技術局の組織強化と連携を密にするため、月1回の医療技術局技師長責任者会議を開催し、各科の問題点及び情報の共有を図りました。

医療技術局の事業として、今回で5回目の開催とする新人紹介を兼ねた研修会及び親睦を目的とする「絆プロジェクト」を、平成30年6月22日(金)に開催し、68名の職員参加の下、医療技術局のチーム力向上、組織強化が図れたと考えています。

第5回の医療技術局研修会は、「各科における加齢との関わり」をテーマとし、平成30年10月10日(水)長浜市立湖北病院医療技術局からも多くの職員が参加し、院内医療技術局職員と合わせ127名の参加の下開催することができました。

今回はテーマのとおりに、老化に関わる発表であり、「知っておきたい老視と白内障」、「フレイル・サルコペニアと栄養」、「骨粗鬆症患者に対する再骨折予防のためのリハビリテーション介入」、「認知症と脳血流検査」、「人は血管とともに老いる」、「血液透析について」、「地域包括病棟での薬剤業務」の7演題であり、心当たりのある職員も数多く、興味深く聴講し、大変有意義な研修会となりました。

新たな取り組みとしては、当院にはRST(呼吸ケアサポートチーム)が様々な活動をしており、今回、臨床工学技士が呼吸管理について院内外で説明会を行い、患者さんの呼吸に関することの相談や観察入院の受け入れを始めました。入院していただき人工呼吸器の必要性等適切な評価を行い、患者さんのQOLの向上に繋がっています。

また、人工呼吸器をつけた患者さんの自宅を訪問し、継続した評価を行うことで、開業医の先生からも高い評価を得ることができました。

今後も、二つの事業を継続し、新たな取り組みを模索しながら、互いの専門技術を尊重し、連携を密にし、チーム医療の一員として高度医療に対応する専門知識や技術を身につけた人材育成を行い、地域医療に貢献できる医療技術局を目指します。



栄養科

村上 義和 科 長
藤田 新一 専門員
中川 太郎 参 事

栄養科基本方針 安心、安全でおいしい食事の提供を目指します。
思いやりの心のかよう栄養管理に努めます。

組 織（平成30年4月1日現在）

栄養科専門員1名、管理栄養士8名、調理師17名、炊事員2名
事務職員1名、炊事員（食器洗浄パート職員8名）（合計37名）

今年度のトピックス

今年度は、人事評価制度の開始に伴い、管理栄養士は「栄養指導件数の増加、特別治療食数の増加、病棟担当体制を整え管理栄養士介入件数の増加」を目標とし、調理師は「配膳間違いの減少、食材の適性活用による食材費の削減、院内・外研修参加回数の増加」を目標として業務改善に取り組みました。トピックスは、次のとおりです。

▶給食管理

- ・院内食事規約の一部改訂
- ・嚥下分類コードに応じた嚥下訓練食の見直し
- ・食物アレルギー等対応マニュアルの一部改訂
- ・電子カルテシステム更新にともなう給食及びNSTシステムの変更
- ・パワー粥の導入（パワー粥とは、全粥に「MCTオイル、プロテインパウダー、粉飴」を混ぜ込むことで、効率よく三大栄養素を補うものです）

▶厨房施設

- ・長浜市学校給食の閉鎖に伴う厨房機器の有効利用（消毒保管庫を2台移設した。）
- ・業務用冷凍庫1台（魚専用冷凍庫）の更新

業務実績 詳細は各種統計資料参照

給食業務状況（患者給食延べ数） 340,088食/年（311食/1回平均）

栄養指導件数（個別指導） 1,120件/年

評 価

今年度は、上記トピックスのとおり積極的に業務改善に取り組んだ年度でした。今後も課題解決に向けて努力いたします。



臨床工学技術科

新川 由基 技師長
辻 克信 次長
藤田 忠夫 専門員

今年度のトピックス

以前から、チーム医療であるRST（呼吸ケアサポートチーム）の活動では、呼吸器疾患の入院患者を支援して参りましたが、今年度より当院入院患者で退院後の人工呼吸器使用患者の在宅医療支援を行っています。当院訪問看護師からの同行依頼や他施設からの呼吸器研修依頼など急性期病棟と同じような支援を行える体制を整えつつあります。また、開業医との信頼関係を築き、メンテナンス、レスパイト入院を増やすための事業も進めています。

業務実績

① 臨床技術提供業務

血液浄化

- ・ 持続的血液濾過透析 173回（35症例）
- ・ エンドトキシン吸着 4回（3症例）
- ・ 血漿交換 37回（8症例）

手術室

- ・ 人工心肺装置使用手術 78症例

その他

- ・ 経皮的心肺補助装置使用(PCPS) 7症例
- ・ 大動脈内バルーンパンピング(IABP) 20症例

② 医療機器点検業務

院内定期点検

- | | | | |
|-------------|------|---------------|-----|
| ・ 輸液ポンプ定期点検 | 136件 | ・ シリンジポンプ定期点検 | 71件 |
| ・ 除細動器定期点検 | 46件 | | |

貸出回数

- | | | | |
|-----------|-------|-----------------|------|
| ・ 輸液ポンプ | 2477回 | ・ シリンジポンプ | 989回 |
| ・ 人工呼吸器 | 136回 | ・ 逐次型空気圧式マッサージ器 | 294回 |
| ・ 経腸栄養ポンプ | 17回 | ・ 離床センサー | 343回 |
| ・ 酸素濃縮器 | 25回 | | |

③ 教育研修

・ 新人対象研修（輸液ポンプ・生体情報モニター）

- | | | | |
|-------------|----|------|-----|
| | 5回 | 参加人数 | 35人 |
| ・ シリンジポンプ研修 | 5回 | 参加人数 | 28人 |
| ・ 人工呼吸器研修 | 6回 | 参加人数 | 56人 |
| ・ 透析、血液浄化研修 | 5回 | 参加人数 | 28人 |
| ・ 補助循環研修 | 5回 | 参加人数 | 16人 |
| ・ 医療安全研修 | 4回 | 参加人数 | 27人 |
| ・ 新規・試用機器研修 | 4回 | 参加人数 | 23人 |

放射線技術科

古山 忠宏 技師長

富田 聡 参事

宮川 孝史 次長

田邊 啓太 次長

今年度のトピックス

今年度は、診療放射線技師1名が入職し、長浜市立湖北病院からの人事交流技師2名を含め22名（内医学物理士1名、育休1名）の診療放射線技師体制となりました。

新たに設置、更新した機器はありませんが、病院医療情報システムとして電子カルテの更新に合わせ、放射線情報システム（診断RIS・治療RIS・読影レポート）、画像ファイリングシステム（PACS）の更新を行い平成31年1月より運用開始しました。画像関連では、MRIを含めた放射線画像サーバ、3D画像サーバ、循環器動画サーバ、内視鏡サーバも全て更新しました。これまで、限られた電子カルテ端末でのみ簡易3Dビューアが使用できていましたが、今回の更新により、全ての電子カルテ端末で簡易3Dビューアが使用できるよう構築を行いました。また、これまで以上に安全で安心と信頼の医療が提供できるよう、それぞれのシステム、サーバ、画像診断装置、放射線治療装置等の連携を図り診断、治療の一助となるよう構築を行いました。

また、働いておられる方にも無理なくがん検診が受診できるよう、日曜日の乳がん検診（マンモグラフィ撮影）を年間4回実施し、がん検診の受診率向上に努めました。

放射線治療部門では、平成20年4月から稼働している放射線治療装置に対して、PC関係（治療計画装置、データサーバ等）のアップグレードおよびアイソセンター調整を12月から1月にかけて行いました。具体的には、操作性や計算精度・速度の向上とともに、高精度放射線治療に必要な照射中心精度の調整を行いました。また、電子カルテ更新と同時に治療RISも更新され、操作性や作業効率が改善されつつあります。

湖北地域では、当院でのみ高精度放射線治療が実施可能という状況は変わらず、湖北地域の放射線治療の拠点としての役割を果たしています。

業務実績

放射線診断部門において、平成30年度の検査件数は、病院の受診患者数が減少傾向にある中で、モダリティにより若干のバラツキはあるものの、全体的には、ほぼ昨年と同等の件数でした。CT、核医学、放射線治療で増加しましたが、他のモダリティでは、僅かではありますが減少しました。中でも、ESWL（体外衝撃波結石破碎）は大きく減少しましたが、これは結石に対する治療法の第一選択がESWLでなくなったことが大きく影響していると思われます。

近年、医療技術と画像診断の発展は目覚ましく、特に血管撮影部門やX線透視部門では、IVRによる治療目的の手技が多くなり、手技が高度化、複雑化し業務量も増加してきています。これら複雑なIVRや手術をより安全に確実に行うため、CTやMRI画像を利用した3D画像やMPR画像が有用となっています。そのため、CTやMRI検査は、高度化、複雑化し検査後の画像再構成も要求が多くあり、件数では表れていない業務量の増加があります。また、患者紹介、逆紹介において、可搬媒体による画像の添付が一般的になり、これら画像管理業務も増加傾向にあります。

放射線治療部門においては、総患者件数は前年度の212件から約25%増加し、今年度は265件と過去最高件数となりました。彦根市立病院の放射線治療装置更新による紹介患者増加だけで無

く、IMRTが前年度25件から42件と68%増加しているように、湖北唯一の高精度放射線治療実施可能施設ということも影響していると思われます。

また、平成30年度診療報酬改定により呼吸性移動対策加算については、適応が左乳房照射にも拡大されたことから、前年度96件から今年度563件と大幅に増加しています。

各検査件数等は、別掲の放射線科/放射線技術科業務状況をご参照ください。

当科担当の委員会では、放射線安全委員会、放射線治療品質保証委員会を開催し、放射線の安全利用や職員の被ばく防止・低減、放射線治療に関する精度管理、安全管理について協議、検討を行いました。

また、院内職員と地域の開業医さんとを対象とし、医療安全管理室と合同で放射線安全研修会を11月27日に開催しました。内容は、「RI検査、MRI検査の注意点および当院の放射線治療の実際」、「放射線治療における副作用について」の講義を行い、講義終了後、MRI検査室において、金属吸着体験を行いました。参加者には、MRI検査室内への金属持ち込みの危険度を実感してもらい、金属持ち込み事故防止の啓発を行いました。

評 価

今年度も「見える診療放射線技師」を目指して、院内イントラネットを利用し「Radiation Information」を年間6回発行し、放射線技術科の情報発信を行いました。

患者誤認防止として、患者さん呼び込み時には、患者さんに氏名、生年月日を名乗ってもらっていますが、同時に技師も名前を名乗り、患者さんとの接遇、コミュニケーション強化を図りました。

病院医療情報システムの更新では、多くの労力を費やしましたが、職員の尽力により大きなトラブルもなく稼働できました。しかし、細かな点について改修を要するところがあり、改修を行っています。

日進月歩の医療界に対応すべく、日本診療放射線技師学術大会、日本放射線技術学会、その他関連学会や近畿地域、県内の研修会、研究会等へ参加し、自己研鑽に励みました。また、日本診療放射線技師学術大会のインターナショナルセッションで英語による発表を行いました。

画像診断部門、放射線治療部門において、他科からの要求がますます高度化、複雑化する中で、これらに応えられるよう優れた人材育成に努め、さらに自己研鑽にも励み、チーム医療の一員として安全・安心・信頼の医療が提供できるよう診療放射線技師としての役割を果たして行きたいと考えています。



リハビリテーション科

江藤 謹司 部長 平成13年6月～

日本整形外科学会専門医

日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医

日本整形外科学会認定リウマチ医

日本リハビリテーション医学会認定臨床医

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

業務実績

回復期リハビリテーション病棟入院患者数 157人

リハビリテーション対診患者 450件

カンファレンス等

回復期リハビリテーション病棟回診 週1回／木曜日

リハビリテーション対診患者回診 月1回



リハビリテーション技術科

音居 玲子 技師長 三浦 富子 次 長 田中 宏明 次 長

吉田洋次郎 参 事 北村 淳 次 長

今年度のトピックス

平成30年度の診療報酬改定においては、特定集中治療室管理料に早期離床・リハビリテーション加算が新設され、当院でも算定が始まりました。当科からもチームの一員として理学療法士1名を専従として配置しています。特にリスクが伴い高度な医療技術が要求される環境の中で、それぞれの専門性を生かし他職種との連携をより深め、患者のニーズに応えられるよう取り組んできました。

回復期リハビリテーション病棟においては、前年度に比べ対象患者数が増加したことにより、患者一人あたりの提供単位数は減少したが、実績指数（回復期病棟入院中にいかに効率よくADLを向上できたかをみる指標）は、昨年度を上回ることができました。

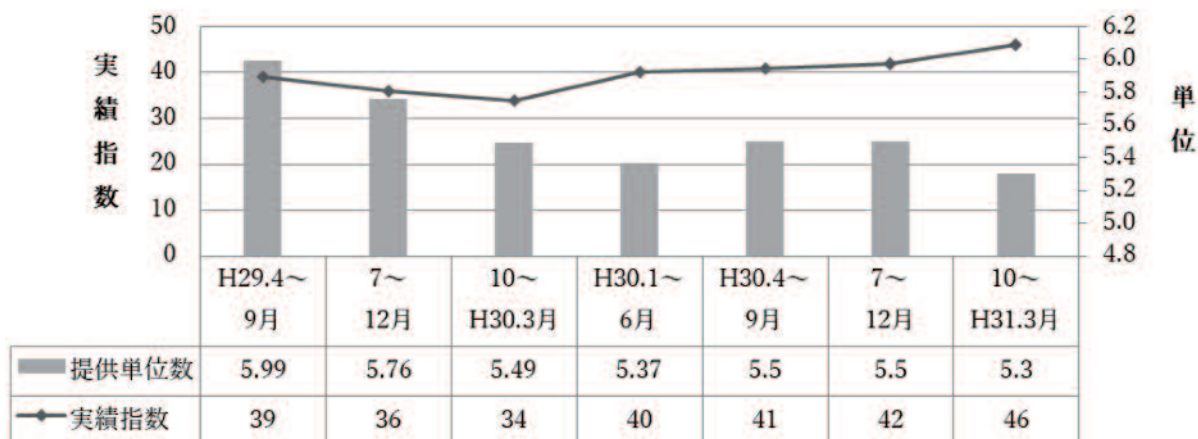
業務実績

【診療報酬】

	理学療法	作業療法	言語聴覚療法	合 計
診療報酬（点）	24,089,807	10,681,168	5,472,847	42,302,384
前年度比	0.96	1.08	1.01	0.99

*ただし、地域包括ケア病棟の包括分の点数を含む。

【回復期リハビリ病棟の実績指数と提供単位数】



【病棟回診への参加】

- ・ 整形病棟部長回診（不定期）
- ・ 回復期病棟部長回診（1回／週）
- ・ 地域包括ケア病棟回診（不定期）
- ・ 廃用症候群回診（1回／月）
- ・ 嚥下回診（2回／週）
- ・ 心臓血管外科回診（1回／週）
- ・ 呼吸器内科回診（1回／週）
- ・ NST回診（1回／週）
- ・ 認知症ラウンド回診（1回／週）

【カンファレンスへの参加】

- ・ 整形外科レントゲンカンファレンス（1回／週）
- ・ 脳外科カンファレンス（1回／週）
- ・ ICU・CCUミーティング（毎朝）
- ・ 心臓血管外科術前カンファレンス（1回／週）
- ・ ハートケアチームカンファレンス（1回／週）
- ・ 骨粗鬆症リエゾンチームカンファレンス（1回／月）
- ・ 緩和ケアチームカンファレンス（1回／週）
- ・ 早期離床・リハビリテーションカンファレンス（毎日）

【臨床実習受け入れ】

12名（理学療法 5名 作業療法 6名 言語聴覚療法 1名）

【資格・認定修得状況】

- ・ がんりハビリテーション研修会修了者 15名
- ・ 3学会合同呼吸療法認定士 7名
- ・ 心臓リハビリテーション指導士 4名
- ・ 認定理学療法士（運動器） 1名
- ・ 認定理学療法士（脳卒中） 1名
- ・ 認定理学療法士（循環） 1名
- ・ 認定理学療法士（代謝） 1名
- ・ 日本糖尿病療養指導士 2名
- ・ 介護支援専門員 2名
- ・ 福祉用具プランナー 5名
- ・ 住環境コーディネーター2級 7名
- ・ 日本救急医学会認定ICLSコースアシスタントインストラクター 2名
- ・ 日本救急医学会認定ICLSインストラクター 1名
- ・ 日本救急医学会認定ICLSコース修了 17名
- ・ 日本救急医学会認定ISLSコース修了 2名
- ・ 国際側弯シュロスセラピスト 1名
- ・ ゴルフフィジオトレーナー・セラピスト 1名
- ・ 入谷式足底板上級編コース修了 1名
- ・ 骨粗鬆症マネージャー 3名
- ・ 認知症ライフパートナー1級 3名

評 価

平成30年度の診療報酬は、作業療法部門、言語聴覚部門ではそれぞれ増加がみられましたが、理学療法部門では減少し、全体としてわずかではありますが下回る結果となりました。これは、特定集中治療室における早期離床・リハビリテーション加算に係わるメンバーとして理学療法士1名を専従としているために、若干の減少がみられたと分析しています。しかし、このような条件下においても総患者数、総単位数は昨年を上回り、さらには当科の目標としている技師一人あたりの1日平均単位数である18単位を維持することができました。一人ひとりが強い目標意識を持って業務に取り組めた結果だと思えます。

また回復期リハビリテーション病棟においては、患者一人あたりの提供単位数が全国の平均値に満たない状況の中でも単位数調整や予後予測により、実績指数を上げることができ（規定実績指数30に対し当科41～46）、質の向上をはかることができました。今後も課題である病床数の確保に努め、より質の高いリハビリテーションを提供し、患者サービスの向上に励みたいと思います。



中央検査技術科

新川 由基	技師長	宮元 伸篤	次長
坪井 房幸	参事	岡本 明子	次長

今年度のトピックス

生化・免疫検査部門

- ・ 正確で迅速な検査結果を報告する為に、電子カルテの更新と同時に約10年ぶりに自動分析装置をcobas8000へ更新しました。以前の自動分析装置と比べて、免疫検査結果報告時間の迅速化が期待できます。今後は、検査試薬の収益の見直しや、診療に有用な検査の新規検査の取り込みについて検討していきます。

血液検査部門

- ・ 4月 ヘパプラスチンテスト（HPT）の診療報酬経過措置が終了し、保険適応がなくなったため、院内検査を中止しました。
- ・ 1月 老朽化していた、自動血球計数器を更新
シスメックスXN3100で、低値白血球、低値血小板、体腔液測定の精度が向上し、IPF（幼若血小板比率）やRET-HE（網赤血球Hb等量）の測定も可能となりました。
- ・ 電子カルテの更新に伴い、血液検査基準値及び単位をJCCLS共用基準範囲に変更しました。

輸血検査部門

- ・ 電子カルテの更新と同時に、輸血検査部門でアルブミン製剤の管理を行いました。輸血療法委員会と薬剤局を中心にマニュアルの作製・院内への周知等を行いました。
- ・ 「輸血後感染症検査」の実施を徹底するために、医師・看護師・医事課と会議を行い運用面などの議論を行っています。安全で適正な院内輸血推進のために、来年度も改革を行いたいと思います。
- ・ 血液製剤の廃棄金額率は1.16%（昨年度0.92%）。

一般検査部門

- ・ 採尿用の洋式トイレで、トイレットペーパーによる詰まりが多発し、患者様にご迷惑をかけておりました。そこで、トイレ内に注意喚起の張り紙をしたところ、詰まりの回数は減りました。
- ・ 1月からの電子カルテの更新に伴い、髄液検査と穿刺液検査を一つにし、体腔液検査としてオーダー画面を作成しました。これまでより臨床側に見やすいオーダー画面となりました。

細菌検査部門

- ・ 耐性菌の長期保存用に、超低温フリーザーを購入しました。
- ・ 全自動微生物検査装置用パネルが変更となり、薬剤や判定基準が改良されました。
- ・ 例年に引き続き、薬剤感受性スペクトラム表、病棟別・材料別菌検出数、厚生労働省の院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）の還元情報を、院内メールやネットフォルダに掲載し、誰でも閲覧できるようにしました。

病理・細胞診検査部門

- ・病理医の充実：常勤の黒澤学先生、非常勤の沢田真治先生、2人体制で業務を行いました。
- ・外注検査のPD-L1免疫染色標本作製・診断については、H30年6月より診断は院内での実施に変更しました。
- ・外注遺伝子検査のBRAFとROS-1について、院内で免疫染色を行い適応検体の抽出後に外注依頼するように変更しました。
- ・病理システム更新に合わせ、組織診で使用する包埋カセットプリンターとスライドガラスプリンターを導入しました。二次元バーコードに対応し、切り出しから診断の中で検体取り違えのリスクが軽減しました。
- ・外注遺伝子検査のMSI検査について、H31年3月より提出可能な体制を整えました。

生理検査部門

- ・増加する超音波検査の依頼に対応するため、人員を一人追加し、エコー室③を開設しました。これにより心臓および血管超音波検査の当日緊急エコーも受け入れやすくなり、件数がアップしました。
- ・リウマチ膠原病内科の依頼に応え、手関節の関節エコーを本年度より開始いたしました。
- ・腎動脈超音波検査および下肢動脈超音波検査も開始し、より多くの検査を行うようになりました。
- ・認定心電検査技師の資格を新たに1名が取得しました。

評価

- ・平成30年度の総検査件数は、2,849,260件、総点数は56,378,114点で、前年度と比較して件数は横ばいでしたが、点数は約3%の増となりました。
 - ・検体検査管理加算Ⅳを5月から取得開始し、収入増を図りました。
 - ・外注業者を競争入札で決定し、経費の削減を図りました。
 - ・生化学や免疫自動分析装置、自動血球計数器を入れ替えたことを機に試薬単価の見直しを行い経費の削減を図りました。
 - ・電子カルテの更新とともに、検体検査・病理検査・細菌検査・輸血検査・生理検査システムの更新を行い、同時に生化学・免疫・血液部門でJCCLS共用基準範囲を導入しました。
 - ・12月の医療法改正にともない、検査の精度確保にむけて、検査機器保守管理標準作業書や測定標準作業書、作業日誌等の作成に着手しました。
 - ・より質の高い技術と知識を習得するため、資格取得にも努力し二級臨床検査士（免疫血清学）1名、緊急臨床検査士1名が合格しました。
- 医療法改正への対応・システム更新・検査機器更新・業務拡大等、大変忙しい1年となりましたが、検査科全員で事業に取り組み、乗り切ることができました。今後も、チーム医療の一員として、精確、かつ信頼性のある検査結果を迅速に臨床側に提供できるよう、また、病院経営にも貢献できるよう努力していきます。

歯科・眼科技術室

村上 義和 技師長

近藤 昭仁 次 長

歯科衛生士 5 名 歯科技工士 1 名 歯科助手 1 名 視能訓練士 4 名

今年度のトピックス

- ・ 周術期口腔機能管理料の算定件数は、年間1,600件を超え、周術期口腔ケアの実践を充実させることができました。
- ・ 第35回滋賀歯学会において、「口腔内に多発性のびらんを認めたスティーブンス・ジョンソン症候群の1症例」を口演発表しました。
- ・ 第27回視覚障害リハビリテーション研究発表会において、「院内連携によるロービジョン対応食器の導入」をポスター発表しました。

業務実績

周術期における口腔ケア実施件数…年間1,677件

麻酔挿管時用マウスガード製作数…年間141件

第4回 院内ロービジョン展示体験会開催

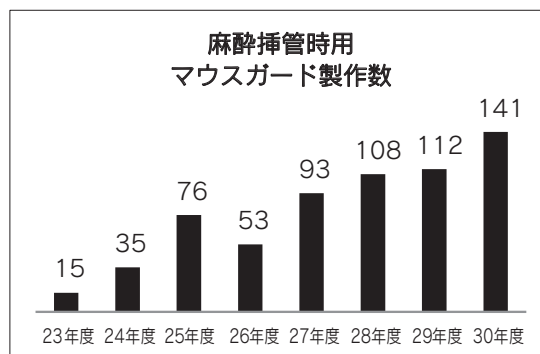
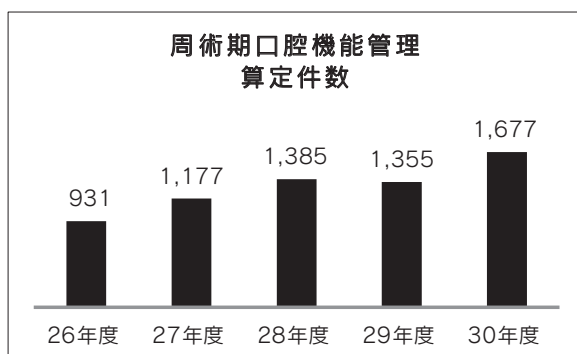
第3回 目の愛護デーパネル展示開催

臨床実習受け入れ…歯科衛生士学科学生 8名、視能訓練士学科学生 4名

評 価

歯科衛生士、歯科技工士は、周術期における口腔機能管理の充実を図るため、周術期口腔ケアの実践や挿管時に使用するマウスガードの製作を積極的に行いました。歯科医師とともに対象患者への介入率に着目した取り組みが実践できたことで、いずれも昨年度を上回る実績を達成しました。また、歯科助手は、環境整備の中心となり適宜ICTの指導を得ながら感染対策を実践しており、新たな環境清拭用品を導入するなどして安全な診療環境の提供に努めることができました。今後も各々が協力しながら、より充実した外来診療に貢献したいと考えます。

視能訓練士はのべ62名の外来患者に対し、積極的な情報提供や視覚補助具選定などのロービジョンケアを行い、ロービジョン検査判断料の算定も11件行いました。また、院内職員対象のロービジョン展示体験会や患者対象のパネル展示などで眼疾患についての啓発を継続して行うことができました。今後も他職種との連携によるさらなる医療の質向上、入院生活の環境改善に努めたいと考えます。



看護局

看護局長 松田 和子
看護局理事 梅本 範子
看護科長 弓削 悦子、織田 頼子、土川 陽子

I トピックス

＜平成30年度の看護局目標管理（戦略 関心・行動・連携）◎重点目標＞

評価ランクA：80～100%達成 B：60～79%達成 C：60%未満

◎1. 多職種と連携し、個々に応じた看護実践ができる。

担当：各部署、固定リーダー 会、教育委員会、継続看護検討会、記録委員会、基準委員会、専門・認定看護師会

各部署においては、学習と成長項目の成果目標「アセスメント能力・看護実践能力が高まる」では、専門・認定看護師開催のフィジカルアセスメントの研修参加はB評価、教育委員会主催のリーダー研修参加ではA評価であり、関連部署はほぼ参加できている。多職種カンファレンスの実施はA評価であり、積極的にできていることは強みである。継続看護検討会が湖北ルールの周知を発信し、それに沿って進められている。

業務プロセス項目の成果目標「他職種が関わり、患者・家族の要望を取り入れた入院診療計画書を作成し、実践できる」では、継続看護検討会から、継続看護患者情報用紙の活用をアピールした。行った看護実践を振り返る機会として、固定リーダーを中心にチーム会で事例検討を職員1事例としてほぼできている。また、記録委員会が主となり入院診療計画に基づいた看護実践の看護過程の記録監査もできているが、事例検討・記録ともに内容の充実を目指して継続性を持たすことが必要である。財務項目の成果目標「予定入院期間内に退院ができる」では、各急性期病棟は、ほぼ期間内に60%以上退院できており A評価であった。顧客項目の成果目標「患者満足度が向上し、個々に応じた退院ができる。患者個々のニーズに沿った看護実践ができたという達成感が得られる」では、入院中の患者満足度において意見箱の投書では、C評価であるが、約半数は感謝のお言葉をいただき、年々増えている傾向ではある。職員の満足度調査もC評価となった。今後も継続して患者の意見に耳を傾け、より質の高い看護実践へと結びつけていきたい。

2. 効果的な人材活用ができる（業務改善）

担当：各部署、看護管理者会、主任会、介護士会

各部署においては、学習と成長項目の成果目標「看護職員リリーフ体制の必要性を理解する」では、周知を図るために、再度リリーフ体制指針について読み合わせを行うことはC評価であった。後半期は、医療情報更新に向けて時間外活動も増えてきてことが影響したと考えられる。

業務プロセス項目の成果目標「各部門間のグループ化をし、リリーフ体制を組み協力する、入院、業務の集中、偏り、患者状態等を明確にし、業務調整する」では、主任会を中心に看護補助者のリリーフ体制指針ができた。また、介護士会でもリリーフ体制指針ができて、一部実行をすることができた。時間管理として16時に業務調整を行うことは定着できてきた。部署によっては、朝から調整をしているところもありA評価であった。顧客項目「看護職員個々にかかる業務量が公平となる人材活用をする」では、夏期休暇は、人員不足や業務多忙で取得が難しい部署を科長室で把握し、予定応援体制を作って取得できるよう工夫した結果、全部署が夏休を取れる

ようになった。正規看護師の年次取得は平均8.6日であるが、業務調整、傷病等も含めているため個人差があった。財務項目の成果目標は「超過勤務が減少する」では、超過勤務が昨年より平均1.75時間増加した。これも医療情報更新の影響とみている。

3. 1人1人が経営に関心を持ち行動する（①病床管理②選ばれる病院のための接遇強化③コスト管理）

担当：各部署、看護管理者会、看護師定着・確保検討会

①病床管理

学習と成長項目の成果目標「診療報酬を理解し、ラダーにおける臨床実践能力習熟段階の組織的役割遂行能力に応じた業務管理の行動を実践する」では、病院経営に関する研修をナーシングスキルで受講してもらうように働きかけてB評価となった。DPC研修会に参加した者が伝達研修を行ったところはC評価で、約半数であった。

業務プロセス項目の成果目標「看護管理者連絡会議を効率的に運用する」では、病床利用率数値目標90%に達成できなかった部署もありC評価であった。毎日の会議で、看護管理者は病院全体の病床状況が理解でき、協力体制もスムーズにできるようになってきた。新入院の増加は認められた。昨年より占床率も上げることができた。

②選ばれる病院のための接遇強化

学習と成長項目の成果目標では、接遇マニュアルの読み合わせを行うはA評価であった。身だしなみ、電話の応対などチェックリストで定期的に行うはB評価であった。

③コスト管理

業務プロセス項目の成果目標「診療材料が適性在庫になる」では、点検を強化することで半数の部署が期限切れ在庫が昨年より減少した。財務項目の成果目標「入院、外来診療単価があがる」では、昨年より上昇し100%のA評価であった。行った治療や看護援助を通して加算などの請求漏れがないように点検や記録に努力した結果である。

<医療情報システム導入>

今年度の病院事業として最も大きな事業であった。5年ごとの更新に伴い、業者決定後、5月に医療情報システム更新キックオフがはじまった。

7月：医療情報の各部署ヒアリング 8月：マスタ作成

11月：医療情報システムリハーサル① 12月：医療情報システムリハーサル②

1月：医療情報システム更新1日

業者変更に伴い、通常の更新より準備が大変であったが、看護局IT推進委員がリーダーシップを発揮し、病院全体の牽引ができ貢献できた。

<人事評価>

今年度から病院事業として試行段階で開始することが決まり説明会（病院）に参加した。

看護局内での取り決め事項をまとめ、まず3月の次年度目標管理説明会に看護師長・主任・固定リーダーに説明をした。4月の年度初めの看護管理者会で再度、看護局取り決め事項として詳細に説明をした。補助シートを使用して、行動目標と進捗状況を確認した

面接（年度初め・中間期・年度末）は、看護師長の業務量増大となったが、効率的な目標面接を各自が目指し、ほぼできた。2月時点で本シート入力までは病院側の準備が整わず、試験的に各部署で数名実施したが、大きな問題はみられなかった。3月時点で評価を行い、看護管理者会で評価方法について協議を行った。次年度に活かしていきたい。

＜教育ラダー改訂＞

現行のクリニカルラダーは、平成13年から改訂を繰り返し使用してきた。日本看護協会から出たクリニカルラダー改訂版を参考に教育プロジェクトで1年間協議し、改訂版を作成した。説明会（各レベル別、主任・管理者別）を繰り返し、全職員に周知できるように行い、開始した。教育委員による教育面接（年度初め・年度末）も行った。

1月迄に自己評価をして2月に面接（年度末）他者評価を行った。

チャレンジャー課題到達者は、自己申告へと進められた。ナースिंगスキル利用率も事前課題に取り入れるなどの工夫をして啓発でき、利用率40%で昨年より利用できた。

次年度に向けて面接全般について、評価者の役割等検討し見直しをはかっていく。

＜看護師長研修＞

滋賀県看護協会主催の看護管理者研修の目的は「組織が目指す成果と質の高い看護の提供をするための問題解決思考を身につける」です。研修後、集合研修の伝達講習、他施設訪問研修があります。他施設訪問研修は、「他施設を見学し、自部署における問題の本質をとらえ、問題解決思考を身につけることで看護管理実践力の向上を図る」を目的としている。自己課題を明確にする研修に2人参加した。刺激も多く受けてきており、自部署の管理に生かせるように今後も継続して参加させていきたい。

II 看護局の組織体制

看護科長（医療安全管理者）1名、看護科長補佐3名、看護係長1名、看護主幹1名、昇格を行った。新人看護師は23名就職した。ICU8床フルオープンをはじめとし、病棟部門、外来部門、手術室、透析室、訪問看護などにさらなる看護実践能力橋のため、定期異動を行った。

新任看護管理者育成のために管理ラダーの使用、研修などを実施した。各部署担当科長制は、昨年同様継続した。以上の組織体制で、看護局運営の効率化をはかるために定例会議・委員会、目標管理推進G、看護師確保Pを設置して活動をした。

III 看護局業務実績

*事業計画の進捗状況

＜看護体制の充実—看護師確保と定着＞正規看護師採用者23人。新人離職率0%

正規看護師離職率8.6% 各入院基本料に付随する看護師配置維持。

＜外来看護の充実＞看護相談への取り組み、リリーフ体制、病棟連携

＜助産師離職率低下・助産師定着＞助産師ラダー認証者3名。産後ケア入院実施。

産婦健診

＜専門領域の指導的看護師・看護管理者の育成＞ファーストレベル研修4名、

臨床実習者講習会2名受講、特定行為研修受講1名

＜看護業務改善①看護補助者確保・定着＞急性期看護補助者加算50対1維持

＜看護業務改善②介護士の確保・定着＞採用者なし。退職者なし

＜ナースिंग・スキル日本語版導入＞インターネット配信教育システム継続

＜手術室・ICU・血管治療室など清潔区域内清掃業契約＞検討中

*改革プランの進捗状況

＜ICUの充実＞特定集中治療管理加算3取得・維持—1859件/1270件—A達成

＜外来化学療法の充実＞外来化学療法加算1取得・維持—2882件/3100件—B達成

＜人工透析環境の充実人工透析延べ回数＞—18869 件/17500 件—A達成
＜地域包括ケア病棟の運営＞1日あたり入院患者数43人/月目標（32.8人/月）—B達成
＜脳卒中ケアユニット入院医療管理料算定件数＞860件/991件—A達成
＜手術体制の充実—手術件数＞4326件/5000件—B達成
＜平均在院日数の維持（一般病棟）平均在院日数＞12.1日/13日—A達成

IV. 評価

今年は、病院事業の医療情報システム更新、人事評価制度の試行に加え看護局では教育リーダーの改訂版施行があり、大きな事業展開が複数行われた年であった。

病院事業を進めていく上で、看護局の職員が多く関わることから自ずとリーダーシップを発揮する場面が増えてきた。チーム医療においても、看護職が果たす役割は大きい。調整役としての役割が発揮できた年でもあった。このことを生かし多職種連携により患者サービスが切れ間なく支援ができるよう、さらに医療・看護をチーム医療として充実させていきたい。

看護局組織機能図（平成30年度）



事務局

藤居 敏	事務局長
鶴飼 康治	総務課長
中田 重樹	経営企画課長
桐畑 善彦	医事課長
久保田武次	経営企画課課長代理
森 靖	経営企画課課長代理
佐野 勝治	総務課担当課長
伊吹 定浩	総務課参事
三原 了導	医事課参事兼病院機能強化推進室次長

総務課

総務グループ

1. 臨床研修医（初期研修）の採用について

臨床研修医の採用については、病院合同説明会への参加、医学部の学外臨床実習生や病院見学の受け入れ、ホームページや電子メールによる情報発信に取り組みました。

その結果、平成31年4月採用の臨床研修医採用試験には6人の受験があり、4人の採用決定を行いました。

今後も、①指導体制の整備、②症例研究に対する積極的な支援、③やりたいことができる研修環境等に配慮しながら、初期研修から後期研修まで継続して当院に勤務いただける魅力ある病院づくりをめざしてまいります。

2. 診療体制強化に向けた医師採用について

医師数が不足する診療科の医師確保が喫緊の課題となる中、大学医局への派遣依頼や病院独自採用により診療体制の充実に努めました。

3. 看護師・助産師の確保について

看護師等の採用は、看護配置基準7対1を維持するため、定期採用試験3回の実施により、24名を採用しました。

また、看護師等の確保対策としては、看護大学や専門学校の訪問、病院見学やインターンシップの受け入れ、奨学金制度による支援、採用内定者を対象とした国家試験対策講座の開講等を実施しました。

新人看護師等の養成では、院内教育や院外教育により、公務員・専門職としての自覚と責任を育むとともに、安全な看護業務を提供できるよう、教育体制やメンタルサポート体制を整え支援してきました。

また、看護師等の離職率は、看護配置基準7対1の維持による看護師1人あたりの受持ち患者数の減少や、負担軽減対策の実施により8%程度に留めることができました。

今後とも看護師等の確保と養成については、仕事のやりがいと充実した私生活が両立できるよう当院独自の創意工夫を重ねながら、職場環境の整備に向けて継続的に取り組んでまいります。

総務課施設グループ

市立長浜病院の本館は、移転新築してから20年以上が経過し、適切な医療施設の提供が日々の維持管理や部分的な修繕では困難な状況となっていることから、本館病棟の最適化を行うための大規模改修事業が、平成31年から約2年間の工期で施工されることとなりました。

大規模改修事業は、しばらく休床している2病棟を利用して、病棟ごとに改修・移転を繰り返しながら施工するため、休床病棟である3階東病棟と7階東病棟の内装や設備機器類を最小限に修繕するとともにワックス掛けによる清掃など事前の作業を行いました。

経営企画課

経営企画グループ

(1) 経営

予算編成や決算調製、議会や監査の対応等、主に病院事業の財政面において、適正な予算執行や経営改善に向けての取組みを推進しました。

また平成30年4月から、これまで市の会計課において行われていた病院事業に係る出納業務を病院で行うことになり、資金調達や資金運用といった現預金の管理や、金融機関との連絡調整等を行いました。

医療費の収納にあたっては、自動支払機の適正な管理に努め、患者さんに対しては丁寧な案内を心がけました。

(2) 企画

本年度は、新公立病院改革ガイドラインや滋賀県地域医療構想を踏まえ新たに策定した「長浜市病院事業 中期経営計画」（平成29年度から32年度まで）の2年目として、設定した事業目標の進捗管理を行い、地域住民の健康保持に必要な医療の提供に取り組みました。

病院医療情報システムは、昨年度選定した更新事業者とWGによる導入作業、データ移行等を行い、平成31年1月から新システムを稼働させました。稼動直後の設定調整、問い合わせの随時対応を行うとともに、運用・保守フェーズとして、IT推進会議を毎月定期開催し、更新事業者とも定期的な状況確認、協議を行いました。

広報業務は、引き続きホームページの更新を随時実施し、当院の医療提供体制の紹介や公開講座・研修会開催の案内などを発信しています。

用度グループ

医薬品の購入に関しては、納入業者の見直しや価格交渉を薬剤科と協調して粘り強く実施し、経費の削減を図ることができました。

診療材料については、採血関連材料、マスク等の切替えを実施しました。年2回の単価契約の更改にあたっては納入価格の交渉を行い、更なる経費削減に取り組みました。

医療機器の整備については、中央検査技術科に生化学・免疫自動分析装置、透析室に透析用水作製装置を設置し、老朽化した機器の更新を図った。

また、外科の内視鏡カメラシステムや消化器内科に内視鏡システムを導入し、増加する患者への対応をすべく整備に努めました。

湖北病院との物品調達にかかる契約事務の連携については、スケールメリットを意識した効率的な購入を進めました。具体的には、P P C用紙やナースシューズの一括入札のほか、酸素濃縮器の賃貸借業務を両院一括で契約しました。

医 事 課

(1) 診療報酬に関する事務

- ・平成30年度は、診療報酬改定の年度であったため、改定後の算定項目や施設基準の確認等、診療報酬の請求に関して院内関係者との調整を図り、正確な診療報酬の算定に努めました。
- ・DPC対象病院として、厚生労働省が実施する「DPC導入の影響評価に係る調査」に準拠したデータを継続して提出しました。
- ・厚生労働省が実施する「病床機能報告制度」に基づき、電子レセプトにより診療報酬請求を行っている病院として、各病棟の病床において担っている医療機能の現状について、データを作成し、報告しました。
- ・診療報酬の請求に関する情報を院内職員で共有するために、医事通信を発行しました。
- ・厚生労働省臨床研修指定病院として、全職種の職員を対象とした「保険診療に関する講習会」を2回開催しました。
- ・NEC電子カルテシステムから富士通医療情報システムへの変更に際し、医事関係データの移行や運用の見直しを行いました。また、新システムの掲示板機能を使用し、医学管理料等の実施履歴をコメント入力して医師への支援を行い、診療報酬の算定に漏れがないよう努めました。

(2) 窓口業務

- ・院内における各外来と連携を図り、指定難病や小児慢性特定疾患、更生医療等の公費申請の説明を患者さんに実施しました。
また、妊娠婦さんやご家族の方に、産科医療補償制度や出産一時金の医療機関への直接支払制度のご案内をしました。
上記の説明や案内によって、窓口における患者さんの負担額を軽減することができました。
- ・各自治体や医師会と協議を行い、健診事業や予防接種等の契約を締結することによって、各種健診や予防接種等を受けていただくことができました。

(3) 個人情報の開示

- ・個人情報の開示（カルテ開示）は、毎年増加の傾向にあり、平成30年度の実績として27件の開示を行いました。

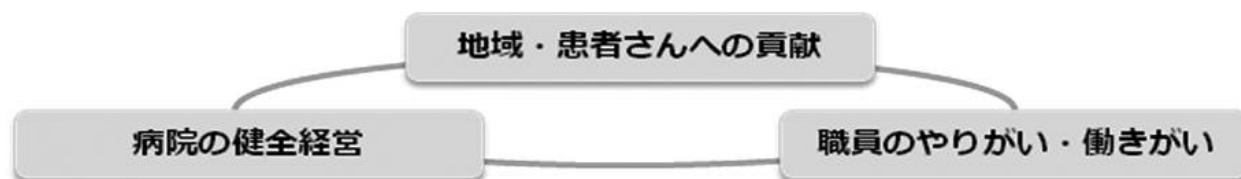
(4) 医療費の未収金

- ・ 当院では、平成21年度より回収困難な案件を弁護士法人へ委託しています。
平成30年度も、未収発生から4ヵ月後の早い段階における委託を継続し、確実な未収金回収に努め、悪質な未収患者には差押えも実施しました。
また、上記未収金の回収とあわせて、限度額適用認定証等の社会保障制度及び公費申請の周知案内に力を入れ、患者さんの個人負担額を減らすことによって、未収金を発生させない取組みにも力を入れました。
- ・ 深夜時間帯における救急外来の患者さんや、遠方患者さんの診断書料金支払等、来院による支払いが困難な場合には、コンビニ払込票による支払いサービスを利用することにより、患者さんへの利便性を図ることができました。

(5) 診断書窓口

- ・ 患者さんからの診断書作成依頼を受け、医師や医師事務作業補助等との連絡調整を行い、迅速な交付の事務に努め、平成30年度の実績として6,801件（7,582枚）の交付を行いました。

病院機能強化推進室



中期経営計画との整合性を図りながら、経営戦略ビジョン、病院保全計画、また既に実施されている計画・事業を推進し、中長期にわたる病院最適化を行います。

【全体運営方針】

1. 病院機能の強化
2. 患者サービスの向上
3. 経営基盤の強化

【重点取り組み事項】

■病院大規模改修事業

1. 事業目的

本事業は、開院から20数年が経過した本館について、ファシリティマネジメント導入による最適化を図るため、老朽化著しい病棟の配管類の改修、設備機器の更新並びに外壁剥離等危険箇所の修繕を行うものです。

2. 事業概要

- | | |
|-------|--|
| ①事業名称 | 病院大規模改修事業 |
| ②事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 9病棟改修 ・ 自家発電機設備改修 ・ 本棟高層棟外装修繕 ・ 全館エレベーター改修 ・ 中央手術室更衣室改修 ・ 設計、監理 |

3. 事業期間

平成30年度から2カ年度

■病棟再編検討プロジェクト

1. 病棟改修

- ①改修後に、一般病棟（ICU・SCU・地域包括除く）として使用できる病棟数は合計9病棟
- ②診療科配置については、下記の基本方針に基づく

【基本方針】

- 小児科・産婦人科病棟は1看護単位で集約
- 3階フロアは血管系フロアとして利用（循環器内科・心臓血管外科・脳神経外科・神経内科）
- 6階フロアは整形外科病棟および地域包括ケア病棟として利用
- 上記以外の診療科は別途検討

2. 改修予定

平成30年度から2カ年度

地域医療連携室

土川 陽子 室長

地域医療連携室は、病院理念の「地域完結型医療」の推進に向け取り組みを進めています。

平成30年度は、地域医療支援病院としての役割が遂行できるよう地域の医療福祉機関との連携を密にすることに主眼を置き事業を展開しました。生涯教育研修会300回を記念しての講演会及び交流会を開催致しました。

地域の医療機関に対しては、昨年発行した「病院のご案内2017」での紹介部門を増やし「診療のご案内2018」として発行しました。従来から発行している「地域医療連携だより」も、毎月407カ所に配付しました。

市民講座として、昨年同様に下記講座を開催し好評を得ました。

◎世界腎臓デー市民講座の開催：平成31年3月3日（日） 10：00～11：35

「慢性腎臓病あなたは大丈夫？」～糖尿病は透析の危険があります～

場所：北ビワコホテルグラツェ

参加者：170名

1. 地域医療連携グループ

平成30年度の紹介患者数は、6,755件で、紹介率は63%と目標値は達成しました。特に、開業医の先生のご協力のおかげで逆紹介・併診をお願いする患者数がより増加し、逆紹介率も95%と高値が維持できました。

今年度より地域包括ケア病床において、開業医の先生からのご依頼によるレスパイト入院システムを開始しました。現在20件以上の依頼をいただき、ご利用いただいております。緊急レスパイトに関しては、病床数の問題もあり早急な対応が難しいこともありますが、1～2週間程度の猶予をいただき対応させていただきました。

反対に、開放入院のご利用は減少しており、18件でした。しかし、開業医の先生方のご訪問を受けることでの患者様の満足度も高いことを感じております。

システム変更後、びわ湖あさがおネット閲覧に関してのトラブルが発生しており、連絡があるたびに対応している状況です。

2. 退院支援グループ

平成30年度は、約800名の患者さんに退院支援看護師、社会福祉士が介入し在宅や施設など身体的、社会的事情に応じた療養場所への退院をお手伝いさせていただきました。住み慣れた自宅や施設での看取りへの支援は昨年度の約半数（16名）にとどまっていますが、ACP（アドバンスケアプランニング）とまではいかないものの、家族との話し合いのなかで「入院中の患者さんの意思はどこにあるのか」ということについて考えるプロセスを大事にするように心がけております。厚生労働省は、昨年末ACPの愛称を「人生会議」と決定しました。地域医療支援病院として、かかりつけ医の皆様と今後も連携し超高齢社会の地域包括、地域完結の医療を実現していきたいと思っております。

3. 入院支援グループ

入院を予定している患者が入院生活や入院後にどのような治療経過を経るのかをイメージでき、安心して入院医療を受けられるように、入院前の留意点や入院中に行われる治療の説明、

入院生活に関するオリエンテーションを手術室・薬剤部・医事課などの他部門と連携し、支援しています。

手術目的の予定入院患者以外にも、腎生検や心臓カテーテルなどの検査目的の予定入院患者にも支援を拡大し、200件/月前後の入院説明を実施しています。

入院や検査・治療に対する不安や疑問点、入院に対するご意向などを確認し、各専門分野からの説明が必要な場合は担当者が相談室に出向き、ワンストップ形式で対応しています。また、入院前から外来や病棟と情報共有し、入院早期から退院後までの切れ目のない、患者の生活を分断しない医療を支援することを心がけています。

4. 患者相談窓口グループ

患者相談窓口は、午前は玄関ホールで、午後は患者総合支援センターで相談業務を行っております。

平成30年度の患者相談件数は、3,786件と毎月300件前後の相談の対応をしています。その内訳としては、受診相談が75%と多く、次いで案内や看護相談、医療費についての相談となっています。相談の時間帯も85%が午前中と集中しております。患者総合支援センターの入り口機能として、看護師を配置して各種相談を受けています。外来や医事課や退院調整など専門的な内容については、各専門の職員が対応するよう連携しています。

患者相談窓口グループでは、毎週カンファレンスを開催し、相談対応の質の向上に努めており、患者支援に係る取り組みの評価や統一した対応ができるようしています。また、病院へのお問い合わせのメールについても対応しております。



がん対策推進室

伏木 雅人	がん対策推進室管理監
田久保康隆	がん対策推進室副管理監兼室長
常陸 正則	がん対策推進室参事
堀 一郎	がん対策推進室副参事
新川 君代	がん対策推進室副参事兼がん相談支援センター副参事

がん対策推進室

がん対策推進室では、湖北地域における地域がん診療連携拠点病院としての役割を担うため、次の取り組みを進めてきた。

7月には、湖北でできる最新のがん医療をテーマに「湖北がんフォーラム2018」を開催し、335名の参加者に、治療をスムーズに受けていただくための仕組みを紹介した。

緩和ケアの取り組みとしては、11月に、滋賀県緩和ケア研修会を開催し、当院におけるがん診療に携わる医師の研修受講率は97%となった。その他、10月には世界ホスピス緩和ケアデー、2月にはがんと向き合う週間に合わせ、各々1週間の展示イベントを正面玄関ロビーで開催し、好評を得ることができた。

地域へのがんの啓発活動としては、中学校等へのがん教育の講演会や老人クラブ等への出前講座を延べ14回実施した。他にも、がんに関する研修会を開催した。

患者団体等のイベントへの協力支援としては、「ピンクリボンin湖北」、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018滋賀医大」、「心のケアを考える会」等への後援名義協力や開催当日への職員参加を行った。

がん相談支援センター

平成30年度の相談件数は、1,664件で、相談形式としては、約7割が対面相談となっている。

相談内容では、症状・副作用・後遺症についての相談が最も多く、次いで、不安などのこころの問題や、がんの治療に関することの相談が多い。その他、就労に関する相談、脱毛などアピランスに関する相談も各々200件以上あり、働く世代におけるがん患者からの相談の増加によるものと考えられる。このため平成30年2月から、滋賀産業保健総合支援センターの両立支援促進員による「仕事と治療の個別相談会」を毎月開催、14名の参加があった。

がん患者サロン兼図書室「i・りんぐ」では、がんに関する書籍の貸し出しも行っており、年間1,734名の利用があった。がん患者、ご家族の方を対象とした、公開教室や個別相談会を年間13回開催し、96名の参加者があった。また、患者サロン「きらめき長浜」を始め様々な患者団体への支援を実施している。

その他、相談体制を充実させるために、国立がん研究センター主催の「がん相談支援センター相談員指導者スキルアップ研修」と「がん患者の外見ケアに関する教育研修 基礎編」にそれぞれ1名ずつ参加、基礎研修Ⅰ・ⅡのEラーニングも1名受講した。

音楽療法活動

昨年度に引き続き、代表濱谷紀子先生を中心とするMTQ（Music Therapy Quartet）による音楽セッションを、病棟デイルームや透析室など院内各所で開催していただき好評であった。

開催日は、隔週金曜日で、年間22回来院いただき、集団と個人を合わせ72回の音楽セッションを提供いただいた。また、緩和ケア週間や看護の日など、イベントでの演奏にも協力いただいた。

訪問看護ステーション

湧口 朋子 管理者

訪問看護ステーションは、看護師10名（常勤換算8.9名）、理学療法士1名、事務職2名が、病院内と連携できる特性を十分に活かし、医療依存の高い中重度者のケア、在宅緩和ケア、在宅看取りの療養者の受け皿として事業を実施しています。

当ステーションは、「地域住民が住み慣れた場所で、人生の最後の時期まで幸せに暮らせるために、どのような方々でも支えていく」を理念に掲げ、市民の多様なニーズに対応できる看護サービスの提供を目指しています。

今年度の業務実績・トピックス

- ・平成30年度の延べ訪問件数は、9,627件（介護保険：7,410件 医療保険：2,217件）平成29年度に比較し548件の伸びでした。
- ・平成30年度の在宅看取り率は、38.4%でした（平成29年33%）。地域の連携により、単身療養者2名を在宅看取りにつなげることができました。療養者と家族の日々揺れ動く思いを受けとめ、意思決定支援をサポートしてきました。
- ・「利用者満足度調査」を実施し、利用者や家族が必要としているサービスが十分に提供できているか、ニーズに応えられているか、接遇・マナーに問題はないか分析を行いました。結果に基づき、業務改善を図り、サービスの質を高めていきます。
- ・滋賀県の「医療的ケア児童生徒の通学に関わる保護者支援事業」委託を受け、平成30年11月より9回、対象児童1名の養護学校への送迎を行いました。保護者からは感謝の言葉いただき、終了できました。
- ・今年度は、例年になく災害の年で台風による停電被害があり、NPPV・在宅酸素療法の利用者の被害状況を確認し、業者等と連携を行いました。非常時に備えた対策がとれるように検討し、一覧表を作成しました。また、当院に連絡を行い、2名の対象者は、入院していただきました。
- ・神経難病（ALS他）人工呼吸器の利用者の受け入れをしました。院内のRSTの介入、他のSTとの連携・協働を行い、支援しました。また、家族の介護疲れや休息などを目的としたレスパイト入院の受け入れを開始し、病棟との連携を深めていくことができました。
- ・平成30年度診療報酬改定により、地域の訪問看護に関わる人材育成等の一定の役割担う訪問看護ステーションについて、「機能強化型訪問看護療養費3」が新設されました。申請し、算定をとることができました。



診療情報支援室

診療情報支援室では、下記の内容の業務を、診療情報管理担当、医師事務作業補助担当(DA(Doctor's Assistant))とDPC担当で行っています。

★診療情報支援室の業務として

- 1) 電子カルテの運用および入院分における電子カルテの点検、整備
- 2) 情報の登録と提供、統計の作成等、データの管理
- 3) DPC業務
- 4) 院内がん登録
- 5) NCD (National Clinical Database) の登録
- 6) 各種学会関連の症例登録業務
- 7) 電子カルテ帳票の管理
- 8) スキャンセンターの運営
- 9) 診断書類下書き作成
- 10) 外来支援、医局業務
- 11) 図書室の業務

診療情報支援室の業務には、診療データを活用し業務を行うという共通点があります。

診療情報をデータ化し活用することによって、医療の質の向上の一助となるよう努めています。

また、医師へのサポートとして導入された医師事務作業補助業務においては、担当者のスキルアップを目指し、医師の業務負担軽減の役割を担っていけるよう日々研鑽しております。

診療情報支援室では図書室運営にも携わっており、洋書・和書雑誌（主に電子ジャーナル）の購読などとりそろえ、教育・研究のサポートを行っております。院内職員だけでなく、地域の医療機関に対しても利用いただけるよう整えております。

患者様に対しましても、図書コーナーの整備を行っており、入院・外来のひとときの癒やしとなるよう心がけております。

医療安全管理室

医療安全管理室では、医療安全室内協議として、インシデント検討会・コンフリクト調整会を毎週火曜日に開催しています。各局責任者、室員、医療機器安全・医薬品安全・医療安全・院内感染防止の各管理責任者によるタイムリーな情報共有と対処方針の検討、協議を行っています。

また、医療安全管理委員会、感染管理委員会は月1回の会議を開催し、医療の安全に関する企画や指導を行い、現場での活動推進を図るために医療安全対策委員会、感染対策担当者会議と連携しています。

事故発生時対応として、関連職員間の事例共有、分析、再発防止策の策定、定期巡視での決定事項の啓発・評価、リスクめ〜るや医療安全ニュース、院内感染防止対策ニュースによる広報など、一連の活動をPDCAサイクルで実施しています。

<医療安全活動>

1. 連携する他施設からの評価を受ける事により、医療安全対策における自施設の課題が明確になり、湖北圏域の医療安全の質向上を図るため、医療安全対策地域連携加算1を申請しました。長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院と連携し、相互チェック、改善策を実施しました。
2. 医療情報システム更新に向け、IT推進会議、ワーキンググループに参加し、安全なシステム変更が行われるように支援活動を実施しました。
3. 日本医療安全調査機構は、医療事故の再発防止に向けた提言として、急性肺血栓塞栓症のリスク評価、予防、診断、治療に関して、院内体制の整備をあげています。医療情報システム更新時に、入院患者全員の急性肺血栓塞栓症リスク評価、予防策、テンプレート作成、運用手順の周知を行いました。
4. チームコミュニケーションエラー防止のため、平成26年度から「SBAR」推進活動を継続しています。SBAR演習事例を手本として、リスクマネージャー、対策委員が協力し、各部署のインシデント事例を基に、事例演習を作成し、実践しました。その中で、部署における専門的知識の必要性や課題が明確になってきました。全部署対象に実践演習を16回行いました。
5. インシデント報告に伴う改善事項
 - (1) 医療事故情報収集等事業参加登録申請
 - (2) 離院事象：監視カメラの増設、画像データの確認
 - (3) アナフィラキシーショック事象：造影剤オイパミロン使用中止、CT造影の説明書の内容（脱水予防）追加修正
 - (4) 透析室におけるライントラブル時の出血事象：血液漏出検知器の活用
 - (5) アトニン過剰投与事象：1製剤に統一、パス変更、プロトコール作成、周知
 - (6) 抗凝固薬使用中における転倒転落事象：転倒転落事故発生時対応のフロー作成、テンプレートの活用周知
 - (7) 手術室電気回路トラブル事象：機器の消費電力と電気容量に関して、臨床工学技士介入、持ち込み機器の情報提供、共有、配電計画
 - (8) 高濃度のブドウ糖液投与事象：薬剤入力画面追加修正、周知
 - (9) マニュアル作成・更新について：滋賀県医師会A i システム受入れマニュアル作成、警察A i システム受入マニュアル作成

6. 全職員対象研修会・医療安全情報提供

(1)「KYT(危険予知トレーニング)～日常から安全意識を高めリスクをメンバーと共有する～」

講師：SOMP O リスクアマネジメント株式会社 橋本 勝先生 参加人数160人

(2) クリニカルガバナンス「医療の質を高めるためには病院・私達は何をすればよいのだろうか」

講師：地方独立行政法人奈良県立病院機構 理事長 上田裕一先生 参加人数174人

(3) 平成29年度医療安全取り組み報告

※研修参加の推進として、参加できない職員に対してeラーニングの実施と未受講者への通知

(4) 医療安全ニュース(院外情報)49回、リスクめ～る(院内情報) 25回発行

<感染防止活動>

1. 職業感染対策

(1) 針刺し損傷対策について

平成28、29年度にかけて、針刺し損傷防止に向けて安全装置付きの針の採用、変更を行った。平成30年度は、針刺し切創事象は20人(平成29年度20人)で、その内1人(平成29年度6人)が安全装置付き針刺し事象であったため、安全装置の採用や見直しの効果が得られた。

(2) 結核感染対策について

入院患者2人が結核を発症し、同室となった患者、接触した職員の洗い出しを行った。入院患者15人、職員92人が接触者となり、接触者検診を行った。

(3) インフルエンザ予防投薬について

職員のインフルエンザ予防投薬実施人数は、131人、部署は6部署で行った。

インフルエンザ予防投薬手順の見直しを行うことで予防投薬基準を明確にした。処方部署責任医師が行うことで、自部署でのインフルエンザ流行の認識を高めた。職員が予防投薬を安全に内服できるように問診票を作成し、副作用を理解した上で内服するように同意を追加した。また、予防投薬は、後発品を採用したことでコスト削減にも繋がった。

2. 流行性ウイルス疾患(麻しん、風しん)について

市中で麻しん、風しんが、流行したため、当院の診療体制を整え、周知を行った。

救急センター、外来に対して疑い患者の診察について通知、また全職員に対してリーフレットを発行、外来患者に対してはポスター掲示をした。また、職員の抗体の保有状況を確認したところ、抗体が無い職員はいなかったが、医療者として基準を満たさない職員が麻しん147人、風しん53人いた。そのため急遽、ワクチン接種を1回実施した。

3. 組織的感染対策活動

(1) 感染制御チーム (ICT) の活動

今年度の主な活動は、環境ラウンドによる環境改善を行った。

環境ラウンドは、週1回行い、環境面のチェックとともに、環境汚染度を数値化するルミテスターを採用して患者環境面、医療環境面の2種類の視点から調査を行った。前期は、全部署の環境汚染度を確認する目的で調査を行い、その結果を感染担当者、感染対策リンクナースに提示して改善活動を推進した。後期には、再度同じ場所をルミテスターで調査し改善活動の評価を実施した。改善活動の結果、ルミテスター数値がほぼ良くなり改善効果が得られた。

(2) 抗菌薬適正使用支援チーム (AST) の活動

平成30年度から抗菌薬適正使用支援加算が追加となり、抗菌薬適正使用支援チームを発足した。

AST活動は、抗菌薬の正しい使い方による治療効果を向上させ、さらに耐性菌の増加に歯止めをかけることを目的として抗菌薬適正使用の推進活動を行う。

当院ASTは、週1回行い、抗菌薬の種類や用法・用量（PK-PD、TDM）、治療期間のモニタリング、抗菌薬ラウンドやアドバイスをを行った。その他、起因菌を特定するために、患者検体の適切な採取方法を推進し、特定抗菌薬（届出制、許可制）の使用状況を確認した。また、抗菌薬適正使用マニュアルと薬剤感受性アンチバイオグラム表（スペクトラム表）の見直し、その活用法について啓発活動などを行った。その他、感染対策研修会で抗菌薬適正使用についての内容を盛り込んだ研修を行った。

4. 他病院との合同感染活動

湖北地域3病院(長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院、市立長浜病院)合同カンファレンスを合計8回実施した。そのうち2回のカンファレンスでは、長浜保健所の感染担当者を交えて実施し、市中での流行感染症の発生状況を情報共有することができた。

5. 全職員対象研修会

(1) 「①身近に存在する“肝炎”の怖さ」

講師：診療局外科部長 平良 薫 医師

参加人数145人

「②薬剤耐性(AMR)対策の推進について～抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の取り組み内容～」

講師：薬剤局・AST・ICT 高山直樹 薬剤師

(2) 「薬剤耐性菌はどこから来たのか？そしてどこへ行くのか？」

講師：総合診療科(ICD) 大野暢宏 医師

参加人数104人

6. 感染情報提供

院内感染対策ニュースを3回発行した。

<相談業務>

患者や患者家族から寄せられた医療に関する苦情や相談について面談等を行い、関連部署と連携し、安全で安心な医療を提供できるように対応しました。平成30年度の医療相談・苦情件数は36件で、相談・苦情の約半数は医師・看護師などの職員に関するものでした。

また、“メッセージボックス”の回収を毎週実施し、患者家族への回答や掲示板・HPへの掲載を行いました。

IV－3 著書発表記録

リウマチ膠原病内科

Umehara H, Inoue D, Kawano M. IgG4-Related Disease. In: Hochberg MC, editor. The text book of Rheumatology 7th edition. Philadelphia, USA: Elsevier; 2018.

梅原久範、シェーグレン症候群、イヤート、メディックメディア2018年

梅原久範、IgG4関連疾患、イヤート、メディックメディア2018年

梅原久範、IgG4関連疾患、患病気がみえる(6) 免疫、膠原病・感染症、メディックメディア2018年

脳神経外科

阪東美加、平山知沙、池田由比乃、木野美月、富田悠、磯実幸、林美希、田附容子、杉山慎太郎、佐藤岳史、小室太郎、小川雅文、小林映、
地域病院における脳卒中ケアユニット併設前後の脳卒中臨床指標に関する検討。
40: 414-420, 2018

Suzuki M, Satow T, Komuro T, Kobayashi A, Miyamoto S.
A local excitation magnetic resonance imaging method for intracranial un ruptured aneurysm at the distal internal carotid artery.
J Clinical Neuroscience. 54: 152-155,2018

放射線治療

Yamazaki H, Fushiki M, Mizowaki T and the Kansai Cancer Therapist Group
A surveillance study of the current status of reirradiation and patterns of practice
JRR 2017 58(1) PP71-8

伏木雅人

納得できる人生を—がん患者さんとともに歩んで—

純美禮学園地域連携年報 第五号 p44-5 平成30年3月発行

伏木雅人、藤井康太、川上正邦、田邊啓太、辻雅之、西村正明、安永敏美、村上義和
前立腺癌の治療法—切らずに治す放射線治療—
滋賀県放射線技師会雑誌 あふみ P19-24 平成30年3月発行

リハビリテーション技術科

川瀬智隆、清水悠

臨床実習サブノート：どうする？情報収集・評価・プログラム立案

慢性心不全により心機能が低下した急性期心原性脳塞栓症患者

理学療法ジャーナル P361-368 第52巻 第4号 2018年4月

IV－4 論文発表記録

リウマチ膠原病内科

梅原久範、中村拓路

IgG4関連疾患の診断(日米の取り組みを中心に)。

リウマチ科60 (4):35 3-3 5 8, (2018.10)

Wallace ZS, Khosroshahi A, Carruthers MD, Perugino CA, Choi H, Carmopochiaro C, Culver EL, Cortazar F, Della-Torre E, Ebbo M, Fernandes A, Frulloni L, Hart PA, Karadag O, Kawa S, Kawano M, Kim MH, Lanzillotta M, Matsui S, Okazaki K, Ryu JH, Saeki T, Schleinitz N, Tanasa P, Umehara H, Webster G, Zhang W, Stone JH.

An International Multispecialty Validation Study of the IgG4-Related Disease Responder Index.

Arthritis Care Res (Hoboken). 2018;70(11):1671-8.

Wallace ZS, Sato Y, Okazaki K, Ferry JA, Umehara H, Sohani AR, Kawano M, Harris NL, Tanaka Y, Perugino C, Kubo S, Stone JR, Colvin RB, Chiba T, Stone JH, Zen Y. A Multi-Organ Inflammatory Condition with Features of Idiopathic Multicentric Castlemann's Disease and IgG4-Related Disease: A Japan-United States Case Exchange.

Ann Rheum Dis. 2019; in press.

Nakamura T, Satoh-Nakamura T, Nakajima A, Kawanami T, Sakai T, Fujita Y, Iwao H, Miki M, Masaki Y, Okazaki T, Ishigaki Y, Kawano M, Yamada K, Matsui S, Saeki T, Kamisawa T, Yamamoto M, Hamano H, Origuchi T, Hirata S, Yoshiya T, Tsuboi H, Sumida T, Okazaki K, Tanaka M, Chiba T, Mimori T, Umehara H.

Impaired expression of innate immunity-related genes in IgG4-related disease (IgG4-RD): A possible mechanism in the pathogenesis of IgG4-RD

Mod Rheumatol. 2019;1-17.

Umehara H, Okazaki K, Kawano M, Tanaka Y.

The front line of research into immunoglobulin (Ig) G4-related disease-Do autoantibodies cause IgG4-RD?

Modern Rheumatology.29(2).214-218 (2019.3)

呼吸器内科

野口哲男

症状からの逆引きによるirAEマニュアル／日本肺癌学会2018.

ケアネット. <http://www.carenet.com/news/general/carenet/47140>

中外ニュースフラッシュ. <http://www.oncoinsight.jp/jlcs2018/>

Medical Tribune. <https://medical-tribune.co.jp/news/2018/1219517463/>

心臓血管外科

Soga Y, Kira H, Ikeda T, Su T, Doi K, Wakamiya M, Nakano A, Himura Y.
Platypnea-orthodeoxia syndrome associated with aortic insufficiency and aortic elongation.
J Card Surg 33(6):313-315(2018年)

Soga Y, Kira H, Wakamiya M, Manabe N, Su T, Doi K, Nakano A, Himura Y
Calcified masses in the inferior vena cava.
Circ J 83(1): 239-240(2018年12月)

洞井和彦、鄒 貴光、吉良浩勝、曾我欣治
大腿深動脈瘤破裂に対する一手術例
日本血管外科学会雑誌 27(5): 347-351(2018年10月)

Soga Y, Taira K, Sugimoto A, Kurosawa M, Kira H, Su T, Doi K, Nakano A, Himura Y
Mitral valve nonbacterial thrombotic endocarditis: a rare multi-surgery-tolerant survivor of Trousseau's syndrome.
Surg Case Rep 4(1): 104(2018年8月)

皮膚科

岡村玲子、井階幸一、塩山久美、澤井孝之
Arthroderma vanbreuseghemii による小児ケルズス禿瘡の1例
日本小児皮膚科学会雑誌 37(2): 108-113 (2018年7月)

産婦人科

Wakinoue S, Chano T, Amano T, Isono T, Kimura F, Kushima R, Murakami T.
ADP-ribosylation factor-like 4C predicts worse prognosis in endometriosis-associated ovarian cancers.
Cancer Biomarkers 24(2):233-229 (2019年)

リハビリテーション技術科

西村圭二
脊柱アライメント異常に対する徒手理学療法アプローチ -側弯症に対するシュロス法の理論と実践-
Society of Clinical Physical Therapy 20:1-8(2019年3月)

西村圭二
脊柱アライメント異常に対する徒手理学療法アプローチ -胸腰椎におけるモビライゼーション・スタビライゼーション-
Society of Clinical Physical Therapy 20:9-19(2019年3月)

Ⅳ－5 学会・研究発表記録

腎臓代謝内科

平井太郎、霍田裕明、上田綾子、上田久巳、田中裕紀、潮正輝、森田善方
糖尿病患者における非糖尿病性腎疾患（NDRD）の診断に関する検討
第61回日本糖尿病学会年次学術集会 平成30年5月24-26日（東京）

潮正輝、霍田裕明、平井太郎、上田綾子、上田久巳、田中裕紀、森田善方
SGLT2 阻害薬（カナグリフロジン、イプラグリフロジン、エンパグリフロジン、トホグリフロジン、ダパグリフロジン）治療の検討
第61回日本糖尿病学会年次学術集会 平成30年5月24-26日（東京）

霍田裕明、平井太郎、上田綾子、上田久巳、田中裕紀、潮正輝、森田善方
慢性腎臓病(CKD)における腎動脈狭窄の検討
第61回日本腎臓学会学術総会 平成30年6月8日（新潟）

森永晃、霍田裕明、廣坂雄介、上田綾子、上田久巳、潮正輝、森田善方
肺胞出血・消化管潰瘍を繰り返し、致死的な経過を辿ったIgA血管炎の一例
第48回日本腎臓学会西部学術大会 平成30年9月29日（徳島）

廣坂雄介、森田善方、潮正輝、上田久巳、島本綾子、霍田裕明
肺非結核性抗酸菌が原因と考えられるAAアミロイドーシスによりネフローゼ症候群を来した一例
第48回日本腎臓学会西部学術大会 平成30年9月29日（徳島）

西田知弘、廣坂雄介、森田善方、潮正輝、上田久巳、島本綾子、霍田裕明
バンコマイシンにピペラシリン・タゾバクタムを追加投与し急性尿細管壊死をきたした一例
第39回滋賀腎・透析研究会 平成30年10月21日（大津）

呼吸器内科

野口哲男
間質性肺炎～開業医と専門医の連携～
湖北医師会学術講演会 平成30年4月26日（長浜）

中川雅登、平山陽子、上林憲司、高木順平、野口哲男、藤本遼
肺病変を伴わない非結核性抗酸菌症による化膿性脊椎炎
第58回日本呼吸器学会学術講演会 平成30年4月27日（大阪）

野口哲男
長浜地区におけるICIのチーム医療の取り組み（NiCE: Nagahama irAE Cooperation Enhancement）
滋賀北部肺がん免疫療法セミナー 平成30年5月10日（米原）

野口哲男

COPDの実践的診療と吸入薬の選び方のコツ

駅西呼吸器疾患-NET 平成30年5月15日（金沢）

野口哲男

吸入指導のロールプレイ

湖北吸入療法病薬連携研究会 平成30年5月24日（長浜）

野口哲男

健康経営と生活習慣病

ヤンマー滋賀地区災害防止協議会 平成30年7月5日（長浜）

野口哲男

長浜地区におけるICIのチーム医療の取り組み

第2回湖北胃がん免疫療法医療連携セミナー 平成30年7月27日（米原）

野口哲男

実用的なirAE対応マニュアルの作成～研修医でも初期対応できる～

Oncology インターネット講演会 平成30年9月21日（長浜）

中川雅登

肺炎についてのさまざまな話題

健康教室 平成30年10月11日（長浜）

野口哲男

リウマチ性疾患にPSL、MTX投与中に起こった肺病変

リウマチ関連領域疾患フォーラム 平成30年10月25日（長浜）

野口哲男

吸入ロールプレイ手順

湖北吸入療法病薬連携研究会 平成30年11月22日（長浜）

野口哲男

広がるICI治療とirAEマネジメントの重要性

湖東・湖北エリアがん免疫療法セミナー 平成30年11月26日（米原）

野口哲男

irAE逆引きマニュアル～ICI治療をもっと身近にするために～

第118回大和免疫・アレルギー研究会 平成30年11月27日（生駒）

中川雅登、平山陽子、上林憲司、高木順平、野口哲男、藤本遼、奥野翔子、田久保康隆

気管食道瘻を呈したものの対照的な経過をたどった肺扁平上皮癌の2症例

第59回日本肺癌学会学術集会 平成30年11月29日（東京）

野口哲男、中川雅登、高木順平、上林憲司、平山陽子、奥野翔子、藤本遼、田久保康隆
症状からの逆引きによるirAEマニュアルの作成
第59回日本肺癌学会学術集会ワークショップ6 平成30年11月30日（東京）

高木順平、平山陽子、上林憲司、藤本遼、奥野翔子、中川雅登、田久保康隆、野口哲男
肺癌化学療法を施行したところむずむず脚症候群(RLS; Restless legs syndrome)を発症した1例
第59回日本肺癌学会学術集会ワークショップ6 平成30年11月30日（東京）

野口哲男
irAE逆引きマニュアル～ICI治療をもっと身近にするために～
免疫療法セミナーin中河内 平成30年12月14日（東大阪）

野口哲男
irAE逆引きマニュアル～ICI治療をもっと身近にするために～
オブジーボ胃癌WEBセミナー 平成30年12月18日（京都）

野口哲男
IPF診療をもっと身近にするために～開業医、一般内科医の関わり～
IPF Web Seminar 平成30年12月21日（京都）

野口哲男
ICI治療の拡がりに対応したirAE対策連携の重要性
第3回湖北胃がん免疫療法医療連携セミナー 平成31年3月18日（米原）

野口哲男
irAE逆引きマニュアル～irAE診療のはじめの一步に！
GI Immuno-Oncology Seminar in Tokyo 平成31年3月19日（東京）

脳神経外科

佐藤岳史
脳卒中後てんかんの診断と治療
彦根Brain Forum 平成30年5月26日（彦根）

佐藤岳史
脳卒中急性期から歩行介助ロボットを使用した経験
第55回日本リハビリテーション医学会学術集会 平成30年6月27日（福岡）

山口卓也、梶谷友基、佐藤岳史
当院におけるHonda歩行アシスト併用リハビリテーションの使用経験と初期成績
滋賀県理学療法士会学術集会 平成30年7月6日（彦根）

山口卓也、梶谷友貴、佐藤岳史、美馬達哉
経頭蓋直流刺激によりPusher 現象改善と座位保持姿勢の安定のみられた2症例
第9回 Stimulation Therapy研究会 in 福井 平成30年8月25日（福井）

佐藤岳史
脳卒中後てんかんの診断と治療
湖北Brain Forum 平成30年10月19日

心臓血管外科

洞井和彦、鄒貴光、吉良浩勝、曾我欣治
両側遺残坐骨動脈に対する1手術例
第46回日本血管外科学会学術総会 平成 30年5月11日（山形）

鄒 貴光、洞井和彦、吉良浩勝、曾我欣治
内臓仮性動脈瘤に VIABAHNを使用して治癒しえた1症例
第125回日本循環器学会近畿地方会 平成30年6月30日（大阪）

吉良浩勝、鄒貴光、洞井和彦、曾我欣治
Zone 0へのtotal debranch TEVAR 後に生じた上行大動脈解離の一例
第54回京滋心臓血管外科研究会 平成30年9月15日（京都）

吉良浩勝、鄒貴光、洞井和彦、國友健生、高島弘行、曾我欣治
心不全を契機に診断された成人大動脈縮窄症の1例
第126回日本循環器学会近畿地方会 平成 30年11月24日（大阪）

吉良浩勝、鄒貴光、洞井和彦、國友健生、高島弘行、曾我欣治
心不全を契機に発見された成人大動脈縮窄症の1例
第1回湖国心臓血管フォーラム 平成30年12月1日（大津）

洞井和彦、鄒貴光、吉良浩勝、曾我欣治
僧帽弁、大動脈弁の二弁置換術20数年後に生じた僧帽弁位PVLの一再手術症例
第55回京滋心臓血管外科研究会 平成31年2月23日（京都）

吉良浩勝、鄒貴光、洞井和彦、曾我欣治
Stanford A 型急性大動脈解離手術後の残存解離に対してTEVARを施行した1例
第33回日本血管外科学会近畿地方会 平成31年3月2日（奈良）

泌尿器科

村元暁文、横川竜生、塚晴俊、村中幸二
当院での尿路結石に対する集学的治療とその検討
第106回日本泌尿器科学会総会 平成30年4月21日（京都）

吹上優介、村元暁文、横川竜生

膀胱癌膣再発の1例

第460回日本泌尿器科学会北陸地方会 平成30年6月23日（金沢）

横川竜生

前立腺癌治療における新規ホルモン剤の使い方と副作用マネジメント

長浜市前立腺癌勉強会 平成30年9月26日（長浜）

横川竜生

前立腺がんの死亡率減少のためのPSA検診の意義

超高齢時代における前立腺がんとう糖尿病診療 Up to Date 平成30年9月27日（長浜）

吹上優介、村元暁文、横川竜生

下腹壁動脈損傷に対する動脈塞栓術により右精巣区域梗塞が生じた1例

第68回日本泌尿器科学会中部総会 平成30年10月5日（名古屋）

村元暁文、吹上優介、横川竜生

TULにおける術前CTによる尿管狭窄での手術可否予測の検討

第68回日本泌尿器科学会中部総会 平成30年10月5日（名古屋）

横川竜生、吹上優介、村元暁文

市立長浜病院における腎結石に対するECIRSの初期経験

第68回日本泌尿器科学会中部総会 平成30年10月5日（名古屋）

村元暁文、吹上優介、横川竜生

当院におけるECIRSの初期経験

第35回滋賀泌尿器科集談会 平成30年11月10日（草津）

村元暁文、吹上優介、横川竜生

当院でのTULにおける緊急手術症例の検討

第32回日本泌尿器内視鏡学会総会 平成30年11月27日（仙台）

村元暁文、吹上優介、横川竜生

会陰部皮膚デブリドマン後に陰圧吸引療法が奏効した2例

第463回日本泌尿器科学会北陸地方会 平成31年3月23日（金沢）

産婦人科

上村真央、高橋顕雅、北澤純、林嘉彦

胸水貯留を認めた卵巣腫瘍症例についての検討

第70回日本産科婦人科学会 平成30年5月13日（仙台）

上村真央、高橋顕雅、北澤純、西野万由美、岡本明子、宮元伸篤、新川由基、黒澤学
外陰部 adenocarcinoma of mammary gland type の一例
第59回日本臨床細胞学会 平成30年6月2日（札幌）

上村真央、高橋顕雅、北澤純、脇ノ上史朗、林嘉彦
当科における外陰部悪性腫瘍の治療実態に関する後方視的検討
第138回近畿産科婦人科学会 平成30年6月10日（大阪）

林嘉彦：座長
平成30年度第1回滋賀県産婦人科医会学術研修会 平成30年6月17日（大津）

渡辺智之、上村真央、脇ノ上史朗、林嘉彦
当院で最近経験した稀少部位子宮内膜症の5例
2018年第1回滋賀県産科婦人科医会学術研修会 平成30年6月17日（大津）

上村真央、高橋顕雅、渡辺智之、北澤純、脇ノ上史朗、林嘉彦
腹腔鏡下手術を施行し傍卵管囊腫による卵管卵管捻転を診断・治療し得た1例
第58回日本産科婦人科内視鏡学会 平成30年8月4日（松江）

上村真央、高橋顕雅、北澤純、脇ノ上史朗、林嘉彦、山岸美紀
当院におけるHBOCカウンセリングの現状
第139回近畿産科婦人科学会 平成30年10月7日（大阪）

林嘉彦：学術集会長
第28回滋賀県母性衛生学会学術集会 平成31年2月23日（長浜）

耳鼻咽喉科

中村圭吾、堀井翔平、糟谷憲邦、大脇成広、清水猛史
頸神経ワナに生じた顆粒細胞腫例
第132回日耳鼻京滋合同地方部会 平成31年3月16日（大津）

麻酔科

嶋田文彦
準緊急大腿骨頸部骨折人工骨頭置換術後に肺梗塞合併の判明した1例
日本臨床麻酔学会第38回大会 平成30年11月2日（小倉）

集中治療部

山本徹
ICUでのJ-PADガイドラインに沿ったプロトコール実施に向けた痛み・不穏・せん妄スケールの現状調査
第46回日本集中治療学会学術集会 平成31年3月1－3日（京都）

放射線治療

伏木雅人

前立腺がん放射線治療アップデート

第9回湖北前立腺がんワークショップ 総合司会、座長 平成29年7月14日（長浜）

藤井康太、伏木雅人、川上正邦、田邊啓太、辻雅之、西村正明、安永敏美、村上義和
当施設における前立腺癌根治照射の評価（第一報）

第44回京都放射線腫瘍研究会 平成29年9月30日（京都）

伏木雅人

自分で選ぶがん治療、放射線治療を選択肢に

平成29年 市民のためのがん治療の会 滋賀県支部講演会 平成29年10月1日（長浜）

伏木雅人、井上佳代、阿原美佳、楠井隆、松井善典、新川君代、堀一郎、藤田一弥
Future direction and aspect of cancer education in junior high school-at Nagahama City-

第30回日本放射線腫瘍学会 平成29年11月18日（大阪）

ワークショップ 座長

「地域がん医療への貢献」

第30回日本放射線腫瘍学会 平成29年11月18日（大阪）

伏木雅人

納得出来る人生を送るために－がん患者さんとともに歩んで－

平成29年度淡海文化講座 講師 平成29年11月25日（大津）

伏木雅人

第22回湖北緩和ケア・在宅医療研究会 総合司会 平成30年1月17日

伏木雅人

前立腺癌における放射線治療

平成29年度 第3回滋賀県放射線技術学会学術研修会 平成30年1月27日（大津）

伏木雅人

治療法の選択－患者側の観点から

第9回滋賀県がん医療フォーラム 座長 平成30年2月18日（大津）

伏木雅人

第22回湖北緩和ケア・在宅医療研究会 総合司会・座長 平成30年4月19日（長浜）

伏木雅人

湖北緩和ケアセミナー 座長 平成30年6月21日（長浜）

伏木雅人

湖北緩和ケア・在宅医療研究会 総合司会・座長 平成30年7月25日（長浜）

伏木雅人、松尾幸憲、川上正邦、田邊啓太、辻雅之、西村正明、安永敏美、村上義和
当院における肺SBRTの初期成績

第46回京都放射線腫瘍研究会 平成30年9月1日（京都）

伏木雅人

切らずに治る放射線治療

東近江市五個荘五井田町自治会人権学習 平成30年10月6日（東近江）

伏木雅人、杉山達哉、入江桃好、川上正邦、西村正明、辻雅之、田邊啓太
認知症患者における放射線治療－臨床医の立場から－

日本放射線腫瘍学会第31回学術大会 平成30年10月10日～13日（京都）

野崎安美、伏木雅人、藤井登、藤原哲男、田久保康隆、荒居きよみ、宮部秀子、早野紀子、
前田三津子、花木宏治

よりよいがん治療をめざす湖北の会活動報告－出前講座とがん教育を中心に－

第56回日本癌治療学会学術集会 平成30年10月19日～20日（横浜）

伏木雅人

第10回滋賀県がん医療フォーラム 第3部 特別講演 座長 平成31年1月27日（大津）

伏木雅人、松尾幸憲

肛門管癌化学放射線療法後の左鼠径部再々発

第47回京都放射線腫瘍研究会 平成31年3月9日（京都）

歯科口腔外科

北本幸恵、太田舞、杉藤雅孝、家森正志

下顎に生じた腺様歯源性腫瘍の1例

第114回日本口腔外科学会近畿支部学術集会 平成30年6月23日（大阪）

杉藤雅孝、佐藤舞、北本幸恵、家森正志

当院における肺癌の骨転移に対してデノスマブ使用した患者についての臨床的検討

第63回日本口腔外科学会総会・学術大会 平成30年11月4日（千葉）

薬剤科

西増春佳、竹越靖晃、高山直樹、大岡千寿子、野淵孝二、神田雄史

腎機能低下患者へのSGLT2阻害薬の使用状況調査

第12回日本腎臓病薬物療法学会2018 平成30年10月20～21日（浜松）

竹越靖晃、西増春佳、高山直樹、大岡千寿子、野洵孝二、神田雄史
整形外科病棟入院患者に対する腎機能評価とG4以上のNSAIDs処方患者への取り組み
第12回日本腎臓病薬物療法学会2018 平成30年10月20～21日（浜松）

安田将樹、中村俊之、高山直樹、大岡千寿子、野洵孝二、神田雄史
当院呼吸器科におけるペメトレキセドの維持療法に関する調査研究
第28回日本医療薬学会年会 平成30年11月23～25日（神戸）

西嶋友梨、野洵孝二、大岡千寿子、中村俊之、高山直樹、神田雄史
当院の抗がん剤残液廃棄に関する現状調査
第28回日本医療薬学会年会 平成30年11月23～25日（神戸）

古山英孝、高山直樹、大岡千寿子、野洵孝二、神田雄史
ハートケアチームにおける薬剤師の関わり
第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会 平成31年1月19～20日（奈良）

西増春佳、高山直樹、大岡千寿子、野洵孝二、神田雄史
腎機能低下患者へのSGLT-2阻害薬の使用状況調査
第40回日本病院薬剤師会近畿学術大会 平成31年1月19～20日（奈良）

高山直樹、井階幸一、潮正輝、中川太郎、赤尾真樹子、田中祐輔、伊吹英代、川島和彦
胃がんStage4に対してがん薬物療法認定薬剤師とNST専門療法士薬剤師による腫瘍崩壊症候群(TLS)対策の1症例
第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会 平成31年2月14～15日（東京）

栄養科

古株陽子
ちょっとした工夫で長続きする糖尿病の食事療法
平成30年度「世界腎臓デー」市民公開講座 平成31年3月3日（長浜）

臨床工学技術科

草野信悟
間質性肺炎急性増悪にPMX-DHPを使用した症例検討
第24回滋賀急性血液浄化セミナー 平成30年7月29日（草津）

放射線技術科

村澤優樹、辻雅之、古山忠宏
当院における全脊椎・下肢全長撮影専用FPD装置「CALNEO GL」の導入による患者スルー時間の向上
平成30年度（公社）滋賀県放射線技師会第32回学術研究発表会 平成30年5月27日（大津）

辻雅之、宮川孝史、木村拓美、古山忠宏、村上義和

Comparison of image quality in MR imaging between Ankle coil and other coils for MRI examination of ankle joint

第34回日本診療放射線技師会学術大会 平成30年9月22日（下関）

木村拓美、宮川孝史、辻雅之、北川徹、嶋津美和子、前川 涼、古山忠宏、 村上義和
3D-VIBEを用いた頭部造影検査の有用性

第34回日本放射線技師学術大会 平成30年9月23日（山口）

川上正邦、伊良皆拓、平島英明、伏木雅人

呼吸停止下CBCTの息止め位置誤差が画質に与える影響

日本放射線腫瘍学会第31回学術大会、平成30年10月12日（京都）

木村拓美

医療安全（院内感染）

2018年度第2回学術研修会 平成30年11月11日（彦根）

リハビリテーション技術科

川瀬智隆、梶谷友基、山口卓也、佐藤岳史、小室太郎

当院での短期入院型生活期リハビリテーション治療が有効であった脳梗塞後遺症患者の一例

第55回日本リハビリテーション医学会学術集会 平成30年6月28日（福岡）

梶谷友基、山口卓也、川瀬智隆、佐藤岳史、美馬達哉

経頭蓋直流電気刺激によりPusher現象及び座位姿勢の改善を認めた症例

第33回滋賀県理学療法学術集会 平成30年7月8日（彦根）

西村圭二

臨床でのデータ収集、活用について

第33回滋賀県理学療法学術集会 平成30年7月8日（彦根）

川瀬智隆、清水悠、石橋孝、富田悠、阪東美加、田附容子、佐藤岳史、小室太郎

当院の脳卒中ケアユニットにおける心原性脳塞栓症患者の特徴

第24回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 平成30年7月14日（横浜）

石橋孝、川瀬智隆、清水悠、浅井麻未、上松晃子、杉村隆幸、肥後洋祐

当院の外来心臓リハビリテーション（外来心リハ）終了患者における腎機能の検討

第24回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 平成30年7月14日（横浜）

川瀬智隆、清水悠、石橋孝、杉村隆幸、肥後洋祐

当院、ハートケアチームにおける作業療法士の役割-ミトコンドリア心筋症患者に対するチームでの関わりを通して

第52回日本作業療法学会 平成30年9月7日（名古屋）

田中武也、川瀬智隆、山口卓也、佐藤岳史
経頭蓋直流電気刺激と作業療法の併用が有効であった被殻出血後片麻痺患者の一例
第52回日本作業療学会 平成30年9月7日（名古屋）

田邊信彦、持田純至、藤田侑子、中川寛一、中川円香、大野暢宏
総義歯装着の有無が嚥下機能に影響を与えた脳梗塞症の一例
第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 平成30年9月9日（仙台）

西村圭二、田中淳、杉本正幸
人工股関節全置換術後に骨折を呈した骨粗鬆症患者に対する骨粗鬆症マネージャーとしての
関わり方
第6回日本運動器理学療法学術大会 平成30年12月15日（福岡）

中央検査技術科

宮元伸篤、新川由基、岡本明子、西野万由美、古賀一也、黒澤学、沢田眞治
CLL／SLLを推定できた頭蓋骨腫瘍の一例 ～標本作製を中心に～
第27回日本医学検査学会 平成30年5月12～13日（浜松）

宮元伸篤、新川由基、岡本明子、西野万由美、古賀一也、黒澤学、沢田眞治
TTF-1陽性大腸癌肺転移の1例
滋賀県臨床細胞学会平成30年度第1回疑問症例検討会 平成30年10月13日（長浜）

笠井晴生、三上はづき、堀田実花、柴田直子、新川由基
異常ヘモグロビンが原因でHbA1cの測定が困難であった一例
第41回滋賀医学検査学会 平成31年2月24日（長浜）

西野万由美、新川由基、宮元伸篤、岡本明子、古賀一也、黒澤学、沢田眞治
唾液腺多形腺腫由来癌の一例
第41回滋賀県医学検査学会 平成31年2月24日（長浜）

歯科眼科技術室

澤田園、新田朋美、小江夏央里、北川由貴
院内連携によるロービジョン対応食器の導入
第27回視覚障害リハビリテーション研究発表大会 平成30年9月17日（神戸）

箕浦麻貴、北本幸恵、佐藤舞、杉藤雅孝、長谷川博美、近藤定彦
口腔内に多発性のびらんを認めたスティーブンス・ジョンソン症候群の1症例
第35回(公社)滋賀歯学会 平成31年3月24日（大津）

看護局

中村寛子、藤本智美

クリニカルラダーにおける感染管理教育の再構築

第7回日本感染管理ネットワーク学術集会 平成30年5月25～26日（仙台）

平井義一

手術室看護師外来システム構築における評価と課題

第5回日本手術看護学会 平成30年7月14日（大津）

種田美穂

手術決定時から退院までを見据えた看護展開を目指して

平成30年度固定チームナーシング全国研究集会 平成30年9月15日（神戸）

平山知沙、阪東美加、清水美佳、森鈴子、林美希

受診遅延脳梗塞患者の発症から受診に至るまでの認識と行動

第57回全国自治体病院学会 平成30年10月18～19日（福島）

河野真弓

当院における、免疫チェックポイント阻害薬導入体制構築に対する取り組み

第56回日本癌治療学会学術集会 平成30年10月19日（横浜）

杉村隆幸

心不全患者のエンドオブライフケア～明日から実践できる症状緩和に対するケアを考える～

第15回日本循環器看護学会学術集会 平成30年10月27日（大阪）

杉村隆幸

訪問看護の回数を減らしたいと話した心不全患者に対する在宅療養支援

～訪問看護との同行訪問を通じ慢性心不全看護認定看護師が担う役割～

第29回日本在宅医療学会学術集会 平成30年11月3日（横浜）

名内あつみ、若松希、中村和世、大野麻里、小林愛、畠田陽子

体位変換の体験型オリエンテーションを取り入れた婦人科疾患腹腔鏡下手術患者の術後腰痛の緩和

第23回滋賀県看護学会 平成30年12月12日（大津）

牧野茜

受け持ち看護師として主体性を高めるための固定リーダーの役割

日本医療マネジメント学会第16回京滋支部学術集会 平成31年2月16日（京都）

吉田早希

A病院における手術中のゴーグル着用調査～実態調査・アンケート調査から明らかになったこと～

日本医療マネジメント学会第16回京滋支部学術集会 平成31年2月16日（京都）

北村健宏

回復期リハビリテーション病棟での介護士患者担当基準作成への取り組み

回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会in舞浜 平成31年2月21日（千葉）

山田和幸、勝木陽子、林ちよ子

血管撮影室の電子カルテ導入の取り組み

第19回IVR看護研究会 平成31年3月16日（東京）

医療安全管理室

近藤昭仁、塚口昌文、新田朋美、次郎内圭子、山田耕士、藤本とき江、烏脇富子、曾我欣治

演習ガイドによるSBAR報告事例演習活動と推進者の育成について

第13回医療の質・安全学会学術集会 平成30年11月24～25日（名古屋）

IV－6 講習会／研修会への取り組み

1. 患者さん・市民を対象にしたもの

健康教室

婦人科化学療法患者会「ももの会」（担当：4階東病棟）

今年も患者に声をかけたが、参加希望者の都合が合わず開催に至らなかった。

患者同士ふれ合う中で、告知を受けた時の思いや病気と生活の話、治療の辛さ、不安などを共有してもらうことができた。我々スタッフもそのような患者の思いを聞くことができ、貴重な会であった。がん患者は常に再発に対する不安があるため、入院中や治療中の患者だけではなく、その後のフォローとして、何かあった時の相談先を明確にすることで不安の軽減にもつながることが会の中で改めて分かった。しかし、最近は患者同士がSNSなどを使って情報交換をされ、不安の共感などをされている状況であるとやがん相談支援センター担当者、各認定看護師による介入があり、不安なことや心配なことに対応して頂ける環境がある。

日時：3ヶ月に1回程度 土曜日 14時～16時

場所：講義室にて実施

妊婦教室（担当：4階東病棟助産師）

本院受診中の妊婦を対象に、妊娠中の生活や出産準備について助産師が説明します。

日時：第1水曜日 13時より約3時間 妊娠前期（妊娠8～11週対象）

第2・4水曜日 13時より約3時間 妊娠後期（妊娠28週頃対象）

場所：当院本館2階 講義室

平成30年度参加者 前期 34名 後期 43名

育児教室（担当：4階東病棟助産師）

本院で出産予定の妊婦とその夫を対象に、出産の流れや入院後の過ごし方を説明し、分娩入院の際のイメージをつけることを目的に助産師が説明します。また、沐浴体験やご主人の妊婦体験なども行っています。

月2回実施 1回につき、6組のご夫婦を対象とし、産婦人科外来にての予約制

日時：第3水曜日 第3土曜日 13時より約3時間

妊娠後期（妊娠28週以降対象）

場所：当院本館2階 講義室

平成30年度参加者 33組

糖尿病患者会「いぶき会」（担当：内科外来）

会員数：9名

* 当院いぶき会は、平成29年8月をもって日本糖尿病協会（滋賀県支部）から脱退した。

以降は『市立長浜病院 いぶき会』として継続。年会費の徴収はないが、必要経費や参加費に関しては、その都度回収となる。

1. 運動療法研修会：平成30年11月10日（土）10時～12時

場 所：当院本館1階 リハビリテーション室

内 容：体力測定、理学療法士による運動療法の講義、体操とストレッチの実施など

参加者：15名（会員3名、非会員6名、スタッフ6名）

2. 食事療法研修会：平成31年2月23日（土）11時半～13時

場 所：長浜市勝町 『夢ものがたり』

内 容：管理栄養士から本日の献立内容とカロリーの説明、自己紹介、歓談しながら
食事開始、管理栄養士からのクイズ出題、その後、答え合わせと解説

参加者：10名（会員2名、非会員3名、スタッフ5名）

糖尿病教室（担当：腎臓代謝内科医師・7西病棟スタッフ・内科外来・薬剤局・栄養科（栄養士） ・リハビリテーション技術科）

各専門分野別に担当者が、糖尿病の病態・治療・予防についてパンフレットを用いてわかりやすく説明を行い、知識を深めてもらっています。また、日常生活の注意点・フットケアも含めた生活管理指導も行っています。

対象：外来通院、入院中の糖尿病患者及びその家族、また、糖尿病に興味のある方

日時：毎週第1～第4火曜日 13時～14時30分

第1・3火曜日：医師・看護師 第2・4火曜日：リハビリ・栄養士・薬剤師

場所：当院本館2階 講義室

年間参加者：114名

オストメイトの会「ひまわり会」

通常総会

日時：平成30年6月30日（土）10時～12時

場所：当院本館2階 講堂

内容：平成29年度事業報告、決算報告

平成30年度事業計画案、予算案

皮膚・排泄ケア認定看護師によるストーマ勉強会

広報ながはま（毎月１日号）

～市立病院通信～

掲載年月	題 名	診療科他	医師名他
平成30年４月	パーキンソン病に対する深部脳刺激療法	脳神経外科	佐藤 岳央
平成30年６月	湖北地域の産婦人科医療に貢献します	産婦人科	林 嘉彦・脇ノ上史朗 渡辺 智之・上村 真央
平成30年７月	湖北がんフォーラム2018	がん対策推進室	—
平成30年８月	大動脈瘤について	心臓血管外科	吉良 浩勝
平成30年９月	「非結核性抗菌症」という病気について	呼吸器内科	上林 憲司
平成30年10月	ホスピス緩和ケア週間展示イベントを開催します	がん対策推進室	—
平成30年12月	放射線治療を選択肢に	放射線治療センター	伏木 雅人
平成31年１月	呼吸器疾患の最新治療 (ゲノム時代の肺がん治療について)	呼吸器外科	田久保康隆
平成31年２月	「滋賀県がんと向き合う週間」	がん対策推進室	—
平成31年３月	まぶたが下がって見にくいと感じることはありませんか	形成外科	藤林 久輝

中日新聞

“お元気ですか”

- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| 1) なおそう足腰の痛み～めざせ健康長寿!～
日野根翔 整形外科 | 平成30年 4月 4日 |
| 2) 乳がんと食生活
東出俊一 外科 | 平成30年 5月 9日 |
| 3) リューマチと膠原病
梅原久範 リューマチ・膠原病内科 | 平成30年 6月27日 |
| 4) 糖尿病と腎臓
森田善方 腎臓代謝内科 | 平成30年 8月 1日 |
| 5) 脳卒中を発病させる要因について
小室太郎 脳神経外科 | 平成30年 9月12日 |
| 6) 下肢静脈瘤の最新治療
洞井和彦 心臓血管外科 | 平成30年11月18日 |
| 7) 胃食道逆流と胸焼け
今枝広丞 消化器内科 | 平成31年 1月20日 |
| 8) 胃がんとノーベル賞
川島和彦 外科 | 平成31年 3月10日 |
| 9) がん治療に放射線治療は如何ですか!
伏木雅人 放射線治療科 | 平成31年 3月17日 |

がん対策推進室

* 湖北がんフォーラム2018

平成30年 7月22日 「湖北でできる最新のがん診療」 335名
 ※詳細は主要事業の概要をご覧ください。

* がん教育

平成30年 5月12日 長浜市立木之本中学校1～3年生 150名
 講師：がん対策推進室管理監 伏木 雅人
 平成30年 7月10日 長浜市立南中学校3年生 111名
 講師：がん対策推進室管理監 伏木 雅人
 平成30年 7月17日 甲良町立甲良中学校3年生 70名
 講師：がん対策推進室管理監 伏木 雅人
 平成30年 11月15日 長浜市立浅井中学校2年生 162名
 講師：がん対策推進室副管理監 田久保 康隆
 平成30年 11月15日 米原市立伊吹山中学校1～3年生 151名
 講師：がん対策推進室管理監 伏木 雅人
 平成31年 1月25日 長浜市立北中学校2年生 227名
 講師：がん対策推進室管理監 伏木 雅人
 平成31年 2月 7日 長浜市立湖北中学校1年生 88名
 講師：がん対策推進室副管理監 田久保 康隆
 平成31年 2月28日 長浜市立西中学校2年生 159名
 講師：がん対策推進室副管理監 田久保 康隆
 平成31年 3月14日 長浜市立東中学校1年生 80名
 講師：がん対策推進室管理監 伏木 雅人
 平成31年 3月14日 長浜市立余呉小中学校7年生 17名
 講師：がん対策推進室副管理監 田久保 康隆

* 出前講座

平成30年9月8日 木之本地区地域づくり協議会 62名
 「本当は怖くないがんのお話」
 講師：がん対策推進室管理監 伏木 雅人
 平成30年9月12日 サロンよほろの 50名
 「がんとうまくつきあうためには」
 講師：がん対策推進室 がん看護専門看護師 山岸 美紀
 平成30年10月30日 特別養護老人ホーム青芳 16名
 「納得できる人生をおくるために」
 講師：がん対策推進室管理監 伏木 雅人
 平成30年11月13日 JA北びわこ農業協同組合・（有）セイファ2法人合同研修 8名
 「がん終末期の対応について」
 講師：訪問看護ステーション がん性疼痛看護認定看護師 河野 智一

*** 公開教室・個別相談会**

テーマ	開催回数	参加者
頭皮ケアとウィッグ	3回	6名
リンパ浮腫	2回	13名
ケア帽子製作	1回	2名
前立腺の放射線治療	1回	8名
社会保険労務士個別相談会	1回	2名
リラクセーション	1回	9名
がんの痛みについて	1回	11名
まわりの人にどう伝えるか	1回	17名
アピアランス個別相談会	1回	1名
抗がん剤の副作用について	1回	27名

*** 治療と仕事との両立に関する個別相談会**

毎月1回開催 参加者：14名

*** 心のケアを考える会**

平成30年 6月10日 参加者：23名、平成30年12月 9日 参加者：30名

*** あけぼのハウス**

平成30年 8月 9日 参加者：21名

*** 2018年ホスピス緩和ケア週間・展示イベント [世界ホスピス緩和ケアデー:10/13]**

平成30年 10月12日（金）（当院 正面玄関ホール）

*** 滋賀県がんと向き合う週間・展示イベント/相談窓口設置 [滋賀県がんと向き合う週間：2/4～2/10]**

平成31年 2月 4日（月）～ 2月 8日（金）（当院 正面玄関ホール）

*** がんを知ろう展示会（主催：長浜市）**

平成31年 2月 2日（土）～ 2月12日（火）（長浜市立高月図書館）

2. 医療従事者・地域開業医を対象にした研修

がん対策推進室

* 滋賀県緩和ケア研修会

修了者：13名

平成30年11月11日 企画責任者：田久保 康隆・横川 竜生

* 平成30年度第1回緩和ケア講演会

平成31年 2月 7日（木）

70名

「心の発達とコミュニケーション」 講師：市立長浜病院 臨床心理士 金武 李佳

* 化学療法研修会

平成30年12月 6日（木）

66名

「経口がん薬物療法薬について～乳癌を中心に～」

講師：大阪大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学 吉波 哲大 先生

* 医科歯科連携に関する研修会

平成31年1月10日（木）

81名

講演「地域で嚥下障害をみる～嚥下評価・食事介助・口腔ケアの方法について～」

講師：市立長浜病院 言語聴覚士 田邊 信彦

市立長浜病院 歯科衛生士 長谷川 博美

* がん看護研修

平成31年3月16日（土）「移行期ケア（トランジショナル・ケア）」

受講者: 9名

内 容	講 師
最近の移行期ケアの考え方について（概論）	市立長浜病院 がん看護専門看護師 山岸 美紀
患者の力を高める関わりについて（概論）	彦根市立病院 老年看護専門看護師 藤井 裕子
セルフケア支援 ～CN活動からの報告	市立長浜病院 がん放射線療法看護認定看護師 入江 桃好
明日から自部署でできることは	市立長浜病院 がん看護専門看護師 山岸 美紀

地域医療連携室

* 開放型病床生涯教育研修会・医療従事者研修

開催日時	演者	参加者数
平成30年 6月 7日	当院 皮膚・排泄ケア認定看護師：笠原 みすず 「スキナーケア ～皮膚の裂傷の予防と管理～」	70名
平成30年 7月 5日	愛生会山科病院 消化器外科部長 京滋摂食嚥下を考える会代表 荒金 英樹 先生 「地域包括ケアを目指した栄養サポート～京都の試み～」	105名
平成30年 8月 9日	当院 腎臓代謝内科責任部長 森田 善方 先生 泌尿器科責任部長 横川 竜生 先生 「血尿の見方～腎臓代謝内科、泌尿器科それぞれの視点から～」	131名
平成30年 9月 6日	大津赤十字病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 日下部 桐子 先生 「脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が考える排泄ケア」	57名
平成30年10月 4日	当院 呼吸器内科責任部長 野口 哲男 先生 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 山口 清香 「在宅酸素療法～スムーズな導入,継続のために～」	81名
平成30年11月10日	滋賀医科大学 消化器内科 教授 安藤 朗 先生 「腸内細菌と健康の関わり」	131名
平成30年12月 6日	大阪大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学講座 吉波 哲大 先生 「経口抗がん剤のマネジメント～乳がんを中心に～」	66名
平成31年 1月10日	当院 リハビリテーション技術科 田邊 信彦（言語聴覚士） 歯科・眼科技術室 長谷川 博美（歯科衛生士） 「地域で嚥下障害をみる～嚥下評価・食事介助・口腔ケアの方法について～」	81名
平成31年 2月 7日	当院 臨床心理士 金武 李佳 先生 「心の発達とコミュニケーション」	73名
平成31年 3月 7日	当院 消化器内科 責任部長 今枝 広丞 先生 「炎症性腸疾患における生物学的製剤の血中濃度について」	58名

診療局 CPC

開催日時	演者	参加者数
平成30年 6月21日	臨床研修医 森永 晃史 先生 「直腸癌術後の骨盤腔内腫瘍の1例」	17名
平成30年11月 8日	臨床研修医 北野 英 先生 「急性呼吸不全の1例」	18名
平成30年11月15日	臨床研修医 藤原 直樹 先生 「肝腫瘍の1例」	15名
平成30年12月 4日	臨床研修医 森永 晃史 先生 「急性心筋梗塞後に重症心不全に陥り、腎不全と感染症をきたした一例」	15名
平成30年12月13日	臨床研修医 梶野 真由果 先生 「急性経過を示したCOPD合併インフルエンザ感染症の1例」	15名
平成31年 1月17日	臨床研修医 田中 葵 先生 「広範な浸潤影を示した肺腺癌」	17名
平成31年 2月28日	臨床研修医 西田 知弘 先生 「長期生存したⅣ期肺癌の一例」	17名

IV－7 委員会の状況

院内委員会組織図

平成30年度

病院事業管理部
健診センター
薬剤科

臨床工学技術科

栄養科

放射線技術科

中央検査技術科

リハビリテーション技術科

歯科・歯科口腔外科

看護局

中央手術室

総務課

病院事業運営調整会議
健診センター管理運営委員会
薬事委員会
医薬品安全管理委員会
レジメン登録審査委員会（がん対策：化学療法委員会）

医療機器安全管理委員会
呼吸ケアサポートチーム（RST委員会）
透析機器安全管理委員会

栄養委員会
N S T 委員会

放射線安全委員会
放射線治療品質保証委員会

臨床検査運営委員会
輸血療法委員会

嚥下委員会

歯科口腔外科医療関連感染防止対策委員会

認知症対策委員会
ハートケアチーム委員会

中央手術室運営委員会

病院運営会議
診療局運営会議
企画運営会議
運営協議会
大規模災害等対策計画策定合同会議
職員研修委員会
人権対策推進委員会
合同・臨床研修委員会
プログラム委員会
職員安全衛生委員会
集中治療室運営委員会
診療業務等役割分担推進委員会
治験審査委員会
医療ガス安全管理委員会
防火・防災管理委員会

病院管理運営会議
コメディカル連絡会議
改革プラン推進会議
医療評価委員会
クリニカルパス・IC専門部会
倫理委員会
I T 推進会議
情報セキュリティ専門委員会
長浜市病院事業改革プラン評価委員会
医療機器等選定委員会
S P D 運営委員会
契約審査委員会
放射線治療装置更新検討委員会

未収金対策検討委員会
救急体制検討委員会
救急運営委員会
救急救命士・消防士等病院実習カリキュラム委員会
救急症例検討委員会

診療情報・図書室管理運営委員会
院内がん登録委員会
D P C 委員会

医療安全管理委員会
医療安全対策委員会
感染管理委員会
感染対策担当者会議
内部事故調査委員会

病床管理会議
開放型病床運営委員会
回復期リハビリテーション病棟運営委員会
回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会
褥瘡対策委員会
地域医療連携委員会

湖北保健医療圏地域がん予防診療推進協議会
がん対策推進委員会
緩和ケア推進委員会
化学療法委員会（小委員会は薬剤科）

野 田 秀 樹

野 口 哲 男

神 田 雄 史
野 淵 孝 二
東 出 俊 一

辻 克 信
中 川 雅 登
森 田 善 方

森 田 善 方
潮 正 輝

伏 木 雅 人
伏 木 雅 人

小 室 太 郎
吉 良 浩 勝

北 本 幸 恵

近 藤 定 彦

小 川 雅 文
杉 村 隆 幸

林 嘉 彦

-
-
-
-
東 出 俊 一
神 田 雄 史
神 田 雄 史
梅 原 久 範
梅 原 久 範
嶋 田 文 彦
嶋 田 文 彦
林 嘉 彦
林 嘉 彦
柳 田 豊 伸
廣 瀬 伸 次

副 院 長
藤 居 敏
神 田 雄 史
嶋 田 文 彦
清水 久 雄
嶋 田 文 彦
神 田 雄 史
東 出 俊 一
-
嶋 田 文 彦
小 室 太 郎
嶋 田 文 彦
嶋 田 文 彦

嶋 田 文 彦
東 出 俊 一
東 出 俊 一
嶋 田 文 彦
東 出 俊 一

平 良 薫
平 良 薫
嶋 田 文 彦

曾 我 欣 治
曾 我 欣 治
大 野 暢 宏
大 野 暢 宏
神 田 雄 史

-
神 田 雄 史
江 藤 謹 司
江 藤 謹 司
藤 林 久 輝
神 田 雄 史

神 田 雄 史
伏 木 雅 人
田 久 保 康 隆
東 出 俊 一

院内設置会議

会 議 名	設 置 目 的	事務局
病院運営会議	病院運営の基本方針に係る病院事業管理者及び院長の意思決定に必要な事項の協議を行い、もって各部局間の総合的な調整と病院の円滑な運営を図るため	総務課
診療局運営会議	病院の経営・運営に関する重要な事項について審議を行うとともに、診療局幹部の経営参画を促すため	総務部
企画運営会議	病院の運営に関する重要な課題について審議を行うとともに、病院幹部の意思の疎通を図るため	総務課
運営協議会	病院の運営について、広く意見を求め、住民のニーズに添った病院運営に努めるとともに、相互理解を深め、地域の基幹病院として地元に根ざした病院事業を推進するため	総務課
病院管理運営会議	病院の経営の安定とスムーズな運用を目指し、病棟・外来の管理運営等について協議検討するため	経企
コメディカル連絡会議	院内のコメディカル間の連携を密にし、円滑な運用を図るため	経企
改革プラン推進会議	改革プランの着実な実行と進捗管理を行うため会議の開催に必要な事項を定める	経企
病床管理会議	市立長浜病院における一般病棟入院患者の療養病棟、地域包括ケア病棟又は回復期病棟への転棟、療養病棟等へのレスパイト等の入院に関して必要事項を定め、療養病棟等及び回復期病棟の活用による病床利用率の向上を図ること	地域医療
病院事業運営調整会議	長浜市病院事業の適正かつ円滑な推進と運営を図るため	事業管理部

院内設置委員会

会 議 名	設 置 目 的	事務局
健診センター管理運営委員会	健診センターの管理運営について、適正な執行を図るため	健診
化学療法委員会	化学療法を安全に実施する体制等の整備を図るとともに、化学療法に用いる抗悪性腫瘍剤（化学療法薬、ホルモン剤、分子標的治療剤など）の適正使用に関する評価、院内外での安全な施行を推進するための教育及び啓発活動を行うこと	がん対策
レジメン登録審査委員会	院内で実施される化学療法のレジメン（治療内容）の安全性及び妥当性についての評価、承認、削除及び運用に関する事項を審議すること	薬剤
薬事委員会	病院の薬剤に関する基本方針を定め、その方針に従い院内薬剤業務を円滑に遂行するため	薬剤
医薬品安全管理委員会	病院で使用される医薬品に係る安全管理体制の確保を図るため	薬剤
医療機器安全管理委員会	病院で使用される医療機器に係る安全管理体制の確保を図るため	臨床工学
呼吸ケアサポートチーム（RST）委員会	市立長浜病院で使用される人工呼吸器などの呼吸療法に係る安全管理体制の確保を図るため、また、医療の質向上を図るため	臨床工学
透析機器安全管理委員会	病院で使用される透析装置および透析液水質にかかる安全管理体制の確保を図るため	臨床工学
栄養委員会	病院における給食及び栄養業務を合理的かつ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、もって栄養業務の向上、改善を図ることを目的とする	栄養
N S T 委員会	患者の栄養状態を管理するため、N S T（栄養サポートチーム）を結成し、著しく栄養状態が悪い患者に適切な栄養療法を選択し実施することにより栄養状態の改善を図り、治療効果を高め、感染症、褥瘡等の予防及び在院日数の短縮や医療費の削減等に貢献し、患者の生活の質の向上を図るため	栄養
放射線安全委員会	職員の放射線被爆防止、健康ならびに放射線発生装置に関する諸事項を検討し、これらの事故防止対策にかかる必要な事項を企画審議するため	放射線
放射線治療品質保証委員会	放射線治療における安全の向上、並びに品質管理及び保証又、職員の教育・研修に関する諸事情を検討し、必要な事項を企画審議するため	放射線
臨床検査運営委員会	臨床検査の適正化、検査機器の精度管理、検査業務の円滑化、効率化を図る	中検
輸血療法委員会	輸血療法を安全かつ適正に遂行するため	中検

会 議 名	設 置 目 的	事務局
嚥下委員会	患者の摂食嚥下機能と栄養状態の改善を図り、誤嚥を予防し、在院日数の短縮や在宅医療の連携に貢献し、患者のQOL向上を図ること。看護師による摂食機能療法の算定が適切に実施できるよう支援し、摂食機能療法の算定数増加を目指す	リハビリ
歯科口腔外科医療関連感染防止対策委員会	市立長浜病院歯科口腔外科における医療関連感染の防止等を図るため	歯科
手術室運営委員会	手術室の適性かつ効率的な運用を図るため	中央手術室
職員研修委員会	職員ひとり一人に、公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させることによって、人間性豊かで有為な人材を育成し、病院綱領に定める病院づくりを推進するため、職員に院内外の幅広い研修機会を計画的に提供するため	総務
人権対策推進委員会	院内の人権対策を総合的に推進し、基本方針に基づき同和問題を初めとする人権問題の解決に積極的に取り組むため	総務
合同・臨床研修委員会	病院群臨床研修病院における研修医の臨床研修を円滑かつ十分に行われること	総務
プログラム委員会	臨床研修に係る専門的事項を審議するため	総務
職員安全衛生委員会	長浜市病院事業職員安全衛生管理規程に基づき、病院職員の職場における安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を図ること	総務
集中治療室運営委員会	集中治療室の管理運営についての協議	総務
治験審査委員会	治験に関する厚生省令等に基づき、院内における治験（臨床研究・臨床試験）の実施の可否および倫理性や科学的妥当性を審査するため	総務
診療業務等役割分担推進委員会	医師の厳しい勤務環境を改善し、良質な医療の提供をはじめ、快適な職場環境の形成や効率的な業務運営等について協議を行う	総務
医療ガス安全・管理委員会	医療ガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保するため	総務
防火・防災管理委員会	市立長浜病院における防火・防災管理委員会の運営に関し、必要な事項を定めることにより、火災の予防及び火災・大規模地震、その他による人命の安全、被害の軽減、二次的災害発生の防止等を目的とする	総務
大規模災害等対策計画策定合同会議	大規模災害発生時に、災害レベルに応じて病院が採るべき災害対策に内容を明確にし、また、その災害対策に応じて個々の職員が果たすべき役割と具体的な行動を定める大規模災害等対策計画を策定することを目的とする	総務
医療評価委員会	患者さん主役の信頼ある医療を育み、地域完結型の医療を目指して、地域住民がより一層適切で質の高い医療を安心して受けられる病院を確保するため	経企
倫理委員会	市立長浜病院で行われる人間を対象とした医学研究、医療行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的、社会的配慮のもとに行われるために、医の倫理に関する事項を審議する	経企
I T 推進会議	情報化施策を総合的かつ体系的に推進するため	経企
情報セキュリティ専門委員会	情報セキュリティ対策に関する専門的事項を検討するため	
長浜市病院事業改革プラン評価委員会	改革プランの着実な実行と進捗管理について、評価と点検の客観性を確保するため	経企
医療機器等選定委員会	市病院事業において使用する医療機器の調達（修繕）および診療材料の購入等について必要な事項を定め、機種選定の適正かつ円滑な運営を図ることを目的とする	経企 (用度)
S P D 運営委員会	病院の経営の安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化を図り、S P D システム運用等に関し必要な事項を定める	経企 (用度)
契約審査委員会	「長浜市が発注する物品調達（修繕）についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」及び「長浜市が発注する建設工事等についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」に規定する物品の調達（修繕）契約及び工事契約の適正な締結について必要な事項を定め、もって市病院事業全体の医療機器等調達（修繕）及び工事の公正妥当で円滑な執行を図ることを目的とする	経企 (用度)
放射線治療装置更新検討委員会	放射線治療装置の更新について総合的に推進するため	経企 (用度)

会 議 名	設 置 目 的	事務局
長浜市病院事業未収金 対策検討委員会	市立長浜病院及び市立湖北病院における未収金に関する事務の適正を図り、 収入（診療費等）の不納欠損処分並びにこれらに関連する事務の適正な執行 を図るため	医事
救急体制検討委員会	救急体制、宿直体制、呼び出し体制、研修医指導体制等、救急に関する諸問 題を検討し、救急業務の効率化を図る	医事
D P C 委員会	DPC請求（適切なコーディング、DPC請求の運用、その他D）に関連する事 務の適正な執行を図るため。また、調査・検討を行い、関係者に周知または 必要な助言及び指導を行う	診療情報
診療情報・図書室管理 運営委員会	病院における診療録の管理運営および図書の管理運営について、関係部署の 連携調整を図るため	診療情報
院内がん登録委員会	病院がん登録の実施に必要な事項を定め、がん登録業務の適正な企画、管理 及び運用を図るため	診療情報
医療安全管理委員会	病院における良質な医療を提供する体制の確立を図るため、医療安全、医療 機器安全管理、医薬品安全管理の対策を総合的に企画、実施することを目的 に設置する	医療安全
医療安全対策委員会	病院における安全管理のため、医療・医学の諸問題を検討し、基本的な基準 について定める	医療安全
感染管理委員会	院内感染防止対策の総合的な企画、立案、評価や、院内感染が発生した場合 の病院としての方針を決定するため	医療安全
感染対策担当者会議	院内における院内感染の防止対策や、啓蒙等を推進し、院内感染の防止等を 図る	医療安全
内部事故調査委員会	院内で極めて重大な医療事故が発生した場合、医療事故内容を正確に把握 し、原因の分析を行い、適切な対応を取るため	医療安全
開放型病床運営委員会	開放型病床を効率的にかつ円滑に運営すること	地域医療
回復期リハビリテーション 病棟入院判定委員会	回復期リハビリテーション病棟への入院（転入含む）にあたり、入院適応基 準に基づく入院の判定を行う	地域医療
回復期リハビリテーション 病棟運営委員会	回復期リハビリテーション病棟の運営を効率的かつ円滑に行う	地域医療
地域医療連携委員会	地域の医師、歯科医師等からの要請に適切に対応し、地域における医療の確 保に必要な支援を行うため	地域医療
褥瘡対策委員会	院内の褥創対策を検討・立案し、その効率的な推進を図るため	地域医療
湖北保健医療圏域地域 がん予防診療推進協議会	湖北保健医療圏域におけるがん予防、がん診療に携わる保健医療従事者に対 する研修の実施、がん診療情報の収集および提供、関係機関への連携を進 め、圏域のがん予防、がん診療の水準の向上に貢献するとともに、圏域住民 へのがん予防の啓発事業等に関する協議を行うこと	がん対策
がん対策推進委員会	がん診療および診療科を超えたチーム医療の推進、院内関連委員会との連 携、がん診療情報の発信およびがん登録に関する協議を行うこと	がん対策
緩和ケア推進委員会	がん対策推進基本計画に基づく緩和ケアの推進および患者・家族の生活の質 （QOL）を維持向上させること	がん対策
認知症対策委員会	現状システムを振り返り、課題や新たなニーズを整理し、今後を見据えた更 なる医療・介護及び地域のネットワークの形成を図り、認知症疾患支援の充 実を図る	看護局
ハートケアチーム委員会	病院から外来・在宅・地域も含めたチーム医療の推進と心疾患患者・家族へ の支援の充実を図るため	看護局

健診センター管理運営会議	市立長浜病院健診センターの管理運営について、適正な執行を図る	
委員長 野口哲男	委員 平良 薫、上津昌広、林 嘉彦、若宮 誠、 古山忠宏、呉竹めぐみ、岩崎まゆみ、中村友佳里	事務局 健診センター
活動内容 例年は委員会にて健診センターの総務関係、受診者数、利用料金等を報告し、また、協議していただく内容は健診センターの予算関連、機器整備等に関係したのですが、平成30年は病院電子カルテシステムの更新に伴い健診システムも更新されたため、これへの対応の煩雑さから12月の委員会を開催出来ませんでした。 本来ならば令和1年6月に平成30年度下半期、平成30年度総括を報告するはずですが、平成31年4月1日よりヘルスケア研究センターが起ち上がり、ヘルスケア研究センター運営会議での報告となりました。		

薬事委員会	設置目的 病院の薬剤に関する基本方針を定め、その方針に従い院内薬剤業務を円滑に遂行するため。					
委員長 院長兼薬剤局長 神田雄史	委員 高島弘行、森田善方、曾我欣治、平良 薫、吉川敬子、 森 靖、川越ゆき、野淵孝二、大岡千寿子			事務局 薬剤局		
活動内容						
		新規採用薬剤		中止薬剤	院外→院内	院内→院外
		正規採用	院外専用			
第1回（2018年 4月18日）		3	3	3	0	0
第2回（2018年 6月27日）		2	6	0	0	0
第3回（2018年 9月26日）		6	3	1	2	2
第4回（2018年11月26日）		4	6	1	0	0
第5回（2019年 2月13日）		9	0	1	0	1

2018年度採用医薬品状況
先発医薬品数・・・1、238品目 後発医薬品数・・・416品目

医薬品安全管理委員会	病院で使用される医薬品に関わる安全管理体制の確保を図るため	
委員長 野淵孝二	委員 高島弘行、森田善方、曾我欣治、平良 薫、 烏脇富子、吉川敬子、川越ゆき、大岡千寿子	事務局 薬剤局
活動内容 〔研修会〕 ・ 医薬品管理研修 日時：平成30年10月29日 対象：看護師 内容：インスリン・K・麻薬について 講師：薬剤科 薬剤師 参加者：53名 ・ 新人看護師研修 日時：平成30年11月16日 対象：新人看護師 内容：薬品の管理について 講師：薬剤科 薬剤師 参加者：31名 〔委員会〕 日 時：平成30年4月27日 内 容：アンプル型カリウム製剤のアンギオ室での運用について		

医療機器安全管理委員会	病院で使用する医療機器に関わる安全管理体制の確保を図るため	
委員長 辻克信	委員 洞井和彦、國友健生、森 靖、森中かおり 佐野勝治、富田 聡、草野信悟、藤田忠夫	事務局 臨床工学技術科
活動内容 平成30年度第1回医療機器安全管理委員会 10月3日(水) 午後5時 別館1階相談室 議事 インシデント報告 手術室 漏電警報に関わる報告 療養2階 輸液ポンプバッテリー切れに関わる報告 不具合情報、安全情報 心電呼吸送信機自主回収について 超音波手術器自主改修について 産婦人科検診台メーカー点検について 人工呼吸器回路注意喚起について		

RST（呼吸ケアサポートチーム）	院内・外、呼吸器関連相談、支援	
委員長 呼吸器内科医長 中川雅登	委員 草野信悟、山口清香、野村耕一郎、浅見秀治、 田邊和也、山本 徹、杉山慎太郎、毛利由布子、 石橋 孝、清水 悠、（児玉浩志）	事務局 臨床工学技術科
活動内容 1回／週（火曜日ラウンド）院内研修11月15日開催 湖北地域訪問看護ステーションへの研修 RSTが介入した対象者（患者数）：45人 RSTが介入した回数（延べ回数）：75回 RSTが介入し人工呼吸器離脱に至った患者数：16人、平均日数8.59日 RST加算算定人数：24人 RST加算算定件数(延べ件数)：33件（150点/件） 昨年度と比較して 介入した延べ件数は92件から75件と減少している。人工呼吸器離脱の介入はICUが中心となった。実際のRST加算対象は（ICUは加算対象とならず）SCU：2件、5階西病棟：3件にとどまっており、急性期病棟での挿管下での人工呼吸器の使用頻度は低い現状にある。 ICU以外での介入の中心は人工呼吸器離脱後や非挿管下のNPPV、気管カニューレの管理などとなっている。 本年度の特記するところはRSTで在宅療養患者の在宅人工呼吸器管理支援・評価や初回NPPVの導入、在宅酸素療法使用患者支援を行えたことである。 入院中から外来や在宅へ幅を広げて、継続した支援を行える事例を経験した。		

透析機器安全管理委員会	病院で使用する透析装置および透析液水質にかかる安全管理体制の確保を図るため	
委員長 透析液安全管理者 腎臓内科 森田善方	委員 西田泰人、塚口昌文、辻 克信、浦部紀子	事務局 臨床工学技術科
活動内容		
委員会開催日	協議内容	
平成30年10月23日	平成30年度 第1回透析機器安全管理委員会会議 平成29年度エンドトキシン・生菌数測定結果の報告説明 前回委員会からの透析関係装置について 透析治療のインシデント・安全対策について 透析装置の更新について 平成30年度の診療報酬改定による当院の透析について 改定を受けて今後の透析について	
委員会予算概要		
①透析液水質基準確保のための検査費用：エンドトキシン測定、培地による生菌数測定 ※平成30年度の改正により水質加算が算定できず、検査費用がそのまま負担となっている		
②透析関係機器・装置の安全管理のためのメーカーへの研修費用：NIPRO（南草津）への研修 ※メーカーとの協議により研修費は発生せず、交通費のみ予算請求、概算として年間4万以下		
③透析液の水質管理のための研修費用：透析液安全管理者セミナー（東京）への参加 ※年1回開催されるセミナーに参加し、最新の透析液水質管理を行う概算として51,900円を計上する		

市立長浜病院 NST委員会	当院における患者の栄養状態を管理するため、NST（栄養サポートチーム）を結成し、著しく栄養状態が悪い患者に適切な栄養療法を選択し実施することにより栄養状態の改善を図り、治療効果を高め、感染症、褥瘡等の予防及び在院日数の短縮や医療費の削減等に貢献し、患者の生活の質の向上を図ることを目的とする。	
委員長 内科部長 潮 正輝	委員 井階幸一、川島和彦、北川真由美、鍋 里実、 片岡英代、伊藤亮子、福山史朗、高山直樹、 田中祐輔、安田将樹、吉田名緒、堀田実花、 長谷川博美、藤田侑子、浅井麻未、中川太郎、 赤尾真樹子、中村友佳里、田邊 学	事務局 栄養科
活動内容 - 委員会の開催 合計12回開催（4月から3月の間、毎月1回を目安に第4水曜日に開催） ・前年度（平成29年度）の実績報告 ・平成30年度NST委員会の取り組みについて ・NSTファイルの更新について ・診療報酬改訂に伴う栄養管理関連文書の様式変更について ・電子カルテ更新に伴うチーム医療システムの活用について ・リハビリテーション用濃厚流動食の運用について - NST病棟回診の実施 週1回（毎週水曜日） 回診件数 514件／年（詳細は各種統計資料参照） - 学会発表 ・JSPEN学術集会での発表 「胃癌Stage4に対してがん薬物療法認定薬剤師とNST専門療法士薬剤師による 腫瘍崩壊症候群（TLS）対策の1症例」 高山 直樹（薬剤師） - 各種研修への参加 ・40時間実地修練（愛生会 山科病院） 安田将樹（薬剤師）、中村友佳里（管理栄養士） ・第10回近畿日本静脈経腸栄養学会学術集会 田中祐輔（薬剤師）、藤田侑子（言語聴覚士） ・JSPEN NST専門療法士受験必須セミナー（大阪） 藤田 侑子（言語聴覚士） 堀田 実花（臨床検査技師） - NST勉強会の開催 5回／年開催 - 第1回 勉強会（平成30年6月7日） 演 題 患者さんを元気にするための栄養管理について 講 師 5階東病棟 北川 真由美（看護師） - 第2回 勉強会（平成30年7月23日） 演 題 経腸栄養について 講 師 7階東病棟 伊藤 亮子（看護師、NST専門療法士） - 第3回 勉強会（平成30年10月22日） 演 題 NSTと臨床検査 講 師 中央検査技術科 吉田 名緒（臨床検査技師） - 第4回 勉強会（平成30年11月26日） 演 題 がんと栄養 講 師 栄養科 赤尾 真樹子（管理栄養士、NST専門療法士） - 第5回 勉強会（平成31年1月28日） 演 題 静脈栄養管理と簡易懸濁について 講 師 薬剤部 田中 祐輔（薬剤師、NST専門療法士） - 経腸栄養管理の啓発活動（スライド上映） - 日 時 平成30年12月10日17時15分から18時15分 - 場 所 第2会議室 - テーマ 「脳卒中急性期の栄養管理 ～嘔吐・逆流に対する乳清ペプチド消化態流動食の有用性」		

市立長浜病院栄養委員会	当院における給食及び栄養業務を合理的かつ効果的に運営するため、必要な事項の審議を行い、もって栄養業務の向上、改善を図ることを目的とする。	
委員長 内科部長 森田 善方	委員 川島 和彦、村上義和、織田頼子、桐畑 善彦、 中川太郎	事務局 栄養科
活動内容 第1回委員会 平成30年7月25日 開催 1. 報告事項 (1) 平成29年度 栄養管理業務実績について ・給食業務状況（食数等） ・栄養指導業務状況（指導件数等） 等 (2) 平成30年度 第1回 嗜好調査結果について (3) 学会分類2013に基づいた嚥下食の整備について 2. 協議事項 (1) 食物アレルギー患者への問診方法変更について 3. その他 第2回委員会 平成30年11月7日 開催 1. 協議事項 (1) 食物アレルギー等対応マニュアルの一部改訂について (2) 電子カルテシステム更新にともなう院内食事規約の一部改訂について 食種名の変更、主食量の変更、栄養量の変更など (3) 平成30年度 第3回 嗜好調査結果について 2. その他		

放射線安全委員会	職員の放射線被ばく防止、健康ならびに放射線発生装置に関する諸事項を検討し、これらの事故防止対策にかかる必要な事項を企画審議するため	
委員長 放射線科部長 伏木雅人	委員 若宮 誠、古山忠宏、北本幸恵、森 靖、 佐野勝治、弓削悦子、宮川孝史、辻 雅之（事務局）	事務局 放射線技術科
活動内容 【委員会の開催】 ○平成30年8月30日（木） 午後4時45分より5時15分まで 議事内容：平成29年度放射線安全委員会報告 平成30年度放射線安全教育研修会の開催について 例年の内容とほぼ同様とし、放射線全般、MR I 検査・MR I 対応デバイス、R I 検査を含め一本化 放射線認定ナースの講演も従来通り MR I 吸着実験実習の開催 新卒ナースは看護局新人研修11/16（金）に放射線安全教育研修（MRI吸着実習）を受けてもらうことにする 被ばく線量測定バッチ（ルミネスバッチ）の着用について 啓蒙活動 これまで同様、管理運営会議などでアナウンス 被ばくに対する意識の低さが問題ではないか 昨年同様、Radiation informationなどでもアナウンスを行う 各部門（ANGIO室、TV室など）において担当スタッフが着用を促す 特定の科の返却率の悪さが目立ち、クイクセルバッチの未返却出費もある 着用率の悪い整形外科・呼吸器内科外科には伏木委員長が個別で問い合わせ、指導する その他 障害防止法の改正に伴う放射線障害予防規程の改正について 放射線安全委員会の関わりについて、まとめたプリントを配布しているので、各自で確認を 来年3月くらいに第2回放射線安全委員会を開き、新しい予防規程の確認を行う 患者さんの医療被ばくの管理について 今後、医療被ばくの管理の必要性が診療報酬等に盛り込まれてくるのではないかと 電子カルテ更新に伴い、Dose managerの導入を検討している 当院で行った検査の被曝量はDICOMなどから読み取り管理することが可能になる 【放射線安全研修会】 ○平成30年11月27日（火） 17時30分から18時45分まで 当院2階講堂、および支援棟、放射線科MRI検査室にて開催 講演 ・RI検査、MRI検査の注意点および当院の放射線治療の実際 辻 雅之 ・放射線治療における副作用について 杉山 順哉 実習 ・MRI検査室にて吸着体験実習 参加者 83人（診療局5人、看護局42人、医療技術局30人、薬剤部0人、事務局6人）		

放射線治療 品質保証委員会	放射線治療における安全の向上 並びに品質管理及び保証又、職員の教育・研修に関する諸事項を検討し、必要な事項を企画審議するため。	
委員長 放射線科部長（治療部門） 伏木雅人	委員 古山忠宏、田辺啓太、川上正邦、守矢千春、 西村正明、辻 雅之、入江桃好、杉山順哉、 伊良皆拓（外部委員）、平島英明（外部委員）	事務局 放射線技術科
活動内容 【委員会の開催】 ○第1回 平成30年7月26日（木） 第2回 平成31年3月7日（木） 議事内容：各種マニュアル、手順書の確認 安全の向上に関すること 教育、研修に関すること その他 【QA会議の開催】 ○原則毎週火曜日業務終了後、QA会議を開催し、放射線治療に関する機器の精度管理、安全管理および運用等について検討した。 【研修会の開催】 ○医療事故防止対策委員会、放射線安全委員会との共催で一般にも公開 日時 平成30年11月27日（火） 17:30～ 当委員会と関係する内容 ・「放射線の基礎知識と放射線科検査、治療の注意点」 辻 雅之 ・「放射線治療における副作用について」 杉山順哉		

臨床検査運営委員会	臨床検査の適正化、検査機器の精度管理、検査業務の円滑化・効率化を図る	
委員長 脳神経外科 小室太郎	委員 黒澤 学、横川竜生、上田久巳、織田頼子、 鶴飼康治、森 靖、細川功二、新川由基、 坪井房幸	事務局 中央検査技術科
活動内容 ○平成30年度第1回臨床検査運営委員会 日 時 平成30年6月15日（金）16：00～ 協議事項 ・委員変更について ・平成29年度検査実績について ・平成29年度外部精度管理の結果報告 ・臨床検査外部委託業者選定について ・医療機器購入申請について ・新規購入試薬について ○平成30年度第2回臨床検査運営委員会 日 時 平成30年9月27日（木）16：00～ 協議事項 ・新規購入試薬について ・共用基準範囲採用について ・電子カルテシステムの更新について ・外部委託業者の選定について ・医療法改正への対応について		

輸血療法委員会	安全で適正な院内輸血の推進	
委員長 吉良浩勝	委員 中村拓路、杉本正幸、田久保康隆、高木順平、 中村俊之、烏脇富子、中村寛子、北村文代、 笠井晴生、吉田名緒、三上はづき	事務局 中央検査技術科
活動内容 第1回：平成30年 7月17日 委員の変更について、血液製剤廃棄状況、血液廻及調査について 第2回：平成30年 9月19日 中央検査技術科輸血検査室でのアルブミン製剤一元管理についてなど 第3回：平成30年11月26日 電子カルテ運用説明会、中級看護師輸血研修会についてなど 第4回：平成31年12月 6日 アルブミン製剤の輸血部門での一元管理について、など 第5回：平成31年 3月27日 輸血後感染症検査の実施率を向上させる取り組みについて 新人看護師対象輸血研修会：「輸血の基礎について」 ： 平成30年11月7日		

歯科口腔外科医療関連 感染防止対策委員会		歯科口腔外科における特殊器材使用時の医療関連感染防止等を図る	
委員長 歯科口腔外科責任部長 近藤定彦	委員 北本幸恵、藤木智美、長谷川博美、箕浦麻貴、 近藤昭仁	事務局 歯科口腔外科、 歯科眼科技術室	
活動内容			
1. 委員会協議事項			
平成30年 4月 5日 ・診察台の清掃方法について			
平成30年 4月27日 ・診察台の清掃方法について			
平成30年 6月12日 ・環境清拭製品の新規採用について			
平成30年11月15日 ・ICTラウンドの結果について			
2. 主な活動内容			
・診察台とその周辺における清掃方法の改善。（ICTの指導を得て環境清拭用品を新規に導入）			
・ICTラウンドの結果を共有、環境整備と清掃強化を実践。			
・診察台用吸引装置およびエアーコンプレッサーの点検。			

褥瘡対策委員会		院内での褥瘡対策を検討・立案し、その効率的な推進を図る	
委員長 藤林久輝		委員 井階幸一、池田遼太、安藤恵美、中川彩子、 森 鈴子、山崎英雄、細川博美、西尾多恵、 笠原みすず	事務局 患者総合支援センター
活動内容			
1. 褥瘡回診の実施 ・第2，4木曜日 計24回 のべ260名			
2. 褥瘡に関するデータ集約 ・褥瘡患者数 151名（入院前保有59名、入院後発生92名）			
3. 褥瘡対策備品の整備 ・車いすクッション、介助グローブ購入			
4. 看護局褥瘡対策検討会活動			

人権対策 推進委員会		院内の人権対策を総合的に推進し、基本方針に基づき同和問題をはじめとする人権問題の解決に積極的に取り組むため	
委員長 院長 神田雄史		委員 嶋田文彦、高島弘行、村上義和、松田和子、 藤居 敏、梅本範子、野淵孝二	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 内容 平成31年1月18日 人権研修会の実施計画について ・ 人権対策推進体制を整備し、院内の人権対策について総合的に推進するための方策を検討する。 ・ 同和問題をはじめとする人権問題の正しい理解と認識を深めるため職員の研修計画の策定と推進を行う。 ・ 人権問題解決のため市長部局や市の他の部門との積極的な連携を図る。			

合同・臨床研修委員会	病院群臨床研修病院における研修医の臨床研修が円滑かつ十分に行われるよう、臨床プログラムの管理を行う。	
委員長 診療局理事 梅原久範	副委員長 社会福祉法人青祥会セフィロト病院院長代行 松岡俊樹 委員 太田直也、高島弘行、田久保康隆、森田善方、松田和子、藤居 敏、手塚忠善、松井善典、雨森正洋、奥田哲也、七里源正、湯本義一、畑野秀樹、橋本修、布施隆治、花戸貴司、小泉俊三	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 委員会の内容 臨床研修医の研修プログラムの管理、教育等の実施、臨床研修終了にかかる臨床研修医の評価について審議する。なお、プログラムの作成、運営調整は、同委員会小委員会（プログラム委員会）にて、内科担当、外科担当、プライマリケア担当の責任者を中心に各々の科の指導医と協議の上、研修医の希望を考慮しながら行う。 2. 委員会の開催 第1回 平成31年3月28日（木） 1. 平成31年度 臨床研修医の採用について 2. 次年度のスケジュールについて 3. その他		

職員安全衛生委員会	長浜市病院事業職員安全衛生管理規程に基づき、病院職員の職場における安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を図ること	
委員長 副院長 嶋田文彦	委員 村上義和、藤居 敏、大野暢宏、野洲孝二、松田和子、西沢政隆、岩崎昌子、草野信悟、辰巳裕和、中川友香、南部利明	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 内容 （1）職場における職員の安全と健康の確保 （2）快適な作業環境の形成、健康管理事業の適正運営の確保 （3）危険防止のための基本的対策、労働災害の原因、再発防止対策 2. 協議事項 （1）職場巡視 （2）時間外勤務について （3）年次休暇・夏季休暇の取得状況について （4）感染予防について （5）禁煙対策について （6）健康診断受診状況について （7）ストレスチェックの実施 （8）メンタルヘルス対策 （9）働き方改革について （10）年間活動総括 委員会開催月日 4月24日、5月29日、6月26日、7月24日、8月28日、9月25日、10月23日、11月27日、12月25日、1月29日、2月26日、3月26日		

集中治療室 運営委員会	集中治療室の管理運営についての協議	
委員長 副院長 嶋田文彦	委員 佐藤岳史、國友健生、吉良浩勝、上津昌広、嶋田文彦、 藤居 敏、松田和子、織田頼子、吉川敬子、宮部照美	事務局 総務課総務グループ
活動内容 1. 業務 ICUの運営について次のことを審議する。 (1) 各診療科、病棟との連絡調整 (2) 施設の管理および設備の整備計画 (3) 業務の管理手順 (4) その他運営に関する必要事項		

治験審査委員会	院内で行われる治験等がヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則及び新GCP省令等関連法規を遵守した上で実施されるために、倫理的、科学的及び医学的見地からの妥当性を審議し、その可否を決定するため設置するもの	
委員長 診療局理事 林 嘉彦	委員 宮本香代子、荒木まつゑ、小室太郎、小川雅文、 松田和子、辻 克信、野淵孝二、藤居 敏、 鶴飼康治	事務局 総務課総務グループ 薬剤部 薬剤科
活動内容 1. 目的 当院の医薬品・医療機器等にかかる治験等の実施について審議し、病院全体の医療の質の向上を図る。 2. 委員会の開催 第1回 平成30年12月 3日（金） 第2回 平成31年 3月20日（水）		

職員研修委員会	職員ひとり一人に、公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させることによって、人間性豊かで有為な人材を育成し、病院綱領に定める病院づくりを推進するため、職員に院内・外の幅広い研修機会を計画的に提供するため	
委員長 院長 神田雄史	委員 村上義和、松田和子、藤居 敏、松居治樹 常陸正則	事務局 総務課総務グループ
活動内容 公務員や医療人として必要な知識や技術を習得させ、人間性豊かで有為な人材の育成を図るため、職員に院内・外の幅広い研修機会が提供できるように設置。 1. 業務 (1) 人材育成支援計画の策定等 (2) 各所属の年間研修計画および年間研修実績のとりまとめ (3) 研修に対する評価のとりまとめ		

防火・防災管理委員会	市立長浜病院における防火・防災管理委員会の運営に関し、必要な事項を定めることにより、火災の予防及び火災・大規模地震、その他災害による人命の安全、被害の軽減、二次的災害発生の防止を目的とする。	
委員長 整形外科責任部長 廣瀬伸次	委員 村上義和、織田頼子、藤居 敏	事務局 総務課施設グループ
活動内容 1. 委員会 ①開催日時 平成30年6月25日（月） ②議事内容 ・消防訓練（消防検証）について ・長浜市総合防災訓練について 2. 消防訓練（消防検証）の実施 ①実施日 平成30年10月9日（火） ②参加者 75名 ③実施場所 本館3階西病棟及び診療支援棟北側屋外付近 ④訓練目的 病院消防計画に基づく防火教育の一環として、夜間に火災が発生した場合を想定して、万一の際、被害を最小限に抑えられるよう消防訓練を実施しました。		

医療ガス安全・管理委員会	医療ガス（診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。	
委員長 麻酔科部長 柳田豊伸	委員 松田和子、田中祐輔、辻 克信、加藤一尚、森 靖、鶴飼康治	事務局 総務課施設グループ
活動内容 点検内容 ①日常点検：各部署で毎週実施し、月1回委員会に報告 ②定期点検：専門業者により年4回実施し、結果を委員会に報告		

大規模災害等対策計画策定合同会議	大規模災害発生時に、災害レベルに応じて当院が採るべき災害対策に内容を明確にし、また、その災害対策に応じて個々の職員が果たすべき役割と具体的な行動を定める大規模災害等対策計画を策定することを目的とする。	
委員長 診療局理事兼外科責任部長 東出俊一	委員 廣瀬伸次、松田和子、織田頼子、野一色真弓、伊吹誠子、奥出隆太、中川 翼、荒金崇介、野淵孝二、大岡千寿子、村上義和、古山忠宏、中川太郎、藤居 敏、松居治樹、鶴飼康治、西沢政隆、二見奉久	事務局 総務課施設グループ
活動内容 【参加した主な訓練】 8月26日（日） 滋賀県原子力防災実動訓練（高島市） 10月21日（日） 長浜市総合防災訓練参加（びわ北小学校）		

医療評価委員会	患者さん主役の信頼ある医療を育み、地域完結型の医療を目指して、地域住民がより一層適切で質の高い医療を安心して受けられる病院とするため	
委員長 副院長 嶋田文彦	委員 杉本正幸、清水久雄、糟谷憲邦、村上義和、古山忠宏、音居玲子、新川由基、辻 克信、中川太郎、松田和子、織田頼子、吉川敬子、中田重樹、鵜飼康治、桐畑善彦、土川陽子、常陸正則、堀江智美、松居治樹、野洌孝二	事務局 経営企画課 経営企画グループ
委員会の業務 1. クリニカルパスの作成に関するルールづくりとその導入に関すること 2. インフォームドコンセントのルール作りに関すること 3. インフォームドコンセントの実践状況を把握すること 4. その他医療の質の向上等に関して、病院全体に影響するもので、緊急対応の必要のあるもの 開催月日・協議事項など ○第1回医療評価委員会（平成30年9月6日（木）16：00～16：30 第2会議室） ・「説明と同意（インフォームドコンセント）に関する院内指針」の一部改訂について ・手術の説明・同意書フォーマットの変更について（報告） ・機能評価項目に対する自主点検について ※平成30年度 第16回病院医療機能評価受審フォーラム 当院参加6人（平成30年10月10日（水）） ※「説明と同意（インフォームドコンセント）に関する院内指針」に「がん告知は、原則として本人に対して行うこと」を明記することの是非についてのアンケート（平成30年1月実施） 発出文書 ◎説明と同意（インフォームドコンセント）に関する院内指針の一部改訂について（通知）（平成30年9月10日付け） <クリニカルパス・IC専門部会> 活動内容 クリニカルパスおよび説明と同意について、円滑な運用を図るため、新規作成や修正に関する対応を行いました。 開催月日・協議事項など ○第1回クリニカルパス・IC専門部会（平成30年7月6日（金）16：30～17：15 別館1階 相談室1・2） ・「説明と同意（インフォームドコンセント）に関する院内指針」の確認について ・「2017退院患者 パス使用状況」について ・医療情報システム更新に係るクリニカルパスの取り扱いについての概要報告 ・DPC日数に合わせたパス修正の取組について ・その他（患者本人が同意できない理由のチェック欄を設けることについて） ※患者用クリニカルパスのチェック…新規5件、修正19件		

倫理委員会	市立長浜病院で行われる人を対象とした医学研究及び医療行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的かつ社会的配慮のもとに行われるために、医の倫理に関する事項を審議する。	
委員長 副院長 嶋田文彦	委員 清水久雄、川島和彦、潮 正輝、松田和子、 村上義和、野洲孝二、藤居 敏、桐山郁雄（院外）、 澤崎恭子（院外）	事務局 経営企画課 経営企画グループ
活動内容 1. 病院で行われる医学研究及び医療行為に関し、実施責任者から申請された実施計画の内容及びその成果の発表に関する事項を審議する。 2. 病院における医学研究及び医療行為に関する倫理的かつ社会的配慮についての基本的な事項の調査検討を行う。 3. その他委員長が必要と認めた事項を審議する。 開催月日・協議事項など ○第1回倫理委員会（平成30年7月26日（木）16：30～17：30 別館1階 相談室1・2） ・審議0件、報告7件 ・市立長浜病院臨床倫理専門部会規程（案）について ・輸血拒否患者への当院の対応方針について ○臨床倫理専門部会（平成30年10月3日（水）16：00～17：00 第1会議室） ・『人生の最終段階における医療措置（蘇生処置含む）に関する確認書・同意書』の内容について ・確認書をいただく時期について ○第2回倫理委員会（平成30年11月27日（火）16：30～18：20 別館1階 相談室1・2） ・審議5件、報告12件、専門部会報告1件 ・「臨床倫理に関する協議」の方向性について ○第3回倫理委員会（平成31年3月1日（金）16：30～18：15 第1会議室） ・審議1件、報告6件 ・倫理委員会承認案件実施状況報告 発出文書 ◎輸血拒否患者への対応について（通知）（平成30年8月24日付け）		

IT推進会議	市立長浜病院の情報化施策を総合的かつ体系的に推進するため IT推進計画の策定および実施ならびに進行管理 コンピュータシステムの情報セキュリティ その他情報化施策についての重要事項	
委員長 院長 神田雄史	委員 東出俊一、高島弘行、森田善方、平良 薫、 藤居 敏、吉川敬子、岩崎まゆみ、平井法恵、 次郎内茂、杉山順哉、大岡千寿子、古山忠宏、 笠井晴生、田邊信彦、古株陽子、新田朋美、 辻 克信、中田重樹、伊吹定浩、三田久容、 堀江智美、三原了導、土川陽子、堀 一郎、 烏脇富子、山口高明	事務局 経営企画課 経営企画グループ
活動内容 ○IT推進会議 ・IT推進計画の策定、IT推進計画の実施及び進行管理、コンピュータシステムの情報セキュリティなどについて協議します。 ○情報セキュリティ専門委員会 ・コンピュータシステムのセキュリティ対策に関する基本ルール及び緊急時の対応に関することについて協議します。 開催月日・協議事項など IT推進会議 ○医療情報システム更新プロジェクト・キックオフミーティング(平成30年5月14日(月) 17:30～ 2階講堂) ・ベンダ自己紹介 ・更新プロジェクト・キックオフミーティング ○第1回IT推進会議(平成30年7月9日(月) 17:30～ 2階講堂) ・更新プロジェクトの進捗状況等(報告と承認)について ○IT推進会議臨時会(平成30年7月30日(月) 18:00～ 第2会議室) ・更新プロジェクトの進捗状況等(報告と承認)について ・医療情報システムの病院の方針・運営の決定 ○第3回IT推進会議(平成30年8月8日(水) 17:30～ 2階講堂) ・更新プロジェクトの進捗状況等(報告と承認)について ○第4回IT推進会議(平成30年8月20日(月) 17:30～ 2階講堂) ・更新プロジェクトの進捗状況等(報告と承認)について ○第5回IT推進会議(平成30年9月11日(火) 16:30～ 2階講堂) ・更新プロジェクトの進捗状況等(報告と承認)について ・リハーサル部会の設置について ・エンド・ユーザー研修の実施について ○第6回IT推進会議(平成30年10月1日(月) 17:30～ 2階講堂) ・更新プロジェクトの進捗状況等(報告と承認)について ○第7回IT推進会議(平成30年10月15日(月) 17:30～ 2階講堂) ・更新プロジェクトの進捗状況等(報告と承認)について ○第8回IT推進会議(平成30年10月30日(火) 17:30～ 2階講堂) ・更新プロジェクトの進捗状況等(報告と承認)について ○総合リハーサル(デモ環境)(平成30年11月14日(水) 17:15～ 2階講堂) ○第9回IT推進会議(平成30年11月16日(金) 17:30～ 2階講堂) ・更新プロジェクトの進捗状況等(報告と承認)について ・総合リハーサル(デモ環境)反省会 ○総合リハーサル①(平成30年11月25日(日) 10:00～ 2階講堂、玄関ホール他) ○第10回IT推進会議(平成30年11月28日(水) 17:30～ 2階講堂) ・更新プロジェクトの進捗状況等(報告と承認)について ・総合リハーサル①反省会 ・運用説明会の開催について ○第11回IT推進会議(平成30年12月5日(水) 17:30～ 2階講堂) ・更新プロジェクトの進捗状況等(報告と承認)について ・事前入力計画(12月17日～)について ・本稼働切り替え時の参照可能なデータについて ・本稼働立合体制について ・運用説明会の開催について		

- 総合リハーサル②（平成30年12月8日（土）10：00～ 2階講堂、玄関ホール他）
- 第12回IT推進会議（平成30年12月12日（水）17：30～ 2階講堂）
 - ・更新プロジェクトの進捗状況等（報告と承認）について
 - ・総合リハーサル②反省会
 - ・事前入力計画、運用説明会について
- 第13回IT推進会議（平成30年12月27日（木）17：30～ 2階講堂）
 - ・更新プロジェクトの進捗状況等について
 - ・12月31日の診療体制について
 - ・電子カルテ対策本部の設置について
- 市立長浜病院医療情報システム更新プロジェクト・クロージングミーティング（第14回IT推進会議）（平成31年1月29日（火）17：30～ 2階講堂）
 - ・更新プロジェクト・クロージングミーティング
 - ①稼働後発生課題の残件について
 - ②稼働後保守サービスについて
 - ③今後のIT推進会議の運営について
- 第15回IT推進会議（平成31年3月12日（火） 17：30～ 2階講堂）
 - ・富士通FIPからの報告事項について
 - ・医事コード連携に係る運用の変更について
 - ・医療情報システム稼働後の情報共有事項について

発出文書

- ◎平成31年4月1日以降の放射線予約、生理検査及び内視鏡検査予約の制限について【重要】（平成30年10月31日付け）
- ◎平成31年4月1日以降の放射線予約、生理検査及び内視鏡検査予約の制限について【重要】 — 追加説明 —（平成30年11月2日付け）
- ◎電子カルテ端末のデスクトップ画面内ファイルの整理等について（通知）（平成30年11月13日付け）
- ◎電子カルテ端末のデスクトップ画面内ファイルの整理等について（再通知）（平成30年12月4日付け）

情報セキュリティ専門委員会

- ◎情報セキュリティに関する研修会
 - ・情報セキュリティ研修会
 - （平成30年4月19日（木）、20日（金） 17：30～18：15 2階講堂）
 - 情報セキュリティポリシーについて、院内全職員を対象に研修会を実施
 - 参加者： 2日間合計 139人

発出文書

- ◎USBメモリー等の外部記録媒体の適正な取り扱い及び情報セキュリティポリシーの遵守について（通知）（平成30年10月3日付け）

医療機器等選定委員会 (長浜病院関係)	市病院事業において使用する医療機器の調達（修繕）および診療材料の購入等について必要な事項を定め、機種選定の適正かつ円滑な運用を図ることを目的とする。	
委員長 副院長 嶋田文彦	委員 小室太郎、高島弘行、森田善方、松田和子、村上義和、藤居 敏	事務局 経営企画課 用度グループ
活動内容 1. 内容 医療機器等購入にかかる機種選定の審査ならびに協議、高額診療材料購入にかかる審議を行った。 2. 開催日（全4回） 平成30年7月12日、9月20日、11月8日、平成31年3月19日		

SPD運営委員会	経営の安定を目指し、院内の効率的な物品供給および在庫物品の適正化を図り、SPDシステム運用等に関し必要な事項を定める。	
委員長 小室太郎	委員 織田頼子、岸田智恵子、中村寛子、河嶋智子、伊吹誠子、久保田照己、久保田理恵、佃 義則、西野万由美、箕浦麻貴、田中宏明、中川絵里奈	事務局 経営企画課 用度グループ
活動内容 1. 内容 院内の効率的な物品供給や適正な在庫管理のあり方等の検討を行った。また、適正な物品管理と無駄の抑制を図るため実施した。 2. 開催日（全1回） 平成30年7月20日 3. 主な内容 ①次期SPD業務委託更新について ②各部署における診療材料滅菌期限切れチェックの実施報告 ③診療材料の統一について		

契約審査委員会	「長浜市が発注する物品調達（修繕）についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」及び「長浜市が発注する建設工事等についての契約に係る競争入札に参加する者に必要な資格等に関する要綱」に規定する物品の調達（修繕）契約及び工事契約の適正な締結について必要な事項を定め、もって市病院事業全体の医療機器等調達（修繕）及び工事の公正妥当で円滑な執行を図ることを目的とする。	
委員長 副院長 嶋田文彦	委員 寺村治彦、古儀祐一、下司一文、水上憲一、藤居 敏、西川 昇、鵜飼康治、中田重樹	事務局 経営企画課 用度グループ
活動内容 1. 内容 医療機器等の購入及び建設工事等における契約方法及び指名競争入札の参加者または随意契約の相手方の選定について、審査を行った。 2. 開催日（全10回） 平成30年5月17日、6月21日、7月19日、8月10日、9月5日、10月18日、11月15日、12月20日、平成31年2月21日、3月28日		

放射線治療装置更新検討委員会		放射線治療装置の更新について総合的に推進することを目的とする。	
委員長 副院長 嶋田文彦		委員 田久保康隆、神田雄史、伏木雅人、清水久雄、村上義和、古山忠宏、野一色真弓、佐野勝治、田中正樹、三原了導、奥長隆敏	事務局 放射線治療センター 経営企画課用度グループ
活動内容 開催月日・協議事項など 1. 開催日（全〇回） 開催なし			

未収金対策検討委員会		未収金に関する事務の適正な執行を図るため	
委員長 副院長 嶋田文彦		委員 高島弘行、藤居 敏、村上義和、松田和子、 鶴飼康治、中田重樹、常陸正則、桐畑善彦、 寺村治彦(市会計管理者)	事務局 医事課 医事業務グループ
活動内容 平成30年11月26日		未収金対策検討委員会開催。未収金の推移と回収実績・対策検討、診療費等債権放棄の審査について協議を行いました。	

救急体制検討委員会			救急体制、宿直体制、呼び出し体制、研修医指導体制等、救急に関する諸問題を検討し、救急業務の効率化を図る		
委員長 診療局理事 東出俊一		委員 國友健生、中川雅登、尾田和広、嶋田文彦、古山忠宏、野洲孝二、新川由基、松田和子、野一色真弓、鶴飼康治、三原了導、松居治樹		事務局 医事課 医事業務グループ	
活動内容					
【委員会の開催】					
○第1回救急体制検討委員会（平成30年4月23日（月） 18：00～19：00 第2会議室） 委員会組織について、GW連休中の救急診療体制について、救急ミニ講座年間計画について、各科からの救急関係報告事項等について、その他					
○第2回救急体制検討委員会（平成30年12月11日（火） 18：00～19：15 第2会議室） 年末年始の救急診療体制について、医療情報システムの更新について					
【実施事業等】					
○5月連休中、年末年始の救急における点滴患者の対応について通知（平成30年4月23日、平成30年12月19日）					
○救急ミニ講座開催：全4回、参加者計118人					
○OLSA-ICLS長浜曳山コース実施：全2回：第21回…平成30年6月9日／参加者55人 第22回…平成31年2月9日／参加者52人					
○救急救命士病院実習（通常実習）受入れ：平成30年6月～平成31年3月					
○救急救命士病院実習（就業前実習）受入れ：平成30年5月28日～6月15日					
○救急救命士病院実習（気管挿管）受入れ：平成30年4月2日～6月11日					

医療安全対策委員会	医療の安全確保と医療事故防止のため各種事業を行う。 ①リスクマネージャーの育成②K Y T が職場改善に活かせる。③現場巡視を通じて、マニュアルの啓発や業務改善に繋げる。	
委員長 心臓血管外科責任部長兼医療安全管理責任者 曾我欣治	委員 潮 正輝、平良 薫、横川竜生、町本高章、岡本明子、守矢千春、長谷川弘樹、新田朋美、塚口昌文、田中祐輔、前川純子、次郎内圭子、谷口智子、勝木陽子、宮崎恵子、堀江智美、清水義典、下村哲也、松山桂士、近藤昭仁、烏脇富子、藤本とき江	事務局 医療安全管理室
活動内容 - 医療安全対策委員会の開催：毎月第2木曜日開催 11回 委員会開催毎にコードブルー発令練習実施。 - リスクマネージャーの育成：各職場内の危険を察知し改善案を提案、KYTの実践、事例分析の実施、部署インシデント統計分析ができるよう支援する。 - 前期リスクマネージャー会 平成30年5月29日開催 内容：①医療安全管理体制について②リスクマネージャーの役割③K Y T 研修 - 後期リスクマネージャー会 平成30年10月16日開催 内容：①リスクマネージャーの役割の認識②後期リスクマネージャーの取り組み確認③RCA分析グループ演習 - チームSTEPPS SBAR合同研修 内容：部署別に分かれて各事例を基にチームSTEPPS(SBAR)研修。 平成30年5月14日～平成31年4月26日開催 看護局(透析室・外来・中央手術室・中央材料室) 72人 医療技術局(放射線技術科・臨床工学技術科・歯科眼科技術室・栄養科・中央検査技術科・リハビリテーション科) 96人 事務局(診療情報支援室・総務課・医事課・経営企画課) 46人 薬剤局 9人 患者総合支援センター 23人、診療局 1人 合計 247人参加 - 各部署KYT実践 実施率：看護局 92%、医療技術局 92%、薬剤局 50% 事務局 5% 医療技術局では、昨年同様に実施出来た。看護局では、KYTの手法、普段の業務の中にある危険を予知することが不十分であり、PDCAサイクルを活用しての実践は十分には出来なかった。今後の課題であり、全部署への支援が必要。 - RCA分析実践：看護局のみ - インシデント統計分析実践 看護局・医療技術局の全部署にて実施 - 医療安全対策委員会グループ活動報告：現場巡視を通じて、マニュアルの啓発や業務改善に繋げる。 - 患者誤認防止・・・患者誤認防止グループ ・患者誤認防止強化月間の取り組み 期間：平成31年4月15日～4月19日(外来、放射線技術科、中央検査技術科、リハビリテーション科、医事課、患者総合支援センター、健診センター)で実施。1月1日から、医療情報システム更新に伴い、マニュアル通りの患者確認方法ではなく、部署により確認媒体などの変更、運用変更があったため、各部署の現状把握、対策をあげ、強化週間実施。 ・患者名乗り後、指差し照合物との名前確認を帳票類取り扱い場面を重点に巡視。→スキャン依頼に関する誤認件数ラウンド確認・分析をする。 - 転倒転落防止・・・転倒転落防止グループ ・離床センサーの安全対策：離床センサーシート運用に関するアンケート調査を実施し、前年度との比較検討を行うと共に、現場の実践状況確認。 ・院内危険箇所および病棟内の環境巡視と修理依頼実施。改善策提言ができた。 - アレルギー情報管理・・・アレルギー情報管理グループ ・患者と医療者のアレルギー情報の共有を図るために、お薬手帳の運用手順を作成。デモを3西病棟で実施・評価。 ・平成31年1月から医療情報システム更新に伴い、患者アレルギー情報の確認方法、入力方法が変更となり、職員への再周知とアレルギー情報入力の重要性をポスターにし各部署へ配布。 - 医療チームによるコミュニケーションエラー防止・・・コミュニケーション推進グループ ・各部署全員が参加することを目的として部署別SBAR研修を計画立案し、RM、班員がレクチャーを実施。年間247人が参加。欠席者に、部署RMが個人的に指導するなど積極的な活動が見られた。 ・SBAR新聞 年4回発行し、班活動の内容や、事例紹介など情報提供できた。 - リスクナース検討部会 ・対策委員会班活動の現場推進活動を実施。 ・輸血、採血、注射時のPDA使用について巡視。ほぼ実施できている。 ・口頭指示の現場把握、マニュアル周知について、アンケート実施、分析、マニュアルの読み合わせによる再周知 ・アレルギー情報管理として、事例を基に強化週間実施。 ・転倒転落防止策の離床センサーシート、危険度チェックシートの活用について巡視を行い状況確認指導実施 ・KYT、PDCAサイクルでの実施・推進活動を行い、一部署を除き実施。 ・RCA分析については、研修会や支援を行い全部署実施。		

医療安全管理委員会	院内における医療安全対策、医薬品安全管理、医療機器安全管理、医療相談業務を総合的に企画実施し、また、事故対策を講じるために必要な事項を審議し、意思決定する。	
委員長 心臓血管外科責任部長 兼医療安全管理責任者 曾我欣治	委員 野田秀樹、神田雄史、嶋田文彦、高島弘行、近藤定彦、大野暢宏、松田和子、村上義和、藤居 敏、辻 克信、坪井房幸、野洲孝二、鶴飼康治、松居治樹、烏脇富子、藤木智美、藤本とき江	事務局 医療安全管理室
活動内容 1. 内 容 ・ 病院全体の医療安全対策の方針について協議決定を行っています。 2. 医療安全管理委員会開催 毎月第2火曜日開催 12回 (1) 各委員会等報告と協議 ・ 医療機器安全管理に関する事項 関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み ・ 医薬品安全管理 関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み ・ 医療安全管理に関する事項 インシデント報告事象の共有（患者誤認・レベル3b以上の事象） 関連機関注意喚起事項や当院発生事象についての対策取り組み ・ 各委員会活動方針の合議 ・ 各委員会研修会開催報告 (2) その他 ・ 医療安全対策地域連携加算1を申請し、湖北圏域の3病院が連携して活動を実施 ・ 医療事故情報収集等事業参加登録申請 ・ 各委員会マニュアルの周知・決定 ・ 滋賀県医師会A i システム受入れマニュアル作成、警察A i システム受入れマニュアル作成 (3) 委員会主催による研修会開催(3回) 医療安全研修(当日参加人数のみ記載) ・ 平成29年度医療安全取り組み報告会 平成30年5月17日 参加人数223人 ・ KYT(危険予知トレーニング) ～日常から安全意識を高め、リスクをメンバーと共有する～ 講師：SOMPOリスクアマネジメント株式会社 橋本 勝先生 平成30年7月26日 参加人数160人 ・ クリニカルガバナンス「医療の質を高めるためには病院・私達は何をすればよいのだろうか」 講師：地方独立行政法人奈良県立病院機構 理事長 上田裕一先生 平成30年12月4日 参加人数174人 3. 報告事項 ・ 平成30年度医療事故報告分析結果（全体・部署別） ・ 平成30年度各委員会活動評価 ・ 医療相談・苦情についての報告など		

感染対策担当者会議	院内における医療関連感染の防止対策を推進し、啓発活動を行う。	
委員長 総合診療科 療養病棟責任部長 大野暢宏	委員 近藤定彦、山科 聡、坪井房幸、杉江加代子、 岩崎昌子、辻 賢、川上正邦、高山直樹、 中村寛子、岸田智恵子、嘉村真幸、北村美幸、 川越ゆき、細川ひろみ、久保田武次、藤本智美	事務局 医療安全管理室
活動内容 内 容 各感染症に対する専門知識と感染予防策の普及 標準予防策・経路別予防策に基づく院内感染防止対策の推進 ・手指消毒剤の個人携帯の推進と手指衛生タイミング確認と推進 ・個人防護具（アイシールド、ガウン・エプロン）の遵守 職業感染対策の推進 感染防止対策研修会の参加推進 感染対策関連サーベイランスの実施 ○感染対策担当者会議 隔月第3木曜日開催 年4回（8月除く） 環境整備の強化 ・ルミテスターデータを基に改善対策を講じ実施する。 手指消毒剤使用の推進 編集委員による啓発リーフレット「院内感染防止対策ニュース」の発行 ・60号「食中毒ウェルシュ菌とは？」 平成30年8月7日発行 ・61号「『AST』ってなに？」 平成30年9月22日発行 ・62号「『もしかして・・・結核？』というケースに出合ったら？」 平成31年2月20日発行 サーベイランス結果の協議 ・医療器具使用状況(血管留置カテーテル・尿道留置カテーテル) 職業感染対策の推進 ○感染制御チーム検討会（ICT）、抗菌薬適正使用支援加算チーム(AST)：週1回毎週木曜日 環境ラウンド ラウンド回数（47回） 抗菌薬適正使用の確認と推進 菌血症患者、血液培養結果の確認と評価 サーベイランス協議：データ分析・評価を実施 ・耐性菌発生状況 職業感染対策の推進 ・市中での流行性ウイルス疾患（麻しん・風しん）について 感染対策の協議と周知文書作成、職員抗体価の保有状況を確認し対策を講じる。 感染防止対策加算による合同カンファレンス開催 年8回 ・湖北地域3病院(長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院、市立長浜病院)と長浜保健所で開催 細菌検出率、抗菌薬使用状況、手指消毒薬使用量の比較検討 流行している疾患など厚生労働省や県・保健所の通知および情報収集と対策の共有		

感染管理委員会	医療関連感染防止対策の総合的な企画、立案、評価や、医療関連感染が発生した場合の病院としての方針を決定するために設置する。	
委員長 総合診療科療養病棟 責任部長 大野暢宏	委員 野田秀樹、神田雄史、嶋田文彦、高島弘行、近藤定彦、 曾我欣治、松田和子、村上義和、藤居 敏、辻 克信、 坪井房幸、野淵孝二、鶴飼康治、松居治樹、島脇富子、 藤木智美、藤本とき江	事務局 医療安全管理室
活動内容 1. 内 容 ・医療関連感染の防止対策や、院内全体の感染対策の方針について協議決定を行っています。 2. 感染管理委員会開催 毎月第2火曜日開催 12回 1) 各委員会等報告 ・院内感染防止対策取り組み ・耐性菌・インフルエンザの院内発生動向の報告 ・特定抗菌薬の使用状況と届出の提出状況の報告 ・歯科口腔外科院内感染防止対策取り組み ・研修会、3病院（長浜赤十字病院、湖北病院、当院）カンファレンスの開催報告 2) その他 ・入院患者から結核発症における接触者検診について ・市中での流行性ウイルス疾患（麻しん・風しん）流行に対し、抗体が無い職員へのワクチン接種実施 3) 委員会主催による研修会開催 感染対策研修（当日参加人数のみ記載） ・「①身近に存在する“肝炎”の怖さ」 平成30年9月20日 参加人数145人 「②薬剤耐性(AMR)対策の推進について～抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の取り組み内容～」 講師：①診療局外科部長 平良薫 医師 ②薬剤局・AST・ICT 高山直樹 薬剤師 ・「薬剤耐性菌はどこから来たのか？そしてどこへ行くのか？」 平成31年1月11日 参加人数104人 講師：総合診療科(I C D) 大野暢宏 医師		

開放型病床運営委員会	開放型病床を効率的にかつ円滑に運営すること。	
委員長 院長 神田雄史	委員 上松貞彦、湯本義一、小林清亮、華房順子、工藤 寛、畑野秀樹、七里源正、廣田光前、雨森正洋、塚本隆弘、中村義則、澤渡新太郎、川島和彦、近藤定彦、西川忠男、堀川佳孝（オブザーバー）	事務局 地域医療連携室
活動内容 年1回開催 平成30年11月22日（木） 開放病床の運営について （1）開放型病床利用状況について （2）病診連携運用状況について （3）開放型病床病棟別病床数 （4）その他		

病床管理会議	一般病棟入院患者の療養型。地域包括ケア又は回復型の転棟について審査・判定する。レスパイト入院（開放病床利用を含む。）予定患者の病棟決定について審査・判定する。	
委員長 患者総合支援センター センター長 川島和彦	委員 大野暢宏、江藤謹司、中川雅登、梅本範子、前川純子、伊藤雅子、遠藤邦枝、音居玲子、三田久容、徳田敏子、尾崎幸子、吉田昌裕、土川陽子	事務局 地域医療連携室
活動内容 平成30年4月3日から、毎週火曜日に実施（51回）した。病床の空床状況により適宜病棟師長間での調整も行った。		

回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会	回復期リハビリテーション病棟への入院（転入含む）にあたり、入院適応基準に基づく入院の判定を行う。	
委員長 リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司	委員 小室太郎、小川雅文、北村 淳、杉江加代子、遠藤邦枝、尾崎幸子、今庄 悠、梅本範子、後藤智彦	事務局 地域医療連携室
活動内容 平成30年4月3日に第1回目を開催。その後、毎週火・木曜日に（延べ56回）開催し、院内95人、院外65人、計160人の方を審査・判定した。		

回復期リハビリテーション病棟運営委員会	回復期リハビリテーション病棟の運営を効率的かつ円滑に行う。	
〔運営委員会〕 委員長： リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司 〔運営検討部会〕 部会長： リハビリテーション科部長兼 回復期リハビリテーション病棟長 江藤謹司	委員 貝沼亜希乃、雨森正洋、伊藤仁文、中川 勝、 夏原さゆり、真壁知枝、齋藤 晃、雑賀正明、 柴垣純子、谷口 泉、中山美智子、永田かおり、 藤居 敏 委員 小室太郎、北村 淳、梅本範子、中田重樹 桐畑善彦、遠藤邦枝、中村春美、大野佐代子 土川陽子、今莊 悠	事務局 地域医療連携室
活動内容 〔運営委員会〕 平成30年度第1回委員会 平成30年8月30日（木） (1)回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会の状況について (2)回復期リハビリテーション病棟の運営状況について (3)リハビリテーションの実施状況について (4)リハビリテーションの質的評価について 〔運営検討部会〕 平成30年度第1回部会 平成30年8月2日（木） (1)事業報告 ・回復期リハビリテーション病棟入院判定委員会報告 ・回復期リハビリテーション病棟運営報告 ・リハビリテーション実施報告 ・回復期リハビリテーション病棟収支報告 (2)リハビリテーションの質的評価 (3)平成30年度回復期リハビリテーション病棟運営について		

がん対策推進委員会	がん治療および診療科を超えたチーム医療の推進、院内関連委員会との連携、がん診療情報の発信およびがん登録に関する協議を行うこと。	
委員長： がん対策推進室 管理監 伏木雅人	委員 田久保康隆、東出俊一、平良 薫、横川竜生、 大岡千寿子、村上義和、梅本範子、藤居敏、土川陽子、 新川君代、山岸美紀、宮崎恵子、橋本祥子、大橋依子	事務局 がん対策推進室
活動内容 【委員会の開催】（3回） 第1回 平成30年6月29日（金） ・PDCAサイクルの実施について ・湖北がんフォーラム2018について ・緩和ケア研修会について ・がん診療連携拠点病院の指定要件見直しについて ・今年度の予定について 第2回 平成30年11月6日（火） ・PDCAサイクルの中間評価について ・がんフォーラム2018について（報告） ・がんフォーラム2019について ・地域がん診療連携拠点病院の指定更新について 第3回 平成31年3月18日（月） ・PDCAサイクルの最終評価について ・湖北がんフォーラム2019について ・地域がん診療連携拠点病院の指定更新について ・5大がんに関する研修会について		

緩和ケア推進委員会	がん対策推進基本計画に基づく緩和ケアの推進および患者・家族の生活の質（QOL）を維持向上させること。	
委員長： がん対策推進室 副管理監兼室長 田久保康隆	委員 伏木雅人、野口哲男、江藤謹司、横川竜生、 川島和彦、脇ノ上史朗、北本幸恵、久保田理恵、 藤井三和子、長谷川博美、竹崎菜摘、土川陽子、 河野智一、新川君代、山岸美紀、橋本祥子、 金武李佳、宮崎恵子 准委員 森田幸代	事務局 がん対策推進室
活動内容 1. 緩和ケアチーム回診の実施（毎週火曜日：チーム回診、毎週金曜日：チーム看護師回診） 2. 委員会の開催（1回）平成30年7月10日 3. 緩和ケア研修会、緩和ケア講演会等の開催 ○緩和ケア研修会：平成30年11月11日 修了者13名 ○緩和ケア講演会 平成30年度第1回緩和ケア講演会：平成31年2月7日（木） 17:30～19:00 市立長浜病院 本館 2階 講堂 テーマ：心の発達とコミュニケーション 講師：市立長浜病院 臨床心理士・公認心理師 金武李佳 参加者：73名（院内 70 院外 3名） アンケート回収 48名 研修会の満足度：48名中39名が満足と回答 ○2018年度ホスピス緩和ケア週間（世界ホスピス緩和ケアデー:10/13）院内イベント 平成30年10月12日（金）（病院 エスカレーター横） 展示イベント、看護相談、栄養相談 4. 緩和ケア総合外来 診療数 延べ4件（3名） 5. がんリハビリテーション 延べ単位 4644単位		

化学療法委員会	化学療法を安全に実施する体制等の整備を図るとともに、化学療法を用いる抗悪性腫瘍剤(化学療法薬、ホルモン剤、分子標的治療薬など)の適正使用に関する評価、院内外での安全な施行を推進するための教育及び啓発活動を行うこと。	
委員長： 外科責任部長 東出俊一	委員 野口哲男、横川竜生、脇ノ上史朗、北本幸恵、 野田恵加、大岡千寿子、中村俊之、吉川敬子、 酒谷ひろみ、河野真弓、山岸美紀	事務局 がん対策推進室
活動内容 - 委員会の開催（2回） 第1回 平成30年9月 25日（月） 第2回 平成31年3月 7日（木） - 化学療法研修会の開催 平成30年12月6日（木） 参加者：66名 テーマ：「経口がん薬物療法薬について～乳癌を中心に～」 講 師：大阪大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学講座 吉波 哲大 先生 - 免疫チェックポイント阻害薬副作用対策マニュアルの作成、運用開始 - 電子カルテシステム移行に伴う運用検討（レジメンWG等） - レジメン登録審査委員会が審査したレジメンの確認 - 国立がん研究センター主催 がん化学療法医療チーム指導者養成研修参加 参加者：東出俊一、中村俊之、橋本祥子、山岸美紀		

レジメン登録審査委員会	院内で実施される化学療法のレジメン(治療内容)の安全性及び妥当性についての評価、承認、削除及び運用に関する事項を審議すること。	
委員長： 外科責任部長 東出俊一	委員 野口哲男、横川竜生、糟谷憲邦、今枝広丞、 脇ノ上史朗、北本幸恵、中村拓路、大岡千寿子、 中村俊之、酒谷ひろみ、河野真弓、山岸美紀	事務局 薬剤局
活動内容 - 小委員会設置(化学療法委員会設置要綱第7条) - レジメン登録数 平成30年度 39件 4月：7件 5月：2件 6月：2件 7月：1件 8月：1件 9月：2件 10月：2件 11月：1件 12月：2件 1月：14件 2月：2件 3月：3件 うち、添付文書通りの登録 37件 患者限定 2件 倫理委員会へ申請後登録 0件		

診療情報・図書室 管理運営委員会		当院における診療録の管理運営および図書の管理運営について、関係部署の連携調整を図るため
委員長： 外科 平良 薫	委員 清水久雄、廣坂雄介、森永晃史、藤原直樹、中村俊之、 北村 淳、桐畑千尋、弓削悦子、吉川敬子、松山桂士、 土川陽子、川越ゆき、佐々木香織、番野晶子、安藤美子	事務局 診療情報支援室
活動内容 第1回 平成30年7月30日（月） ○協議事項 ①帳票の西暦和暦表記統一について ②テンプレート（電子カルテ内）の管理について ③POLST（DNAR指示含む）の説明同意書について ④入院診療録監査について ⑤図書 次年度購入準備 第2回 平成30年10月4日（木） ○協議事項 ①図書について ②診療記録用紙について ③手術動画の取り扱いについて ④新システムの電子カルテにおける掲示板および付箋の取り扱いについて		

DPC委員会		当院におけるDPC請求に関連する事務の適正な執行を図るため
委員長： 副院長 嶋田文彦	委員 潮 正輝、洞井和彦、平良 薫、宮部照美、 北川真由美、服部直美、野洲孝二、松山桂士、森 靖、 土川陽子、廣瀬朋子、四塚京子、佐々木香織	事務局 診療情報支援室
活動内容 第1回 平成30年7月25日（水） ○協議事項 ①適切なコーディングに関すること ②診療報酬改訂について ③DPCプロジェクトチームについて 第2回 平成30年10月17日（水） ○協議事項 ①適切なコーディングに関すること ②高額薬剤の追加について ③DPCプロジェクト活動のまとめ 第3回 平成30年12月26日（水） ○協議事項 ①適切なコーディングに関すること ②厚労省が定める高額薬剤 ③DPCプロジェクト活動報告 第4回 平成31年3月27日（水） ○協議事項 ①適切なコーディングに関すること ②次年度の医療機関別係数 ③DPCプロジェクト活動について		

看護局 看護管理者会		中間管理者として病院の経営・看護局方針をよく理解して業務の改善向上に努めると共に看護業務を円滑に進めていくために補佐・係長と主任間のコミュニケーションと他部門との意見調整を図る。	
委員長 看護局長 松田和子		委員 係長級以上の者	事務局 看護局
月	日	活 動 内 容	
4月	11日	・看護局長挨拶（新年度の所感） ・昇格者挨拶 ・今年度の抱負（全員） 議題1：平成30年度看護局資料説明 その他：理念唱和	
4月	18日	議題1：臨床心理士の仕事の紹介 議題2：新クリニカルラダー説明 議題3：平成30年度会議・委員会委員の選出 その他：市長会会計報告、病院年報、看護業績集、看護局だより 理念唱和	
4月	25日	議題1：診療報酬改訂について(梅本) 議題2：救急体制(小児科、産婦人科対応)について(野一色) その他：5月の会議・委員会連絡 5月の人事異動 病院医療情報システム更新スケジュール 人事評価一覧表 理念唱和	
5月	23日	*管理事例発表 議題1：重症度、医療・看護必要度について(梅本) 議題2：超過勤務について 議題3：診療材料期限切れについて(織田) 議題4：接遇マニュアルについて(弓削) その他：6月の会議・委員会連絡、6月の人事異動、医療情報システム施設見学、薬剤鑑別報告書 理念唱和	
6月	6日	*管理事例発表（5月当番） *その他 栄養科からのお知らせ 議題1：病院経営（平成29年度決算報告）について（企画課中田課長 看護目標3より各部署取り組み内容発表 議題2：労務管理について（松田・弓削） ①年次取得について ②超過勤務について説明 GW② 理念唱和	
6月	27日	管理事例発表 議題1：労務管理について（松田・弓削） ガイドライン読み合わせ GW対策の協議（管理者・看護局）発表 議題2：災害管理 各部署のよく出来た点、課題を事前にまとめる 課題に関しての対策、災害検討会追加課題 議題3：各委員会・会議目標の共有 日本看護協会総会報告 その他：理念唱和	
7月	11日	*管理事例発表（6月当番・7月当番） 議題1：労務管理（超過勤務時間・年次）について（弓削） GWの結果から 議題2：目標管理－リリーフ体制について（梅本） リリーフ体制指針の読み合わせ リリーフ体制調査票－情報として使用*会議後提出GW発表。議題3：各委員会・会議目標の共有（残り分）7月の各委員会・会議連絡 その他：人事評価 用度請求用紙に関する流れ教育協力費 理念唱和	
7月	18日	議題1：文書管理WGからの協力依頼（診療情報支援室堀江さん）医療情報システム導入スケジュールと進捗状況について（吉川・岩崎）議題2：看護記録全般の種類分けリスト作成 その他：各委員会・会議目標の共有（残り分）7月の各委員会・会議連絡 理念唱和	
7月	25日	議題1：リリーフ体制GWまとめと報告 梅本理事 議題2：看護教育協力費について（弓削） 議題3：病院運営会議報告 その他：委員会・会議目標の共有（大規模災害検討会・DPC）理念唱和	
9月	26日	議題1：医療情報システムについて－現在の進捗状況 議題2：看護補助者のリリーフ体制について その他：10月の各委員会・会議連絡 理念唱和	
10月	10日	*管理事例発表 議題1：湖北ルール調査結果について（松田・徳田） 継続看護検討会進捗状況から 議題2：夏休み取得状況と管理者超過勤務について（弓削・松田） 議題3：医療情報システム進捗状況（吉川） クリニカルパス委員会報告/進捗状況（田附） 議題4：消化器再開における追加事項（梅本） その他：理念唱和	
10月	17日	議題1：看護局目標管理中間評価 推進委員・梅本 その他：理念唱和	
11月	14日	議題1：薬剤科からの伝達事項（薬剤局）医療情報システム変更に伴う薬剤関係の運用変更案について 議題2：目標管理中間まとめ 人事考課の質問 その他：看取りのガイドライン、SPD期限切れ 勤務表管理システムの変更に伴う留意事項、保健所立ち入り検査に伴う留意事項 マニュアル整備（管理規定Ⅰ・Ⅱ持参） 理念唱和 *17：30～総合リハーサル（デモ環境）（講堂）	
11月	21日	議題1：保健所立ち入り検査対応について（織田） その他：理念唱和	
11月	28日	看護管理事例発表（11月当番） 議題1：ナースコール説明会 議題2：医療情報システム対応スケジュールについて（吉川） 議題3：適時調査対応について（弓削）その他：12月人事異動 理念唱和	
12月	12日	看護管理事例発表（12月当番） 議題1：医療情報運用説明 病棟編（吉川） 事前に内容を確認 議題2：医療情報システム対応勤務体制について（松田） その他：理念唱和	
12月	19日	看護管理事例発表（12月当番） 議題1：医療情報運用説明 外来・透析室・手術室・患者総合支援センター・その他編（岩崎・吉川） ・各担当 理念唱和	
12月	26日	議題1：医療情報システム関連について ・運用 未説明のところ（梅本・松田） 議題2：年末年始対応 ・救急関連連絡事項（野一色） ・その他会議・委員会関連連絡事項 笠原 ・医療情報システム対応連絡網（弓削） ・1月4・7日体制（弓削） ・システムダウン時対応（梅本） ・月末書類の取り扱い（松田） その他：駐車場カードの取り扱い（織田） 理念唱和	
1月	9日	院長訓示 議題1：医療情報システム関連について ・現状での課題整理（吉川・岩崎） ・部門別（松田） 理念唱和	
1月	23日	管理事例発表（1月当番） 議題1：平成31年度目標管理に向けて（松田） 議題2：教育委員会からの連絡（山岸）議題3：目標管理推進委員会からの連絡（梅本） 議題4：IT関連（吉川・岩崎） その他：病院管理運営会議報告 大型連休の件 理念唱和	
1月	30日	議題1：平成31年度目標管理に向けて その他：がんむきあう週間について 理念唱和	
2月	6日	平成31年度看護局目標を作成する 1. SWOT分析表から目標を共有する 2. 成果目標・成果指標・目標値の決定 その他：理念唱和	
2月	13日	管理事例発表（2月当番） 議題1：平成31年度目標管理に向けて その他：理念唱和	
2月	20日	議題1：平成31年度新人看護職員研修について 議題2：平成31年度目標管理に向けて 議題3：人事考課評価方法について その他：ストレスチェック組織分析について 敗血症診断ツールについて 平成31年度定期異動発表 理念唱和	
2月	27日	議題1：人事考課についてGW ① 評価について ② 全体について ③発表（時間がなければ、各グループで内容をまとめ提出） その他：理念唱和	
3月	6日	看護管理者成果発表会	
3月	13日	議題1：次年度目標管理について説明 質疑応答 師長・主任合同研修会 その他：理念唱和	
3月	27日	管理事例発表（3月当番） 議題1：次年度教育ラダーについて説明（草野） 質疑応答 その他：教育協力費について（弓削） 4月当初のスケジュール（松田） 理念唱和	

看護局 看護基準検討会	提供する看護を一定の基準に保障するために、看護基準・看護手順の作成や見直しを行う。また、個々の職員が活用し実践しているか監査し指導する。	
委員長 看護科長補佐 大野佐代子	委員 森鈴子、池田優子、木村綾香、山本 徹、 赤井明美、久保田哲子、津田絢野、林 文子、 次郎内茂、岩田純香、辻 勝彦、岩佐由里子、 葛城綾那、森田静香、森 真紀、遠藤美希	事務局 看護局
活動内容 活動計画 1. 電子カルテ更新にむけ 標準看護計画 の整備 2. ナーシングスキルを使用した看護手順・検査手順活用推進への整備 会議開催日：5月26日 8月10日 9月4日 10月23日 12月25日 電子カルテ内で標準看護計画の展開ができるよう、マスタ作業を行い、1月1日電子カルテ更新と同時に運用開始できた。 看護手順のナーシングスキルの活用に向け、当院の看護手順とナーシングスキルの照らし合わせの作業を行い、ナーシングスキルにある看護手順に当院の看護手順が反映できるか、業者に確認を行い、次年度より作業開始に向けての準備をした。看護手順は新たに2項目作成、1項目修正を行った。		

看護局 看護記録検討会	実践した看護を記録に反映させるために、記録の書式検討や省略化を推進し、記録の有効な活用をはかる。また、基準に沿って監査し看護記録の向上を図る。	
委員長 看護科長補佐 岸本尚子	委員 坂上由樹、太田麻衣、大杉妙華穂、藤井 紋、 小川景子、三枝弘美、津田絢野、杉山加奈、 江原千尋、北村裕子、辻 勝彦、前田彩香、 長谷川歩、松川久美子、河野真弓、炭田枝美子、 高木ひとみ	事務局 看護局
活動内容 活動計画 1. 看護記録の動画を視聴し、各委員による院内記録マニュアルの周知を行い、より質の高い看護記録ができる 2. 入院診療計画書に基づいた看護実践の記録ができ、看護の均一化、質の向上に繋がられる 3. 看護実践に即した重症度、医療・看護必要度の正しい記録と評価ができる 会議開催日：5月22日 7月24日 9月25日 11月27日 1月22日 3月15日 今年度は前年度の課題からナーシングスキルの視聴やテスト、各病棟での学習会を開催し、スタッフ個々のスキルアップができるよう取り組んだ。看護記録の動画視聴率は64.5%、記録監査は監査用紙の変更が影響したのか目標とした水準には達しなかった。医療看護必要度の動画視聴後のテストは、50%の実施だった。各病棟での看護記録に関する学習会は、ほとんどの病棟で2回開催できた。これらのことから、次年度につながるようスタッフ個々に対する看護記録の学習面での強化できてきたと思われるので、今後は実践できるように活動していく。		

看護局 新人看護職員研修 委員会	新人看護職員の安全な臨床実践能力の獲得、専門職業人としての成長、生涯にわたり自己研鑽の姿勢を習得できる体制と研修評価を協議する。	
委員長 看護主幹 山田みか	委員 一花千紗、牧野 茜、渡 良子、中川裕香、 立松 恵、高山由貴、中川由紀、高木陽平、 廣部佐太則、斉藤美穂	事務局 看護局
活動方針 4月19日 新人指導状況の共有、新人担当者からの新人状況の報告、指導上困っていることについて検討、各グループの活動計画立案 5月17日 新卒指導進捗状況の共有、指導上の困難点・課題についての検討、事例検討、6月研修指導案の確認、5月指導者研修実施報告 6月21日 新卒指導進捗状況の共有、指導上の困難点・課題についての検討、5月研修実施報告、7月指導者研修計画共有 7月19日 新卒指導進捗状況の共有、指導上の困難点・課題についての検討、新人3ヶ月の到達状況の確認、6月研修実施報告・9月研修指導案の確認、7月指導者研修実施報告 9月20日 指導上の困難点・課題についての検討、年間計画進捗状況の確認、7月研修実施報告・10月研修指導案の確認 11月 1日 新人個別課題の達成に向けた担当者の工夫点（新人6ヶ月の到達状況を参考） 9月10月研修実施報告・11月研修指導案の確認、11月指導者研修計画共有 12月20日 次年度の研修計画について検討（3グループで内容整理し次月検討） 11月研修実施報告・1月研修指導案の確認、11月指導者研修報告、12月研修企画（全員） 1月17日 次年度研修計画案の共有、3月指導者研修計画共有 2月15日 レベルⅠAツール評価の実施、未到達者への対応検討・再評価予定		

看護局 看護師定着・確保 検討会	①職員のモラル向上を目的に、身だしなみや接遇改善をする。 ②職員の満足度向上を目的に、勤務体制を見直し長時間労働の改善を図る。 ③職員確保を目的に、情報システムの見直しをする。	
委員長 看護主幹 山田みか	委員 浅井加奈、杉山慎太郎、山口正博、来本香奈美、 馬淵あやめ、松橋由香、鈴木祥平、澤 千歌、 木村亜貴江、三橋彩花、田中篤司、人西裕子、 能勢景子、青山美穂子、岡島智恵子、古田裕子、 新川君代、西村智恵美	事務局 看護局
活動方針 1) 職場における接遇・身だしなみの必要性を理解して、主体的に接遇・身だしなみの改善に取り組める 2) 超過勤務の削減に向けて一人一人が意識的に行動できる 3) 職員確保に繋がるように看護局に関する情報を効果的な媒体によって発信できる 活動内容 6月14日 平成30年度活動方針の説明、部署現状の共有、接遇マニュアルの配布と説明 8月 8日 部署での接遇改善活動の報告・共有、患者ご意見に対する検討・改善策の検討 10月11日 部署での接遇改善活動の報告・共有、患者ご意見に対する検討・改善策の検討 12月14日 部署での接遇改善活動の報告・共有、患者ご意見に対する検討・改善策の検討 電子カルテシステム移行に伴う接遇対応の留意点周知 2月 7日 部署活動の発表、次年度課題の明確化 その他 病院見学&説明会の開催（4月5月6月計3回） インターンシップの受け入れ（夏季休暇中12名）		

看護局 教育委員会	看護の質の向上をめざして、看護職員が専門職業人として生涯にわたる能力開発とキャリア開発を支援するために教育研修の企画・運営・評価を行う。	
委員長 看護係長 山岸美紀	委員 阪東美加、辻 美春、毛利由布子、森中かおり、 東野千佳、竹野真由美、川瀬智代、伊吹理子、 野一色祐美子、新木貴枝、筒井由起、鍋島みゆき、 高田憲明、芝田美里、西堀正樹、井上弘美	事務局 看護局
活動方針 1. 委員会活動を通して、スタッフが多職種と連携し個々に応じた看護実践ができるよう、教育的支援を行うことができる。 2. 病棟教育委員は、病棟スタッフが各レベルの課題を達成できるよう、進捗状況の確認や動機づけを目的とした面接を計画的に実施することができる。 3. 病棟教育委員は、各レベルの評価や研修が、対象者にとって看護実践に活かせる効果的な学習機会になるよう、アセスメント能力・看護実践能力が高まる学習の場を提供することができる。またクリニカルラダーと評価ツールの内容を理解し、効果的な活用に向けて課題の抽出や評価まで行うことができる。		
活動内容 5月11日【全体会】H30年度委員会の活動方針、組織、各役割について説明。レベルⅡ～Ⅳのツールの説明。各レベルの企画会議 6月 1日【中央委員会】年間計画/ラダー評価に関する報告、課題の共有。病棟教育委員活動に関する共有。病棟教育委員 年間活動実施表について。専門ラダーや部署特有チェックリストの改訂作業に関する課題共有。 7月 6日【全体会】各企画委員からの報告、全体協議。中央委員会からの報告、Q&A作成について。病棟教育委員活動と初回面接状況報告。 9月 7日【全体会】各企画委員からの報告、全体協議。事例検討用紙を用いた検討会の実施状況確認。アンケート結果共有→グループ協議。 10月 5日【中央委員会】介護士会での教育活動、研究委員会の進捗状況共有。組織役割遂行能力、自己教育・研究能力の評価者。教育委員による面接の流れや押さえておくポイント。特殊技術、注射ラダーの扱いについて。 11月 2日【全体会】各企画委員からの報告、全体協議。救急・災害に関する課題について。次年度ラダーに向けたGW。 12月 1日【中央委員会】最終評価～提出までの日程・提出対象・手段について。次年度ラダー改訂におけるツール改善点。 1月 5日【全体会】最終評価日程、評価に関する追加資料、提出方法。最終面接シートについて。 2月 1日【中央委員会】最終評価の流れについて。次年度研修、I Bの運用について。 3月15日【全体会】最終評価、次年度に向けた課題について。ラダー評価。		

看護局主任会	看護実践の責任者として資質を高め、現場の問題解決に積極的に取り組み現場の活性化を図る。医療監査における問題抽出と解決	
委員長 看護科長補佐 宮部照美	委員 河嶋智子、尚永亜希子、西島好子、岡部奈緒、 野一色祐美子、野村耕一郎、中畠ゆき、山田みか、 小川由美子、伊吹誠子、土田由美子、東野千佳、 西尾多恵、山田真奈美、辻野裕美子、依田百代、 筒井由起	事務局 看護局
活動内容： 5月14日 委員会の目的・目標・活動計画グループ、について説明 補助者活用管理研修の伝達 7月17日 必要度研修伝達、看護補助者研修実施、補助者リリース体制指針の見直し 9月18日 必要度30%維持取り組み情報交換、看護補助者研修実施報告 11月20日 必要度学習会、看護補助者技術チェックリスト共有、看護補助者リリースのグループ化説明 1月15日 年間評価、課題抽出		

看護局 固定リーダー会	チームリーダー業務および役割を通して問題を提起し、解決を図る共にスタッフの質の向上とリーダーの自己啓発を推進する。	
委員長 看護係長 伊藤雅子	委員 富田 悠、松井亜希子、柏本真奈美、岡本弓子、 棕田悦子、八尾さおり、山口清香、林 舞、 江原千尋、池田差江子、斎藤友恵（堀井祥代）、 児玉歩美、西川研吾、平山由佳、金村さおり、 井益奈留美	事務局 看護局
活動内容： 6月19日 委員会の目的・目標・活動計画、コテリ評価表について説明 固定リーダーとしての役割、強み・弱みについて情報交換 8月21日 多職種カンファレンス事例発表 カンファレンス実践による取り組みについて情報交換 10月16日 中間評価 多職種カンファレンス事例発表 後半期活動への課題共有 12月18日 多職種カンファレンス事例発表 固定リーダーの役割遂行に対する行動変化共有 2月19日 成果発表会の開催		

看護局 継続看護検討会	入院時から患者家族が安心して在宅へ移行できるよう支援し、円滑な地域連携を目指す。	
委員長 看護科長補佐 徳田敏子	委員 奥野悠美、村田理恵子、中嶋ゆき、井上実由起、 土田昌美、野村規久子、中川栄子、河嶋智子、 辻野裕美子、玉井恵美、草野和美、小尾野恵実、 中川由香里、酒谷ひろみ、中井小百合	事務局 看護局
活動方針 多職種と連携し、個々に応じた看護実践ができる。 1. 多職種が関わり患者・家族の要望を取り入れた入退院支援ができる。 2. 外来・病棟・入院支援・退院支援が連携し、地域へ繋げることができる。		
活動内容 1. 多職種が関わり患者・家族の要望を取り入れた入退院支援ができる。 (1) 各部署で湖北ルールの内容について、各部署で前半期・後半期に周知期間を設け、チーム会や病棟会などで読み合わせなどを実施し、スタッフ全員に周知した。 (2) 湖北圏域看護連携会議で主催されてる看看連携事例検討会やそのほか継続看護に関する研修会などに各部署から自主的に参加できるよう働きかけ、参加者から各部署にチーム会や病棟会などを利用して伝達し、共有できた。 (3) 委員会で連携に関連した事例に対して各部署で事例検討した内容について発表し、共有を図った。 2. 外来・病棟・入院支援・退院支援が連携し、地域へ繋げることができる。 (1) 継続看護患者情報用紙を活用し、外来←→病棟、病棟←→部門間一連の流れで情報交換できるように働きかけ、各チーム1事例/月以上達成できた。		

V 経営状況

1. 平成30年度決算状況

(1) 経営収支比較

(単位：千円)

区 分		平成 30 年度	平成 29 年度	増減	増減率
		千円	千円	千円	%
収 入	1 入 院 収 益	8,047,044	7,667,619	379,425	104.9
	入 院 診 療 収 入	7,825,150	7,446,637	378,513	105.1
	給 食 料 収 入	221,894	220,983	911	100.4
	2 外 来 収 益	3,714,456	3,631,942	82,514	102.3
	3 そ の 他 医 業 収 益	187,231	180,796	6,435	103.6
	4 受 取 利 息 配 当 金	21,480	19,931	1,549	107.8
	5 補 助 金	24,315	23,450	865	103.7
	6 一 般 会 計 負 担 金	787,108	827,356	△ 40,248	95.1
	7 院 内 保 育 所 収 益	5,144	4,405	739	116.8
	8 訪問看護ステーション収益	81,433	74,523	6,910	109.3
	9 長 期 前 受 金 戻 入	48,574	61,613	△ 13,039	78.8
	10 そ の 他 医 業 外 収 益	118,552	106,586	11,966	111.2
	収 入 合 計	13,035,337	12,598,221	437,116	103.5
支 出	11 給 与 費	7,032,798	7,001,285	31,513	100.5
	給 料	2,403,081	2,409,980	△ 6,899	99.7
	諸 手 当	1,903,906	1,880,677	23,229	101.2
	賃 金	1,069,785	1,119,081	△ 49,296	95.6
	そ の 他	1,656,026	1,591,547	64,479	104.1
	12 材 料 費	3,368,310	3,287,139	81,171	102.5
	薬 品 費	1,700,334	1,649,179	51,155	103.1
	診 療 材 料 費	1,557,274	1,521,956	35,318	102.3
	給 食 材 料 費	96,622	94,910	1,712	101.8
	医 療 消 耗 備 品 費	14,080	21,094	△ 7,014	66.7
	13 経 費	1,529,676	1,509,374	20,302	101.3
	14 支払利息及び企業債取扱諸費	213,629	236,433	△ 22,804	90.4
	15 長期前払消費税償却	23,518	23,518	0	100.0
	16 院 内 保 育 所 費	39,623	39,408	215	100.5
	17 訪問看護ステーション費	78,178	64,609	13,569	121.0
	18 そ の 他 の 支 出	1,468,622	1,490,071	△ 21,449	98.6
	支 出 合 計	13,754,354	13,651,837	102,517	100.8

(2) 貸借対照表

(平成31年3月31日)

借 方			貸 方	
科 目	金 額		科 目	金 額
固 定 資 産		円 13,471,664,810	固 定 負 債	円 11,849,119,271
有形固定資産		13,192,553,357	企 業 債	9,109,953,110
土 地		2,975,507,175	引 当 金	2,739,166,161
建 物	17,935,510,201		退職給付引当金	2,587,575,629
建物 減価償却累計額	△ 10,494,669,228	7,440,840,973	修繕引当金	151,590,532
構 築 物	669,081,006		流 動 負 債	3,914,433,759
構築物 減価償却累計額	△ 385,017,923	284,063,083	企 業 債	1,309,123,035
器械及び備品	6,376,671,093		未 払 金	2,095,619,844
器械及び備品 減価償却累計額	△ 3,898,705,309	2,477,965,784	引 当 金	458,664,288
車 両	27,547,224		その他流動負債	51,026,592
車両 減価償却累計額	△ 22,699,525	4,847,699	繰 延 収 益	533,244,146
建設仮勘定		9,328,643	長 期 前 受 金	1,383,524,365
投 資		279,111,453	収益化累計額	△ 850,280,219
長期貸付金		101,679,154	資 本 金	8,918,021,390
長期前払 消 費 税		152,713,299	剰 余 金	△ 4,744,947,906
そ の 他 投 資		24,719,000	資 本 剰 余 金	68,703,152
流 動 資 産		6,998,205,850	欠 損 金	4,813,651,058
現 金 預 金		3,480,896,677	減 債 積 立 金	168,300,000
未 収 金		2,386,791,487	建設改良積立金	1,313,000,000
貸倒引当金		△ 9,972,472	当年度未処理 欠 損 金	6,294,951,058
有 価 証 券		899,860,000		
貯 蔵 品		40,630,158		
その他流動資産		200,000,000		
合 計		20,469,870,660	合 計	20,469,870,660

(3) 経営状況①

(単位：千円)

決 算 状 況	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
総 収 益	13,035,337	12,598,221	12,568,246	12,684,022	12,840,304	12,207,809
經常収益	13,035,337	12,598,221	12,568,246	12,684,022	12,840,304	12,207,809
医業収益	11,948,730	11,480,357	11,790,257	11,809,909	11,875,096	11,265,816
料金収入	11,761,499	11,299,561	11,606,891	11,610,119	11,660,546	11,043,255
他会計繰入金	787,108	827,356	481,595	493,145	565,604	580,362
特別利益	-	-	-	-	-	-
総 費 用	13,754,354	13,651,837	13,636,784	13,646,898	15,392,378	12,290,100
經常費用	13,754,354	13,651,837	13,556,820	13,509,737	13,158,577	12,277,266
医業費用	12,881,372	12,865,366	12,696,420	12,598,775	12,212,413	11,517,107
職員給与費	7,032,799	7,001,285	6,834,349	6,881,184	6,538,828	6,272,176
材料費	3,368,310	3,287,139	3,317,606	3,368,663	3,337,115	2,957,873
減価償却費	799,563	1,027,568	968,225	759,617	871,347	815,568
支払利息	213,629	236,433	259,204	277,612	297,472	317,658
特別損失	0	0	79,964	137,161	2,233,801	12,834
純 損 益	△719,017	△ 1,053,616	△ 1,068,538	△ 962,876	△ 2,552,074	△ 82,291
累積欠損金	6,294,950	5,575,933	4,522,317	3,453,779	2,490,904	0

経営状況②

経 営 指 標	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
総収支比率%	94.77	92.28	92.16	92.94	83.42	99.33
經常収支比率%	94.77	92.28	92.71	93.89	97.58	99.43
医業収支比率%	92.76	89.23	92.86	93.74	97.24	97.82
他会計繰入金対医業収益比率%	6.59	7.21	4.08	4.18	4.76	5.15
職員給与費対医業収益比率%	58.86	60.98	57.97	58.27	55.06	55.67
材料費対医業収益比率%	28.19	28.63	28.14	28.52	28.10	26.26
病床数 (年度末現在)	一 般	600	600	616	616	624
	結核精神伝染					
	計	600	600	616	616	624
病床利用率%	62.7	61.5	63.9	65.0	63.9	63.4
入院患者数 (人)	年延数	137,118	134,642	143,639	145,606	144,426
	1日平均	376	369	394	400	396
外来患者数 (人)	年延数	225,436	238,871	251,136	262,439	271,703
	1日平均	924	979	1,033	1,080	1,127
外来入院比率%	164.41	177.41	174.84	179.06	186.60	190.44
職員1人 1日当たり 患者数(人)	医師	入院	4.2	4.2	4.3	4.5
		外来	10.4	11.3	11.2	12.3
	看護師	入院	0.7	0.7	0.8	0.8
		外来	1.8	1.9	2.0	2.1
患者1人1日 当たり診療収入 (円)	入 院	58,687	56,948	55,809	54,726	55,390
	外 来	16,477	15,205	14,297	13,676	13,233
100床当たり 職 員 数 (人)	医 師	14.8	14.5	14.9	14.3	14.9
	看護部門	85.0	86.5	84.9	84.1	84.1
	全職員	166.5	167.5	165.9	163.0	163.1
診療収入 (千円)	入 院	8,047,043	7,667,619	8,016,335	8,021,068	8,065,161
	外 来	3,714,456	3,631,942	3,590,556	3,589,051	3,595,385

(4) 資本的収入及び支出 (平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

収 入

区 分	予 算 額					
	当初予算額	補正予算額	小計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額に係る財源充当額	合 計
長浜病院	円	円	円	円	円	円
第1款 資本的収入	2,350,513,000	70,000,000	2,420,513,000	0	0	2,420,513,000
第1項 企業債	1,984,900,000	0	1,984,900,000	0	0	1,984,900,000
第2項 出資金	360,323,000	70,000,000	430,323,000	0	0	430,323,000
第3項 固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0
第4項 補助金	750,000	0	750,000	0	0	750,000
第5項 寄附金	10,000	0	10,000	0	0	10,000
第6項 投資返戻金	4,530,000	0	4,530,000	0	0	4,530,000

決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
円	円	
1,966,469,800	△ 454,043,200	
1,522,800,000	△ 462,100,000	
430,323,000	0	
226,800	226,800	(16,000)
15,000	△ 735,000	
5,000,000	4,990,000	
8,105,000	3,575,000	

() は、仮払消費税

支 出

区 分	予 算 額						
	当初予算額	補正予算額	流 用 増減額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合 計
長浜病院	円	円	円	円	円	円	円
第1款 資本的支出	3,020,008,000	0	0	3,020,008,000	0	0	3,020,008,000
第1項 建設改良費	1,998,012,000	0	0	1,998,012,000	0	0	1,998,012,000
第2項 企業債償還金	994,506,000	0	0	994,506,000	0	0	994,506,000
第3項 投 資	27,480,000	0	0	27,480,000	0	0	27,480,000
第4項 補助金消費税返還金	10,000	0	0	10,000	0	0	10,000

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 608,618,592 円は、損益勘定留保資金で補てんした。

決 算 額	翌年度繰越額			不 用 額	備 考
	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継 続 通 繰 越 額	費 次 額 計		
円	円	円	円	円	円
2,575,088,392	20,952,000	0	20,952,000	423,967,608	
1,566,311,057	20,952,000	0	20,952,000	410,748,943	(116,014,151)
994,505,235	0	0	0	765	
14,272,100	0	0	0	13,207,900	
0	0	0	0	10,000	

() は、仮払消費税

VI 各種統計資料

1. 患者状況

(1) 一般病棟科別入院患者数

診療科名	30年度初 人	入院 人	転科増減 人	退 院 人	30年度末 人	延患者数 人	一日平均 人	比 率 %	在院日数 日
内 科	39	801	-23	787	30	13,189	36.1	12.4	16.6
神 経 内 科	7	74	-8	69	4	2,017	5.5	1.9	28.2
呼吸器内科	35	966	-41	931	29	12,519	34.3	11.7	13.2
消化器内科	0	254	-10	228	16	2,491	6.8	2.3	10.3
循環器内科	15	1,297	-41	1,238	33	11,001	30.1	10.3	8.7
小 児 科	0	15	0	15	0	26	0.1	0.0	1.7
外 科	23	658	-3	650	28	9,109	25.0	8.5	13.9
呼吸器外科	10	350	18	367	11	3,132	8.6	2.9	8.7
整 形 外 科	58	864	-34	841	47	22,764	62.4	21.3	26.7
形 成 外 科	1	25	3	27	2	513	1.4	0.5	19.7
脳神経外科	30	508	-66	438	34	11,272	30.9	10.6	23.8
心臓血管外科	14	390	9	404	9	5,392	14.8	5.1	13.6
泌 尿 器 科	11	467	-10	461	7	3,222	8.8	3.0	6.9
産 婦 人 科	7	559	2	561	7	4,283	11.7	4.0	7.6
眼 科	2	600	1	601	2	1,308	3.6	1.2	2.2
耳鼻咽喉科	2	161	-14	143	6	1,422	3.9	1.3	9.4
リウマチ膠原病内科	8	61	3	67	5	2,480	6.8	2.3	38.8
歯科・歯科口腔外科	0	289	0	288	1	679	1.9	0.6	2.4
合 計	262	8,339	-214	8,116	271	106,819	292.7	100	13.0

1日平均患者数は、診療日数365日で除しています。
表には、人間ドックは含んでいません。
在院日数は、延患者数/（入院+退院）×2で算定しています。
療養病棟は、含んでいません（（2）で掲載）。

(2) 療養病棟科別入院患者数

診療科名	30年度初 人	入院 人	転入 人	転出 人	退院 人	30年度末 人	延患者数 人	一日平均 人	比 率 %	在院日数 日
内 科	9	57	9		68	8	4,343	11.9	19.9	64.8
神 経 内 科	2		9	1	9	1	531	1.5	2.4	55.9
呼吸器内科	5	1	28	1	26	7	1,438	3.9	6.6	51.4
消化器内科			7		5	2	245	0.7	1.1	40.8
循環器内科	3		14		11	5	915	2.5	4.2	73.2
外 科	1		24		22	3	845	2.3	3.9	36.7
呼吸器外科			10		8	2	534	1.5	2.4	59.3
整 形 外 科	5	9	41	3	44	9	3,126	8.6	14.3	64.5
脳神経外科	28	45	76	10	115	23	9,384	25.7	42.9	76.3
心臓血管外科	2		2	1	3		289	0.8	1.3	96.3
産 婦 人 科			2		1	1	54	0.2	0.3	36.0
泌 尿 器 科	1		8		8	1	162	0.4	0.7	20.3
合 計	56	112	230	16	320	62	21,866	59.9	100	64.5

1日平均患者数は、診療日数365日で除しています。
在院日数は、延患者数/（入院+転入+退院+転出）×2で算定しています。

(3) 科別外来患者数

診療科名	新来患者数 人	一日平均 人	再来患者数 人	一日平均 人	延患者数 人	一日平均 人	比 率 %
内 科	1,657	6.8	50,332	206.3	51,989	213.1	23.1
神 経 内 科	540	2.2	4,275	17.5	4,815	19.7	2.1
呼吸器内科	1,155	4.7	11,495	47.1	12,650	51.8	5.6
消化器内科	412	1.7	3,986	16.3	4,398	18.0	2.0
循環器内科	990	4.1	18,954	77.7	19,944	81.7	8.8
小 児 科	177	0.7	2,013	8.3	2,190	9.0	1.0
外 科	1,112	4.6	10,809	44.3	11,921	48.9	5.3
呼吸器外科	207	0.8	3,504	14.4	3,711	15.2	1.6
整 形 外 科	1,779	7.3	29,566	121.2	31,345	128.5	13.9
形 成 外 科	366	1.5	2,723	11.2	3,089	12.7	1.4
脳神経外科	487	2.0	4,906	20.1	5,393	22.1	2.4
心臓血管外科	303	3.0	3,421	33.9	3,724	36.9	1.7
皮 膚 科	661	2.7	2,778	11.4	3,439	14.1	1.5
泌 尿 器 科	609	2.5	5,446	22.3	6,055	24.8	2.7
産 婦 人 科	621	2.5	10,754	44.1	11,375	46.6	5.0
眼 科	973	4.0	9,440	38.7	10,413	42.7	4.6
耳鼻咽喉科	1,081	4.4	9,515	39.0	10,596	43.4	4.7
放 射 線 科	525	2.2	9,062	37.1	9,587	39.3	4.3
麻 酔 科	48	0.9	97	1.9	145	2.8	0.1
リウマチ膠原病内科	226	0.9	7,778	31.9	8,004	32.8	3.6
歯科・歯科口腔外科	1,398	5.7	9,255	37.9	10,653	43.7	4.7
救 急 科	8,806	24.1					
合 計	24,133	98.9	210,109	861.1	225,436	923.9	100

ただし、心臓血管外科は、火曜日、金曜日の外来診療日数101日で除しています。

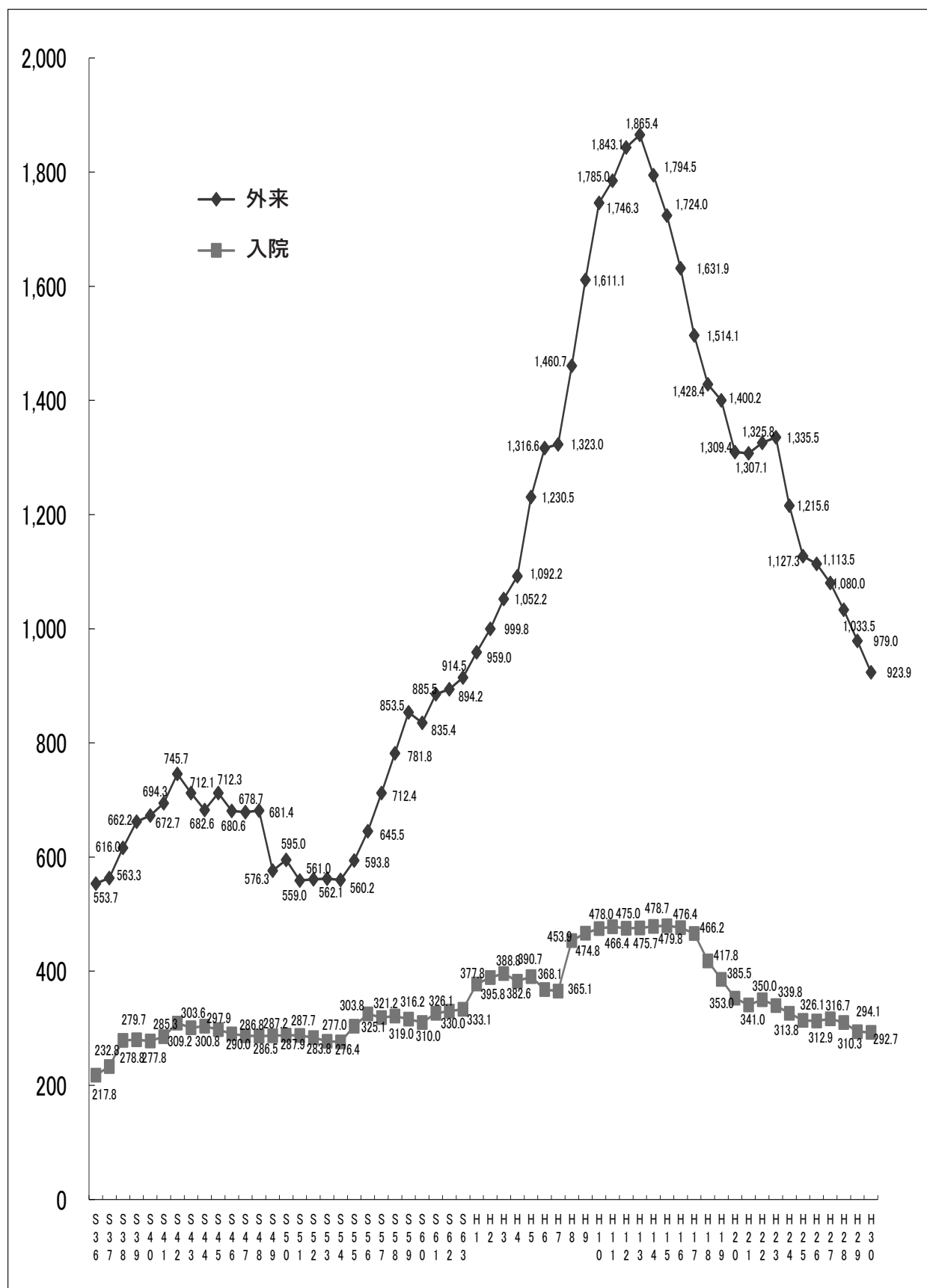
麻酔科は、火曜日の外来診療日52日で除しています。

救急科は、診療日365日で除しています。

一日平均患者数は、診療日数244日で除しています。

新来患者数は、当該診療科を初めて受診した患者数で示しています。

(4) 入院外来患者数の年次推移（一般病棟）



(5) - 1 入院地域別患者数統計表 (600床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	836	685	694	533	746	623	532	396	544	571	607	576	7,343
六荘地区	564	755	679	904	769	580	722	876	887	930	914	1,016	9,596
南郷里地区	591	629	820	628	385	445	371	431	458	340	354	400	5,852
神照地区	598	647	674	729	638	572	724	688	686	927	973	912	8,768
北郷里地区	364	440	399	451	354	337	355	425	373	240	241	290	4,269
西黒田地区	66	121	176	253	251	215	256	218	151	120	187	256	2,270
神田地区	122	129	170	257	322	250	226	180	131	91	77	162	2,117
旧浅井町	845	975	832	881	923	800	781	746	663	799	787	890	9,922
旧虎姫町	390	307	461	354	284	334	476	449	328	417	398	452	4,650
旧湖北町	328	367	349	366	354	301	460	477	482	360	444	314	4,602
旧びわ町	314	371	315	272	318	307	343	267	319	442	481	497	4,246
旧高月町	541	474	424	385	380	581	591	514	510	535	518	597	6,050
旧木之本町	504	500	543	636	482	336	277	435	444	463	423	460	5,503
旧余呉町	95	105	133	118	112	125	177	187	164	125	88	124	1,553
旧西浅井町	278	224	205	260	271	188	287	240	209	118	252	287	2,819
計 長浜市	6,436	6,729	6,874	7,027	6,589	5,994	6,578	6,529	6,349	6,478	6,744	7,233	79,560
(%)	63.3	61.7	62.7	61.9	61.0	60.5	61.2	60.9	60.6	61.3	64.0	62.6	61.8
旧山東町	751	850	845	863	845	862	947	836	814	777	824	966	10,180
旧伊吹町	313	409	445	360	274	315	420	529	448	490	307	311	4,621
旧米原町	753	833	865	941	966	955	829	878	973	957	760	927	10,637
旧近江町	546	688	636	596	724	618	582	679	703	744	726	846	8,088
計 米原市	2,363	2,780	2,791	2,760	2,809	2,750	2,778	2,922	2,938	2,968	2,617	3,050	33,526
(%)	23.2	25.5	25.5	24.3	26.0	27.8	25.9	27.3	28.1	28.1	24.8	26.4	26.1
彦根市	984	973	932	1,186	979	882	1,015	794	776	784	752	790	10,847
(%)	9.7	8.9	8.5	10.5	9.1	8.9	9.4	7.4	7.4	7.4	7.1	6.8	8.4
その他	317	274	220	262	279	199	281	315	283	287	366	384	3,467
(%)	3.1	2.5	2.0	2.3	2.6	2.0	2.6	2.9	2.7	2.7	3.5	3.3	2.7
県内合計	10,100	10,756	10,817	11,235	10,656	9,825	10,652	10,560	10,346	10,517	10,479	11,457	127,400
(%)	99.3	98.6	98.7	99.0	98.7	99.2	99.1	98.6	98.8	99.4	99.4	99.2	99.0
県外合計	73	148	138	114	137	81	94	154	124	59	66	97	1,285
(%)	0.7	1.4	1.3	1.0	1.3	0.8	0.9	1.4	1.2	0.6	0.6	0.8	1.0
総 合 計	10,173	10,904	10,955	11,349	10,793	9,906	10,746	10,714	10,470	10,576	10,545	11,554	128,685
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成29年度	10,789	11,209	10,988	10,611	10,435	9,812	10,046	10,274	9,503	10,393	11,019	11,238	126,317

*療養は含まれています。

*ドックは含まれていません。

(5) - 2 入院地域別患者数統計表 (496床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	662	436	434	284	509	405	385	295	436	439	465	432	5,182
六荘地区	442	643	569	809	681	512	675	782	708	763	778	811	8,173
南郷里地区	512	546	618	450	324	415	344	370	435	340	312	309	4,975
神照地区	492	599	613	598	566	507	634	635	571	800	861	733	7,609
北郷里地区	297	322	312	381	288	265	257	357	320	170	177	220	3,366
西黒田地区	66	121	158	218	251	215	256	193	119	120	187	230	2,134
神田地区	92	98	101	190	233	161	164	120	84	60	49	130	1,482
旧浅井町	695	760	591	696	656	527	518	497	393	583	606	684	7,206
旧虎姫町	292	254	419	323	270	328	415	360	283	386	367	353	4,050
旧湖北町	300	330	307	326	263	172	328	307	317	246	349	270	3,515
旧びわ町	200	240	246	220	253	256	312	237	265	392	336	350	3,307
旧高月町	481	421	402	289	304	491	472	383	375	429	482	577	5,106
旧木之本町	345	327	383	512	415	289	194	345	337	383	339	413	4,282
旧余呉町	95	96	107	87	81	112	177	187	164	125	88	97	1,416
旧西浅井町	265	207	187	222	224	155	259	219	209	118	207	262	2,534
計 長浜市	5,236	5,400	5,447	5,605	5,318	4,810	5,390	5,287	5,016	5,354	5,603	5,871	64,337
(%)	62.1	59.5	60.2	59.2	58.8	58.8	59.6	59.5	58.7	60.3	63.6	62.5	60.2
旧山東町	654	734	708	752	754	734	814	679	604	604	703	739	8,479
旧伊吹町	223	329	387	327	214	285	366	445	383	413	209	211	3,792
旧米原町	684	762	779	857	831	766	685	720	849	829	597	778	9,137
旧近江町	392	544	539	479	629	496	424	565	591	651	638	712	6,660
計 米原市	1,953	2,369	2,413	2,415	2,428	2,281	2,289	2,409	2,427	2,497	2,147	2,440	28,068
(%)	23.2	26.1	26.7	25.5	26.8	27.9	25.3	27.1	28.4	28.1	24.4	26.0	26.3
彦根市	860	903	866	1,098	911	824	984	723	697	685	643	645	9,839
(%)	10.2	9.9	9.6	11.6	10.1	10.1	10.9	8.1	8.2	7.7	7.3	6.9	9.2
その他	305	274	220	262	279	199	281	315	283	287	363	377	3,445
(%)	3.6	3.0	2.4	2.8	3.1	2.4	3.1	3.5	3.3	3.2	4.1	4.0	3.2
県内合計	8,354	8,946	8,946	9,380	8,936	8,114	8,944	8,734	8,423	8,823	8,756	9,333	105,689
(%)	99.1	98.5	98.8	99.1	98.8	99.2	99.0	98.3	98.5	99.3	99.3	99.3	98.9
県外合計	73	132	108	83	110	69	94	154	124	59	58	66	1,130
(%)	0.8	1.4	1.2	0.9	1.2	0.8	1.1	1.7	1.5	0.7	0.6	0.7	1.1
総 合 計	8,427	9,078	9,054	9,463	9,046	8,183	9,038	8,888	8,547	8,882	8,814	9,399	106,819
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成29年度	9,096	9,475	9,232	8,873	8,877	8,378	8,564	8,904	8,087	9,024	9,385	9,439	107,334

* ドックは含まれていません。

(5)－3 入院地域別患者数統計表（療養 104床）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	174	249	260	249	237	218	147	101	108	132	142	144	2,161
六荘地区	122	112	110	95	88	68	47	94	179	167	136	205	1,423
南郷里地区	79	83	202	178	61	30	27	61	23	0	42	91	877
神照地区	106	48	61	131	72	65	90	53	115	127	112	180	1,160
北郷里地区	67	118	87	70	66	72	98	68	53	70	64	70	903
西黒田地区	0	0	18	35	0	0	0	25	32	0	0	26	136
神田地区	30	31	69	67	89	89	62	60	47	31	28	31	634
旧浅井町	150	215	241	185	267	273	263	249	270	216	181	206	2,716
旧虎姫町	98	53	42	31	14	6	61	89	45	31	31	99	600
旧湖北町	28	37	42	40	91	129	132	170	165	114	95	44	1,087
旧びわ町	114	131	69	52	65	51	31	30	54	50	145	147	939
旧高月町	60	53	22	96	76	90	119	131	135	106	36	20	944
旧木之本町	159	173	160	124	67	47	83	90	107	80	84	47	1,221
旧余呉町	0	9	26	31	31	13	0	0	0	0	0	27	137
旧西浅井町	13	17	18	38	47	33	28	21	0	0	45	25	285
計 長浜市	1,200	1,329	1,427	1,422	1,271	1,184	1,188	1,242	1,333	1,124	1,141	1,362	15,223
(%)	68.7	72.8	75.1	75.4	72.8	68.7	69.6	68.0	69.3	66.4	65.9	63.2	69.6
旧山東町	97	116	137	111	91	128	133	157	210	173	121	227	1,701
旧伊吹町	90	80	58	33	60	30	54	84	65	77	98	100	829
旧米原町	69	71	86	84	135	189	144	158	124	128	163	149	1,500
旧近江町	154	144	97	117	95	122	158	114	112	93	88	134	1,428
計 米原市	410	411	378	345	381	469	489	513	511	471	470	610	5,458
(%)	23.5	22.5	19.9	18.3	21.8	27.2	28.6	28.1	26.6	27.8	27.2	28.3	25.0
彦根市	124	70	66	88	68	58	31	71	79	99	109	145	1,008
(%)	7.1	3.8	3.5	4.7	3.9	3.4	1.8	3.9	4.1	5.8	6.3	6.7	4.6
その他	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7	22
(%)	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.3	0.1
県内合計	1,746	1,810	1,871	1,855	1,720	1,711	1,708	1,826	1,923	1,694	1,723	2,124	21,711
(%)	100	99.1	98.4	98.4	98.5	99.3	100	100	100	100	99.5	98.6	99.3
県外合計	0	16	30	31	27	12	0	0	0	0	8	31	155
(%)	0	0.9	1.6	1.6	1.5	0.7	0	0	0	0	0.5	1.4	0.7
総 合 計	1,746	1,826	1,901	1,886	1,747	1,723	1,708	1,826	1,923	1,694	1,731	2,155	21,866
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

*ドックは含まれていません。

(5)－4 入院地域別患者数統計表（医療 52床）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市街地中心部	63	89	80	60	69	80	59	49	20	20	20	20	629
六 荘 地 区	73	72	70	76	70	68	46	35	73	38	44	62	727
南郷里地区	11	0	40	54	0	0	10	61	23	0	0	2	201
神 照 地 区	19	0	14	41	26	5	14	0	53	65	64	124	425
北郷里地区	37	38	53	50	39	38	39	38	45	70	64	70	581
西黒田地区	0	0	0	6	0	0	0	0	3	0	0	26	35
神 田 地 区	30	31	49	62	89	71	31	30	37	31	28	31	520
旧 浅 井 町	90	152	108	77	135	114	137	141	156	135	128	158	1,531
旧 虎 姫 町	14	14	16	0	0	0	22	30	21	31	31	81	260
旧 湖 北 町	9	9	12	9	13	39	46	45	40	40	46	44	352
旧 び わ 町	16	7	9	0	0	0	0	0	27	31	38	53	181
旧 高 月 町	0	0	2	34	5	0	24	38	17	7	7	0	134
旧木之本町	30	31	39	33	31	47	62	60	62	49	28	31	503
旧 余 呉 町	0	9	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
旧西浅井町	13	17	18	38	21	0	0	0	0	0	0	0	107
計 長 浜 市	405	469	518	540	498	462	490	527	577	517	498	702	6,203
(%)	56.7	58.8	62.2	64.9	61.6	61.0	69.4	68.8	68.0	60.0	61.1	69.7	63.6
旧 山 東 町	7	33	51	43	62	68	43	33	79	88	28	31	566
旧 伊 吹 町	60	67	58	31	31	30	31	48	62	62	84	100	664
旧 米 原 町	69	71	86	70	94	107	46	68	31	34	56	22	754
旧 近 江 町	106	127	90	117	93	60	65	60	62	62	65	65	972
計 米 原 市	242	298	285	261	280	265	185	209	234	246	233	218	2,956
(%)	33.9	37.3	34.2	31.4	34.6	35.0	26.2	27.3	27.6	28.5	28.6	21.6	30.3
彦 根 市	67	31	30	31	31	30	31	30	38	99	84	87	589
(%)	9.4	3.9	3.6	3.7	3.8	4.0	4.4	3.9	4.5	11.5	10.3	8.6	6.0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県 内 合 計	714	798	833	832	809	757	706	766	849	862	815	1,007	9,748
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
県 外 合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総 合 計	714	798	833	832	809	757	706	766	849	862	815	1,007	9,748
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(5)－5 入院地域別患者数統計表（回復期リハビリ 52床）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市街地中心部	111	160	180	189	168	138	88	52	88	112	122	124	1,532
六 荘 地 区	49	40	40	19	18	0	1	59	106	129	92	143	696
南郷里地区	68	83	162	124	61	30	17	0	0	0	42	89	676
神 照 地 区	87	48	47	90	46	60	76	53	62	62	48	56	735
北郷里地区	30	80	34	20	27	34	59	30	8	0	0	0	322
西黒田地区	0	0	18	29	0	0	0	25	29	0	0	0	101
神 田 地 区	0	0	20	5	0	18	31	30	10	0	0	0	114
旧 浅 井 町	60	63	133	108	132	159	126	108	114	81	53	48	1,185
旧 虎 姫 町	84	39	26	31	14	6	39	59	24	0	0	18	340
旧 湖 北 町	19	28	30	31	78	90	86	125	125	74	49	0	735
旧 び わ 町	98	124	60	52	65	51	31	30	27	19	107	94	758
旧 高 月 町	60	53	20	62	71	90	95	93	118	99	29	20	810
旧木之本町	129	142	121	91	36	0	21	30	45	31	56	16	718
旧 余 呉 町	0	0	18	31	31	13	0	0	0	0	0	27	120
旧西浅井町	0	0	0	0	26	33	28	21	0	0	45	25	178
計 長 浜 市	795	860	909	882	773	722	698	715	756	607	643	660	9,020
(%)	77.0	83.7	85.1	83.7	82.4	74.7	69.7	67.5	70.4	73.0	70.2	57.5	74.4
旧 山 東 町	90	83	86	68	29	60	90	124	131	85	93	196	1,135
旧 伊 吹 町	30	13	0	2	29	0	23	36	3	15	14	0	165
旧 米 原 町	0	0	0	14	41	82	98	90	93	94	107	127	746
旧 近 江 町	48	17	7	0	2	62	93	54	50	31	23	69	456
計 米 原 市	168	113	93	84	101	204	304	304	277	225	237	392	2,502
(%)	16.3	11.0	8.7	8.0	10.8	21.1	30.3	28.7	25.8	27.0	25.9	34.1	20.6
彦 根 市	57	39	36	57	37	28	0	41	41	0	25	58	419
(%)	5.5	3.8	3.4	5.4	3.9	2.9	0	3.9	3.8	0	2.7	5.1	3.5
そ の 他	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7	22
(%)	1.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.6	0.2
県 内 合 計	1,032	1,012	1,038	1,023	911	954	1,002	1,060	1,074	832	908	1,117	11,963
(%)	100	98.4	97.2	97.1	97.1	98.8	100	100	100	100	99.1	97.3	98.7
県 外 合 計	0	16	30	31	27	12	0	0	0	0	8	31	155
(%)	0	1.6	2.8	2.9	2.9	1.2	0	0	0	0	0.9	2.7	1.3
総 合 計	1,032	1,028	1,068	1,054	938	966	1,002	1,060	1,074	832	916	1,148	12,118
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

*ドックは含まれていません。

(6)－1 入院年代別患者数統計表 (600床)

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	7	22	40	29	23	6	6	5	7	4	9	1	159
(%)	0.1	0.2	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0	0.1	0	0.1	0	0.1
1 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2歳～ 5歳	13	31	41	14	0	17	2	8	22	0	2	0	150
(%)	0.1	0.3	0.4	0.1	0	0.2	0	0.1	0.2	0	0	0	0.1
6歳～ 9歳	4	5	2	16	9	6	0	0	2	5	0	6	55
(%)	0	0	0	0.1	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0.1	0
10歳～14歳	4	1	3	14	0	2	0	0	2	2	11	13	52
(%)	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0
15歳～19歳	41	40	33	29	81	30	21	32	17	15	32	47	418
(%)	0.4	0.4	0.3	0.3	0.8	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.3	0.4	0.3
20歳～29歳	123	108	186	174	235	139	158	204	191	225	126	127	1,996
(%)	1.2	1.0	1.7	1.5	2.2	1.4	1.5	1.9	1.8	2.1	1.2	1.1	1.6
30歳～39歳	301	424	375	358	346	293	309	263	289	283	284	351	3,876
(%)	3.0	3.9	3.4	3.2	3.2	3.0	2.9	2.5	2.8	2.7	2.7	3.0	3.0
40歳～49歳	317	396	389	415	413	441	381	351	444	467	375	426	4,815
(%)	3.1	3.6	3.6	3.7	3.8	4.5	3.5	3.3	4.2	4.4	3.6	3.7	3.7
50歳～59歳	512	569	604	725	750	792	879	653	607	648	695	802	8,236
(%)	5.0	5.2	5.5	6.4	6.9	8.0	8.2	6.1	5.8	6.1	6.6	6.9	6.4
60歳～64歳	510	722	753	661	598	394	457	683	720	417	570	516	7,001
(%)	5.0	6.6	6.9	5.8	5.5	4.0	4.3	6.4	6.9	3.9	5.4	4.5	5.4
65歳～69歳	1,501	1,388	1,212	1,309	1,105	971	1,292	1,172	1,156	951	995	1,198	14,250
(%)	14.8	12.7	11.1	11.5	10.2	9.8	12.0	10.9	11.0	9.0	9.4	10.4	11.1
70歳～79歳	3,050	2,980	3,350	3,212	3,031	2,829	2,978	3,252	3,003	2,994	2,803	3,325	36,807
(%)	30.0	27.3	30.6	28.3	28.1	28.6	27.7	30.4	28.7	28.3	26.6	28.8	28.6
80歳～	3,790	4,218	3,967	4,393	4,202	3,986	4,263	4,091	4,010	4,565	4,643	4,742	50,870
(%)	37.3	38.7	36.2	38.7	38.9	40.2	39.7	38.2	38.3	43.2	44.0	41.0	39.5
合 計	10,173	10,904	10,955	11,349	10,793	9,906	10,746	10,714	10,470	10,576	10,545	11,554	128,685
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成29年度	10,789	11,209	10,988	10,611	10,435	9,812	10,046	10,274	9,503	10,393	11,019	11,238	126,317

*療養は含まれています。

(6)－2 入院年代別患者数統計表 (496床)

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	7	22	40	29	23	6	6	5	7	4	9	1	159
(%)	0.1	0.2	0.4	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0	0.1	0	0.1
1 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2歳～ 5歳	13	31	41	14	0	17	2	8	22	0	2	0	150
(%)	0.2	0.3	0.5	0.1	0	0.2	0	0.1	0.3	0	0	0	0.1
6歳～ 9歳	4	5	2	16	9	6	0	0	2	5	0	6	55
(%)	0	0.1	0	0.2	0.1	0.1	0	0	0	0.1	0	0.1	0.1
10歳～14歳	4	1	3	14	0	2	0	0	2	2	11	13	52
(%)	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0
15歳～19歳	41	40	33	29	81	30	21	32	17	15	32	47	418
(%)	0.5	0.4	0.4	0.3	0.9	0.4	0.2	0.4	0.2	0.2	0.4	0.5	0.4
20歳～29歳	123	108	186	174	235	139	158	204	176	225	126	127	1,981
(%)	1.5	1.2	2.1	1.8	2.6	1.7	1.7	2.3	2.1	2.5	1.4	1.4	1.9
30歳～39歳	271	393	343	322	315	272	247	229	258	252	225	285	3,412
(%)	3.2	4.3	3.8	3.4	3.5	3.3	2.7	2.6	3.0	2.8	2.6	3.0	3.2
40歳～49歳	290	347	355	358	382	362	305	291	382	443	347	395	4,257
(%)	3.4	3.8	3.9	3.8	4.2	4.4	3.4	3.3	4.5	5.0	3.9	4.2	4.0
50歳～59歳	446	511	460	639	694	699	784	555	549	574	612	676	7,199
(%)	5.3	5.6	5.1	6.8	7.7	8.5	8.7	6.2	6.4	6.5	6.9	7.2	6.7
60歳～64歳	433	568	624	575	521	364	406	592	588	341	541	485	6,038
(%)	5.1	6.3	6.9	6.1	5.8	4.4	4.5	6.7	6.9	3.8	6.1	5.2	5.7
65歳～69歳	1,185	1,152	959	1,060	883	702	1,075	1,003	981	786	845	1,034	11,665
(%)	14.1	12.7	10.6	11.2	9.8	8.6	11.9	11.3	11.5	8.8	9.6	11.0	10.9
70歳～79歳	2,636	2,574	2,970	2,863	2,666	2,433	2,501	2,586	2,373	2,451	2,278	2,655	30,986
(%)	31.3	28.4	32.8	30.3	29.5	29.7	27.7	29.1	27.8	27.6	25.8	28.2	29.0
80歳～	2,974	3,326	3,038	3,370	3,237	3,151	3,533	3,383	3,190	3,784	3,786	3,675	40,447
(%)	35.3	36.6	33.6	35.6	35.8	38.5	39.1	38.1	37.3	42.6	43.0	39.1	37.9
合 計	8,427	9,078	9,054	9,463	9,046	8,183	9,038	8,888	8,547	8,882	8,814	9,399	106,819
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成29年度	9,096	9,475	9,232	8,873	8,877	8,378	8,564	8,904	8,087	9,024	9,385	9,439	107,334

* ドックは含まれていません。

(6)－3 入院年代別患者数統計表（療養 104床）

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
20歳～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	15
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8	0	0	0	0.1
30歳～39歳	30	31	32	36	31	21	62	34	31	31	59	66	464
(%)	1.7	1.7	1.7	1.9	1.8	1.2	3.6	1.9	1.6	1.8	3.4	3.1	2.1
40歳～49歳	27	49	34	57	31	79	76	60	62	24	28	31	558
(%)	1.5	2.7	1.8	3.0	1.8	4.6	4.4	3.3	3.2	1.4	1.6	1.4	2.6
50歳～59歳	66	58	144	86	56	93	95	98	58	74	83	126	1,037
(%)	3.8	3.2	7.6	4.6	3.2	5.4	5.6	5.4	3.0	4.4	4.8	5.8	4.7
60歳～64歳	77	154	129	86	77	30	51	91	132	76	29	31	963
(%)	4.4	8.4	6.8	4.6	4.4	1.7	3.0	5.0	6.9	4.5	1.7	1.4	4.4
65歳～69歳	316	236	253	249	222	269	217	169	175	165	150	164	2,585
(%)	18.1	12.9	13.3	13.2	12.7	15.6	12.7	9.3	9.1	9.7	8.7	7.6	11.8
70歳～79歳	414	406	380	349	365	396	477	666	630	543	525	670	5,821
(%)	23.7	22.2	20	18.5	20.9	23.0	27.9	36.5	32.8	32.1	30.3	31.1	26.6
80歳～	816	892	929	1,023	965	835	730	708	820	781	857	1,067	10,423
(%)	46.7	48.8	48.9	54.2	55.2	48.5	42.7	38.8	42.6	46.1	49.5	49.5	47.7
合 計	1,746	1,826	1,901	1,886	1,747	1,723	1,708	1,826	1,923	1,694	1,731	2,155	21,866
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

* ドックは含まれていません。

(6)－4 入院年代別患者数統計表（医療 52床）

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
30歳～39歳	30	31	32	36	31	0	31	30	31	31	37	35	355
(%)	4.2	3.9	3.8	4.3	3.8	0	4.4	3.9	3.7	3.6	4.5	3.5	3.6
40歳～49歳	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	30
(%)	0	0	0	0	0	4.0	0	0	0	0	0	0	0.3
50歳～59歳	6	0	0	0	4	24	31	30	38	74	34	27	268
(%)	0.8	0	0	0	0.5	3.2	4.4	3.9	4.5	8.6	4.2	2.7	2.7
60歳～64歳	0	0	9	1	0	0	3	0	0	0	0	0	13
(%)	0	0	1.1	0.1	0	0	0.4	0	0	0	0	0	0.1
65歳～69歳	83	93	68	46	39	38	39	38	46	70	67	75	702
(%)	11.6	11.7	8.2	5.5	4.8	5.0	5.5	5.0	5.4	8.1	8.2	7.4	7.2
70歳～79歳	46	88	87	51	116	135	135	174	149	129	114	250	1,474
(%)	6.4	11.0	10.4	6.1	14.3	17.8	19.1	22.7	17.6	15.0	14.0	24.8	15.1
80歳～	549	586	637	698	619	530	467	494	585	558	563	620	6,906
(%)	76.9	73.4	76.5	83.9	76.5	70	66.1	64.5	68.9	64.7	69.1	61.6	70.8
合 計	714	798	833	832	809	757	706	766	849	862	815	1,007	9,748
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(6)－5 入院年代別患者数統計表（回復期リハビリ 52床）

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
20歳～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	15
(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	1.4	0	0	0	0.1
30歳～39歳	0	0	0	0	0	21	31	4	0	0	22	31	109
(%)	0	0	0	0	0	2.2	3.1	0.4	0	0	2.4	2.7	0.9
40歳～49歳	27	49	34	57	31	49	76	60	62	24	28	31	528
(%)	2.6	4.8	3.2	5.4	3.3	5.1	7.6	5.7	5.8	2.9	3.1	2.7	4.4
50歳～59歳	60	58	144	86	52	69	64	68	20	0	49	99	769
(%)	5.8	5.6	13.5	8.2	5.5	7.1	6.4	6.4	1.9	0	5.3	8.6	6.3
60歳～64歳	77	154	120	85	77	30	48	91	132	76	29	31	950
(%)	7.5	15.0	11.2	8.1	8.2	3.1	4.8	8.6	12.3	9.1	3.2	2.7	7.8
65歳～69歳	233	143	185	203	183	231	178	131	129	95	83	89	1,883
(%)	22.6	13.9	17.3	19.3	19.5	23.9	17.8	12.4	12.0	11.4	9.1	7.8	15.5
70歳～79歳	368	318	293	298	249	261	342	492	481	414	411	420	4,347
(%)	35.7	30.9	27.4	28.3	26.5	27.0	34.1	46.4	44.8	49.8	44.9	36.6	35.9
80歳～	267	306	292	325	346	305	263	214	235	223	294	447	3,517
(%)	25.9	29.8	27.3	30.8	36.9	31.6	26.2	20.2	21.9	26.8	32.1	38.9	29.0
合 計	1,032	1,028	1,068	1,054	938	966	1,002	1,060	1,074	832	916	1,148	12,118
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

*ドックは含まれていません。

(単位：人)

(7) 外来地域別患者数統計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市街地中心部	959	979	929	982	1,038	820	941	846	925	775	771	793	10,758
六荘地区	1,632	1,672	1,692	1,694	1,787	1,584	1,841	1,772	1,785	1,536	1,526	1,562	20,083
南郷里地区	1,146	1,234	1,259	1,233	1,277	1,099	1,284	1,199	1,149	1,045	984	1,140	14,049
神照地区	1,682	1,785	1,747	1,787	1,748	1,521	1,738	1,612	1,590	1,522	1,385	1,600	19,717
北郷里地区	644	653	649	627	622	573	684	677	628	560	526	567	7,410
西黒田地区	320	342	342	364	384	330	396	398	404	321	321	327	4,249
神田地区	219	257	220	279	229	193	211	213	204	199	185	200	2,609
旧浅井町	1,225	1,281	1,339	1,337	1,280	1,128	1,284	1,229	1,245	1,028	1,040	1,106	14,522
旧虎姫町	587	596	645	599	609	612	678	621	643	533	520	553	7,196
旧湖北町	662	729	732	785	770	674	750	752	693	614	600	656	8,417
旧びわ町	575	616	604	653	631	548	657	623	633	515	546	598	7,199
旧高月町	886	982	850	871	958	834	974	913	925	785	779	801	10,558
旧木之本町	603	678	744	737	717	640	778	651	689	595	549	628	8,009
旧余呉町	230	238	280	270	254	229	279	297	289	229	234	297	3,126
旧西浅井町	314	346	335	309	312	294	352	342	344	283	289	360	3,880
計 長浜市	11,684	12,388	12,367	12,527	12,616	11,079	12,847	12,145	12,146	10,540	10,255	11,188	141,782
(%)	62.9	62.4	63.6	63.0	62.3	62.7	63.1	62.1	62.8	63.1	63.6	63.4	62.9
旧山東町	1,417	1,529	1,463	1,437	1,542	1,424	1,582	1,502	1,418	1,240	1,198	1,288	17,040
旧伊吹町	520	561	552	565	556	484	571	578	587	527	514	549	6,564
旧米原町	1,288	1,483	1,425	1,477	1,551	1,300	1,395	1,411	1,419	1,250	1,171	1,264	16,434
旧近江町	1,181	1,213	1,117	1,303	1,310	999	1,123	1,188	1,140	981	955	1,040	13,550
計 米原市	4,406	4,786	4,557	4,782	4,959	4,207	4,671	4,679	4,564	3,998	3,838	4,141	53,588
(%)	23.7	24.1	23.4	24.0	24.5	23.8	22.9	23.9	23.6	23.9	23.8	23.5	23.8
彦根市	1,782	1,921	1,832	1,881	1,932	1,770	2,080	1,898	1,884	1,495	1,420	1,671	21,566
(%)	9.6	9.7	9.4	9.5	9.5	10.0	10.2	9.7	9.7	8.9	8.8	9.5	9.6
そ の 他	484	520	506	472	546	455	601	619	552	470	453	479	6,157
(%)	2.6	2.6	2.6	2.4	2.7	2.6	2.9	3.2	2.9	2.8	2.8	2.7	2.7
県内合計	18,356	19,615	19,262	19,662	20,053	17,511	20,199	19,341	19,146	16,503	15,966	17,479	223,093
(%)	98.9	98.8	99.0	98.9	99.0	99.1	99.1	98.9	99.0	98.8	99.1	99.0	99.0
県外合計	208	247	197	226	209	153	176	215	190	203	151	168	2,343
(%)	1.1	1.2	1.0	1.1	1.0	0.9	0.9	1.1	1.0	1.2	0.9	1.0	1.0
総 合 計	18,564	19,862	19,459	19,888	20,262	17,664	20,375	19,556	19,336	16,706	16,117	17,647	225,436
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成29年度	19,212	20,247	20,630	19,868	20,985	19,538	20,281	20,007	19,998	18,908	18,546	20,651	238,871

* ドックは含まれていません。

(8) 外来年代別患者数統計表

年 代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0 歳	53	45	58	59	49	30	42	23	29	40	30	32	490
(%)	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
1 歳	14	29	22	26	22	17	13	21	15	10	15	10	214
(%)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
2歳～ 5歳	99	121	109	96	99	77	76	98	81	66	52	70	1,044
(%)	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.5
6歳～ 9歳	92	93	98	119	145	96	98	75	84	96	77	82	1,155
(%)	0.5	0.5	0.5	0.6	0.7	0.5	0.5	0.4	0.4	0.6	0.5	0.5	0.5
10歳～14歳	109	114	139	130	128	82	89	88	122	95	105	127	1,328
(%)	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6
15歳～19歳	204	215	193	221	329	208	230	181	196	191	208	237	2,613
(%)	1.1	1.1	1.0	1.1	1.6	1.2	1.1	0.9	1.0	1.1	1.3	1.3	1.2
20歳～29歳	513	550	552	564	568	512	516	585	581	623	504	495	6,563
(%)	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.9	2.5	3.0	3.0	3.7	3.1	2.8	2.9
30歳～39歳	937	1,041	987	1,007	973	867	981	862	937	842	754	814	11,002
(%)	5.0	5.2	5.1	5.1	4.8	4.9	4.8	4.4	4.8	5.0	4.7	4.6	4.9
40歳～49歳	1,516	1,554	1,580	1,668	1,702	1,436	1,679	1,579	1,516	1,380	1,367	1,405	18,382
(%)	8.2	7.8	8.1	8.4	8.4	8.1	8.2	8.1	7.8	8.3	8.5	8.0	8.2
50歳～59歳	2,090	2,308	2,320	2,395	2,402	2,080	2,472	2,404	2,353	2,064	1,993	2,167	27,048
(%)	11.3	11.6	11.9	12.0	11.9	11.8	12.1	12.3	12.2	12.4	12.4	12.3	12.0
60歳～64歳	1,378	1,564	1,560	1,569	1,642	1,388	1,635	1,624	1,609	1,398	1,334	1,425	18,126
(%)	7.4	7.9	8.0	7.9	8.1	7.9	8.0	8.3	8.3	8.4	8.3	8.1	8.0
65歳～69歳	2,581	2,664	2,483	2,515	2,550	2,231	2,585	2,456	2,247	1,981	1,901	2,091	28,285
(%)	13.9	13.4	12.8	12.6	12.6	12.6	12.7	12.6	11.6	11.9	11.8	11.8	12.5
70歳～79歳	5,241	5,576	5,541	5,692	5,817	5,165	5,898	5,588	5,817	4,803	4,861	5,172	65,171
(%)	28.2	28.1	28.5	28.6	28.7	29.2	28.9	28.6	30.1	28.8	30.2	29.3	28.9
80歳～	3,737	3,988	3,817	3,827	3,836	3,475	4,061	3,972	3,749	3,117	2,916	3,520	44,015
(%)	20.1	20.1	19.6	19.2	18.9	19.7	19.9	20.3	19.4	18.7	18.1	19.9	19.5
合 計	18,564	19,862	19,459	19,888	20,262	17,664	20,375	19,556	19,336	16,706	16,117	17,647	225,436
(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平成29年度	19,212	20,247	20,630	19,868	20,985	19,538	20,281	20,007	19,998	18,908	18,546	20,651	238,871

* ドックは含まれていません。

(9) 科別月別入院退院患者数

(単位：人)

科別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院
総合診療科	0	0	0	0	2	1	2	2	2	2	2	2	2	3
内	58	67	73	50	68	78	67	57	67	73	51	63	61	54
血液内科	4	6	9	4	7	8	4	6	4	5	4	7	6	7
腎臓代謝内科	53	60	64	46	60	69	61	50	58	66	45	53	54	45
神経内科	5	8	6	6	4	4	6	8	7	6	8	4	4	6
呼吸器内科	68	67	95	77	80	87	88	81	85	81	80	84	69	69
消化器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	13
循環器内科	98	95	121	114	115	109	112	107	105	110	102	92	119	104
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	47	48	54	46	65	71	61	45	66	67	66	66	49	65
呼吸器外科	22	27	32	28	27	31	32	37	28	31	29	23	33	33
整形外科	76	66	72	68	73	68	71	89	77	71	63	67	98	65
形成外科	2	1	3	4	1	2	2	1	4	6	0	0	6	3
脳神経外科	42	33	46	38	38	40	47	36	46	42	33	30	45	32
心臓血管外科	37	40	37	35	36	32	31	35	39	37	32	31	39	40
泌尿器科	40	43	52	45	43	44	37	34	39	41	34	36	50	44
産婦人科	55	47	63	57	63	72	54	57	49	47	45	42	51	54
眼科	37	36	49	47	51	52	57	55	45	49	46	46	59	60
耳鼻咽喉科	17	15	11	9	12	14	17	12	23	17	9	10	14	13
ウツチ・膠原病内科	1	2	5	10	9	3	10	11	5	11	4	7	8	2
歯科口腔外科	23	23	25	21	21	24	22	22	30	29	18	18	28	30
小計	628	618	744	655	708	732	716	689	717	720	622	621	758	690
健診センター	0	0	2	2	1	1	4	4	3	3	3	3	4	4
合計	628	618	746	657	709	733	720	693	720	723	625	624	762	694
医療 R 2	5	10	3	11	4	19	5	17	4	15	4	15	5	12
回復期リハ R 3	5	13	10	9	4	13	1	14	4	16	3	10	2	12
小計	10	23	13	20	8	32	6	31	8	31	7	25	7	24
健診センター療養	0	0	1	1	2	2	4	4	2	2	3	3	4	4
合計	10	23	14	21	10	34	10	35	10	33	10	28	11	28
総合計	638	641	760	678	719	767	730	728	730	756	635	652	773	722

科別	11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院
総合診療科	2	2	3	2	2	2	0	1	2	2	19	19
内	67	63	67	75	77	54	63	66	63	68	782	768
血液内科	7	8	4	8	8	4	3	8	6	5	66	76
腎臓代謝内科	60	55	62	66	67	50	59	56	55	63	698	679
神経内科	7	7	8	6	10	5	6	6	3	3	74	69
呼吸器内科	74	74	76	81	99	74	71	77	81	79	966	931
消化器内科	44	34	47	57	49	37	41	38	50	49	254	228
循環器内科	122	126	96	102	103	85	89	75	115	119	1297	1238
小児科	1	1	4	4	4	4	5	5	1	1	15	15
外科	37	36	57	59	60	51	47	53	49	43	658	650
呼吸器外科	29	33	32	41	36	29	30	34	20	20	350	367
整形外科	76	83	66	90	74	47	56	56	62	71	864	841
形成外科	1	3	0	1	2	2	2	3	2	1	25	27
脳神経外科	45	41	40	33	34	31	47	35	45	47	508	438
心臓血管外科	33	35	24	34	27	21	30	32	25	32	390	404
泌尿器科	35	41	44	47	35	29	28	24	30	33	467	461
産婦人科	31	35	38	39	35	33	37	35	38	43	559	561
眼科	57	55	35	39	54	46	56	55	54	61	600	601
耳鼻咽喉科	12	13	7	7	11	9	10	12	18	12	161	143
ウツチ・膠原病内科	4	5	5	6	3	2	2	3	5	5	61	67
歯科口腔外科	26	23	21	24	21	19	26	25	28	30	289	288
小計	703	710	670	747	736	580	646	635	691	719	8,339	8,116
健診センター	3	3	1	1	3	3	2	2	1	1	27	27
合計	706	713	671	748	739	583	648	637	692	720	8,366	8,143
医療 R 2	5	15	7	15	6	11	6	12	4	19	58	171
回復期リハ R 3	7	8	4	18	4	8	6	10	4	18	54	149
小計	12	23	11	33	10	19	12	22	8	37	112	320
健診センター療養	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	28	28
合計	15	26	14	36	12	21	14	24	10	39	140	348
総合計	721	739	685	784	751	604	662	661	702	759	8,506	8,491

(単位：人)

(10) 科別月別入院患者数

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
診療日数	30		31		30		31		31		30		31	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
総合診療科	0	0.0	0	0.0	13	0.4	25	0.8	21	0.7	23	0.8	32	1.0
内 科	1,031	34.4	1,196	38.6	1,140	38.0	1,252	40.4	1,217	39.3	997	33.2	921	29.7
血液内科	299	10.0	370	11.9	348	11.6	410	13.2	342	11.0	300	10.0	292	9.4
腎臓代謝内科	696	23.2	795	25.6	762	25.4	804	25.9	781	25.2	619	20.6	588	19.0
神経内科	196	6.5	145	4.7	148	4.9	165	5.3	128	4.1	177	5.9	231	7.5
呼吸器内科	954	31.8	1,069	34.5	1,238	41.3	1,133	36.5	1,089	35.1	1,085	36.2	1,033	33.3
消化器内科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	153	4.9
循環器内科	718	23.9	838	27.0	862	28.7	1,024	33.0	820	26.5	625	20.8	925	29.8
小児科	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
外 科	716	23.9	824	26.6	812	27.1	851	27.5	1,045	33.7	969	32.3	630	20.3
呼吸器外科	230	7.7	276	8.9	257	8.6	304	9.8	196	6.3	186	6.2	244	7.9
整形外科	1,874	62.5	2,103	67.8	2,090	69.7	2,078	67.0	1,702	54.9	1,663	55.4	2,106	67.9
形成外科	46	1.5	35	1.1	11	0.4	30	1.0	66	2.1	30	1.0	98	3.2
脳神経外科	1,015	33.8	902	29.1	839	28.0	843	27.2	945	30.5	850	28.3	922	29.7
心臓血管外科	444	14.8	429	13.8	413	13.8	498	16.1	518	16.7	556	18.5	512	16.5
泌尿器科	326	10.9	303	9.8	253	8.4	255	8.2	317	10.2	208	6.9	315	10.2
産婦人科	405	13.5	415	13.4	410	13.7	412	13.3	441	14.2	431	14.4	420	13.5
眼 科	85	2.8	90	2.9	154	5.1	85	2.7	101	3.3	126	4.2	139	4.5
耳鼻咽喉科	115	3.8	153	4.9	86	2.9	109	3.5	152	4.9	96	3.2	136	4.4
リウマチ膠原病科	224	7.5	225	7.3	262	8.7	341	11.0	245	7.9	94	3.1	137	4.4
歯科口腔外科	48	1.6	75	2.4	66	2.2	58	1.9	43	1.4	67	2.2	84	2.7
小 計	8,427	280.9	9,078	292.8	9,054	301.8	9,463	305.3	9,046	291.8	8,183	272.8	9,038	291.5
健診センター	0	0.0	2	0.1	1	0.0	4	0.1	3	0.1	3	0.1	4	0.1
合 計	8,427	280.9	9,080	292.9	9,055	301.8	9,467	305.4	9,049	291.9	8,186	272.9	9,042	291.7
医療 R 2	714	23.8	798	25.7	833	27.8	832	26.8	809	26.1	757	25.2	706	22.8
回リハ R 3	1,032	34.4	1,028	33.2	1,068	35.6	1,054	34.0	938	30.3	966	32.2	1,002	32.3
小 計	1,746	58.2	1,826	58.9	1,901	63.4	1,886	60.8	1,747	56.4	1,723	57.4	1,708	55.1
健診センター療養	0	0.0	1	0.0	2	0.1	4	0.1	2	0.1	3	0.1	4	0.1
合 計	1,746	58.2	1,827	58.9	1,903	63.4	1,890	61.0	1,749	56.4	1,726	57.5	1,712	55.2
総 合 計	10,173	339.1	10,907	351.8	10,958	365.3	11,357	366.4	10,798	348.3	9,912	330.4	10,754	346.9

月	11月		12月		1月		2月		3月		4-3月合計		直近3ヶ月	
診療日数	30		31		31		28		31		365		90	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
総合診療科	16	0.5	32	1.0	30	1.0	7	0.3	11	0.4	210	0.6	48	0.5
内 科	1,027	34.2	981	31.6	1,135	36.6	1,022	36.5	1,060	34.2	12,979	35.6	3,217	35.7
血液内科	249	8.3	215	6.9	269	8.7	232	8.3	253	8.2	3,579	9.8	754	8.4
腎臓代謝内科	748	24.9	728	23.5	825	26.6	745	26.6	773	24.9	8,864	24.3	2,343	26.0
神経内科	180	6.0	152	4.9	201	6.5	203	7.3	91	2.9	2,017	5.5	495	5.5
呼吸器内科	963	32.1	690	22.3	1,087	35.1	1,108	39.6	1,070	34.5	12,519	34.3	3,265	36.3
消化器内科	428	14.3	460	14.8	420	13.5	461	16.5	569	18.4	2,491	6.8	1,450	16.1
循環器内科	1,032	34.4	872	28.1	997	32.2	1,024	36.6	1,264	40.8	11,001	30.1	3,285	36.5
小児科	5	0.2	7	0.2	4	0.1	9	0.3	1	0.0	26	0.1	14	0.2
外 科	455	15.2	728	23.5	638	20.6	660	23.6	781	25.2	9,109	25.0	2,079	23.1
呼吸器外科	256	8.5	313	10.1	379	12.2	234	8.4	257	8.3	3,132	8.6	870	9.7
整形外科	2,202	73.4	1,904	61.4	1,592	51.4	1,719	61.4	1,731	55.8	22,764	62.4	5,042	56.0
形成外科	66	2.2	41	1.3	43	1.4	9	0.3	38	1.2	513	1.4	90	1.0
脳神経外科	839	28.0	846	27.3	1,089	35.1	1,002	35.8	1,180	38.1	11,272	30.9	3,271	36.3
心臓血管外科	459	15.3	482	15.5	380	12.3	368	13.1	333	10.7	5,392	14.8	1,081	12.0
泌尿器科	253	8.4	281	9.1	216	7.0	230	8.2	265	8.5	3,222	8.8	711	7.9
産婦人科	268	8.9	296	9.5	266	8.6	263	9.4	256	8.3	4,283	11.7	785	8.7
眼 科	114	3.8	90	2.9	60	1.9	134	4.8	130	4.2	1,308	3.6	324	3.6
耳鼻咽喉科	109	3.6	84	2.7	113	3.6	109	3.9	160	5.2	1,422	3.9	382	4.2
リウマチ膠原病科	169	5.6	234	7.5	189	6.1	202	7.2	158	5.1	2,480	6.8	549	6.1
歯科口腔外科	47	1.6	54	1.7	43	1.4	50	1.8	44	1.4	679	1.9	137	1.5
小 計	8,888	296.3	8,547	275.7	8,882	286.5	8,814	314.8	9,399	303.2	106,819	292.7	27,095	301.1
健診センター	3	0.1	1	0.0	3	0.1	2	0.1	1	0.0	27	0.1	6	0.1
合 計	8,891	296.4	8,548	275.7	8,885	286.6	8,816	314.9	9,400	303.2	106,846	292.7	27,101	301.1
医療 R 2	766	25.5	849	27.4	862	27.8	815	29.1	1,007	32.5	9,748	26.7	2,684	29.8
回リハ R 3	1,060	35.3	1,074	34.6	832	26.8	916	32.7	1,148	37.0	12,118	33.2	2,896	32.2
小 計	1,826	60.9	1,923	62.0	1,694	54.6	1,731	61.8	2,155	69.5	21,866	59.9	5,580	62.0
健診センター療養	3	0.1	3	0.1	2	0.1	2	0.1	2	0.1	28	0.1	6	0.1
合 計	1,829	61.0	1,926	62.1	1,696	54.7	1,733	61.9	2,157	69.6	21,894	60.0	5,586	62.1
総 合 計	10,720	357.3	10,474	337.9	10,581	341.3	10,549	376.8	11,557	372.8	128,740	352.7	32,687	363.2

(単位：人)

(11) 科別月別外来患者数

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
診療日数	20		21		21		21		23		18		22	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	4,276	213.8	4,356	207.4	4,387	208.9	4,542	216.3	4,670	203.0	4,153	230.7	4,590	208.6
血液内科	189	9.5	183	8.7	227	10.8	253	12.0	268	11.7	226	12.6	300	13.6
腎臓代謝内科	1,677	83.9	1,703	81.1	1,768	84.2	1,676	79.8	1,812	78.8	1,611	89.5	1,791	81.4
透析内科	1,545	77.3	1,596	76.0	1,599	76.1	1,621	77.2	1,638	71.2	1,495	83.1	1,692	76.9
心療内科	64	3.2	48	2.3	46	2.2	51	2.4	49	2.1	41	2.3	52	2.4
神経内科	410	20.5	400	19.0	444	21.1	448	21.3	428	18.6	393	21.8	469	21.3
呼吸器内科	1,032	51.6	1,168	55.6	1,058	50.4	1,153	54.9	1,068	46.4	1,031	57.3	1,196	54.4
消化器内科	218	10.9	275	13.1	264	12.6	286	13.6	296	12.9	238	13.2	491	22.3
循環器内科	1,702	85.1	1,652	78.7	1,772	84.4	1,718	81.8	1,834	79.7	1,500	83.3	1,795	81.6
小児科	185	9.3	220	10.5	228	10.9	219	10.4	219	9.5	157	8.7	169	7.7
外科	1,004	50.2	1,130	53.8	965	46.0	1,106	52.7	1,120	48.7	941	52.3	1,092	49.6
呼吸器外科	302	15.1	309	14.7	329	15.7	289	13.8	327	14.2	281	15.6	365	16.6
整形外科	2,670	133.5	2,940	140.0	2,726	129.8	2,660	126.7	2,809	122.1	2,479	137.7	2,755	125.2
形成外科	180	9.0	273	13.0	265	12.6	294	14.0	318	13.8	285	15.8	288	13.1
脳神経外科	471	23.6	461	22.0	471	22.4	480	22.9	439	19.1	453	25.2	473	21.5
心臓血管外科	324	40.5	292	36.5	335	37.2	386	42.9	261	29.0	301	37.6	348	38.7
皮膚科	300	15.0	316	15.0	288	13.7	352	16.8	398	17.3	269	14.9	289	13.1
泌尿器科	517	25.9	564	26.9	536	25.5	543	25.9	529	23.0	471	26.2	521	23.7
産婦人科	946	47.3	1,018	48.5	1,091	52.0	1,002	47.7	981	42.7	897	49.8	966	43.9
眼科	855	42.8	893	42.5	918	43.7	902	43.0	898	39.0	773	42.9	984	44.7
耳鼻咽喉科	924	46.2	963	45.9	901	42.9	956	45.5	972	42.3	727	40.4	918	41.7
放射線科	150	7.5	192	9.1	219	10.4	230	11.0	182	7.9	167	9.3	185	8.4
麻酔・ペイン	19	4.8	6	1.2	18	4.5	12	2.4	16	3.2	21	5.3	15	3.0
リウマチ膠原病科	611	30.6	792	37.7	703	33.5	640	30.5	751	32.7	614	34.1	708	32.2
放射線治療科	558	27.9	695	33.1	626	29.8	733	34.9	764	33.2	645	35.8	821	37.3
歯科口腔外科	910	45.5	947	45.1	915	43.6	937	44.6	982	42.7	868	48.2	937	42.6
小計	18,564	928.2	19,862	945.8	19,459	926.6	19,888	947.0	20,262	881.0	17,664	981.3	20,375	926.1
健診センター	170	8.5	235	11.2	301	14.3	253	12.0	288	12.5	235	13.1	297	13.5
合計	18,734	936.7	20,097	957.0	19,760	941.0	20,141	959.1	20,550	893.5	17,899	994.4	20,672	939.6

月	11月		12月		1月		2月		3月		4-3月合計		直近3ヶ月	
診療日数	21		19		19		19		20		244		58	
	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均	人数	1日平均
内科	4,520	215.2	4,699	247.3	4,367	229.8	3,679	193.6	3,750	187.5	51,989	213.1	11,796	203.4
血液内科	278	13.2	292	15.4	245	12.9	219	11.5	245	12.3	2,925	12.0	709	12.2
腎臓代謝内科	1,745	83.1	1,729	91.0	1,406	74.0	1,393	73.3	1,425	71.3	19,736	80.9	4,224	72.8
透析内科	1,660	79.0	1,664	87.6	1,560	82.1	1,394	73.4	1,489	74.5	18,953	77.7	4,443	76.6
心療内科	58	2.8	59	3.1	34	1.8	30	1.6	29	1.5	561	2.3	93	1.6
神経内科	450	21.4	437	23.0	296	15.6	299	15.7	341	17.1	4,815	19.7	936	16.1
呼吸器内科	1,058	50.4	1,107	58.3	997	52.5	813	42.8	969	48.5	12,650	51.8	2,779	47.9
消化器内科	551	26.2	531	27.9	374	19.7	390	20.5	484	24.2	4,398	18.0	1,248	21.5
循環器内科	1,712	81.5	1,747	91.9	1,504	79.2	1,466	77.2	1,542	77.1	19,944	81.7	4,512	77.8
小児科	152	7.2	153	8.1	180	9.5	154	8.1	154	7.7	2,190	9.0	488	8.4
外科	1,009	48.0	952	50.1	867	45.6	826	43.5	909	45.5	11,921	48.9	2,602	44.9
呼吸器外科	303	14.4	360	18.9	275	14.5	277	14.6	294	14.7	3,711	15.2	846	14.6
整形外科	2,677	127.5	2,659	139.9	2,210	116.3	2,291	120.6	2,469	123.5	31,345	128.5	6,970	120.2
形成外科	286	13.6	244	12.8	161	8.5	237	12.5	258	12.9	3,089	12.7	656	11.3
脳神経外科	459	21.9	509	26.8	339	17.8	389	20.5	449	22.5	5,393	22.1	1,177	20.3
心臓血管外科	328	41.0	279	34.9	271	33.9	281	35.1	318	35.3	3,724	36.9	870	34.8
皮膚科	285	13.6	272	14.3	231	12.2	211	11.1	228	11.4	3,439	14.1	670	11.6
泌尿器科	478	22.8	555	29.2	440	23.2	418	22.0	483	24.2	6,055	24.8	1,341	23.1
産婦人科	952	45.3	973	51.2	815	42.9	796	41.9	938	46.9	11,375	46.6	2,549	43.9
眼科	854	40.7	826	43.5	779	41.0	817	43.0	914	45.7	10,413	42.7	2,510	43.3
耳鼻咽喉科	901	42.9	868	45.7	754	39.7	771	40.6	941	47.1	10,596	43.4	2,466	42.5
放射線科	165	7.9	142	7.5	165	8.7	201	10.6	208	10.4	2,206	9.0	574	9.9
麻酔・ペイン	20	5.0	8	2.0	1	0.3	3	0.8	6	1.5	145	2.8	10	0.8
リウマチ膠原病科	683	32.5	697	36.7	594	31.3	573	30.2	638	31.9	8,004	32.8	1,805	31.1
放射線治療科	816	38.9	506	26.6	330	17.4	408	21.5	479	24.0	7,381	30.3	1,217	21.0
歯科口腔外科	897	42.7	812	42.7	756	39.8	817	43.0	875	43.8	10,653	43.7	2,448	42.2
小計	19,556	931.2	19,336	1017.7	16,706	879.3	16,117	848.3	17,647	882.4	225,436	923.9	50,470	870.2
健診センター	297	14.1	248	13.1	228	12.0	254	13.4	160	8.0	2,966	12.2	642	11.1
合計	19,853	945.4	19,584	1030.7	16,934	891.3	16,371	861.6	17,807	890.4	228,402	936.1	51,112	881.2

*ただし、心臓血管外科（火曜日、金曜日）・麻酔科（火曜日）の2科は、各科外来診療日数で除してあります。

(12) 救急患者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
救急外来 受診者数	時間内	315	322	294	349	372	290	336	309	329	299	229	223	3667
	時間外	811	887	743	922	806	792	752	709	965	1215	685	650	9937
	総数	1126	1209	1037	1271	1178	1082	1088	1018	1294	1514	914	873	13604
救急車 搬入数	時間内	75	34	80	87	101	83	88	88	69	87	79	70	941
	時間外	156	57	129	176	137	143	162	139	155	182	148	131	1715
	総数	231	91	209	263	238	226	250	227	224	269	227	201	2656
救急室 から 入院数	時間内	71	81	76	79	83	68	92	79	76	54	83	73	915
	時間外	99	116	101	111	92	116	108	110	141	108	124	126	1352
	総数	170	197	177	190	175	184	200	189	217	162	207	199	2267

(13) 救急車利用状況（病院救急車による患者搬送状況）

搬送数	件数	搬送エリア			診 療 科							
		長浜市内	滋賀県内	滋賀県外	外科	脳外	消器	眼科	心外	腎臓	血内	救急
4月	5	1	4						3		1	1
5月	2		2						2			
6月	3		2	1		1			2			
7月	4	2	2			1			3			
8月	4		4						4			
9月	3		3						3			
10月	3	1	2		1			1	1			
11月	5	3	2				1		3	1		
12月	0											
1月	1		1						1			
2月	8	1	7						7			1
3月	3		3						3			
計	41	8	32	1	1	2	1	1	32	1	1	2

（搬送先医療機関名）

長浜市内・・・長浜市立湖北病院・長浜赤十字病院・セフィロト病院

滋賀県内・・・滋賀医科大学医学部附属病院・滋賀県立総合病院・彦根市立病院・友仁山崎病院

滋賀県外・・・京都大学医学部附属病院

2. ICU・CCU業務状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度総数
延 稼 働 床		164	150	160	169	174	185	185	175	151	190	159	146	2,008
入 院		26	21	21	19	19	17	30	24	24	22	15	17	255
転 入		34	42	39	39	40	40	28	24	20	27	27	30	390
退 院		6	1	1	7	4	2	3	3	3	1	4	2	37
転 出		51	61	59	53	54	54	54	47	40	47	38	47	605
平 均 患 者 数		5.5	4.8	5.3	5.5	5.6	6.2	6.0	5.8	4.9	6.1	5.7	4.7	5.5
在 室 日 数		2.8	2.4	2.7	2.9	3.0	3.3	3.2	3.6	3.5	4.8	3.3	4.0	3.3
占 床 率		68.3	60.5	66.7	68.1	70.2	77.1	74.6	72.9	60.9	76.6	70.9	58.9	68.8
科 名	入 院 内 訳													
心 臓 血 管 外 科	入室患者数	16	16	16	13	18	17	15	15	10	12	13	11	172
	延 患 者 数	76	51	48	41	52	76	63	64	43	45	59	34	652
循 環 器 内 科	入室患者数	9	6	13	9	10	7	10	9	11	8	6	6	104
	延 患 者 数	18	15	40	41	46	30	19	18	30	37	57	44	395
脳 神 経 外 科	入室患者数	8	12	7	7	7	7	13	8	8	8	11	9	105
	延 患 者 数	24	44	21	22	17	30	29	36	34	28	23	31	339
呼 吸 器 外 科	入室患者数	3	3	6	6	3	5	8	4	3	3	1	2	47
	延 患 者 数	3	3	6	6	3	5	11	4	3	2	1	2	49
呼 吸 器 内 科	入室患者数	2	5	0	5	2	1	0	0	2	2	0	0	19
	延 患 者 数	3	12	0	29	1	10	11	0	5	25	0	0	96
腎 臓 代 謝 内 科	入室患者数	7	1	0	4	2	0	2	4	4	2	1	4	31
	延 患 者 数	19	2	7	11	2	4	2	19	28	31	5	5	135
整 形 外 科	入室患者数	5	3	6	1	2	2	2	1	2	3	2	5	34
	延 患 者 数	6	3	12	1	24	2	3	1	2	3	2	8	67
外 科	入室患者数	6	13	7	11	11	12	4	3	4	6	7	8	92
	延 患 者 数	9	16	6	13	19	18	46	14	6	6	6	11	170
消 化 器 内 科	入室患者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	4
	延 患 者 数	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	0	10	16
泌 尿 器 科	入室患者数	2	2	4	2	4	4	1	3	0	3	4	1	30
	延 患 者 数	2	3	5	5	10	3	0	13	0	4	6	1	52
神 経 内 科	入室患者数	1	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	5
	延 患 者 数	3	0	10	0	0	7	0	2	0	0	0	0	22
リウマチ内科	入室患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	延 患 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7
血 液 内 科	入室患者数	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	延 患 者 数	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
産 婦 人 科	入室患者数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	延 患 者 数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯 科 口 腔 外 科	入室患者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	延 患 者 数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
内 科	入室患者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	延 患 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予 定 術 後		27	34	33	33	33	36	24	19	16	22	21	23	321
緊 急 手 術		9	5	6	3	6	7	7	10	7	8	6	6	80
入 院		26	21	21	19	19	17	30	24	24	22	15	17	255
緊 急 入 室		8	6	6	5	7	4	5	3	3	5	6	7	65
心 カ テ 総 数		8	6	8	4	10	3	8	6	9	6	2	6	76
緊 急 カ テ 数		7	5	6	3	6	3	7	6	7	6	1	3	60
予 定 カ テ 数		1	1	2	1	4	0	1	0	2	0	1	3	16
必 要 度 の 割 合		89.7	81.3	83.1	88.2	91.4	88.6	87.6	90.3	85.4	91.6	93.1	86.3	88.05
加 算 対 象 者 数	総 数	161	141	159	175	151	184	161	173	147	144	144	122	1862
	7 日 以 内	122	134	145	160	130	160	146	152	125	121	118	112	1625
	8 ～ 14 日	29	10	14	15	21	24	15	21	2	23	26	10	210
早期リハビリ算定者数				110	154	128	179	148	159	142	132	129	117	1398
重症受け入れ困難	回 数	5	0	1	0	2	2	7	3	0	2	0	0	22
	総 時 間	54h05m	0	24h10m	0	26h05m	28h05m	60h25m	49h	0	81h35m	0	0	323H25M

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度総数
予 定 術 後 入 室														
心 外 科		11	15	12	13	13	12	11	11	7	9	8	9	131
脳 外 科		1	3	2	2	3	3	3	3	1	2	3	1	27
呼 吸 器 外 科		3	3	6	6	3	5	7	4	3	3	1	2	46
整 形 外 科		4	2	5	1	2	2	2	0	2	2	2	4	28
外 科		3	10	5	8	9	10	0	1	3	5	6	7	67
泌 尿 科		2	1	3	2	3	3	1	2	0	1	1	1	20
そ の 他		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		2
緊 急 入 室														
心 外 科		0	0	2	0	1	2	0	0	0	0	1	1	7
脳 外 科		0	0	0	0	1	0	1	1	0	2	2	2	9
循 環 器 内 科		2	1	2	3	3	1	1	1	2	1	1	2	20
腎臓代謝内科		3	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	8
外 科		1	1	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	7
呼 吸 器 内 科		1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	5
そ の 他		2	2	2	0	1	0	1	0	0	2	2	2	14
入 院														
心 外 科		5	1	3	0	4	3	4	4	3	3	4	1	35
脳 外 科		7	9	5	5	4	4	9	4	7	4	4	6	68
循 環 器 内 科		7	4	10	6	7	6	9	7	9	7	5	3	80
腎臓代謝内科		4	0	0	3	1	0	3	4	3	1	1	3	23
呼 吸 器 内 科		1	5	0	4	1	0	0	0	1	2	0	0	14
外 科		2	2	2	1	2	2	2	1	1	1	1	1	18
そ の 他		0	0	1	0	0	2	2	3	0	3	0	1	12
緊 急 手 術 件 数														
心 外 科		4	1	2	0	1	3	1	3	2	3	2	1	23
脳 外 科		3	0	0	1	2	3	3	0	3	5	3	5	28
外 科		3	0	2	2	2	2	2	0	1	1	1	1	17
整 形 外 科		0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
そ の 他		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4
特 殊 治 療														
C H D F		4	1	2	8	2	2	4	3	2	2	3	2	35
C H D F 延日数		24	1	9	24	12	12	47	23	21	6	41	33	253
H D		4	3	2	4	1	2	5	2	3	2	3	3	34
H D 延日数		5	6	3	8	1	6	9	2	7	9	4	4	64
血 漿 交 換		2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	6
血漿交換延日数		5	0	0	0	0	0	0	3	0	7	0	1	16
I A B P		1	2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	18
I A B P 延日数		11	5	5	5	2	12	8	8	2	3	19	28	108
P C P S		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	0	5
P C P S 延日数		0	0	0	0	0	0	6	2	0	1	16	6	31
体外式ペースメーカ		6	3	2	5	3	4	6	5	4	1	3	3	45
体外式ペースメーカ延日数		22	6	2	16	8	15	24	19	17	1	15	13	158
低 体 温 療 法		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	4
低体温療法延日数		0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	4	0	8
人 工 呼 吸 器		18	7	114	14	14	16	12	14	12	17	10	10	258
人工呼吸器延日数		62	10	45	31	34	48	25	42	24	66	63	58	508
N P P V		3	5	3	6	3	2	2	6	4	4	4	0	42
N P P V 延日数		17	8	11	29	17	10	10	9	17	17	18	0	163
N H F											5	1	2	8
N H F 延日数											14	3	7	24
N O 療 法								1	1					2
NO療法延日数								1	4					5

3. 手術業務状況

(1) 各科別手術実施件数（中央手術室実施分）

（単位：上段 件
下段 %）

前年度比		外科		眼科		形成外科		呼吸器外科		産婦人科		歯科口腔外科		耳鼻咽喉科		心臓血管外科		整形外科		脳神経外科		泌尿器科		総数	
		2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018
4月	件数	30	30	67	79	9	4	15	6	20	18	34	33	5	8	28	31	90	80	6	12	25	26	329	327
	前年比	100		118		44		40		90		97		160		111		89		200		104		99	
5月	件数	23	30	78	88	10	4	10	12	33	28	36	57	6	11	33	39	88	88	8	11	16	30	341	398
	前年比	130		113		40		120		85		158		183		118		100		138		188		117	
6月	件数	30	37	99	84	11	9	8	10	31	22	44	31	14	10	29	33	70	80	9	6	13	29	358	351
	前年比	123		85		82		125		71		70		71		114		114		67		223		98	
7月	件数	27	36	93	104	9	13	15	12	24	15	36	37	10	13	21	31	83	79	10	8	19	23	347	371
	前年比	133		112		144		80		63		103		130		148		95		80		121		107	
8月	件数	35	41	86	82	11	11	17	12	20	16	35	44	12	20	27	28	86	85	16	14	21	36	366	389
	前年比	117		95		100		71		80		126		167		104		99		88		171		106	
9月	件数	34	38	69	82	13	12	15	9	25	19	37	34	9	7	22	27	67	68	7	14	26	20	324	330
	前年比	112		119		92		60		76		92		78		123		101		200		77		102	
10月	件数	41	31	84	102	12	19	6	13	27	27	40	58	12	11	31	33	91	102	7	8	27	32	378	436
	前年比	76		121		158		217		100		145		92		106		112		114		119		115	
11月	件数	29	22	82	92	12	13	8	8	23	12	32	54	9	11	34	33	66	90	3	11	19	28	317	374
	前年比	76		112		108		100		52		169		122		97		136		367		147		118	
12月	件数	30	29	60	68	11	9	10	13	26	18	33	45	8	7	30	21	56	74	14	12	26	28	304	324
	前年比	97		113		82		130		69		136		88		70		132		86		108		107	
1月	件数	24	32	87	88	11	4	8	9	27	15	36	39	11	9	26	24	82	69	6	9	18	18	336	316
	前年比	133		101		36		113		56		108		82		92		84		150		100		94	
2月	件数	25	33	84	99	10	9	8	8	27	17	38	51	13	6	23	27	95	68	8	11	15	17	346	346
	前年比	132		118		90		100		63		134		46		117		72		138		113		100	
3月	件数	34	34	88	95	3	11	14	10	23	21	40	46	17	14	27	24	84	78	10	11	17	20	357	364
	前年比	100		108		367		71		91		115		82		89		93		110		118		102	
合計	件数	362	393	977	1063	122	118	134	122	306	228	441	529	126	127	331	351	958	961	104	127	242	307	4103	4326
	前年比	109		109		97		91		75		120		101		106		100		122		127		105	

(2) 外来手術件数（入院中外来を含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外 科	20	10	15	9	8	5	9	8	8	5	5	3	105
整 形 外 科	37	36	32	21	24	26	33	39	39	18	29	32	366
産 婦 人 科	6	9	9	10	3	6	10	11	9	4	7	6	90
耳 鼻 咽 喉 科	2	23	9	10	10	11	13	17	17	8	4	6	130
泌 尿 器 科	3	3	13	11	8	14	12	14	16	5	5	10	114
眼 科	12	14	12	15	12	10	15	7	12	10	11	19	149
脳 神 経 外 科	14	18	16	19	20	19	24	22	28	10	12	7	209
歯 科 口 腔 外 科	169	194	126	123	164	162	168	130	106	75	101	87	1,605
呼 吸 器 外 科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
形 成 外 科	39	40	53	64	56	69	53	56	40	16	32	39	557
心 臓 血 管 外 科	4	9	11	15	10	12	13	13	16	9	10	8	130
皮 膚 科	0	0	0	3	1	0	1	1	1	0	0	0	7
そ の 他	8	4	7	9	7	12	29	41	34	12	16	23	202
計	314	360	303	309	323	347	380	359	326	173	232	240	3,666

(3) その他内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	4
呼 吸 器 内 科	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4
循 環 器 内 科	4	1	1	3	0	1	6	9	5	2	1	0	33
消 化 器 内 科	3	1	5	5	3	7	20	27	27	10	15	22	145
腎 臓 代 謝 内 科	1	0	0	1	1	0	0	4	0	0	0	0	7
血 液 内 科	0	0	1	0	1	1	1	1	0	2	0	0	5
神 経 内 科	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4
計	8	4	7	9	7	12	29	41	34	12	16	23	202

上記(2)、(3)については、医事システムに入力のあった手術の算定件数です。

上記(2)は、1月以降入院中外来を含んでいません。

件数には点数表の手術の部に掲げられている全ての手術を含みます。

4. 健診センター利用状況

1. 稼動日数 半日コース（健診・日帰りドック） 244日（月～金曜日）
 入院ドック（一泊・専門ドック） 92日（月・水曜日）

2. 受診者人数

(1) 月 別

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般健診(協会)	69	134	116	100	109	90	98	100	97	101	107	37	1,158
一般健診	7	7	12	10	5	7	22	24	0	4	2	14	114
一般健診+付加健診(協会)	9	5	6	5	4	7	10	15	0	3	6	2	72
一般健診+追加健診(協会)	21	10	19	10	2	13	14	18	4	3	16	1	131
日帰りドック	53	62	111	113	142	94	126	118	128	110	106	100	1,263
1泊人間ドック	0	3	0	1	1	2	4	1	2	2	1	2	19
脳ドック	0	0	1	1	1	2	0	0	0	2	1	0	8
1泊+脳ドック	0	0	2	6	3	2	4	5	2	1	2	1	28
その他の健診・主婦健診	6	12	27	11	22	22	22	17	18	6	14	6	183
子宮がん健診(協会)	5	5	10	4	4	2	5	5	1	1	3	0	45
合 計	170	238	304	261	293	241	305	303	252	233	258	163	3,021

(2) 年齢層別

【男性】

(単位：人)

		10～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
一般健診（協会）	人数		73	168	151	141	23	556
	割合		13.1%	30.2%	27.2%	25.4%	4.1%	100%
一般健診	人数	3	7	27	12	8	3	60
	割合	5.0%	11.7%	45.0%	20.0%	13.3%	5.0%	100%
一般健診 + 付加健診（協会）	人数		6	24	20			50
	割合		12.0%	48.0%	40.0%			100%
一般健診 + 追加健診（協会）	人数		10	25	25	40	2	102
	割合		9.8%	24.5%	24.5%	39.2%	2.0%	100%
日帰りドック	人数	2	82	224	233	208	85	834
	割合	0.2%	9.8%	26.9%	27.9%	24.9%	10.2%	100%
1泊人間ドック	人数	1	1	1	1	8	2	14
	割合	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	57.1%	14.3%	100%
脳ドック	人数			2	1	2	1	6
	割合			33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	100%
1泊+脳ドック	人数		1	3	7	10	2	23
	割合		4.3%	13.0%	30.4%	43.5%	8.7%	100%
石綿・塵肺健診	人数				2	13	33	48
	割合				4.2%	27.1%	68.8%	100%
その他の健診	人数		1	1		1		3
	割合		33.3%	33.3%		33.3%		100%
合計	人数	6	181	475	452	431	151	1,696
	割合	0.4%	10.7%	28.0%	26.7%	25.4%	8.9%	100%

【女性】

(単位：人)

		10～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
一般健診（協会）	人数		67	194	219	107	15	602
	割合		11.1%	32.2%	36.4%	17.8%	2.5%	100%
一般健診	人数	2	9	9	15	11	8	54
	割合	3.7%	16.7%	16.7%	27.8%	20.4%	14.8%	100%
一般健診 + 付加健診（協会）	人数		3	12	7			22
	割合		13.6%	54.5%	31.8%			100%
一般健診 + 追加健診（協会）	人数		5	7	8	7	2	29
	割合		17.2%	24.1%	27.6%	24.1%	6.9%	100%
日帰りドック	人数		32	90	164	106	37	429
	割合		7.5%	21.0%	38.2%	24.7%	8.6%	100%
1泊人間ドック	人数				2	1	2	5
	割合		0.0%		40.0%	20.0%	40.0%	100%
脳ドック	人数		1				1	2
	割合		50.0%				50.0%	100%
1泊+脳ドック	人数		1		2	2		5
	割合		20.0%		40.0%	40.0%		100%
その他の健診 ・主婦健診	人数		12	51	65	4		132
	割合		9.1%	38.6%	49.2%	3.0%		100%
子宮がん健診 （協会）	人数	17	28					45
	割合	37.8%	62.2%					100%
合計	人数	19	158	363	482	238	65	1,325
	割合	1.4%	11.9%	27.4%	36.4%	18.0%	4.9%	100%

3. 健診結果総合判定別人数

【男性】

(単位：人)

		1	2	3	4	5 + 6	合計
一般健診 (協会)	人数	9	39	110	4	394	556
	割合	1.6%	7.0%	19.8%	0.7%	70.9%	100%
一般健診	人数	1	5	14	2	38	60
	割合	1.7%	8.3%	23.3%	3.3%	63.3%	100%
一般健診 + 付加健診 (協会)	人数		1	15	2	32	50
	割合		2.0%	30.0%	4.0%	64.0%	100%
一般健診 + 追加健診 (協会)	人数		1	11	2	88	102
	割合		1.0%	10.8%	2.0%	86.3%	100%
日帰りドック	人数	1	10	119	11	693	834
	割合	0.1%	1.2%	14.3%	1.3%	83.1%	100%
1泊人間ドック	人数			2		12	14
	割合			14.3%		85.7%	100%
脳ドック	人数			2		4	6
	割合			33.3%		66.7%	100%
1泊+脳ドック	人数			1		22	23
	割合			4.3%		95.7%	100%
その他の健診	人数			1		2	3
	割合			33.3%		66.7%	100%
合計	人数	11	56	275	21	1,285	1,648
	割合	0.7%	3.4%	16.7%	1.3%	78.0%	100%

※石綿・塵肺健診は判定から除外

【女性】

(単位：人)

		1	2	3	4	5 + 6	合計
一般健診 (協会)	人数	22	38	182	12	348	602
	割合	3.7%	6.3%	30.2%	2.0%	57.8%	100%
一般健診	人数		2	12		40	54
	割合		3.7%	22.2%		74.1%	100%
一般健診 + 付加健診 (協会)	人数		1	6		15	22
	割合		4.5%	27.3%		68.2%	100%
一般健診 + 追加健診 (協会)	人数	1	1	7		20	29
	割合	3.4%	3.4%	24.1%		69.0%	100%
日帰りドック	人数		5	60	2	362	429
	割合		1.2%	14.0%	0.5%	84.4%	100%
1泊人間ドック	人数					5	5
	割合					100%	100%
脳ドック	人数					2	2
	割合					100%	100%
1泊+脳ドック	人数			1		4	5
	割合			20.0%		80.0%	100%
その他の健診 ・主婦健診	人数	1	11	39		81	132
	割合	0.8%	8.3%	29.5%		61.4%	100%
子宮がん健診 (協会)	人数	35		3		7	45
	割合	77.8%		6.7%		15.6%	100%
合計	人数	59	58	310	14	884	1,325
	割合	4.5%	4.4%	23.4%	1.1%	66.7%	100%

(総合判定) 1. 異常無し 2. 軽度の異常がみとめられるが日常生活に支障はない

3. 日常生活に注意を要し、経過観察を必要とする 4. 治療を要する 5. 精密検査を要する 6. 治療中

4. 1泊・日帰り人間ドック成績表（平成30年1月～平成30年12月）

【男性】

（症例数は延べ人数）

年代別 受診者数	39歳以下 71					40～49歳 207					50～59歳 238					60歳以上 299					総計 815				
異常なし（判定1、2）	7					4					1					1					13				
症例 判定	3	4,6	5	計	(%)	3	4,6	5	計	(%)	3	4,6	5	計	(%)	3	4,6	5	計	(%)	3	4,6	5	計	(%)
肥満	26	0	0	26	(11.4)	75	0	0	75	(9.4)	75	0	0	75	(6.8)	83	0	0	83	(5.7)	259	0	0	259	(7.2)
呼吸器疾患	2	0	2	4	(1.7)	9	0	8	17	(2.1)	18	5	6	29	(2.6)	37	10	15	62	(4.2)	66	15	31	112	(3.1)
高血圧	4	7	0	11	(4.8)	13	30	0	43	(5.4)	17	85	0	102	(9.3)	28	134	0	162	(11.1)	62	256	0	318	(8.9)
高中性脂肪	9	0	2	11	(4.8)	15	0	10	25	(3.1)	19	0	7	26	(2.4)	8	0	0	8	(0.5)	51	0	19	70	(2.0)
高尿酸	12	0	0	12	(5.2)	52	0	9	61	(7.7)	41	0	5	46	(4.2)	47	0	4	51	(3.5)	152	0	18	170	(4.7)
心電図異常	3	0	3	6	(2.6)	14	5	5	24	(3.0)	13	9	10	32	(2.9)	41	31	21	93	(6.4)	71	45	39	155	(4.3)
食道疾患	14	0	2	16	(7.0)	36	1	9	46	(5.8)	49	2	25	76	(6.9)	43	8	29	80	(5.5)	142	11	65	218	(6.1)
胃疾患	14	0	2	16	(7.0)	36	1	9	46	(5.8)	49	2	25	76	(6.9)	43	8	29	80	(5.5)	142	11	65	218	(6.1)
十二指腸疾患	14	0	2	16	(7.0)	36	1	9	46	(5.8)	49	2	25	76	(6.9)	43	8	29	80	(5.5)	142	11	65	218	(6.1)
肝機能異常（脂肪肝含）	2	0	13	15	(6.6)	0	0	45	45	(5.7)	2	3	40	45	(4.1)	0	5	27	32	(2.2)	4	8	125	137	(3.8)
糖尿病	9	1	0	10	(4.4)	37	12	2	51	(6.4)	51	25	12	88	(8.0)	71	38	9	118	(8.1)	168	76	23	267	(7.5)
血液疾患	0	0	2	2	(0.9)	0	0	8	8	(1.0)	3	0	21	24	(2.2)	4	3	37	44	(3.0)	7	3	68	78	(2.2)
便潜血	0	0	1	1	(0.4)	0	1	7	8	(1.0)	0	0	10	10	(0.9)	0	1	16	17	(1.2)	0	2	34	36	(1.0)
前立腺疾患	0	0	0	0	(0.0)	0	0	2	2	(0.3)	0	0	2	2	(0.2)	0	0	6	6	(0.4)	0	0	10	10	(0.3)
その他の疾患	47	3	33	83	(36.2)	193	3	101	297	(37.4)	244	13	136	393	(35.7)	306	45	193	544	(37.3)	790	64	463	1317	(36.8)
総計	156	11	62	229	(100)	516	54	224	794	(100)	630	146	324	1100	(100)	754	291	415	1460	(100)	2056	502	1025	3583	(100)

【女性】

（症例数は延べ人数）

年代別 受診者数	39歳以下 37					40～49歳 88					50～59歳 164					60歳以上 143					総計 432				
異常なし（判定1、2）	2					2					0					0					4				
症例 判定	3	4,6	5	計	(%)	3	4,6	5	計	(%)	3	4,6	5	計	(%)	3	4,6	5	計	(%)	3	4,6	5	計	(%)
肥満	10	0	0	10	(11.2)	31	0	0	31	(11.7)	52	0	0	52	(9.0)	38	0	0	38	(6.2)	131	0	0	131	(8.5)
呼吸器疾患	1	0	1	2	(2.2)	6	0	2	8	(3.0)	4	2	6	12	(2.1)	9	5	4	18	(2.9)	20	7	13	40	(2.6)
高血圧	0	3	0	3	(3.4)	5	7	0	12	(4.5)	6	30	0	36	(6.3)	15	44	0	59	(9.6)	26	84	0	110	(7.1)
高中性脂肪	0	0	0	0	(0.0)	0	0	0	0	(0.0)	3	0	3	6	(1.0)	1	0	0	1	(0.2)	4	0	3	7	(0.5)
高尿酸	1	0	0	1	(1.1)	3	0	0	3	(1.1)	14	0	0	14	(2.4)	12	0	1	13	(2.1)	30	0	1	31	(2.0)
心電図異常	1	0	0	1	(1.1)	6	2	2	10	(3.8)	5	4	10	19	(3.3)	15	13	7	35	(5.7)	27	19	19	65	(4.2)
食道疾患	5	2	1	8	(9.0)	10	2	4	16	(6.0)	25	1	9	35	(6.1)	29	3	11	43	(7.0)	69	8	25	102	(6.6)
胃疾患	5	2	1	8	(9.0)	10	2	4	16	(6.0)	25	1	9	35	(6.1)	29	3	11	43	(7.0)	69	8	25	102	(6.6)
十二指腸疾患	5	2	1	8	(9.0)	10	2	4	16	(6.0)	25	1	9	35	(6.1)	29	3	11	43	(7.0)	69	8	25	102	(6.6)
胆石・胆のうポリープ	0	0	0	0	(0.0)	0	0	0	0	(0.0)	2	0	0	2	(0.3)	1	0	0	1	(0.2)	3	0	0	3	(0.2)
肝機能異常（脂肪肝含）	0	0	1	1	(1.1)	0	0	3	3	(1.1)	2	0	6	8	(1.4)	0	3	5	8	(1.3)	2	3	15	20	(1.3)
糖尿病	1	0	0	1	(1.1)	4	1	1	6	(2.3)	24	2	3	29	(5.0)	21	13	1	35	(5.7)	50	16	5	71	(4.6)
血液疾患	0	0	5	5	(5.6)	0	2	9	11	(4.2)	0	6	13	19	(3.3)	1	2	9	12	(1.9)	1	10	36	47	(3.0)
便潜血	0	0	2	2	(2.2)	0	0	8	8	(3.0)	0	0	9	9	(1.6)	0	0	7	7	(1.1)	0	0	26	26	(1.7)
婦人科	1	0	0	1	(1.1)	0	0	2	2	(0.8)	0	0	0	0	(0.0)	0	0	0	0	(0.0)	1	0	2	3	(0.2)
その他の疾患	19	0	19	38	(42.7)	76	5	42	123	(46.4)	163	8	93	264	(45.9)	154	23	83	260	(42.2)	412	36	237	685	(44.3)
総計	49	9	31	89	(100)	161	23	81	265	(100)	350	55	170	575	(100)	354	112	150	616	(100)	914	199	432	1545	(100)

（総合判定） 1. 異常無し 2. 軽度の異常がみとめられるが日常生活に支障はない 3. 日常生活に注意を要し、経過観察を必要とする 4. 治療を要する 5. 精密検査を要する 6. 治療中

5. 二次検査受診状況（当院での二次検査について）

(1) 二次検査対象者 2,722 人／健診センター受診者 3,021 人

└─▶ ドック・健診・オプション検査で精密検査を要する（判定5の）方

(2) 受診科別人数（二次検査受診者 のべ 407 人 ／ 二次検査対象者 のべ 3,135 人）

受診科	二次検査 受診者	二次検査 対象者	受診科	二次検査 受診者	二次検査 対象者	受診科	二次検査 受診者	二次検査 対象者
外 科	69人	89人	皮 膚 科	0人	1人	消 化 器 科	127人	866人
耳鼻咽喉科	18人	335人	脳神経外科	20人	32人	腎 臓 内 科	1人	27人
産 婦 人 科	26人	59人	神 経 内 科	1人	1人	代 謝 内 科	2人	243人
眼 科	22人	670人	形 成 外 科	0人	0人	血 液 内 科	4人	211人
整 形 外 科	4人	20人	呼 吸 器 科	65人	158人	リウマチ科	1人	5人
泌 尿 器 科	27人	281人	循 環 器 科	20人	135人	口 腔 外 科	0人	2人

(3) 病名別人数

外 科		近視性乱視	12	心房細動	1	肝血管腫	4
乳房上外側部乳癌	1	遠視性乱視	5	僧帽弁不全症	1	腭頭部腫瘍	1
乳房下内側部乳癌	1	視神経乳頭陥凹拡大	3	高血圧	2	胆のう結石	2
乳腺腫症	1	涙道閉塞症	1	心電図異常	1	胃潰瘍	2
乳腺異常石灰化像	2	近視	1	脂質異常症	1	急性化膿性胆のう炎	2
乳腺腫瘍	42	中心性漿液性網脈絡膜症	1	発作性心房細動	1	早期胃がん	2
乳腺症	11	眼精疲労	1	労作性狭心症	1	腎機能低下	1
乳房微細石灰化	2	白内障	2	消化器科		腹壁腫瘍	1
耳鼻科		老人性初発白内障	2	胃炎	2	肝外胆管拡張	1
咽頭痛	1	泌尿器科		食道炎	4	肝のう胞	1
感音難聴	2	過活動膀胱	1	食道炎ヘルニア	1	慢性活動性胃炎	1
耳管狭窄	2	腎のう胞	1	ポリープ	1	十二指腸潰瘍	2
加齢性難聴	1	健診血尿	4	十二指腸悪性リンパ腫	1	潰瘍性大腸炎	1
びまん性甲状腺腫	1	顕微鏡的血尿	3	S 状結腸過長症	1	海綿状血管腫	1
咽頭腫瘍	1	腎癌	1	胆のうポリープ	8	肺小結節	1
咽頭異常感症	1	前立腺癌	1	胆のう腺筋腫症	2	脾腫	1
突発性難聴	1	石灰化のう胞	1	萎縮性胃炎	9	胆石症	1
騒音性難聴	3	前立腺肥大症	2	大腸ポリープ	12	胃ポリープ	4
難聴	3	急性膀胱炎	1	大腸腺腫	7	十二指腸腺腫	1
慢性中耳炎	2	機能性尿失禁	1	脾腫	4	総胆管結石	1
産婦人科		腎複雑性のう胞	1	胃噴門直下びらん	1	便秘症	2
子宮筋腫	2	脳神経外科		胃体部癌	4	総胆管拡張症	1
子宮頸管ポリープ	6	脳動脈瘤	2	胆のう腺筋症	1	腹部大動脈拡張	1
子宮頸部異型扁平上皮	2	頭蓋窩髄膜腫	1	表層性胃炎	1	腎 臓	
卵巣機能不全	2	頸動脈狭窄症	1	びらん性胃炎	1	急性膀胱炎	1
子宮頸部びらん	1	脳動脈硬化症	1	血管腫	1	腎不全	1
子宮内膜ポリープ	1	呼吸器科		萎縮性胃炎	14	高尿酸血症	1
漿膜下子宮平滑筋腫	1	咳喘息	1	ヘリコバクター・ピロリ胃炎	13	代謝内科	
子宮体癌	1	限局性無気肺	1	脂肪肝	7	高コレステロール血症	1
子宮頸部腫瘍	1	気管支喘息	2	胃癌	1	高血圧	1
バルトリン腺のう腫	1	細菌性肺炎	1	十二指腸傍乳頭憩室	1	原発アルドステロン症	1
卵巣腫瘍茎捻転	2	肺気腫	3	食道粘膜下腫瘍	1	血液内科	
卵巣腫瘍	2	胸部異常陰影	7	慢性胃炎	6	貧血	2
子宮頸部上皮内腫瘍	1	慢性気管支炎	1	盲腸癌	1	反応性白血球増多	1
細菌性膣炎	2	縦隔腫瘍	1	食道裂孔ヘルニア	6	整形外科	
接触皮膚炎	1	循環器科		便潜血	8	シェーグレン症候群A抗原	1
萎縮性膣炎	1	除脈	1	十二指腸潰瘍瘢痕	1	頸椎症	1
不正性器出血	1	徐脈性不整脈	1	バレット食道	2	骨粗鬆症	1
細菌性膀胱炎	1	洞房ブロック	1	胆のう壁肥厚	1		
眼 科		1 度房室ブロック	1	胆石	2		
右視野欠損細	1	心室性期外収縮	1	肝機能障害	8		

5. 中央材料室業務状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
滅菌回数	蒸気滅菌(回)	210	216	217	216	227	190	235	229	200	202	213	227	2,582
	手術器械(台)	116	119	106	127	128	111	144	125	116	127	128	127	1,474
	カート(台)	48	48	48	46	49	41	47	52	49	44	45	42	559
	プリオン対策(台)	46	49	63	45	50	38	44	52	36	31	40	58	552
	HLD(回)	21	23	22	24	25	22	31	26	25	32	29	28	308
	ガス滅菌(回)	25	32	31	29	25	28	33	32	32	22	26	30	352
	中央手術室(回)	16.8	19.9	19.5	18.8	21.3	18.3	21.3	20.7	22.4	14.2	17.6	20.8	23.1
	中央材料室(回)	8.2	11.1	11.5	10.2	10.7	8.7	10.7	11.3	9.7	6.8	8.3	9.2	16.3
	プラズマ滅菌(回)	63	91	90	73	75	63	83	73	74	63	58	71	877
滅菌物	手術器械セット(組)	1,360	1,449	1,467	1,417	1,550	1,299	1,663	1,607	1,344	1,382	1,469	1,602	17,609
	単品器材(組)	2,851	3,080	3,110	2,873	3,075	2,591	3,212	3,119	2,643	2,592	2,772	2,888	34,804
	ガス滅菌物(組)	628	683	489	378	710	677	680	608	612	516	536	749	7,568
	プラズマ滅菌物(組)	313	427	375	404	414	332	462	369	407	335	327	356	4,525
	外来ガス滅菌物(個)	250	304	225	254	387	223	312	289	241	215	225	240	3,165
	HLD洗浄・消毒(個)	723	867	742	730	903	767	863	738	794	770	657	765	9,319
	ガス滅菌物(個)	27	36	26	59	55	17	26	20	16	22	33	18	355
	HLD洗浄・消毒(個)	693	971	948	926	1,091	1,147	1,395	1,126	1,141	1,748	1,354	1,433	13,973
	合計	277	340	251	313	442	240	338	309	257	237	258	258	3,520
手術	外科(件)	29	30	35	35	40	36	28	21	28	29	32	33	346
	整形外科(件)	80	86	80	78	85	68	102	89	74	65	67	78	952
	脳神経外科(件)	10	11	6	8	13	13	8	12	11	7	10	10	119
	呼吸器外科(件)	6	12	10	12	12	9	13	8	13	8	8	10	121
	心臓血管外科(件)	31	39	32	31	28	27	33	33	21	20	25	24	344
	産婦人科(件)	18	27	22	15	16	19	27	12	18	16	16	20	226
	泌尿器科(件)	26	30	28	23	36	20	32	28	28	18	17	19	305
	眼科(件)	79	87	84	104	82	82	102	92	68	75	99	95	1,049
	耳鼻咽喉科(件)	8	11	10	13	20	7	11	11	7	9	6	14	127
	歯科口腔外科(件)	33	57	37	37	44	34	58	54	45	34	50	46	529
	形成外科(件)	4	4	9	13	11	12	19	13	9	3	9	11	117
	手術変更(件)	15	37	30	26	22	18	32	17	23	15	24	17	276
カートセット台数(台)		61	48	48	44	49	41	47	52	49	44	45	42	570
洗浄業務	手術器械洗浄(件)	350	415	366	283	406	331	420	370	312	281	325	371	4312
	病棟カート回収器材洗浄数(個)	2,465	2,079	2,297	2,309	2,026	1,734	2,103	2,342	1,940	1,725	1,966	2,429	25,415
	外来カート回収器材洗浄数(個)	10,982	12,529	11,296	10,975	12,062	10,048	10,592	10,977	10,272	9,011	9,783	11,285	129,812
	手術器械(回)	233	296	267	283	290	245	271	263	225	195	239	224	3,031
	病棟カート回収器材(回)	29	29	28	31	31	27	30	30	29	29	27	29	349
	外来カート回収器材(回)	58	78	71	83	84	72	81	76	77	64	69	81	894
超音波洗浄(回)		377	306	334	318	388	304	356	381	361	327	360	426	4,238

6. 薬剤科業務状況

(1) 薬剤管理指導件数

診療科	管理指導 1 (380 点)		管理指導 2 (325 点)		合計 (指導 1+2)		退院時 (90 点)		麻薬加算 (50 点)		総合計
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	点数
外科	56	21,280	109	35,425	165	56,705	39	3,510	28	1,400	61,615
耳鼻咽喉科	15	5,700	49	15,925	64	21,625	17	1,530	0	0	23,155
産婦人科	23	8,740	91	29,575	114	38,315	32	2,880	3	150	41,345
眼科	2	760	533	173,225	535	173,985	272	24,480	0	0	198,465
整形外科	66	25,080	268	87,100	334	112,180	156	14,040	0	0	126,220
泌尿器科	24	9,120	43	13,975	67	23,095	13	1,170	5	250	24,515
脳神経外科	54	20,520	25	8,125	79	28,645	35	3,150	0	0	31,795
歯科口腔外科	0	0	216	70,200	216	70,200	174	15,660	0	0	85,860
神経内科	3	1,140	10	3,250	13	4,390	4	360	0	0	4,750
心臓血管外科	86	32,680	67	21,775	153	54,455	102	9,180	0	0	63,635
形成外科	0	0	1	325	1	325	1	90	0	0	415
循環器内科	395	150,100	133	43,225	528	193,325	405	36,450	0	0	229,775
消化器内科	14	5,320	23	7,475	37	12,795	18	1,620	1	50	14,465
呼吸器内科	138	52,440	138	44,850	276	97,290	67	6,030	26	1,300	104,620
呼吸器外科	89	33,820	65	21,125	154	54,945	34	3,060	5	250	58,255
腎臓代謝内科	136	51,680	74	24,050	210	75,730	109	9,810	0	0	85,540
血液内科	63	23,940	37	12,025	100	35,965	32	2,880	5	250	39,095
膠原病・リウマチ	48	18,240	17	5,525	65	23,765	22	1,980	1	50	25,795
合計	1,212	460,560	1,899	617,175	3,111	1,077,735	1,532	137,880	73	3,650	1,219,265

がん患者指導管理料ハ (200 点)	
件数	点数
88	17,600

薬剤総合評価調整加算 (250 点)	
件数	点数
10	2,500

7. 栄養科業務状況

(1) 給食業務状況（本館と別館）

食 種 / 月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	一食平均	構成比		
一 般 食	普通食・産褥食	9,111	10,156	10,407	10,714	9,984	9,584	9,857	9,144	9,301	8,916	8,909	9,423	115,506	105	34.0%		
	軟 菜 食	4,024	4,573	4,368	4,909	5,366	3,629	4,088	3,975	4,309	4,412	4,582	5,064	53,299	49	15.7%		
	極軟菜食・五分食	4,946	4,576	4,799	4,492	3,987	4,078	4,777	4,883	4,073	1,944	2,042	2,077	46,674	43	13.7%		
	流動食・三分食	255	189	229	196	341	245	114	138	86	71	125	170	2,159	2	0.6%		
	嚥下訓練食(1月～嚥下食)	185	159	194	364	355	282	238	331	218	2,816	2,839	3,156	11,137	10	3.3%		
	濃厚流動食	1,137	898	931	1,091	854	948	1,223	1,125	1,216	1,269	1,339	1,733	13,764	13	4.0%		
	遅 延 食	49	27	29	35	49	32	29	43	41	22	23	14	393	0	0.1%		
	その他(離乳食・口内炎食等)	116	100	104	25	74	13	105	152	139	53	36	14	931	1	0.3%		
	小 計	19,823	20,678	21,061	21,826	21,010	18,811	20,431	19,791	19,383	19,503	19,895	21,651	243,863	223	71.7%		
特 別 治 療 食	非 加 算	高 血 圧 食	653	862	623	582	360	283	395	482	541	467	478	593	6,319	5.8	1.9%	
		軽 度 肥 満 食	0	0	0	0	15	90	76	0	0	0	0	0	181	0.2	0.1%	
		塩制嚥下食(1月～嚥下食)											102	109	172	383	1.4	0.1%
		肝臓食・膵臓食・潰瘍食											83	0	34	117	0.4	0.0%
		腎 臓 食											6	38	25	69	0.3	0.0%
		小 計	653	862	623	582	375	373	471	482	541	658	625	824	7,069	8	2.1%	
	加 算	ハーフ(En制限)常食										87	141	114	342	1	0.1%	
		ハーフ(En制限)軟菜食										0	43	151	194	1	0.1%	
		ハーフ(En制限)極軟菜食										47	148	66	261	1	0.1%	
		嚥下訓練食(ハーフ・塩制)										698	303	670	1,671	6	0.5%	
		遅延食(蛋白・塩・K・P制)										17	16	11	44	0	0.0%	
		腎 臓 食	1,533	1,424	1,680	1,788	1,494	1,306	1,645	1,723	1,943	1,561	1,096	1,170	18,363	17	5.4%	
		心 臓 食	2,961	3,012	3,066	3,433	3,252	3,430	4,031	3,740	3,443	2,736	3,192	3,518	39,814	36	11.7%	
		糖 尿 食	1,786	2,545	2,014	2,129	1,879	1,566	1,672	2,235	1,778	1,506	1,671	1,888	22,669	21	6.7%	
		肝臓食・膵臓食・潰瘍食	299	311	395	287	454	428	293	376	382	275	454	417	4,371	4	1.3%	
		マ ー ゲ ン 食	77	69	205	48	105	62	61	44	34	84	74	110	973	1	0.3%	
		高 脂 血 症 食	2	0	43	49	31	6	74	0	47	10	0	0	262	0	0.1%	
		高 度 肥 満 食	0	47	19	0	0	0	11	0	0	0	0	0	77	0	0.0%	
		妊 娠 高 血 圧 食	0	18	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0.0%	
		貧 血 食	0	0	0	1	7	20	7	19	0	0	0	0	54	0	0.0%	
		潰瘍性大腸炎クローン食	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	27	30	0	0.0%	
		小 計	6,658	7,426	7,435	7,735	7,222	6,818	7,794	8,140	7,627	7,021	7,138	8,142	89,156	88	26.2%	
非 加 算 合 計		20,476	21,540	21,684	22,408	21,385	19,184	20,902	20,273	19,924	20,161	20,520	22,475	250,932	231	73.8%		
合 計		27,134	28,966	29,119	30,143	28,607	26,002	28,696	28,413	27,551	27,182	27,658	30,617	340,088		100.0%		
一 食 平 均 給 食 数		301	311	324	324	308	289	309	316	296	292	329	329	311				
特 別 治 療 食(加算)比 率		24.5	25.6	25.5	25.7	25.2	26.2	27.2	28.6	27.7	25.8	25.8	26.6	26.2				

※ H31 年 1 月～院内食事規約の見直しにより、一部の食種名および食種分類を変更しました。

※一食平均給食数＝合計欄の食数÷（暦日×3食）

(2) 栄養指導件数

指導内容				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		糖 尿 病 教 室		4	7	7	5	7	8	6	4	1	3	7	8	67
		小 計		4	7	7	5	7	8	6	4	1	3	7	8	67
個人指導	算定可	腎 臓 病	塩分6g未満	27	23	34	29	27	17	26	22	19	15	15	17	271
		心 臓 疾 患	塩分6g未満	32	23	23	18	29	13	25	24	22	10	25	21	265
		高 血 圧	塩分6g未満	6	8	3	2	2	0	1	2	4	3	4	2	37
		肝 臓 病		0	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	5
		糖 尿 病		33	24	32	23	33	18	21	34	25	21	23	37	324
		肥 満 症	BMI 30以上 or 肥満度 40以上	1	1	2	1	1	0	4	0	1	0	0	0	11
		脂質異常症	LDL140 m g / d l以上 or TG150 m g / d l以上 or HDL40mg/dl未満	1	0	0	3	5	4	4	1	1	1	0	0	20
		胃潰瘍・十二指腸潰瘍		2	4	9	2	5	1	2	0	2	4	6	4	41
		脾 臓 疾 患		0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	5
		高 尿 酸 血 症		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3
		嚥 下 困 難		0	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	2	7
		癌		0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1	0	6
		低 栄 養	Alb3.0mg/dl 以下 or 医師から栄養改善が必要であると認められた者	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	7
	小 計		103	84	104	80	106	56	87	90	76	55	77	84	1,002	
	算定不可	消 化 器 疾 患		0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	5
		耐 糖 能 異 常		0	1	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	6
		肥 満 症		0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
		脳 血 管 障 害		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
		算 定 条 件 不 適 合		11	4	7	9	11	5	10	11	9	7	6	4	94
		健 診 セ ン タ ー		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	2	6
		そ の 他		0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	小 計		11	8	9	10	12	9	11	15	11	8	8	6	118	
その他	病棟訪問(アレルギー・摂食不良等聞き取り等)		56	62	82	67	65	54	73	58	45	35	56	51	704	
	糖 尿 病 週 間									7					7	
	小 計		56	62	82	67	65	54	73	65	45	35	56	51	711	
算 定 合 計			103	84	104	80	106	56	87	90	76	55	77	84	1,002	
総 合 計			174	161	202	162	190	127	177	174	133	101	148	149	1,898	

(3) NST病棟回診

診 療 科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
血 液 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リウマチ膠原病科	0	0	0	3	5	0	0	0	0	2	11	1	22	4.3
腎 臓 代 謝 内 科	7	12	8	14	14	13	17	9	18	10	1	7	130	25.3
総 合 診 療 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	4	0.8
呼 吸 器 内 科	7	2	0	0	0	0	0	0	0	8	8	7	32	6.2
呼 吸 器 外 科	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	1	5	1.0
循 環 器 内 科	6	1	0	1	9	5	4	4	1	1	3	8	43	8.4
外 科	7	9	10	8	6	6	18	11	7	5	2	4	93	18.1
整 形 外 科	10	5	6	9	7	4	6	4	0	2	8	9	70	13.6
形 成 外 科	4	4	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	15	2.9
脳 神 経 外 科	4	5	7	4	5	2	10	1	0	0	0	0	38	7.4
神 経 内 科	3	1	3	2	0	4	5	4	4	4	3	0	33	6.4
心 臓 血 管 外 科	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.4
泌 尿 器 科	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.4
皮 膚 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
消 化 器 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0.6
産 婦 人 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
耳 鼻 咽 喉 科	0	0	0	0	0	0	3	4	4	4	4	1	20	3.9
歯 科 ・ 口 腔 外 科	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.4
回 診 件 数	50	39	35	47	51	37	63	37	37	38	40	40	514	100

8. 放射線科／放射線技術科業務状況

(1) 検査別利用状況

一般撮影

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭 部	24	19	26	24	20	28	27	19	35	17	22	27	288
頸 部	2	4	2	0	1	1	1	1	0	5	2	2	21
胸 部	2,371	2,610	2,506	2,650	2,412	2,139	2,624	2,485	2,499	2,437	2,143	2,284	29,160
腹 部	234	241	216	285	272	218	225	205	237	197	192	176	2,698
胸 郭・肩	125	129	123	110	141	122	121	132	132	134	153	114	1,536
骨 盤	341	372	351	401	331	308	371	372	341	328	330	375	4,221
脊 椎	466	528	490	465	534	413	524	481	388	395	419	427	5,530
上 肢	221	252	208	208	225	171	196	182	175	175	151	182	2,346
下 肢	548	616	586	534	636	576	697	563	533	475	426	513	6,703
乳 房	233	239	240	285	265	234	283	319	242	103	93	108	2,644
パノラマ	134	128	113	111	140	107	123	120	111	112	107	97	1,403
合 計	4,699	5,138	4,861	5,073	4,977	4,317	5,192	4,879	4,693	4,378	4,038	4,305	56,550
1 日 平 均	235.0	244.7	231.5	241.6	216.4	239.8	236.0	232.3	247.0	230.4	212.5	215.3	231.8

病棟ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭 部	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3
胸 部	426	326	393	392	344	357	365	386	379	406	447	384	4,605
腹 部	110	71	64	73	107	78	77	86	63	53	109	69	960
骨 盤	1	4	1	2	3	0	6	1	0	0	1	0	19
脊 椎	1	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	5
上 肢	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3
下 肢	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6
合 計	539	403	458	470	456	436	450	473	444	462	557	453	5,601

OP室ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胸 部	45	51	56	50	63	57	44	39	45	51	50	47	598
腹 部	43	48	44	46	48	49	44	35	40	41	50	40	528
胸 郭・肩	2	5	2	0	9	4	4	2	3	5	1	2	39
骨 盤	16	19	19	20	20	14	24	24	21	17	21	23	238
脊 椎・頭	20	17	25	14	18	15	14	13	11	12	8	19	186
上 肢	10	17	5	10	7	1	13	5	8	7	5	4	92
下 肢	28	29	22	28	24	23	37	29	15	22	23	17	297
合 計	164	186	173	168	189	163	180	147	143	155	158	152	1,978

ポータブル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合 計	703	589	631	638	645	599	630	620	587	617	715	605	7,579
1 日 平 均	35.2	28.0	30.0	30.4	28.0	33.3	28.6	29.5	30.9	32.5	37.6	30.3	31.1

造影撮影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
泌尿器・婦人科系	13	3	6	9	14	5	12	11	7	6	10	10	106
その他造影撮影	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	13	3	7	9	14	5	12	11	7	6	10	10	107
1 日 平 均	0.7	0.1	0.3	0.4	0.6	0.3	0.5	0.5	0.4	0.3	0.5	0.5	0.4

TV 室検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食 道・ 胃	25	31	16	18	20	14	26	24	20	18	17	20	249
注 腸	3	3	3	2	3	2	4	2	11	3	4	6	46
気管支ファイバー	9	6	22	16	10	14	13	12	17	9	11	10	149
大腸ファイバー	30	29	30	34	35	27	52	86	78	49	52	79	581
その他透視・造影	57	53	42	52	70	53	65	78	66	65	66	65	732
合 計	124	122	113	122	138	110	160	202	192	144	150	180	1,757
1 日 平 均	6.2	5.8	5.4	5.8	6.0	6.1	7.3	9.6	10.1	7.6	7.9	9.0	7.2

血管造影

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心 カ テ	102	112	102	106	109	83	109	111	89	69	62	100	1,154
そ の 他	29	26	25	29	29	23	29	38	32	27	38	38	363
合 計	131	138	127	135	138	106	138	149	121	96	100	138	1,517
1 日 平 均	6.6	6.6	6.0	6.4	6.0	5.9	6.3	7.1	6.4	5.1	5.3	6.9	6.2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
C T	1,510	1,610	1,628	1,621	1,610	1,493	1,670	1,647	1,600	1,583	1,507	1,645	19,124
1 日 平 均	75.5	76.7	77.5	77.2	70.0	82.9	75.9	78.4	84.2	83.3	79.3	82.3	78.4
M R	541	593	602	651	640	492	595	565	533	454	559	566	6,791
1 日 平 均	27.1	28.2	28.7	31.0	27.8	27.3	27.0	26.9	28.1	23.9	29.4	28.3	27.8
R I	50	65	66	76	71	52	48	65	47	34	40	57	671
1 日 平 均	2.5	3.1	3.1	3.6	3.1	2.9	2.2	3.1	2.5	1.8	2.1	2.9	2.8
D E X A	170	171	182	153	167	181	212	177	169	111	133	170	1,996
1 日 平 均	8.5	8.1	8.7	7.3	7.3	10.1	9.6	8.4	8.9	5.8	7.0	8.5	8.2
E S W L	0	1	0	2	1	1	2	1	1	1	0	2	12
1 日 平 均	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0
放射線治療	367	486	438	536	540	416	620	590	304	227	385	460	5,369
1 日 平 均	18.4	23.1	20.9	25.5	23.5	23.1	28.2	28.1	16.0	11.9	20.3	23.0	22.0

健診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭 部	0	0	3	7	4	4	4	5	2	3	3	1	36
頸 椎	0	0	3	7	4	4	4	5	2	3	3	1	36
胸 部	164	233	291	255	288	238	297	298	251	230	255	162	2,962
乳 房	32	59	88	85	99	86	107	127	104	56	64	35	942
胃 透 視	108	144	181	172	173	137	174	180	131	127	160	81	1,768
骨 塩 定 量	7	6	12	25	26	15	21	19	18	3	1	3	156
M R	8	18	25	35	45	19	24	29	17	12	20	13	265
C T	5	8	13	9	7	2	14	7	19	9	11	4	108
合 計	324	468	616	595	646	505	645	670	544	443	517	300	6,273

(2) 科別利用件数（外来）

（単位：件）

外 来	単 純 撮 影	造 影 撮 影	T V	泌 尿 器 ・ 婦 人 科 系	E S W L	D E X A	C T	M R	血 管 造 影	R I	放 射 線 治 療	健 診 セ ン タ ー	病 棟 ポ ー タ ブ ル	O P 室 ポ ー タ ブ ル	合 計
内 科	3,256	0	3	0	0	0	2,858	310	13	1	0	0	3	2	6,446
小 児	108	0	0	0	0	0	6	19	0	1	0	0	2	0	136
外 科	3,684	1	71	0	0	198	1,274	202	3	82	0	287	1	2	5,805
耳 鼻	274	0	11	0	0	2	396	146	0	14	0	0	0	0	843
産 婦	237	0	1	16	0	10	177	219	0	2	0	0	0	0	662
眼 科	419	0	0	0	0	0	85	19	0	0	0	0	0	0	523
整 形	17,062	0	266	0	0	1,225	1,129	1,540	0	2	0	91	0	53	21,368
泌 尿	1,009	0	158	39	8	0	658	101	0	81	0	0	0	0	2,054
皮 膚	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8
脳 外	413	0	0	0	0	0	1,238	1,119	6	8	0	0	1	0	2,785
歯 科	1,342	0	0	0	0	0	237	32	0	1	0	0	0	0	1,612
神 内	56	0	2	0	0	2	335	362	0	121	0	0	2	0	880
心 外	1,213	0	0	0	0	0	901	86	1	0	0	0	0	0	2,201
形 成	166	0	1	0	0	0	48	28	0	0	0	0	0	1	244
呼 内	7,315	0	0	0	0	11	1,958	129	0	79	0	0	2	0	9,494
呼 外	2,559	0	0	0	0	0	806	119	0	53	0	0	0	0	3,537
循 内	4,997	0	8	0	0	1	875	124	64	98	0	0	1	0	6,168
消 内	73	0	475	0	0	2	297	179	1	1	0	0	0	0	1,028
健 診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,696	0	0	5,696
放 診	29	0	10	0	0	0	1,069	1,086	1	49	0	0	0	0	2,244
腎 内	525	0	0	0	0	80	482	180	1	8	0	0	1	0	1,277
血 内	101	0	0	0	0	6	137	9	0	1	0	0	0	0	254
リウマチ	1,289	0	0	0	0	90	167	31	0	2	0	0	0	0	1,579
放 治	28	0	1	0	0	0	439	86	0	1	3,920	0	0	0	4,475
救 急	25	0	1	0	0	0	16	4	0	0	0	0	0	0	46
透 内	361	0	2	0	0	198	133	11	4	0	0	0	12	0	721
総合診	7	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	13
合 計	46,555	1	1,010	55	8	1,825	15,727	6,142	94	605	3,920	6,074	25	58	82,099

(3) 科別利用件数 (入院)

(単位：件)

入 院	単 純 撮 影	T V	泌 尿 器 ・ 婦 人 科 系	E S W L	D E X A	C T	M R	血 管 造 影	R I	放 射 線 治 療	健 診 セ ン タ ー	病 棟 ポ ー タ ブル	O P 室 ポ ー タ ブル	合 計
内 科	52	2	0	0	0	45	8	6	0	0	0	20	0	133
小 児	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	4
外 科	522	111	0	0	1	184	14	28	2	0	0	715	591	2,168
耳 鼻	19	50	0	0	0	14	5	0	0	0	0	18	0	106
産 婦	41	1	1	0	0	27	10	9	0	0	0	45	183	317
眼 科	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
整 形	2,651	48	0	0	81	418	89	2	1	0	0	115	800	4,205
泌 尿	176	48	49	4	0	51	1	3	1	0	0	60	66	459
皮 膚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳 外	336	12	0	0	0	1,056	224	111	14	0	0	371	3	2,127
歯 科	168	3	0	0	0	10	1	0	0	0	0	0	4	186
神 内	43	1	0	0	2	39	26	0	5	0	0	38	0	154
心 外	1,522	2	0	0	0	276	29	31	0	0	0	1,147	135	3,142
形 成	11	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	14
呼 内	1,659	143	0	0	3	256	67	12	32	0	0	1,038	2	3,212
呼 外	871	30	0	0	0	98	5	2	2	0	0	246	119	1,373
循 内	1,043	4	0	0	1	242	39	1,092	4	0	0	1,090	1	3,516
消 内	98	276	0	0	0	162	32	7	3	0	0	61	9	648
麻 酔	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	6	15
健 診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	163	0	0	163
放 診	0	15	0	0	0	8	0	15	0	0	0	1	0	39
腎 内	551	2	0	0	60	177	51	33	0	0	0	529	1	1,404
血 内	41	1	0	0	3	138	5	8	1	0	0	17	0	214
リウマチ	92	1	1	0	20	70	24	5	1	0	0	18	0	232
放 治	3	0	0	0	0	111	17	1	0	1,449	0	0	0	1,581
救 急	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
透 内	78	0	0	0	0	6	0	58	0	0	0	15	0	157
総合診	5	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	29	0	41
合 計	9,989	750	51	4	171	3,397	649	1,423	66	1,449	163	5,583	1,920	25,615

(4) 月別利用患者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合計
外来患者数 (人)	5,535	6,014	5,969	6,200	6,052	5,340	6,366	6,134	5,687	5,308	5,216	5,580	69,401
入院患者数 (人)	1,804	1,962	1,857	1,994	1,934	1,661	2,027	2,055	1,880	1,728	1,852	1,814	22,568
合 計 (人)	7,339	7,976	7,826	8,194	7,986	7,001	8,393	8,189	7,567	7,036	7,068	7,394	91,969
1 日 平 均 (人)	367.0	379.8	372.7	390.2	347.2	388.9	381.5	390.0	398.3	370.3	372.0	369.7	376.9
フィルム使用枚数 (枚)	68	79	86	47	67	56	101	78	66	65	65	117	895
1 日 平 均 (枚)	3.4	3.8	4.1	2.2	2.9	3.1	4.6	3.7	3.5	3.4	3.4	5.9	3.7

(5) 検査別前年比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
単純撮影													
平成29年度	4,682	5,005	4,763	4,725	4,858	4,622	4,636	4,565	4,418	4,687	4,467	4,966	56,394
平成30年度	4,699	5,138	4,861	5,073	4,977	4,317	5,192	4,879	4,693	4,378	4,038	4,305	56,550
前年比 (%)	100.4	102.7	102.1	107.4	102.4	93.4	112.0	106.9	106.2	93.4	90.4	86.7	100.3
血管造影													
平成29年度	97	117	138	107	126	108	131	140	115	104	126	139	1,448
平成30年度	131	138	127	135	138	106	138	149	121	96	100	138	1,517
前年比 (%)	135.1	117.9	92.0	126.2	109.5	98.1	105.3	106.4	105.2	92.3	79.4	99.3	104.8
C T													
平成29年度	1,414	1,525	1,482	1,469	1,605	1,431	1,551	1,523	1,520	1,620	1,405	1,595	18,140
平成30年度	1,510	1,610	1,628	1,621	1,610	1,493	1,670	1,647	1,600	1,583	1,507	1,645	19,124
前年比 (%)	106.8	105.6	109.9	110.3	100.3	104.3	107.7	108.1	105.3	97.7	107.3	103.1	105.4
MR													
平成29年度	579	638	683	580	670	578	590	579	545	518	576	637	7,173
平成30年度	541	593	602	651	640	492	595	565	533	454	559	566	6,791
前年比 (%)	93.4	92.9	88.1	112.2	95.5	85.1	100.8	97.6	97.8	87.6	97.0	88.9	94.7
R I													
平成29年度	49	61	69	61	55	50	41	56	42	53	38	47	622
平成30年度	50	65	66	76	71	52	48	65	47	34	40	57	671
前年比 (%)	102.0	106.6	95.7	124.6	129.1	104.0	117.1	116.1	111.9	64.2	105.3	121.3	107.9
DEXA (骨塩定量)													
平成29年度	168	191	201	161	180	192	179	182	192	152	179	199	2,176
平成30年度	170	171	182	153	167	181	212	177	169	111	133	170	1,996
前年比 (%)	101.2	89.5	90.5	95.0	92.8	94.3	118.4	97.3	88.0	73.0	74.3	85.4	91.7
ESWL (体外衝撃波結石破碎)													
平成29年度	2	5	5	1	6	4	2	5	3	0	3	0	36
平成30年度	0	1	0	2	1	1	2	1	1	1	0	2	12
前年比 (%)	0.0	20.0	0.0	200.0	16.7	25.0	100.0	20.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
放射線治療													
平成29年度	285	320	341	257	312	319	471	507	363	278	309	343	4,105
平成30年度	367	486	438	536	540	416	620	590	304	227	385	460	5,369
前年比 (%)	128.8	151.9	128.4	208.6	173.1	130.4	131.6	116.4	83.7	81.7	124.6	134.1	130.8
ポータブル撮影													
平成29年度	683	787	604	648	630	524	759	685	690	840	761	733	8,344
平成30年度	703	589	631	638	645	599	630	620	587	617	715	605	7,579
前年比 (%)	102.9	74.8	104.5	98.5	102.4	114.3	83.0	90.5	85.1	73.5	94.0	82.5	90.8
外来患者数													
平成29年度	5,498	6,131	6,308	6,038	6,406	5,908	6,306	6,062	5,771	5,769	5,642	6,201	72,040
平成30年度	5,535	6,014	5,969	6,200	6,052	5,340	6,366	6,134	5,687	5,308	5,216	5,580	69,401
前年比 (%)	100.7	98.1	94.6	102.7	94.5	90.4	101.0	101.2	98.5	92.0	92.4	90.0	96.3
入院患者数													
平成29年度	2,072	2,303	2,032	1,971	2,021	1,786	2,049	2,183	1,959	2,157	2,111	2,104	24,748
平成30年度	1,804	1,962	1,857	1,994	1,934	1,661	2,027	2,055	1,880	1,728	1,852	1,814	22,568
前年比 (%)	87.1	85.2	91.4	101.2	95.7	93.0	98.9	94.1	96.0	80.1	87.7	86.2	91.2
外来入院合計患者数													
平成29年度	7,570	8,434	8,340	8,009	8,427	7,694	8,355	8,245	7,730	7,926	7,753	8,305	96,788
平成30年度	7,339	7,976	7,826	8,194	7,986	7,001	8,393	8,189	7,567	7,036	7,068	7,394	91,969
前年比 (%)	96.9	94.6	93.8	102.3	94.8	91.0	100.5	99.3	97.9	88.8	91.2	89.0	95.0
フィルム使用枚数													
平成29年度	50	72	52	72	71	92	55	33	71	60	47	63	738
平成30年度	68	79	86	47	67	56	101	78	66	65	65	117	895
前年比 (%)	136.0	109.7	165.4	65.3	94.4	60.9	183.6	236.4	93.0	108.3	138.3	185.7	121.3

9. 中央検査技術科業務状況

(1) 院内部門別件数 (単位：件)

	一般	血液	化学	免疫	輸血	細菌	生理	聴力	病理	平成30年度合計	対前年度比	平成29年度合計
4月	30,440	45,491	130,343	7,603	793	1,664	3,202	153	714	220,403	98.7%	223,294
5月	35,124	49,073	143,002	8,276	849	1,812	3,393	204	773	242,506	100.6%	241,019
6月	33,804	49,350	140,278	8,149	845	1,643	3,609	148	952	238,778	96.8%	246,603
7月	34,292	50,513	146,023	8,591	885	1,842	3,588	193	907	246,834	104.3%	236,647
8月	37,205	50,985	147,608	8,469	865	1,809	3,676	156	925	251,698	101.4%	248,277
9月	29,607	44,702	127,265	7,441	725	1,665	3,072	97	825	215,399	93.0%	231,666
10月	34,936	51,638	147,794	8,884	900	1,683	3,776	153	922	250,686	105.9%	236,830
11月	34,317	50,815	146,196	8,480	866	1,938	3,674	163	861	247,310	104.4%	236,787
12月	32,172	50,626	144,565	8,127	770	2,029	3,327	149	965	242,730	103.7%	234,072
1月	30,369	49,340	137,252	7,885	774	2,416	3,189	159	733	232,117	99.3%	233,737
2月	29,601	47,593	131,895	7,835	814	1,895	3,339	161	812	223,945	98.0%	228,629
3月	30,451	50,902	139,510	8,855	932	1,766	3,365	195	878	236,854	94.5%	250,599
合計	392,318	591,028	1,681,731	98,595	10,018	22,162	41,210	1,931	10,267	2,849,260	100.0%	2,848,160

(2) 院内・委託件数比率

	院内検査[件]	委託検査[件]	(A社)[件]	(B社)[件]	(C社)[件]	院内検査[%]	委託検査[%]
4月	220,403	2,840	2,090	750		98.71	1.29
5月	242,506	3,190	2,427	763		98.68	1.32
6月	238,778	2,966	2,299	667		98.76	1.24
7月	246,834	3,046	2,336	710		98.77	1.23
8月	251,698	3,091	2,395	696		98.77	1.23
9月	215,399	2,564	1,934	630		98.81	1.19
10月	250,686	3,034	2,238	788	8	98.79	1.21
11月	247,310	2,943	2,076	853	14	98.81	1.19
12月	242,730	2,957	2,090	851	16	98.78	1.22
1月	232,117	2,612	1,982	607	23	98.87	1.13
2月	223,945	2,698	1,868	814	16	98.80	1.20
3月	236,854	3,145	2,263	872	10	98.67	1.33
合計	2,849,260	35,086	25,998	9,001	87	98.77	1.23

(3) 生理検査種別年度比

	心電図			ホルター心電図			トレッドミル			脳波		
	平成29年度	平成30年度	対前年度比	平成29年度	平成30年度	対前年度比	平成29年度	平成30年度	対前年度比	平成29年度	平成30年度	対前年度比
外来合計	15,536	16,986	109.3%	294	348	118.4%	20	21	105.0%	169	114	67.5%
入院合計	3,599	2,998	83.3%	74	41	55.4%	1	0	0.0%	118	147	124.6%
総合計	19,135	19,984	104.4%	368	389	105.7%	21	21	100.0%	287	261	90.9%
	U C G			頸動脈エコー			腹部エコー			肺機能		
	平成29年度	平成30年度	対前年度比	平成29年度	平成30年度	対前年度比	平成29年度	平成30年度	対前年度比	平成29年度	平成30年度	対前年度比
外来合計	3,176	3,636	114.5%	503	661	131.4%	2,296	2,401	104.6%	3,500	3,640	104.0%
入院合計	1,410	1,267	89.9%	403	299	74.2%	205	171	83.4%	135	151	111.9%
総合計	4,586	4,903	106.9%	906	960	106.0%	2,501	2,572	102.8%	3,635	3,791	104.3%
	A B R			A B I			筋電図			下枝静脈エコー		
	平成29年度	平成30年度	対前年度比	平成29年度	平成30年度	対前年度比	平成29年度	平成30年度	対前年度比	平成29年度	平成30年度	対前年度比
外来合計	20	15	75.0%	2,094	2,649	126.5%	186	177	95.2%	569	811	142.5%
入院合計	8	9	112.5%	593	518	87.4%	62	58	93.5%	228	277	121.5%
総合計	28	24	85.7%	2,687	3,167	117.9%	248	235	94.8%	797	1,088	136.5%
									総 計			
										平成29年度	平成30年度	対前年度比
									外来合計	28,363	31,459	110.9%
									入院合計	6,836	5,936	86.8%
									総合計	35,199	37,395	106.2%

10. リハビリテーション科／リハビリテーション技術科業務状況

(1) 理学療法患者数

(単位：件)

(%)

	外 来	入 院	合 計	増 減	前年比
4月	438	3,884	4,322	154	104
5月	470	4,012	4,482	206	105
6月	466	4,219	4,685	146	103
7月	473	4,017	4,490	362	109
8月	479	4,056	4,535	168	104
9月	419	3,318	3,737	-274	93
10月	479	4,071	4,550	362	109
11月	439	3,974	4,413	171	104
12月	440	3,551	3,991	5	100
1月	377	3,458	3,835	-353	92
2月	387	3,708	4,095	-337	92
3月	385	3,782	4,167	-535	89
計	5,252	46,050	51,302	75	100

(2) 作業療法患者数

	外 来	入 院	合 計	増 減	前年比
4月	64	1,735	1,799	39	102
5月	64	1,860	1,924	92	105
6月	69	1,957	2,026	145	108
7月	66	1,774	1,840	140	108
8月	81	1,776	1,857	203	112
9月	67	1,515	1,582	9	101
10月	86	1,900	1,986	267	116
11月	88	1,777	1,865	213	113
12月	69	1,671	1,740	105	106
1月	67	1,619	1,686	20	101
2月	65	1,737	1,802	123	107
3月	82	1,786	1,868	46	103
計	868	21,107	21,975	1,402	107

(3) 言語聴覚療法患者数

	外 来	入 院	合 計	増 減	前年比
4月	27	1,126	1,153	21	102
5月	26	1,048	1,074	-69	94
6月	22	1,061	1,083	-88	92
7月	33	986	1,019	26	103
8月	28	1,025	1,053	4	100
9月	23	858	881	-23	97
10月	23	1,011	1,034	153	117
11月	32	1,048	1,080	135	114
12月	40	909	949	-88	92
1月	39	999	1,038	-25	98
2月	34	985	1,019	-80	93
3月	34	1,032	1,066	-152	88
計	361	12,088	12,449	-186	99

11. 訪問看護ステーション業務状況

◆訪問回数

延べ訪問回数	介護保険	7,424	75.32%
	医療保険	2,433	24.68%
	計	9,857	

◆利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受入	3	8	6	1	9	5	2	3	5	3	5	5	55
新規受入(院内)	2	5	2	1	9	3	2	3	4	3	5	3	42
新規受入(院外)	1	3	4	0	0	2	0	0	1	0	0	2	13
利用者実数計	127	126	129	129	133	135	130	130	127	126	130	128	1,550

◆終了状況

死亡内訳	在宅	在宅外 (病院・施設)	その他 (転居・転院・中止)
総数	15	24	14
がん	9	15	
心疾患	1	3	
脳血管障害	3	0	
呼吸器	2	3	
その他	0	3	14

* 在宅看取り
38.4%

◆疾患別患者数

疾病名	利用者数
循環器系疾患	25
癌	36
神経系疾患	14
脳血管系疾患	25
内分泌系疾患	15
精神疾患	6
筋骨格系疾患	20
呼吸器系疾患	28
血液・免疫機能系疾患	2
腎泌尿器系疾患	15
消化器系疾患	3
先天性奇形	4
皮膚及び皮下組織系疾患	5
計	198

◆年齢別患者数

年齢層	人数
0～10	0
11～20	3
21～30	1
31～40	5
41～50	2
51～60	5
61～70	27
71～80	58
81～90	76
91～100	19
101以上	2

◆介護区分別患者数

介護度	人数
要支援1	4
要支援2	17
要介護1	26
要介護2	43
要介護3	22
要介護4	21
要介護5	20

男女人数	人数
男性	107
女性	91

◆緊急対応(夜間・休日)

電話のみ	775件
出動	317件

12. 疾病別（ICD）・転帰別 退院患者数（転科含）

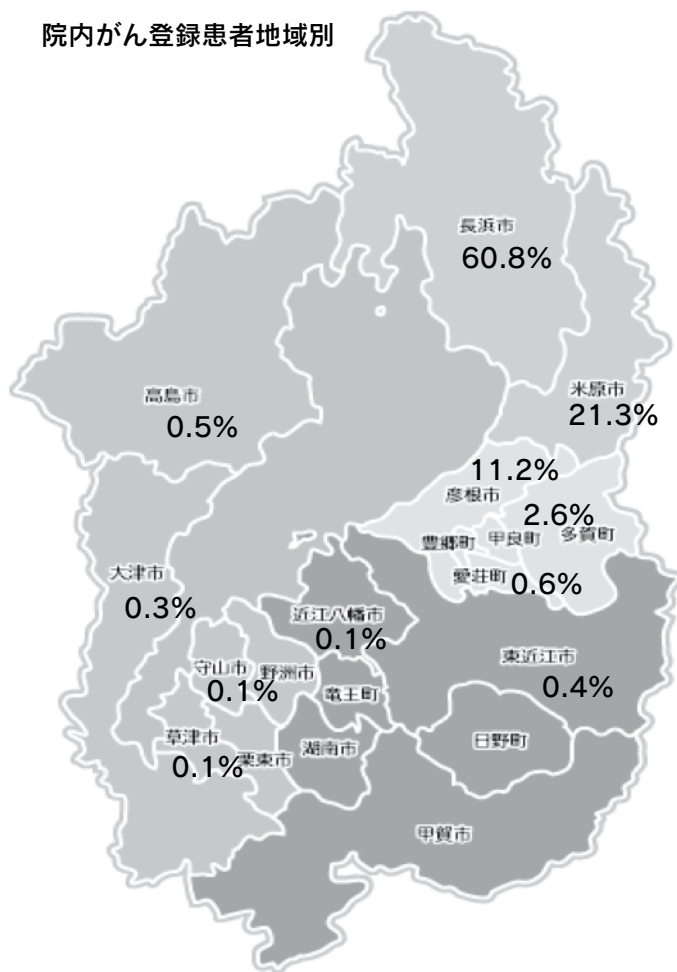
	性 別	平均 在科 日数	転 帰														総 計
			1	2	3	4	5	6	7	8					9		
			治癒	軽快	寛解	不変	増悪	その他	中止 (自己)	転科 (軽快)	転科 (寛解)	転科 (不変)	転科 (増悪)	転科 (その他)	死亡 剖検有	死亡 剖検無	
感染症および寄生虫症	男	15.5	1	35		2		3		1		1				4	47
	女	23.8		41		3		6								4	54
新生物	男	14.6		405	2	240	2	137	1			20	12	2	5	95	921
	女	14.3		493	2	176	1	49		6		11			1	54	793
血液および造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	男	28.1		12	1			1				1				1	16
	女	15.1		17				1									18
内分泌、栄養および 代謝疾患	男	13.4		82		17	1	11		8		4				4	127
	女	12.3		72		14		10		7		4	1			1	109
精神および行動の障害	男	3.5		2													2
	女	5.0		2		2		1									5
神経系の疾患	男	19.1		79		22		18		1		1				3	124
	女	19.5		54	1	11		7		1		2				2	78
眼および付属器の疾患	男	3.5		259						1			1				261
	女	3.1		315		1				1		1					318
耳および乳様突起の疾患	男	6.6		18													18
	女	5.2	1	24													25
循環器系の疾患	男	14.7	1	853	3	49	1	220		7		13	4	3	1	42	1,197
	女	21.2		551	1	22		119		11		8	2	3		28	745
呼吸器系の疾患	男	13.6	1	367	1	29		8		11		19	1		3	56	496
	女	16.8	2	250	1	25		2		4		11			2	33	330
消化器系の疾患	男	8.7	1	338	1	5	1		1	2		6	1			4	360
	女	7.7		300	1	15	1	5		4		2		1		7	336
皮膚および皮下組織の疾 患	男	34.9		19		1						2					22
	女	14.8		21												1	22
筋骨格系および 結合組織の疾患	男	28.4		186		6		7		1		2		1		1	204
	女	27.9		381		1		6				4		1		2	395
腎尿路生殖器系の疾患	男	9.2		262	1	66	1	33		10		11	1	1		3	389
	女	9.3	1	258	1	39		26		14		7		1		3	350
妊娠、分娩および 産じょく＜褥＞	男																0
	女	12.1		99		1	5	95									200
周産期に発生した病態	男	3.5		44													44
	女	4.4		26													26
先天奇形、変形および 染色体異常	男	8.2		7		1		2									10
	女	12.8		7		2		1									10
病状、徴候および異常臨床所見・異 常検査所見で他に分類されないもの	男	11.8		17		2		2				2				2	25
	女	10.9		11		1						2				3	17
損傷、中毒および その他の外因の影響	男	19.3	4	295		26		1		10		2		1		10	349
	女	25.7		296		14				5		1		1		4	321
健康状態に影響をおよぼす要 因および保険サービスの利用	男																0
	女																0
総 計	男	14.3	8	3,280	9	466	6	443	2	52	0	84	20	8	9	225	4,612
	女	13.8	4	3,218	7	327	7	328	0	53	0	53	3	7	3	142	4,152
	計	14.0	12	6,498	16	793	13	771	2	105	0	137	23	15	12	367	8,764

13. 院内がん登録 2018年症例

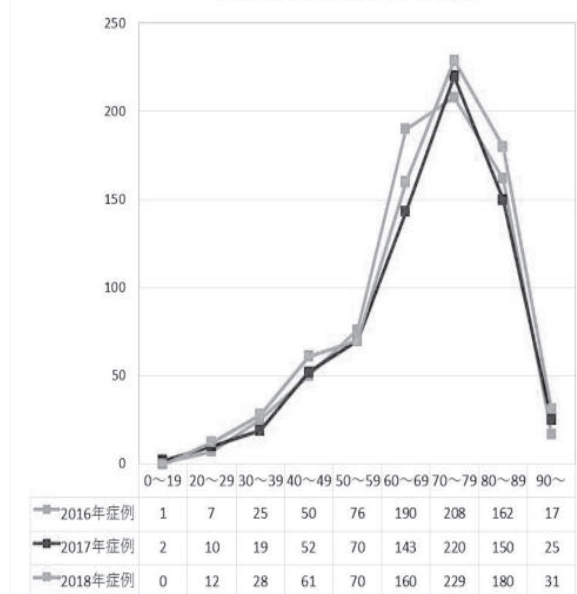
算出条件

- ・重複がんを含む
- ・2018年症例（2018年1月1日～12月31日院内がん登録の起算日ルールに基づく） n = 771
- ・2017年症例（2017年1月1日～12月31日院内がん登録の起算日ルールに基づく） n = 691
- ・2016年症例（2016年1月1日～12月31日院内がん登録の起算日ルールに基づく） n = 736

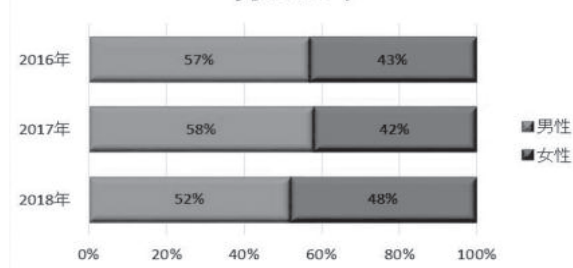
院内がん登録患者地域別



院内がん登録年代別件数



男女比率



県外	湖北		湖東			湖西	湖南			東近江	
	長浜市	米原市	彦根市	犬上郡	愛荘町	高島市	大津市	草津市	守山市	近江八幡	東近江
1.9%	60.8%	21.3%	11.2%	2.6%	0.6%	0.5%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.4%

2016年～2018年症例 自施設診断・自施設治療状況

	2016	2017	2018
自施設診断	77.2%	84.7%	82.5%
自施設治療	77.2%	85.0%	83.7%

自施設診断・自施設治療状況より、約80%のがん患者さまが、当院での診療で完結している状況がわかります。当院は地域に根ざした医療を目指しています。

14. 医療機器等購入状況

部 署	品 名	取 得 年 月
放射線技術科	放射線治療装置システムバージョンアップ	平成 30 年 4 月
整形外科	ユニバーサルドライバーワイヤーコレット	
中央材料室	プラズマ滅菌器	
心臓血管外科	T L A ポンプ	平成 30 年 5 月
臨床工学技術科	呼気炭酸ガスモニター	
	呼気炭酸ガスモニターモジュール	
整形外科	アイシングシステム	平成 30 年 6 月
泌尿器科	軟性膀胱尿道鏡	
臨床工学技術科	非侵襲的人工呼吸器	平成 30 年 7 月
中央手術室	保冷库	
	保温庫	
中央材料室	ダンディーリフト台車 特注	
臨床工学技術科	生体情報モニター	
中央材料室	高圧蒸気滅菌器	平成 30 年 8 月
中央検査技術科	超低温フリーザ	
整形外科	アイシングシステム	
泌尿器科	軟性膀胱尿道鏡	
	尿管ファイバー	
麻酔科	B I S モニター	平成 30 年 9 月
中央手術室	レビテーター・カート	
	M E D レンズアダプター	
整形外科	T P S フットスイッチ	
麻酔科	喉頭ファイバースコープ	
中央手術室	薬用冷蔵ショーケース	平成 30 年 10 月
麻酔科	全身麻酔装置（展示品）	
	経食道プローブ	
薬剤科	全自動散薬分包機	
	小型分包機	
I C U	I C U ベット	
外科	内視鏡カメラシステム	
整形外科	手術器具	
中央検査技術科	生化学・免疫自動分析装置	
	多項目自動血球分析装置	
病理診断科	スライドプリンタ	平成 30 年 11 月
	カセットプリンタ	
健診センター	身長・体重計	
心臓血管外科	超音波血流計	
泌尿器科	尿管・腎盂スコープシステム	平成 30 年 12 月
整形外科	P E D セット	
	P E D セット（一部）	
臨床工学技術科	透析用水作製装置	
消化器内科	内視鏡カメラシステム	
産婦人科	超音波診断装置	
健診センター	超音波診断装置	
産婦人科	ディスプレイ	
看護局	ストレッチャースケール	
泌尿器科	軟性膀胱尿道鏡	
臨床工学技術科	エンドトキシン測定装置	平成 31 年 1 月
放射線技術科	ストレステスト用固定具	平成 31 年 3 月
臨床工学技術科	経皮血中ガス分圧モニター	
麻酔科	全身麻酔装置	
消化器内科	上部消化管内視鏡・下部消化用大腸スコープ	
中央検査技術科	超音波診断装置	
消化器内科	生体情報モニター	

15. 死亡診断書発行状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 科	13	6	3	13	9	4	5	11	11	14	8	8	105
小 児 科													0
外 科	3	4	3	5	8	4	3	1	7	5	4	5	52
耳 鼻 咽 喉 科				2									2
産 婦 人 科		1			1	1	2	1		1		2	9
眼 科													0
整 形 外 科	1					1		1				1	4
泌 尿 器 科	1		2	1	1			1		1	3	1	11
皮 膚 科													0
脳 神 経 外 科	2	4	4	1	4	2		1	1	2	4	5	30
歯科口腔外科													0
神 経 内 科		1					1	2			2	1	7
心臓血管外科	2		1		1	1		3			1		9
形 成 外 科													0
呼 吸 器 科	8	11	13	22	10	11	13	12	13	8	8	11	140
循 環 器 科	1			3	5	2	2	3	6	3	5	4	34
消 化 器 科									2	2		3	7
死 産	1	1						1					3
合 計	32	28	26	47	39	26	26	37	40	36	35	41	413

16. 剖検症例

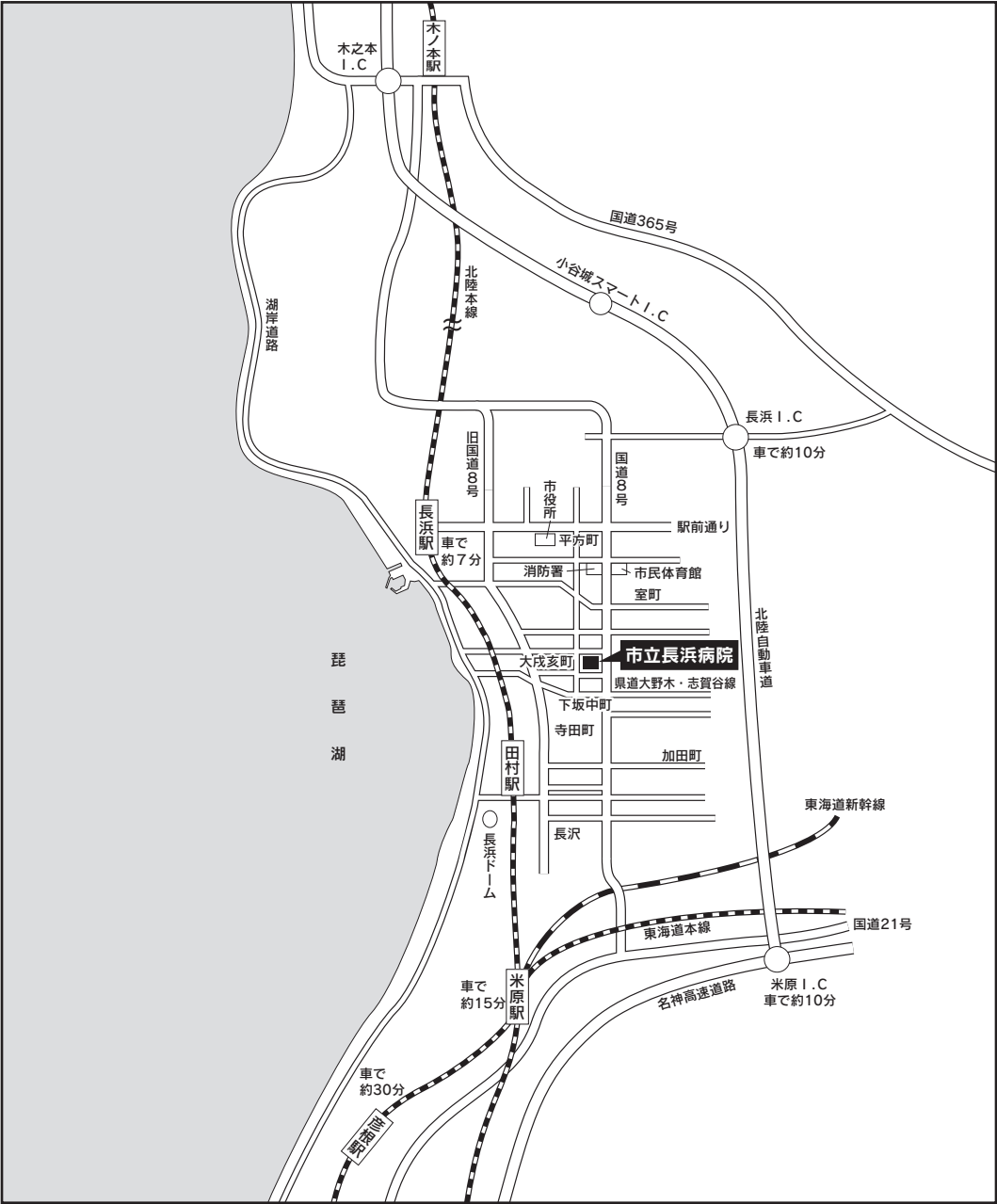
H30.1.1.～H30.12.31

剖検番号	年齢	性別	臨床診断	出所	検索部位	病理診断
A00620	80	F	肺炎疑い	呼吸器内科	胸腹部	侵襲性肺アスペルギルス症
A00621	69	M	インフルエンザ肺炎・ 脳症	呼吸器内科	胸腹部・ 頭部	急性気管支肺炎
A00622	65	M	食道癌	外科	皮膚	食道癌皮膚転移
A00623	76	F	肺癌	呼吸器内科	胸腹部	浸潤性粘液腺癌
A00624	68	M	直腸癌再発	泌尿器科	胸腹部	直腸癌再発
A00625	85	M	心タンポナーゼ	心臓血管外科	胸腹部	解離性心外膜下血腫
A00626	63	M	肺癌	呼吸器外科	胸腹部	腺扁平上皮癌
A00627	87	F	細菌性肺炎	呼吸器内科	胸腹部	気管支肺炎および顕微鏡的血管炎
A00628	78	M	肝細胞癌	呼吸器外科	胸腹部	肝細胞癌、肝内胆管癌
A00629	46	M	肺癌	呼吸器内科	胸腹部	肺腺癌
A00630	73	M	小細胞癌	内科	胸腹部	異型カルチノイド
A00631	77	M	肺塞栓疑い	呼吸器内科	胸腹部	びまん性肺胞障害、気管支肺炎、肺結核症

17. 院内保育所「あすなろ園」状況

月	性別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	一時保育児	計	備 考
4 月	男	0	6	9	1	1	16	
	女	2	3	3	3	0	11	
	計	2	9	12	4	1	27	
5 月	男	0	6	9	1	0	16	
	女	3	3	3	3	0	12	
	計	3	9	12	4	0	28	
6 月	男	0	6	9	1	0	16	
	女	3	3	2	3	0	11	
	計	3	9	11	4	0	27	
7 月	男	0	7	9	1	1	17	
	女	3	3	2	3	1	11	
	計	3	10	11	4	2	28	
8 月	男	0	7	8	1	1	16	
	女	4	3	2	3	0	12	
	計	4	10	10	4	1	28	
9 月	男	1	9	8	1	1	19	
	女	4	3	2	3	1	12	
	計	5	12	10	4	2	31	
10 月	男	3	9	8	1	0	21	
	女	4	3	2	3	0	12	
	計	7	12	10	4	0	33	
11 月	男	3	9	8	1	0	21	
	女	5	3	2	3	0	13	
	計	8	12	10	4	0	34	
12 月	男	4	9	8	1	0	22	
	女	5	3	2	3	0	13	
	計	9	12	10	4	0	35	
1 月	男	4	9	7	1	0	21	
	女	5	3	2	3	0	13	
	計	9	12	9	4	0	34	
2 月	男	4	9	7	1	0	21	
	女	5	3	2	3	1	13	
	計	9	12	9	4	1	34	
3 月	男	4	9	7	1	0	21	
	女	6	6	2	3	1	17	
	計	10	15	9	4	1	38	
年間合計	男	23	95	97	12	4	227	
	女	49	39	26	36	4	150	
	計	72	134	123	48	8	377	
月平均	男	2	8	8	1	0.3	19	
	女	4	3	2	3	0.3	13	
	計	6	11	10	4	0.7	32	

※合計には一時保育児は含まない。





令和元年12月発行

平成30年度 市立長浜病院年報

編集・発行 市立長浜病院

院長 神 田 雄 史

滋賀県長浜市大^{おお}成^{いぬ}亥^い町313番地

TEL 0749-68-2300

FAX 0749-65-1259